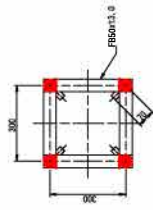
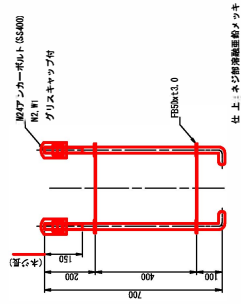


# M24アンカーボルト 参考図

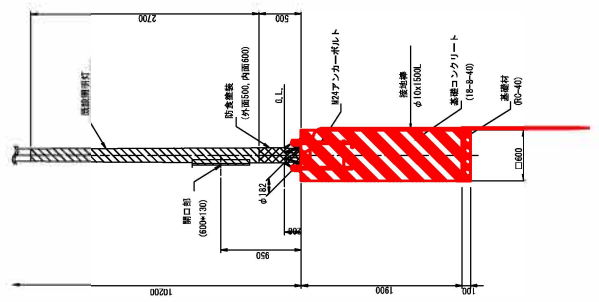
アンカーフレーム詳細 ⑤-1:1.0



アンカーボルト詳細図 ⑤-1:1.0

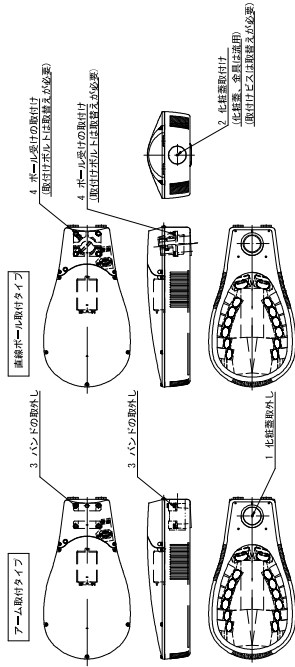


(参考) 照明灯基礎部 ⑤-1:3.0

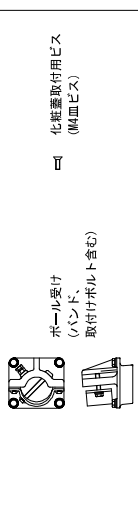


照明柱参考姿図 S=1/80

アーム直線 金具詳細図

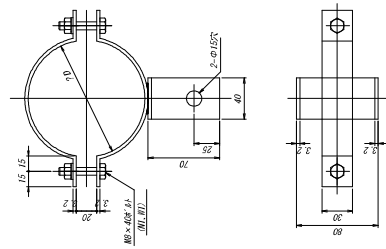


アームタイプから直線ボールタイプへの変更に必要な部品

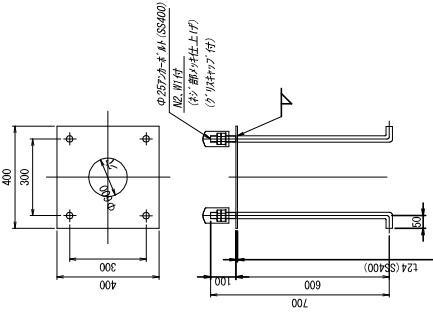


アンカーボルト

コ型バンド詳細図 S=1/5



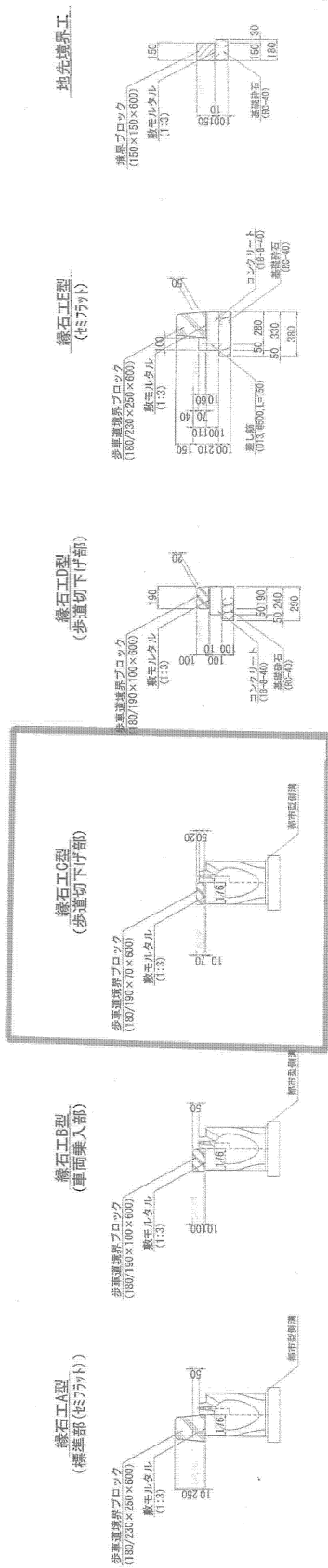
アンカーボルト詳細図 S=1/20



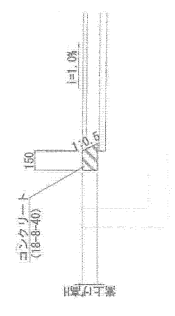
※仕上：溶融亜鉛メッキ (HDZ55)  
※ベースピッチ・開口部の向き、高さ・ニッブル・カップリングは、参考とする

# 道路施設詳細図(3)

S=1:20

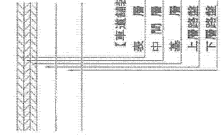


嵩上げコンクリート



舗装構成図

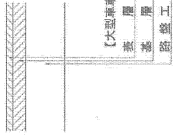
<車道舗装工>



<歩道舗装工>



<大型車両乗入れ舗装工>



<車両乗入れ舗装工>



測点	H	L
No.7~No.7+10.7付近(左)	0.118	10.7
No.9+0.8~No.10+0.5付近(左)	0.071	21.6
No.15~No.16+7.3付近(左)	0.064~0.140	27.3
No.2+16.5~No.3+12.5付近(右)	0.032	15.9
No.5+19.2~No.6+7.2付近(右)	0.069	8.0

年度	平成28年度
路線名	主要地方道 岸和田港沿岸線
工事名	
地名	岸和田市土生町内
測量年度	平成28年3月
作図者	大塚洋行土木事務所
年月	平成28年3月
頁数	全 21 頁
シート	第 21 号
縮尺	1:20
図名	道路施設詳細図(3)
縮尺	1:20
縮尺	1:20

作成年月 1975年12月 改訂 1984年3月 1995年5月 2000年3月

コンクリート製品一覽表

図面番号 0-0-1

区分	区分	型式	摘要
歩道境界	150/190x200x600	0-1型	一般部(セミフラット形式)
	180/230x250x600	0-2型	・フラット形式)
	180/240x300x600	0-3型	歩道すりつけ部
	150/190x200x600	0-4型	"
	180/230x250x600	0-5型	(端部)
	180/240x300x600	0-6型	"
	150/170x200x600	0-7型	一般部(マウンドアップ形式)
	180/205x250x600	0-8型	"
	150/190x200x600	0-9型	一般部の集水側部
	180/230x250x600	0-10型	"
歩道すりつけ部	150/190-170) x(200-100)x600	0-11型	歩道切下げすりつけ部
	180/(230-200) x(250-190)x600	0-12型	車道出入口すりつけ部(端部)
	150/(170-168) x(200-180)x600	0-13型 (1)	歩道すりつけ部
	150/(168-166) x(180-160)x600	0-13型 (2)	"
	150/(166-164) x(160-140)x600	0-13型 (3)	"
	150/(164-162) x(140-120)x600	0-13型 (4)	"
	150/(162-160) x(120-100)x600	0-13型 (5)	"
	180/(205-202) x(250-225)x600	0-14型 (1)	歩道すりつけ部
	180/(202-200) x(225-200)x600	0-14型 (2)	"
	180/(200-197) x(200-175)x600	0-14型 (3)	"

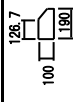
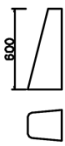

区分	区分	型式	摘要
歩道境界	180/(197-195) x(175-150)x600	0-14型 (4)	歩道すりつけ部
	180/(195-192) x(150-125)x600	0-14型 (5)	"
	180/(192-190) x(125-100)x600	0-14型 (6)	"
歩道切下げ部	180/190x100x600	0-15型	歩道切下げ部
	40/180x100x600	0-16型	車道出入口部
境界	180/180x100x600	0-17型	車道出入口部境界 中央分離帯切下げ部
	150/150x150x600	0-18型	官民境界JISA5307
管	150/150x150x600	0-19型	植樹帯根固め
	φ200~φ2000 φ1000~φ3000		ソケット管 (第1種管) JISA5303 ソケット管 (第2種管) JISA5303
側溝			PU型側溝JISA5305
	点状 300x300x66 線状 300x300x66	点状ブロック 線状ブロック	

工種	
種別	
図面名	コンクリート製品一覽表

作成年月 1975年12月 改訂 1984年3月 1995年5月 2000年3月 2004年5月 2017年10月

図面番号 0-0-2

コンクリート製品一覧表

区分	区分	形式	摘要
歩車道境界	126.7/190×100×600	 O-20型	車両出入口部
	(126.7~150)/190 ×(100~200)×600	 O-21型	車両出入口すり付け部(端部)
	(126.7~180) /(190~230) ×(100~250)×600	 O-22型	"

ETCSY006 平成20年 10月1日 G20080605--6 SY

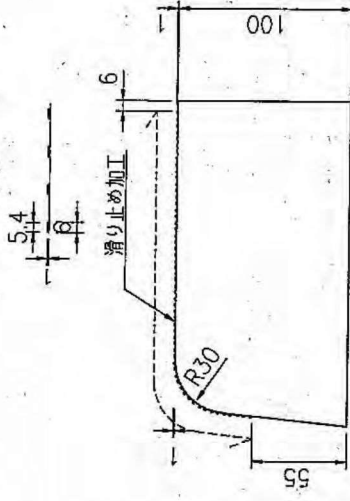
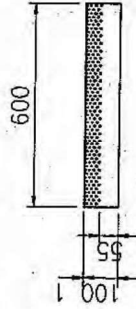
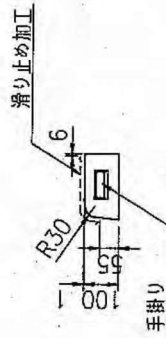
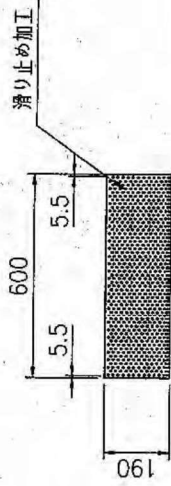
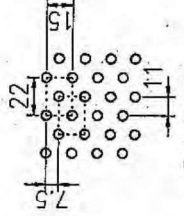
設計条件

荷重条件 T-25 (平行)

片面歩車道境界ブロックB(切下げ)

S=1/20

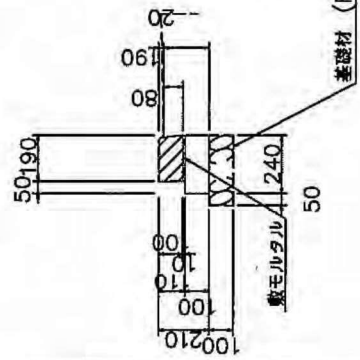
滑り止め加工 詳細図  
S=1/5



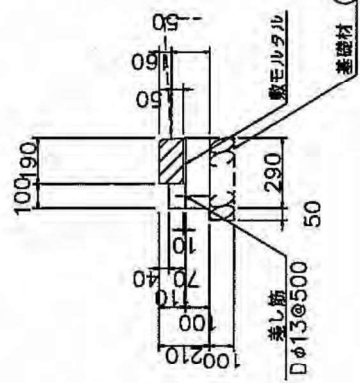
製品立積 0.011 (m³)

歩道切下げ部、車両出入口部

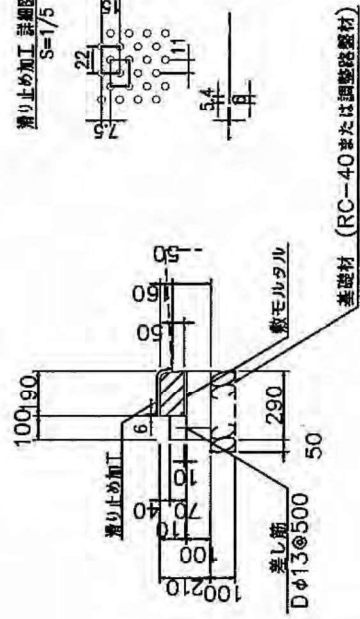
E型 (歩道切下げ部)



F型 (車両出入口部)



H型 (車両出入口部)



材料表

(10m当り)

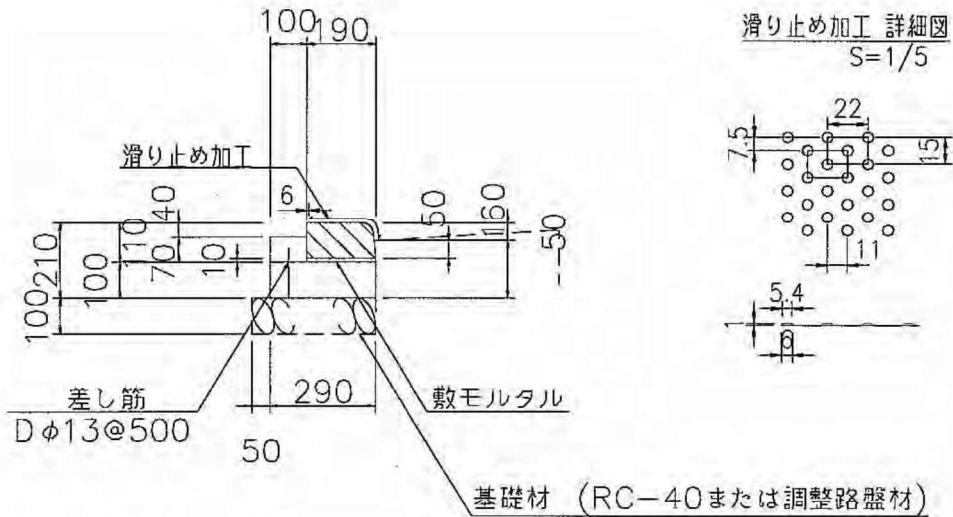
名称	規格	単位	数量			摘要
			E型	F型	H型	
基礎材		m <sup>2</sup>	2.90	3.40	3.40	
型枠		m <sup>2</sup>	2.00	2.70	2.70	
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.24	0.36	0.36	
敷モルタル	1:3	m <sup>2</sup>	1.90	1.90	1.90	据付
コンクリートブロック	180/190x100x600	個	16.5	16.5	16.5	0-15型
差し筋	Dφ13 L=150	kg	—	3.0	3.0	20本/10m
伸縮目地	目地板 t=10	m <sup>2</sup>	0.02	0.03	0.03	

- 注) 1. E型は歩道切下げ部、F型、H型は車両出入口部にそれぞれ使用。  
 2. 基礎材はRC-40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。  
 数量はRC-40の場合で表示する。  
 3. 伸縮目地は瀝青繊維質目地を使用するものとする。

工種	歩車道境界工
種別	縁石
図面名	E型 F型 H型
大阪府都市整備部	

算式根拠となる構造図

種別及び細別：歩車道境界工 縁石 H型 (車両出入口部)



図面番号1-2-1

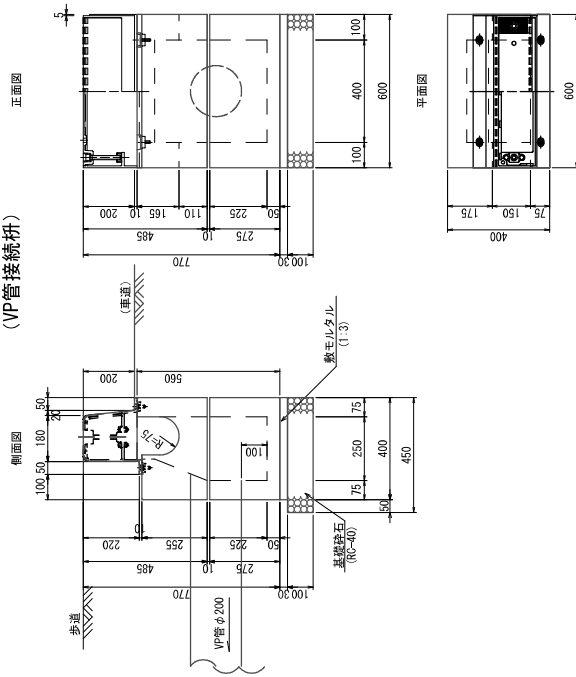
(10m当たり)

名称	規格・形状	算式	単位	数量
基礎材	RC-40又は調整路盤材	$0.34 \times 10.0$	m <sup>2</sup>	3.400
型枠		$(0.17+0.10) \times 10.0$	m <sup>2</sup>	2.700
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$(0.10 \times 0.29 + 0.07 \times 0.10) \times 10.0$	m <sup>3</sup>	0.360
敷モルタル	1:3	$0.19 \times 10.0$	m <sup>2</sup>	1.900
コンクリートブロック	180/190×100×600	10.0/0.605	個	16.529
差し筋	Dφ13 L=150	$0.15 \times 0.995 \times 20$	kg	2.985
伸縮目地	目地板 t=10	$0.10 \times 0.29$	m <sup>2</sup>	0.029



# 小構造物図 (2/2)

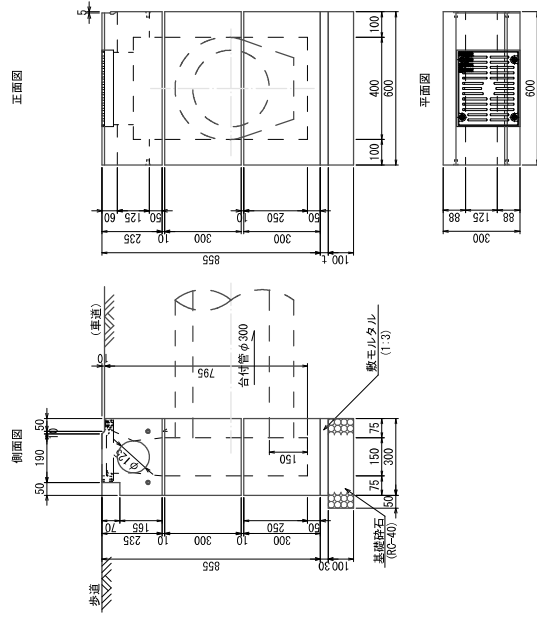
縁石柵B  
(VP管接続柵)



材料表 (10箇所当り)

名称	規格	単位	数量	換算
基礎材	RC-40	m <sup>2</sup>	2.70	
敷石材	1:3	m <sup>2</sup>	2.40	
上部ブロック	150用	個	10.0	
下部ブロック	調整ブロック	個	10.0	
下部ブロック	底付	個	10.0	

歩道切下柵・調整ブロック  
(台付管接続柵)



材料表 (10箇所当り)

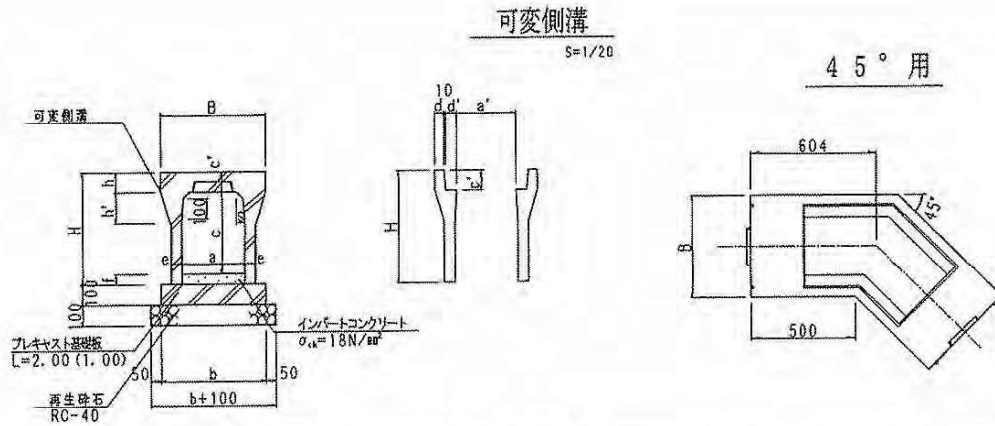
名称	規格	単位	数量	換算
基礎材	RC-40	m <sup>2</sup>	2.10	
敷石材	1:3	m <sup>2</sup>	1.80	
上部ブロック	150用	個	10.0	
下部ブロック	歩道切下専用	個	10.0	
下部ブロック	調整ブロック	個	10.0	
下部ブロック	底付	個	10.0	

算式根拠となる構造図

種別及び細別

可変側溝300×300 (45° 用)

10箇所当り

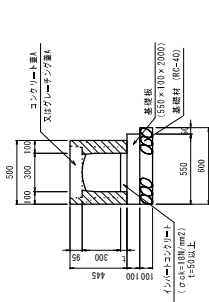


呼び名 (A×C)	規格寸法 (mm)													
	H	B	b	a	a'	c	c'	d	d'	e	f	h	h'	s
300×300	445	500	500	300	287	300	95	45	51.5	50	50	95	100	25
300×400	545	500	500	300	285	400	95	45	52.5	55	150~70	95	150	30
300×500	645	500	500	300	285	500	95	45	52.5	55	170~50	95	150	30

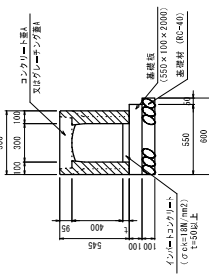
名称	規格	算式	単位	数量
再生砕石	RC-40 t=100	$0.60 \times 0.604 \times 2 \times 10$	m <sup>2</sup>	7.248
プレキャスト基礎板	t=100	$(0.604 \times 2 \times 10) \div 2.00$	枚	6.040
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$0.30 \times 0.05 \times 0.604 \times 2 \times 10$	m <sup>3</sup>	0.181
可変側溝	300×300 45° 用		個	10.000

1工区 自由勾配側溝構造図(1)

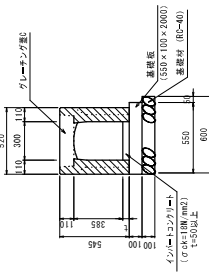
自由勾配側溝A型  
(縦断用 B300×H300) S=1/20



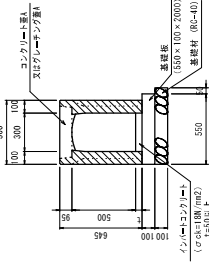
自由勾配側溝B型  
(縦断用 B300×H400) S=1/20



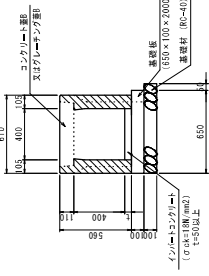
自由勾配側溝C型  
(横断用 B300×H400) S=1/20



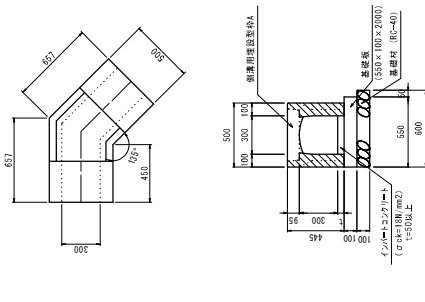
自由勾配側溝D型  
(縦断用 B300×H500) S=1/20



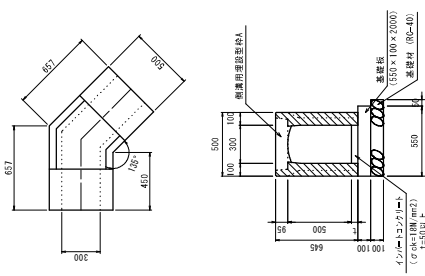
自由勾配側溝E型  
(縦断用 B400×H400) S=1/20



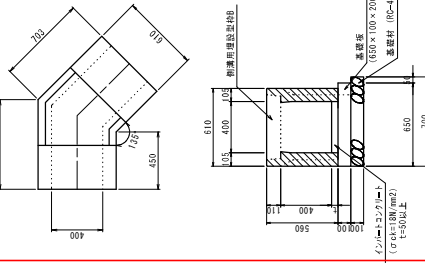
自由勾配側溝F-1型  
(コーナー品 B300) S=1/20



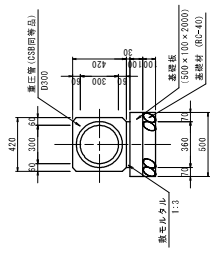
自由勾配側溝F-2型  
(コーナー品 B300) S=1/20



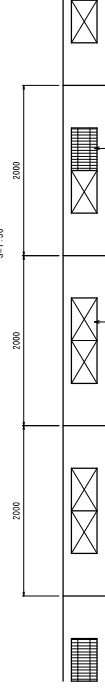
自由勾配側溝G型  
(コーナー品 B400) S=1/20



道路横断管渠  
(重圧管 D300) S=1/20



標準側溝蓋配置図  
S=1/30



※上記図は、標準的な配置図であり、長短からの引出管がある場合は図面に比して配置すること。

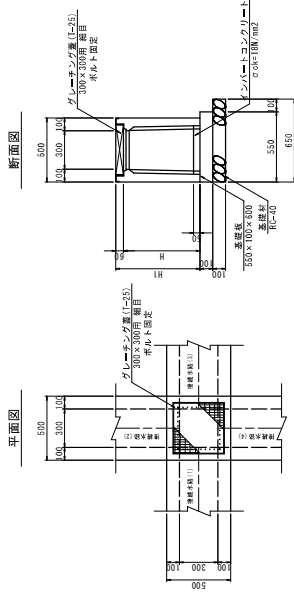
年度	平成30年度	番号	15	20
発注者	父業和成機			
工事名				
所轄地区				
発注者	父業和成機			
発注日	平成30年3月			
大阪府国土事務所				

# 1工区 集水樹構造図

集水樹工A型

S=1:20

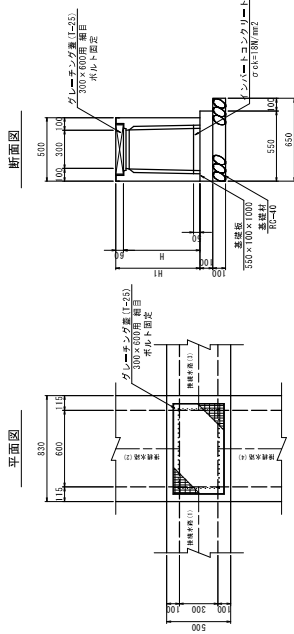
300×300



集水樹工B型

S=1:20

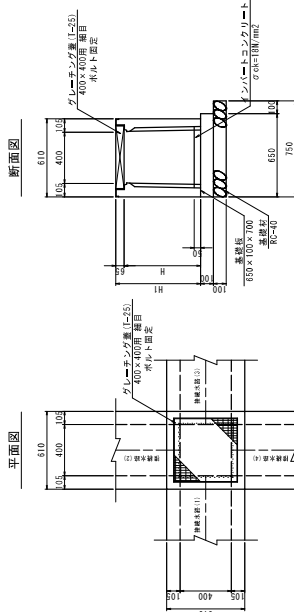
300×600



集水樹工C型

S=1:20

400×400



型番	測点	左右	集水樹規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	(1)	(2)	(3)	(4)
A-1型	NO.204+2.4	左	300×300×600	800	800	800	可変側溝 800×H500 埋設水深 820×H1000 ▽92.47 流入 ▽92.39 流出	埋設水深 820×H1000 ▽92.39 流出	-	-
A-2型	NO.215+4.5	左	300×300×600	600	600	600	可変側溝 800×H300 埋設水深 800×H300 ▽92.60 流入 ▽92.52 流出	埋設水深 800×H300 ▽92.52 流出	-	埋設水深 800×H300 ▽92.52 流出
A-3型	NO.206+0.5	右	300×300×600	800	600	600	可変側溝 800×H400 埋設水深 800×H400 ▽92.55 流入 ▽92.47 流出	埋設水深 800×H400 ▽92.47 流出	-	埋設水深 800×H400 ▽92.47 流出
A-4型	NO.200+3.2	右	300×300×600	800	600	600	埋設水深 800×H300 埋設水深 800×H300 ▽92.68 流入 埋設水深 800×H300 埋設水深 800×H300 ▽92.60 流出	埋設水深 800×H300 ▽92.60 流出	-	埋設水深 800×H300 ▽92.60 流出
A-5型	NO.200+5.0	右	300×300×600	600	600	600	埋設水深 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.40 流入 埋設水深 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.40 流出	埋設水深 800×H500 ▽92.40 流出	-	埋設水深 800×H500 ▽92.40 流出
A-6型	NO.203+9.9	右	300×300×800	800	800	800	可変側溝 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.40 流入 埋設水深 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.40 流出	埋設水深 800×H500 ▽92.40 流出	-	埋設水深 800×H500 ▽92.40 流出
A-7型	NO.206+0.8	右	300×300×800	800	800	800	可変側溝 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.40 流入 埋設水深 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.40 流出	埋設水深 800×H500 ▽92.40 流出	-	埋設水深 800×H500 ▽92.40 流出
A-8型	NO.206+4.4	右	300×300×800	800	800	800	可変側溝 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.09 流入 埋設水深 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.09 流出	埋設水深 800×H500 ▽92.09 流出	-	埋設水深 800×H500 ▽92.09 流出
A-9型	NO.208+14.7	右	300×300×800	800	800	800	可変側溝 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.09 流入 埋設水深 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.09 流出	埋設水深 800×H500 ▽92.09 流出	-	埋設水深 800×H500 ▽92.09 流出
A-10型	NO.208+4.1	右	300×300×800	800	800	800	埋設水深 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.68 流入 埋設水深 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.68 流出	埋設水深 800×H500 ▽92.68 流出	-	埋設水深 800×H500 ▽92.68 流出

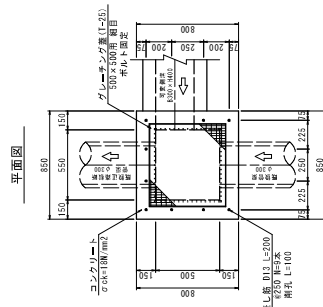
型番	測点	左右	集水樹規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	(1)	(2)	(3)	(4)
B-1型	NO.203+2.4	左	300×600×1200	1200	1200	1200	埋設水深 800×H900 埋設水深 800×H900 ▽92.60 流入 ▽92.52 流出	埋設水深 800×H900 ▽92.52 流出	-	埋設水深 800×H900 ▽92.52 流出
B-2型	NO.208+6.7	左	300×600×600	600	600	600	埋設水深 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.68 流入 ▽92.60 流出	埋設水深 800×H500 ▽92.60 流出	-	埋設水深 800×H500 ▽92.60 流出
B-3型	NO.206+11.2	右	300×600×800	800	800	800	可変側溝 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.68 流入 埋設水深 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.60 流出	埋設水深 800×H500 ▽92.60 流出	-	埋設水深 800×H500 ▽92.60 流出
B-4型	NO.208+17.7	右	300×600×1000	1000	1000	1000	埋設水深 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.68 流入 埋設水深 800×H500 埋設水深 800×H500 ▽92.60 流出	埋設水深 800×H500 ▽92.60 流出	-	埋設水深 800×H500 ▽92.60 流出

型番	測点	左右	集水樹規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	(1)	(2)	(3)	(4)
C-1型	NO.210+18.1	右	400×400×600	600	600	600	可変側溝 800×H400 埋設水深 800×H400 ▽92.14 流入 埋設水深 800×H400 埋設水深 800×H400 ▽92.06 流出	埋設水深 800×H400 ▽92.06 流出	-	埋設水深 800×H400 ▽92.06 流出
C-2型	NO.212+5.5	右	400×400×600	600	600	600	埋設水深 800×H400 埋設水深 800×H400 ▽92.30 流入 埋設水深 800×H400 埋設水深 800×H400 ▽92.22 流出	埋設水深 800×H400 ▽92.22 流出	-	埋設水深 800×H400 ▽92.22 流出
C-3型	NO.215+4.4	右	400×400×600	800	600	600	可変側溝 800×H400 埋設水深 800×H400 ▽92.69 流入 埋設水深 800×H400 埋設水深 800×H400 ▽92.61 流出	埋設水深 800×H400 ▽92.61 流出	-	埋設水深 800×H400 ▽92.61 流出

集水樹高上工

S=1:20

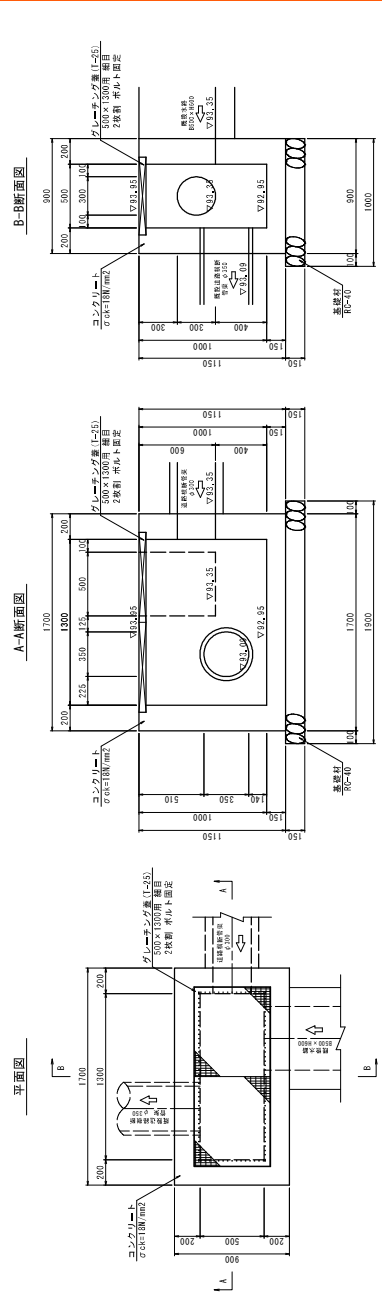
500×550 h=100



集水樹工D型

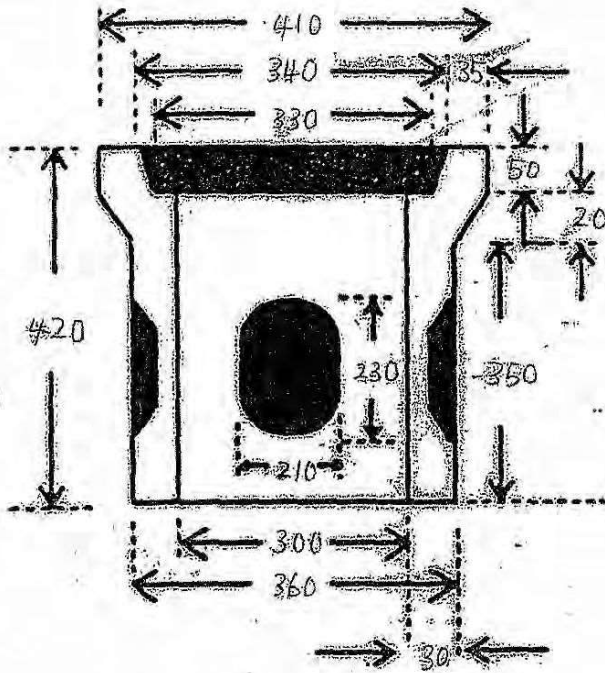
S=1:20

500×1300×1000



年度	平成29年度	番号	17-20
発注者	父業和気機		
工事名			
所轄支庁	1工区 集水樹構造図		
発注者	P		
図示	作成日 平成30年3月		
大阪府国土事務所			

集水桝 300×300



※ 同等品以上のものとする。

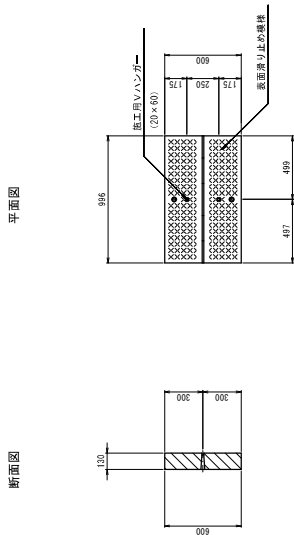
# 排水構造物構造図

S=1:20

コンクリート蓋(スリット式) B300 L1000標準

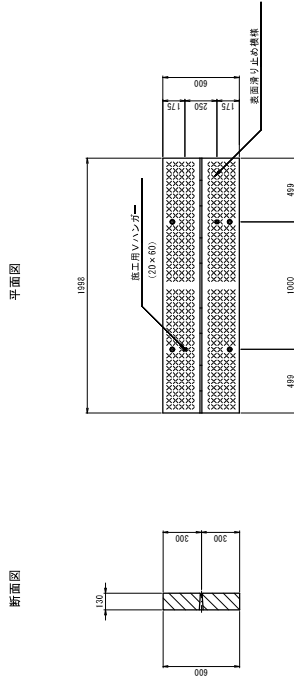
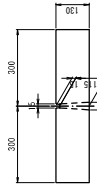
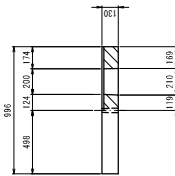
コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000標準

コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000管理孔付



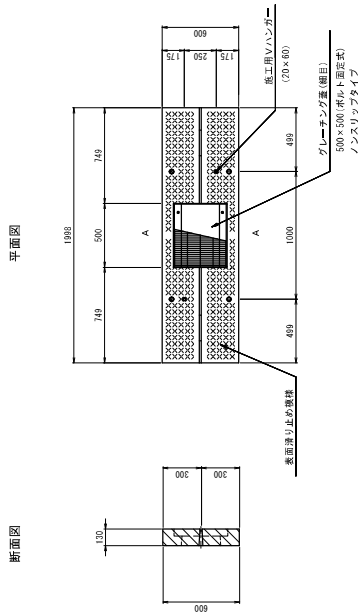
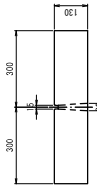
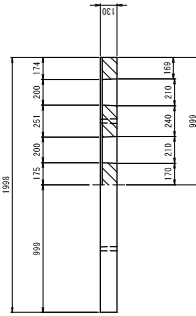
側面図 (断面図)

端部詳細図 S=1:10



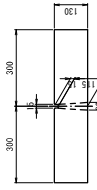
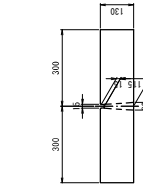
側面図 (断面図)

端部詳細図 S=1:10

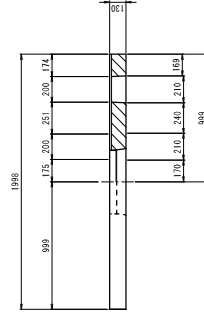


端部詳細図 S=1:10

A-A断面図 S=1:10



側面図 (断面図)



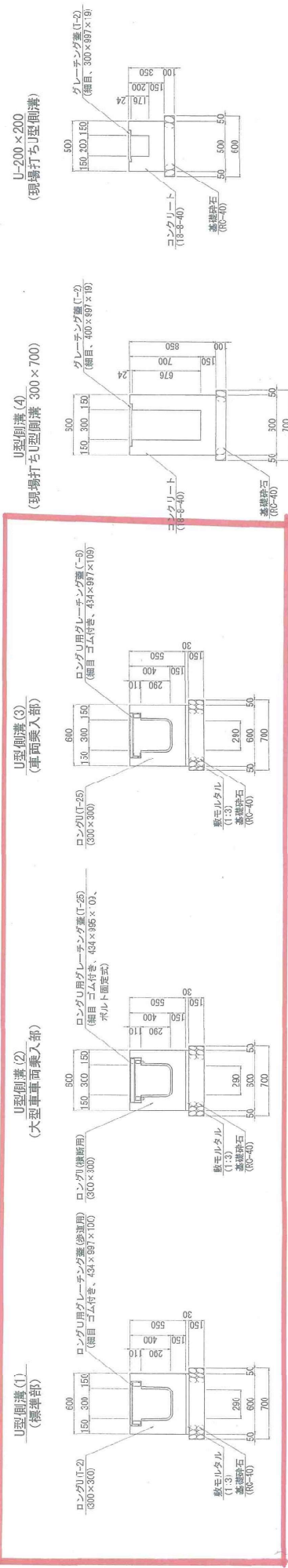
設計条件

規格	標準型断面 (準入型前)
形状	蓋形蓋形式
自動車荷重	245kN
歩行車荷重	50kN
衝撃係数	i=0.3
設計標準強度	35N/mm <sup>2</sup>
設計せん断応力	15.5N/mm <sup>2</sup>
設計せん断応力	0.52N/mm <sup>2</sup>
材質	SD355-A同等以上
鉄筋の引張応力	178N/mm <sup>2</sup>
鉄筋の圧縮応力	78N/mm <sup>2</sup>

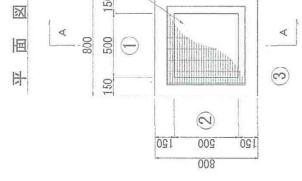
- 1. 0m=製品参考質量 133kg
- 2. 0m=製品参考質量 367kg
- 管理孔付: 製品参考質量 315kg (グレーナング重量は含まず)

# 道路施設詳細図(2)

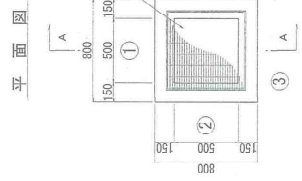
S-1:20



集水枳(1)



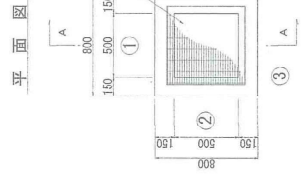
集水枳(2)



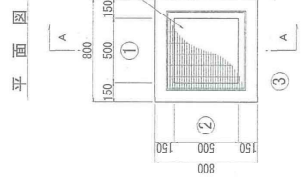
集水枳(1)

枳脚点	呼び寸法	枳天端高 (m)	h (m)	開口部				概要
				種類	種頭 (底高)	種類	種頭 (底高)	
No. 6+7.65 (右側)	500×500×600	25.470	0.600	管渠工 HF 4-30C (24.670) 下流	U型側溝(1) 300×300 (24.670)	U型側溝(1) 300×300 (24.670)	U型側溝(1) 300×300 (24.670)	U型側溝(1) 300×300 (24.670)
No. 8+8.83 (右側)	500×500×600	25.462	0.900	管渠工 HF 4-30C (23.034)	既設側溝 U-200×200 (27.362) 下流	U型側溝(1) 300×300 (29.233) 下流	既設側溝 U-200×200 (27.362)	既設側溝 U-200×200 (27.362)
No. 15+5.92 (右側)	500×500×600	27.862	0.500		既設側溝 U-200×200 (27.362) 下流	U型側溝(1) 300×300 (29.233) 下流	既設側溝 U-200×200 (27.362)	既設側溝 U-200×200 (27.362)
No. 20+17.84 (右側)	500×500×600	28.623	0.600					

集水枳(1)



集水枳(2)



集水枳(2)

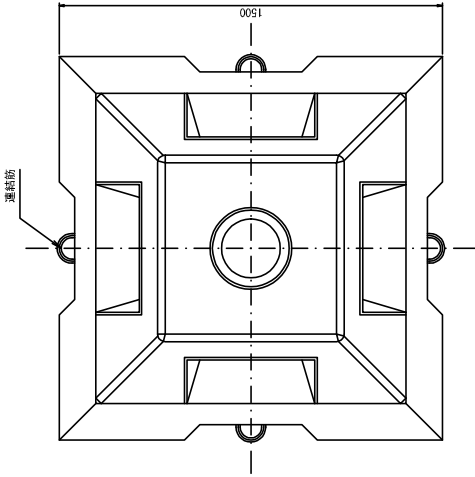
枳脚点	呼び寸法	枳天端高 (m)	h (m)	開口部				概要
				種類	種頭 (底高)	種類	種頭 (底高)	
No. 8+5.09 (右側)	500×500×600	25.599	0.900	管渠工 HF 4-30C (24.899) 下流	既設側溝 U-200×200 (27.462) 下流	U型側溝(4) 300×700 (24.899)	U型側溝(4) 300×700 (24.899)	U型側溝(4) 300×700 (24.899)
No. 15+12.83 (右側)	500×500×600	27.462	0.500		既設側溝 U-300×300 (27.358) 下流	U型側溝(1) 300×300 (27.358) 下流	既設側溝 U-300×300 (27.358) 下流	既設側溝 U-300×300 (27.358) 下流
No. 15+17.14 (右側)	500×500×600	27.758	0.600					

年度	平成29年
図名	主要地方道 岸和田港京橋
工事名	
地名	岸和田市土庄町内
図面名	道路施設詳細図(2)
縮尺	1:20
作成	平成29年 9月
図番	全 11 号
備考	大阪府岸和田土木事務所

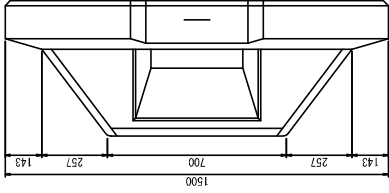
# スクエア製品図

1T型 1010kg

平面図

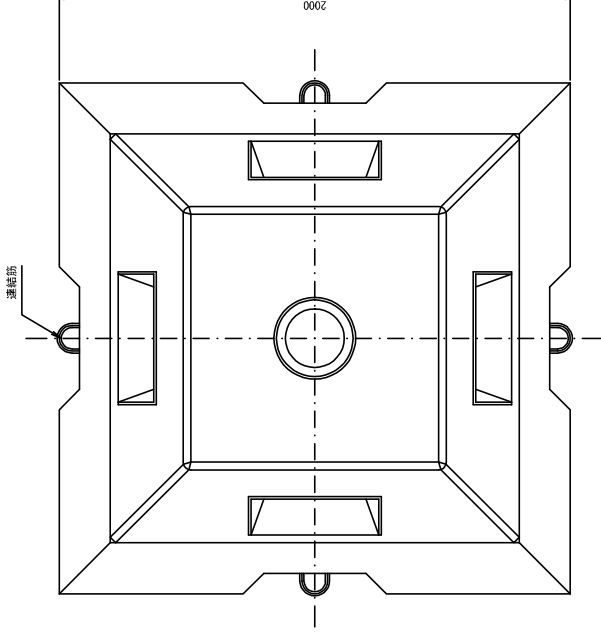


側面図

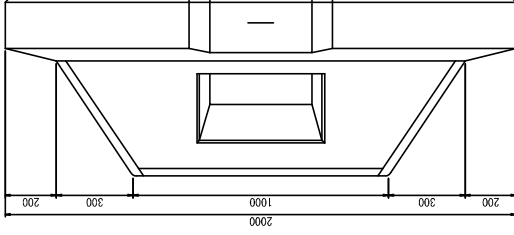


2T型 2010kg

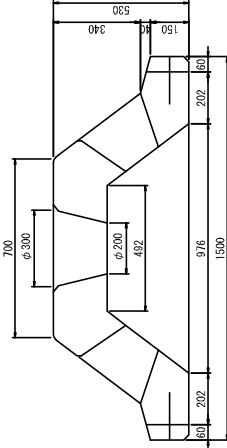
平面図



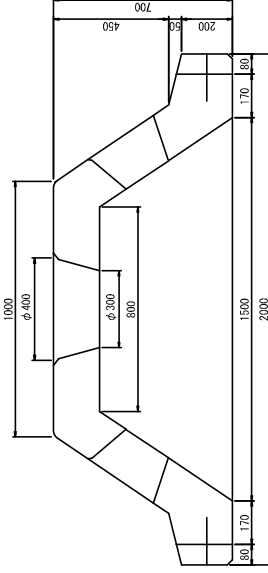
側面図



断面図



断面図



製品名	スクエア 1T型・2T型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランドス株式会社		
提供元	会員CADダウンロードサービス		

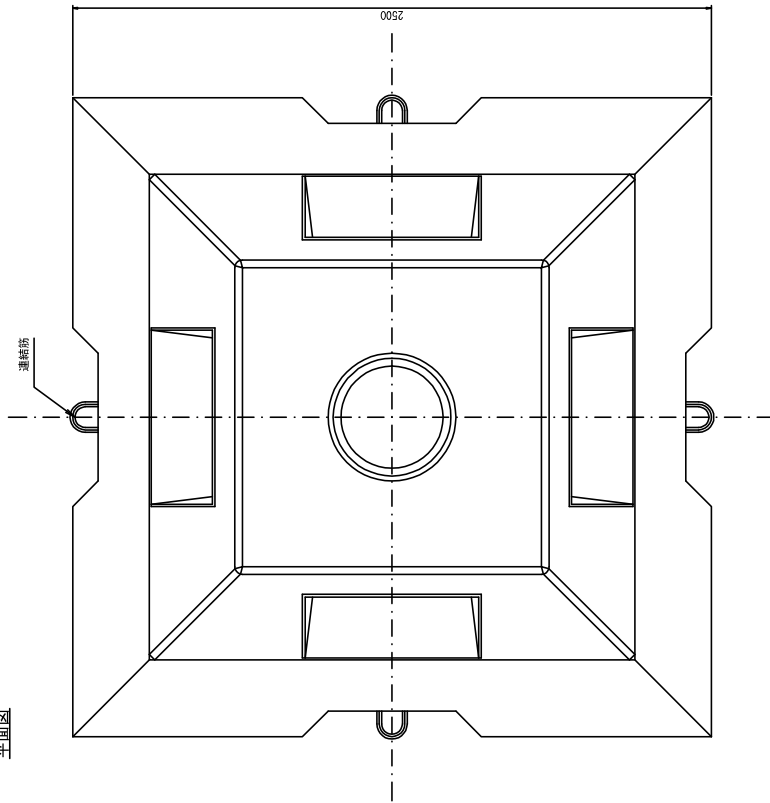
※予告なく形状変更する場合があります。



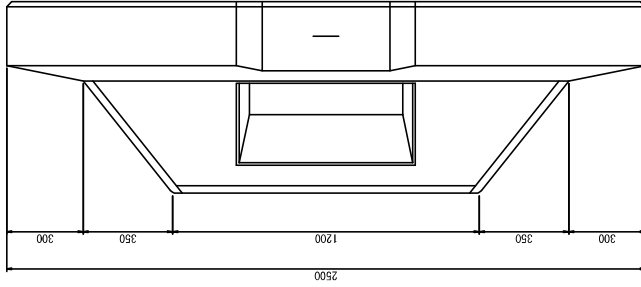
# スクエア製品図

3-T型 3260kg

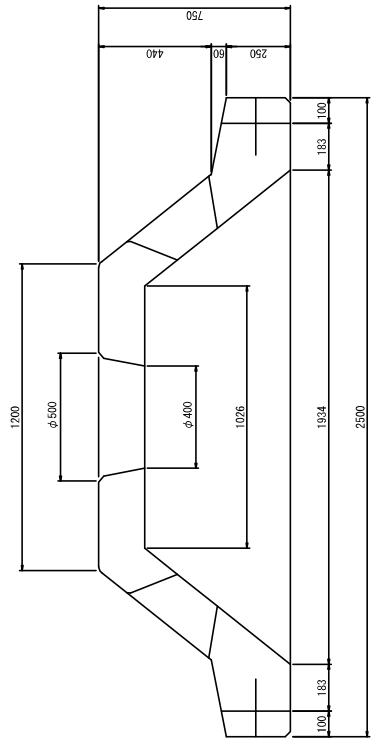
平面図



側面図



断面図



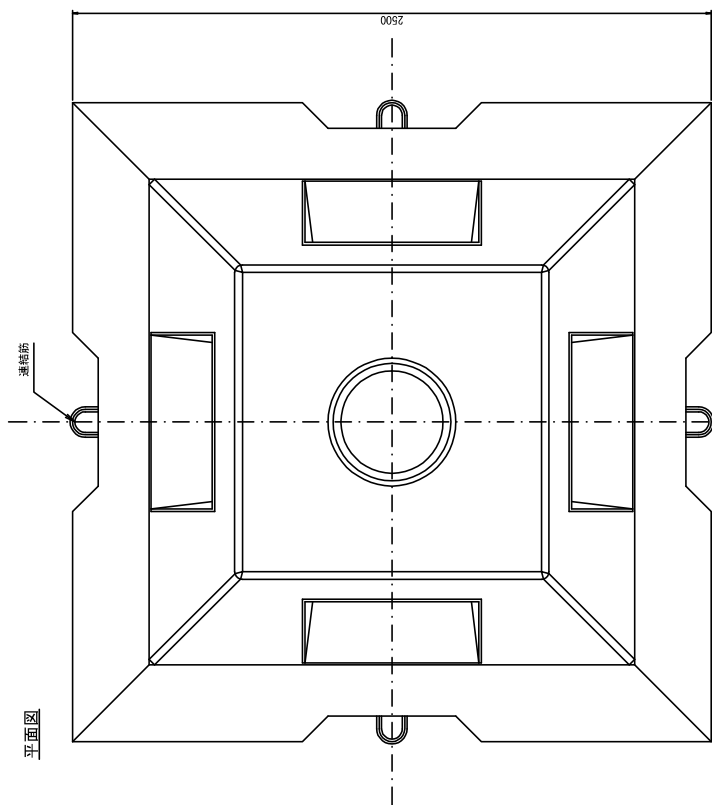
製品名	スクエア 3T型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員CADダウンロードサービス		

※予告なく形状変更する場合があります。

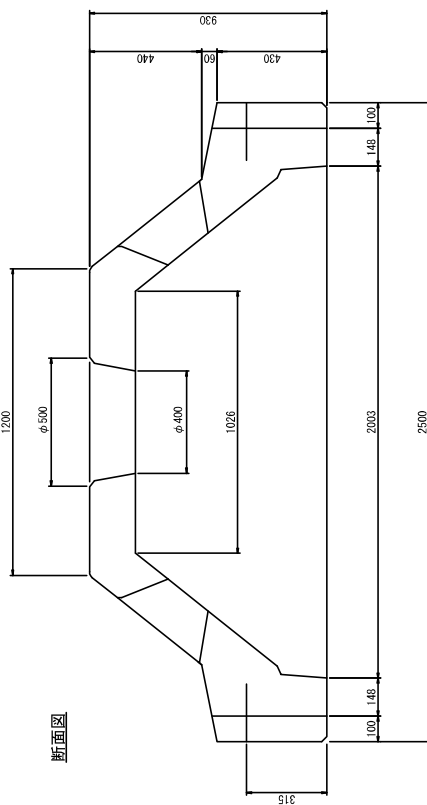
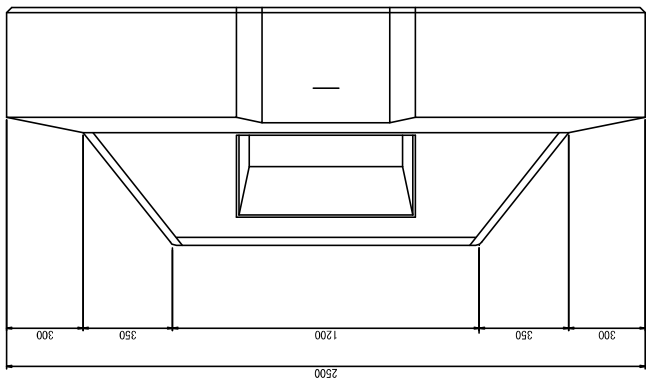
# スクエア製品図

4T型 4120kg

平面図



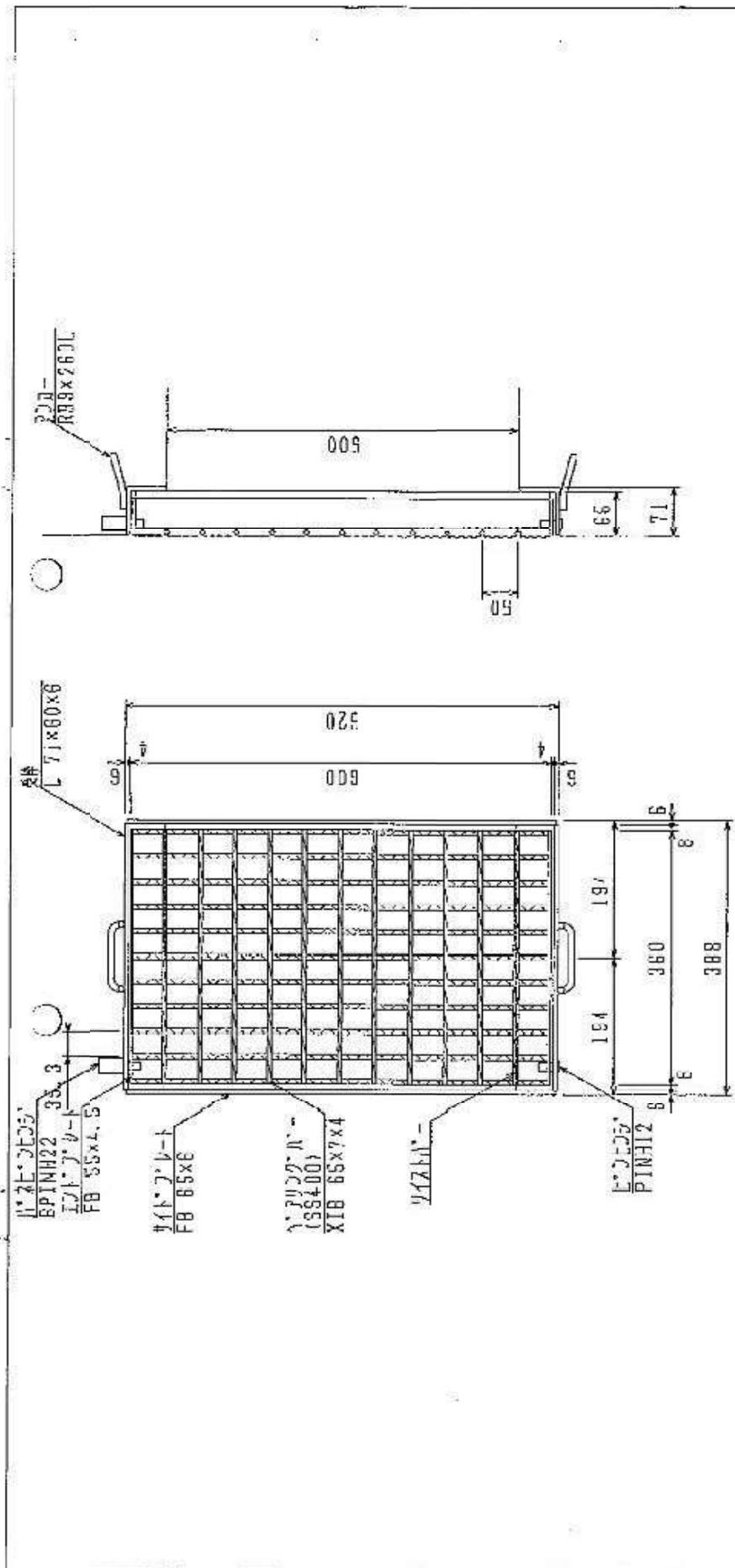
側面図



断面図

製品名	スクエア 4T型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員CADダウンロードサービス		

※予告なく形状変更する場合があります。



記号

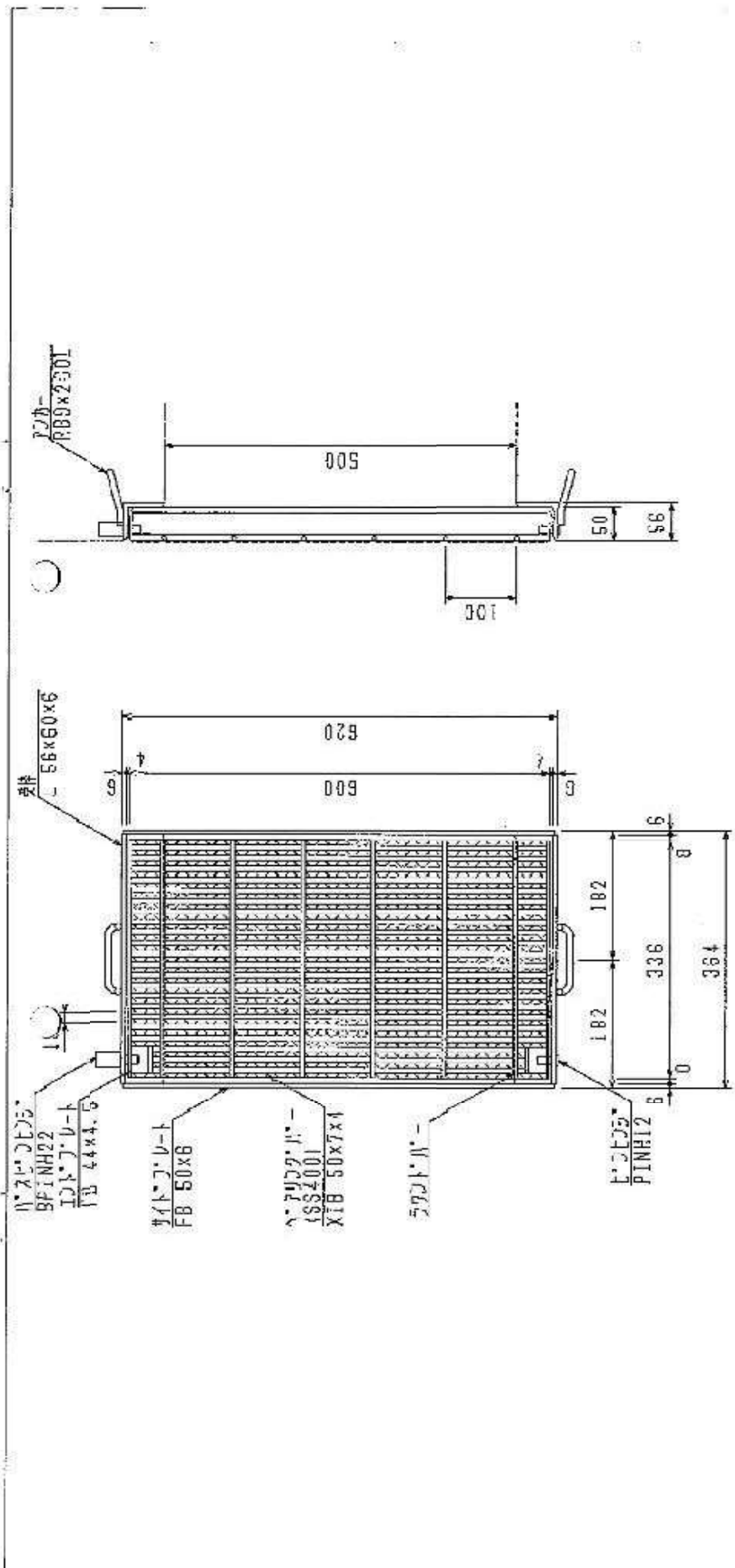
1. 型式 XSXE65 イボイボ50

2. 発注先

グレースシア：亜細ヤマト

受 付：黒バイン

承認者		工事番号	
検査者		図面番号	
作図者		荷重：T-25	
製図日	2013/03/02	材穴：350×500用	
尺度	1/3	110°閉閉式	
営業所図号		株式会社	ダイヤル



1. 型式 HMSO イホイホ 細目

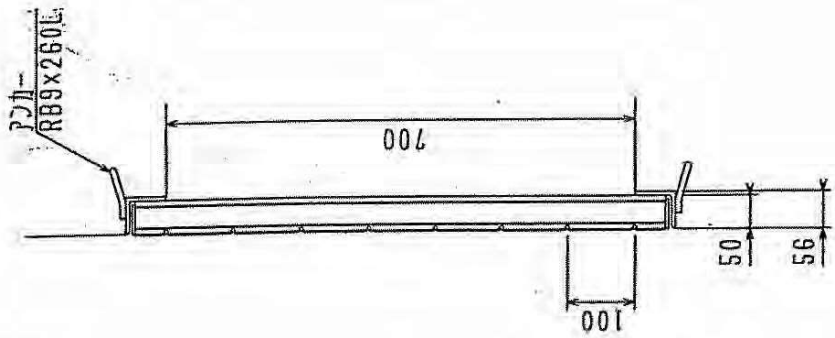
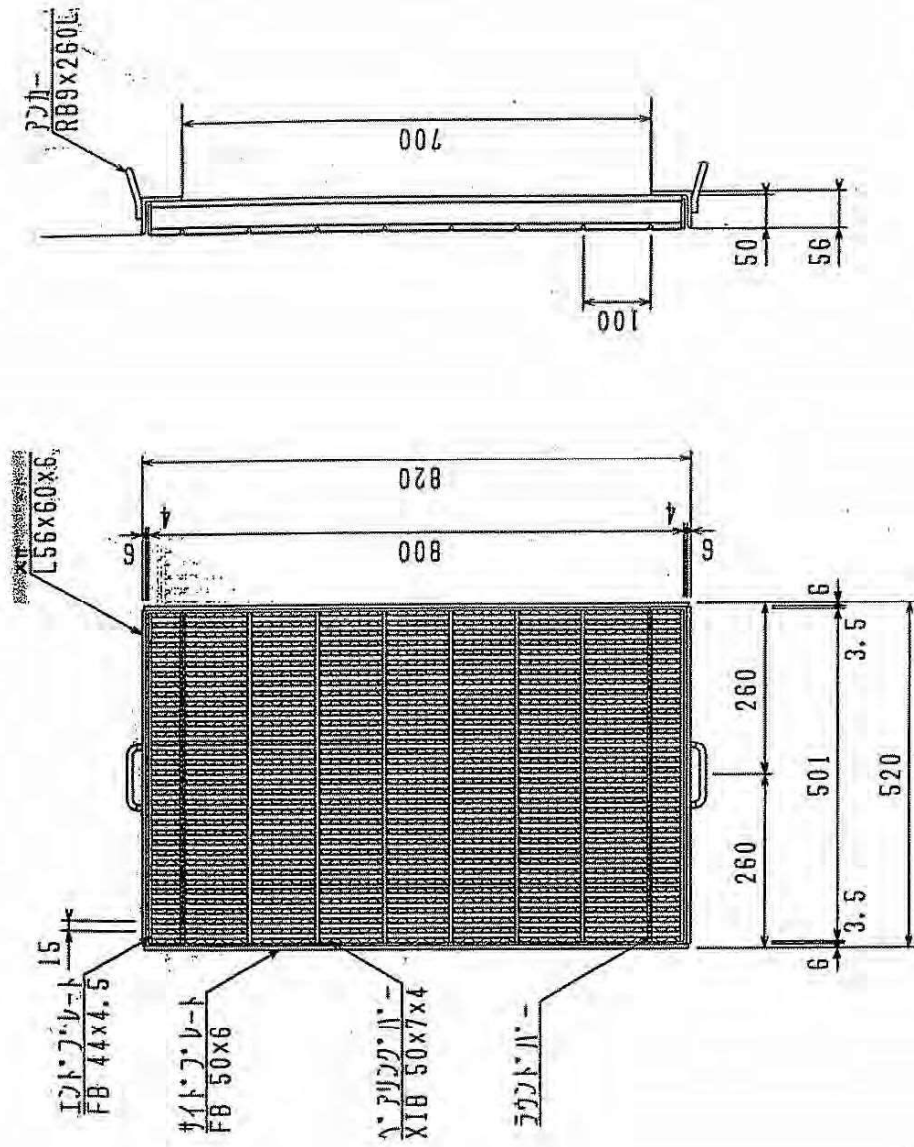
2. 家内処理

グレード：亜鉛メッキ

受 付 : 黒ペイント

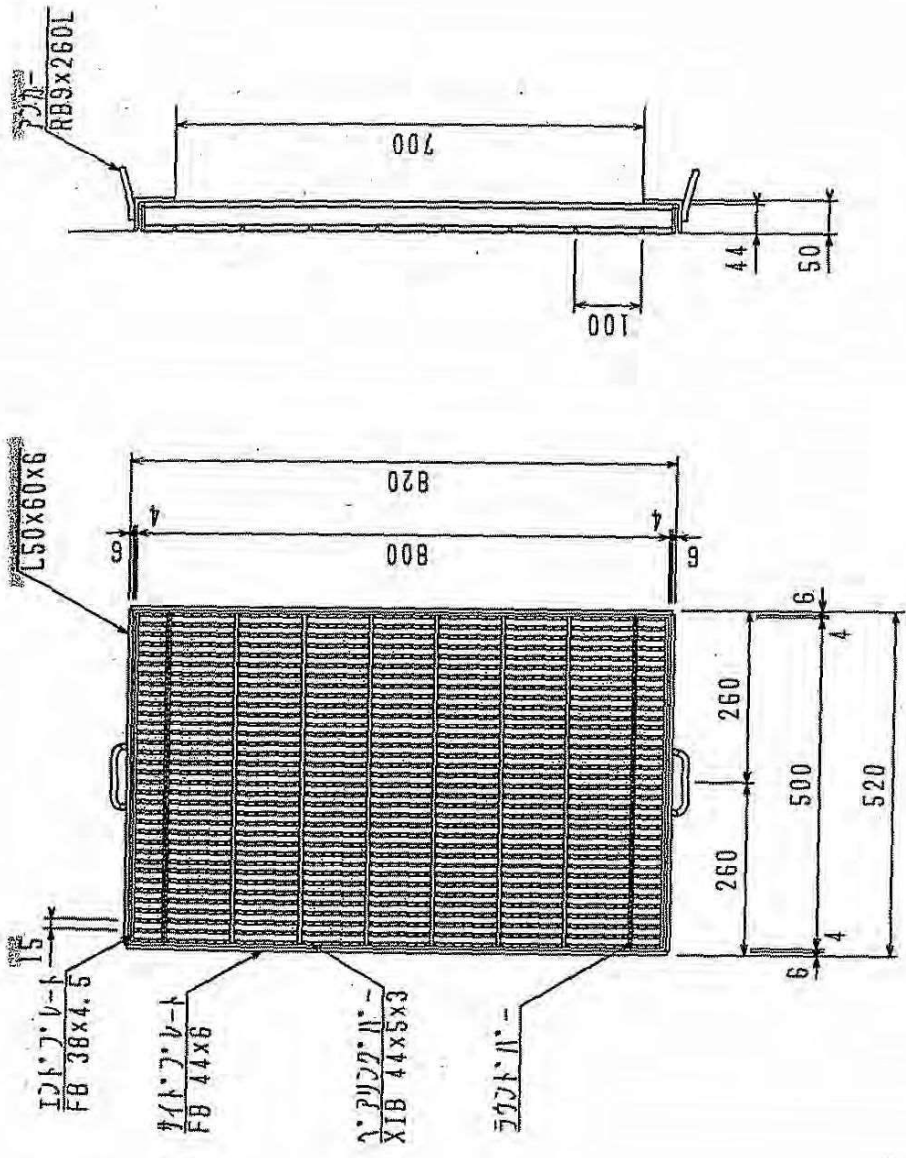
承認者		工番番号	
検図者		区画番号	
作図者		荷重: T-25	
製図日	2013/09/02	桁穴: 50x500用	
尺度	1/8	110° 閉閉式	
管業所四番		株式会社	ダイヤル





記事  
 1. 型式 HD50 イボイボ細目  
 2. 表面処理  
 グレーチング: 亜鉛メッキ  
 受 枠 : 黒ペイント

承認者		工事番号	
検図者		図面番号	
作図者		料欠 500x700用	
製図日	2005/07/22	T-25 落とし込み	
尺度	1/11	受枠 = 2CA2FB	
営業所図番		株式会社 ダイワ	



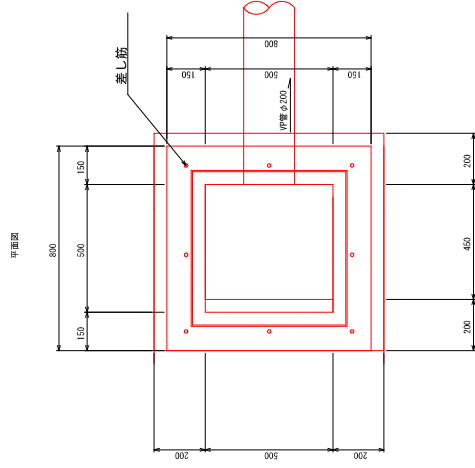
記事  
 1. 型式 HD44 イボイボ細目  
 2. 表面処理  
 グレーチング: 亜鉛メッキ  
 受 枠 : 黒パイント

承認者		工事番号	
検図者		図面番号	
作図者		樹穴500x700用	
製図日	2005/07/22	T-6 落とし込み	
尺度	1/11	受枠=2CA2FB	

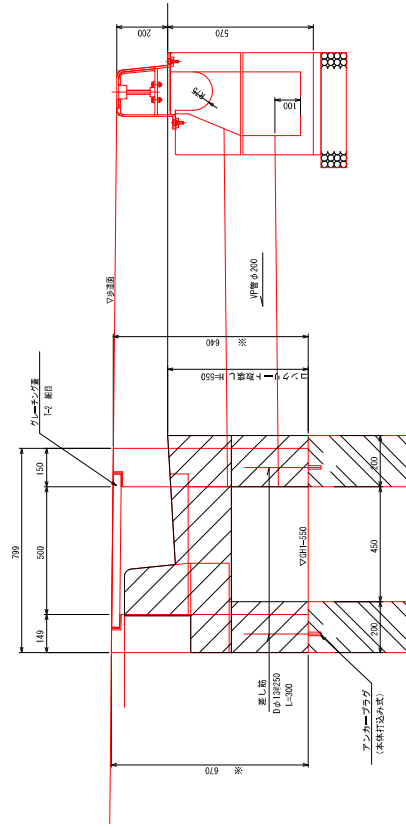
営業所図番  株式会社 ダイワレ

# グレーチング蓋 参考図

高上げ専用グレーチング蓋  
※1/2の寸法



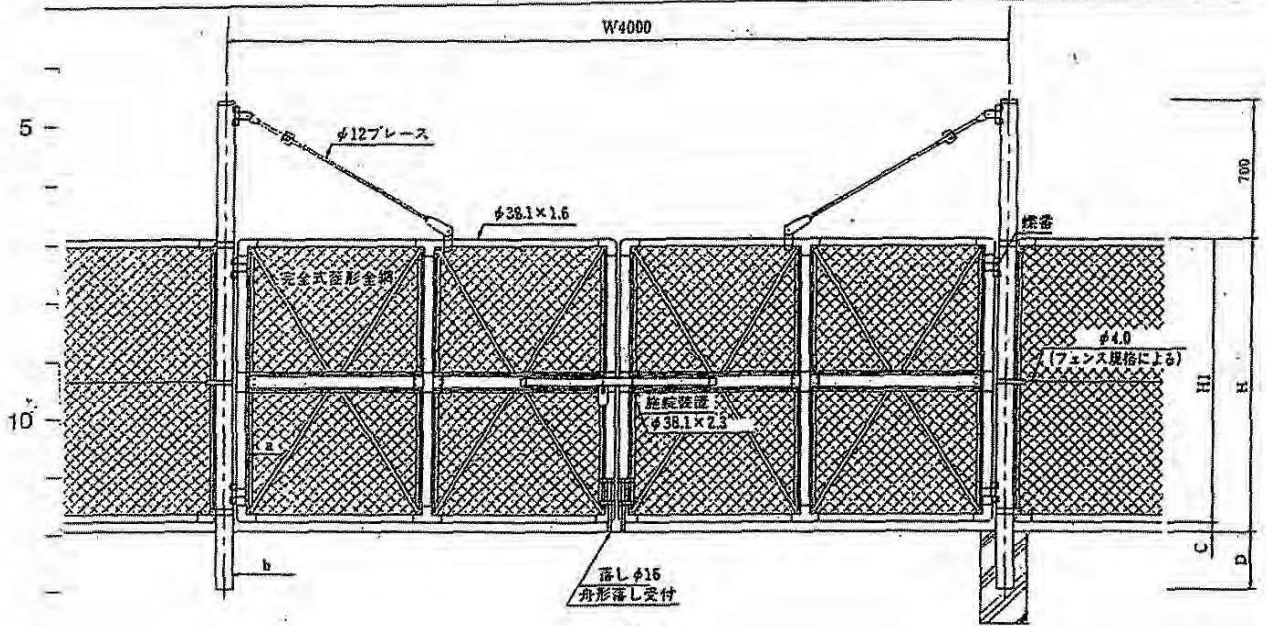
前面図 (参考)



※は参考値 (状況及び寸法より確認)



○ 門扉部 (W=4000mm)



$H = 1800 \text{ mm}$

基礎部 1500 mm X 700 mm

$H_1 = 1750 \text{ mm}$

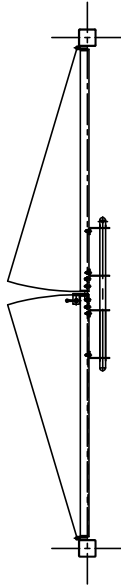
$a = \phi 50.8 \times 1.6$

$b = \phi 89.1 \times 3.2$

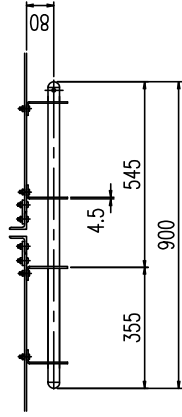
$C = 50 \text{ mm}$

$D = 500 \text{ mm}$

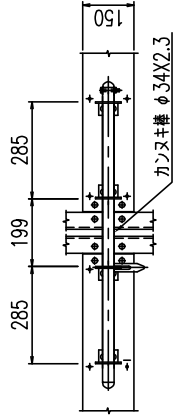
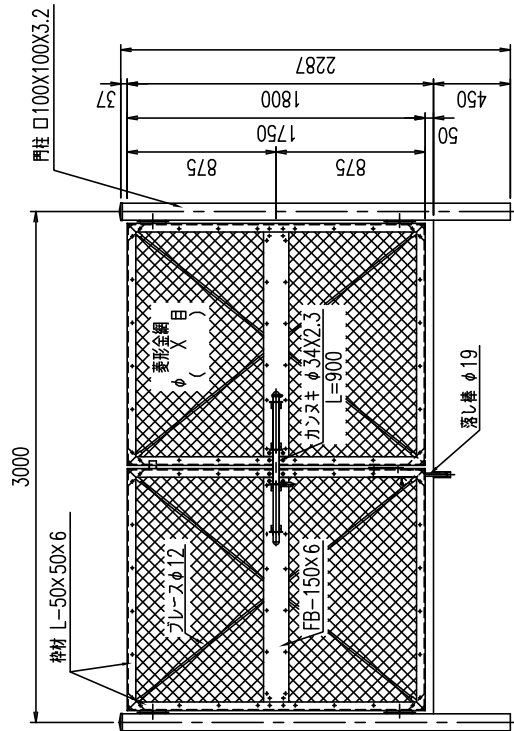
平面図 S=1/20



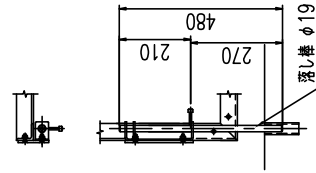
カンヌキ取付図 S=1/10



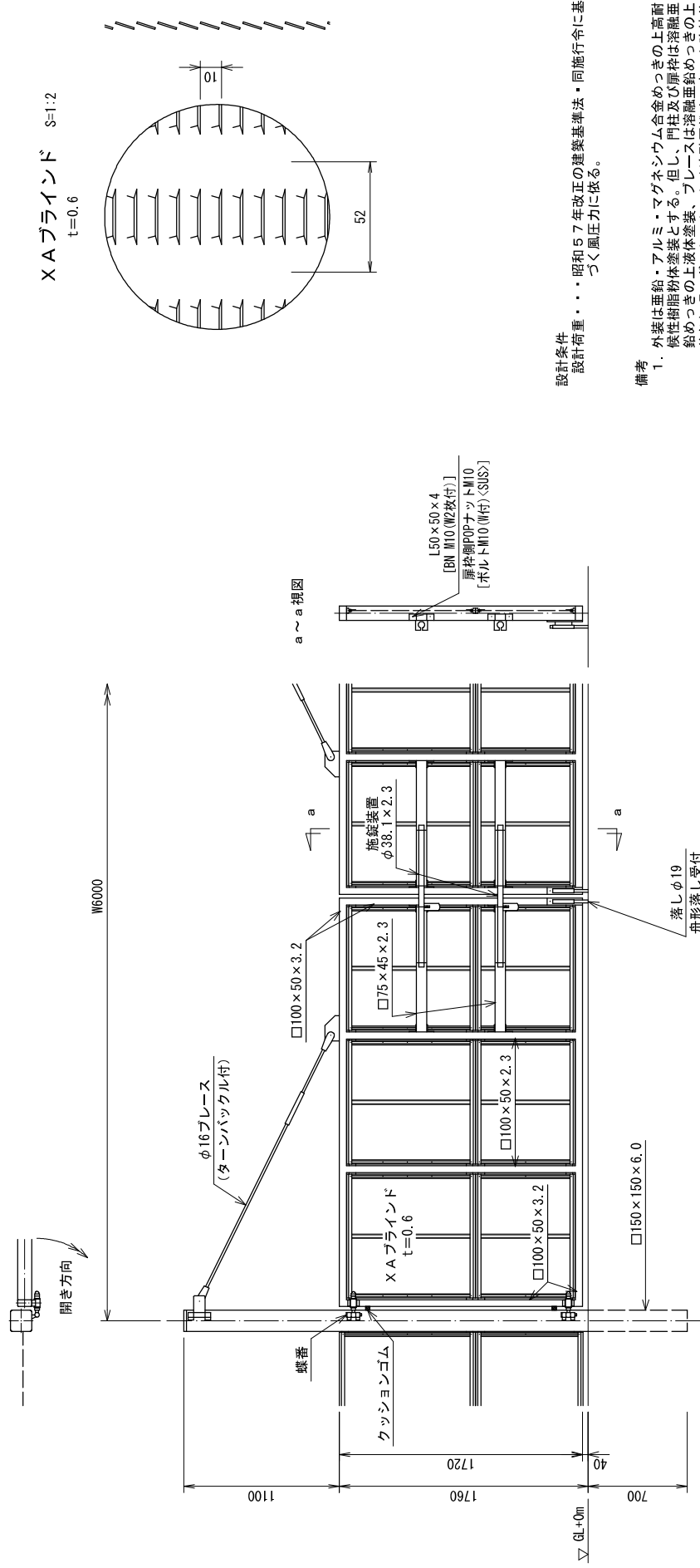
正面図 S=1/20



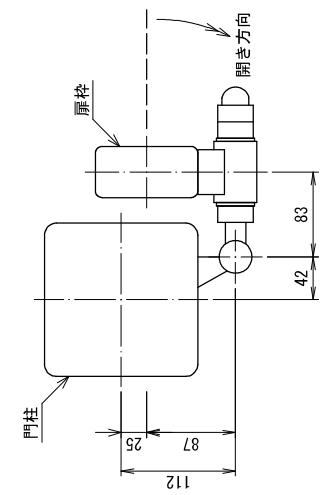
落し棒取付図 S=1/10



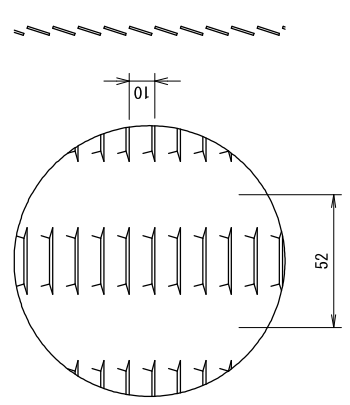
目かくしフェンス両開き門扉 H1800 x W6000 S=1:30  
 (昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



門柱・扉枠位置関係図



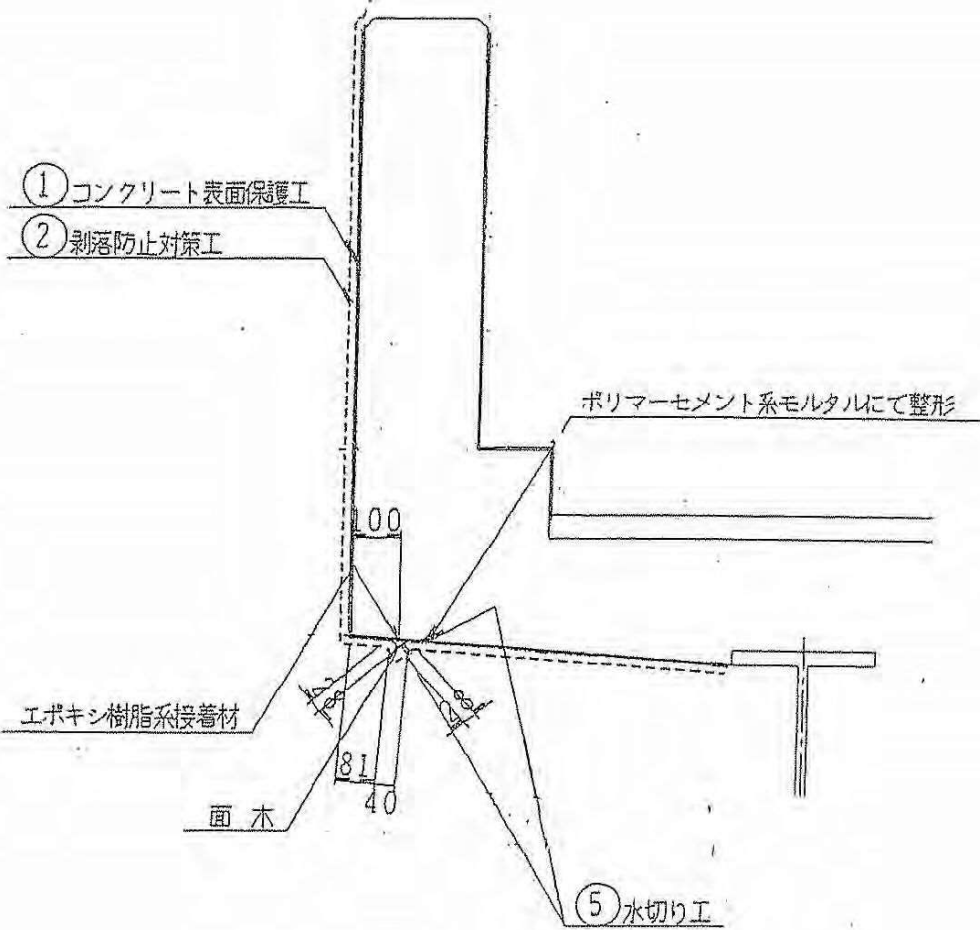
XAブラインド S=1:2  
 t=0.6



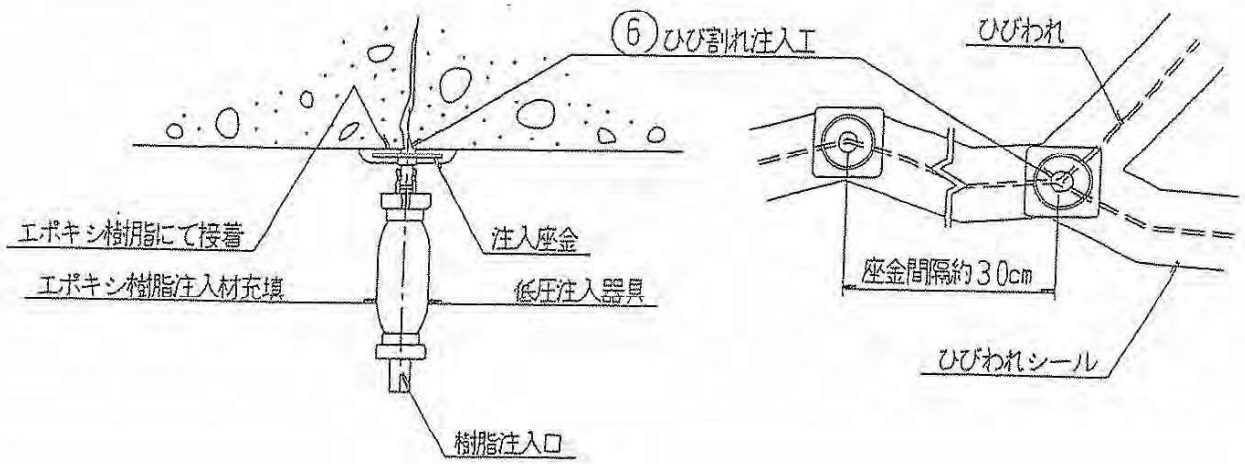
設計条件  
 設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づき風圧力に依る。

- 備考
1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装とする。但し、門柱及び扉枠は溶融亜鉛めっきの上液体塗装、ブレースは溶融亜鉛めっきの上着色処理とし、一部のホルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、一部のホルト・ナット、施錠装置、落し及びホルト式蝶番は溶融亜鉛めっきのみとする。
  2. 本図門扉は施錠側180°開き、施錠側落しとする。
  3. 扉枠にはめっきの為、湯抜きを適所（見苦しくない位置）に設けるものとする。

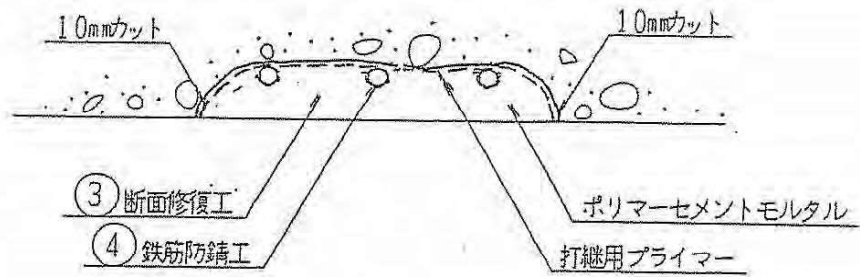
# コンクリート剥落防止対策工の種別（工法概要図）



## ひびわれ注入詳細図

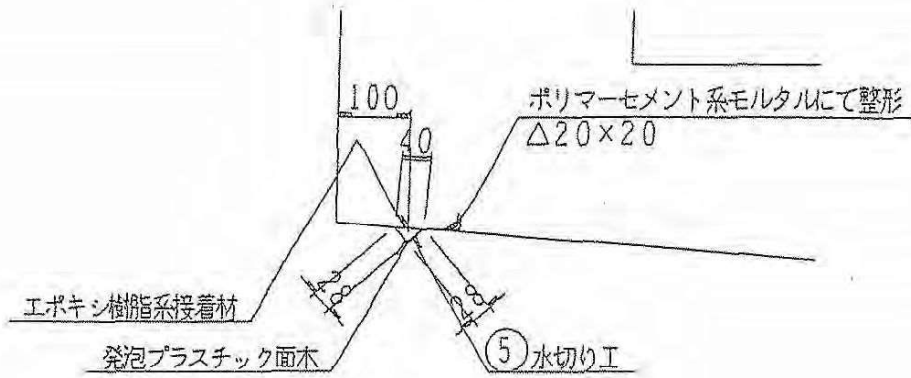


## 断面復旧工詳細図



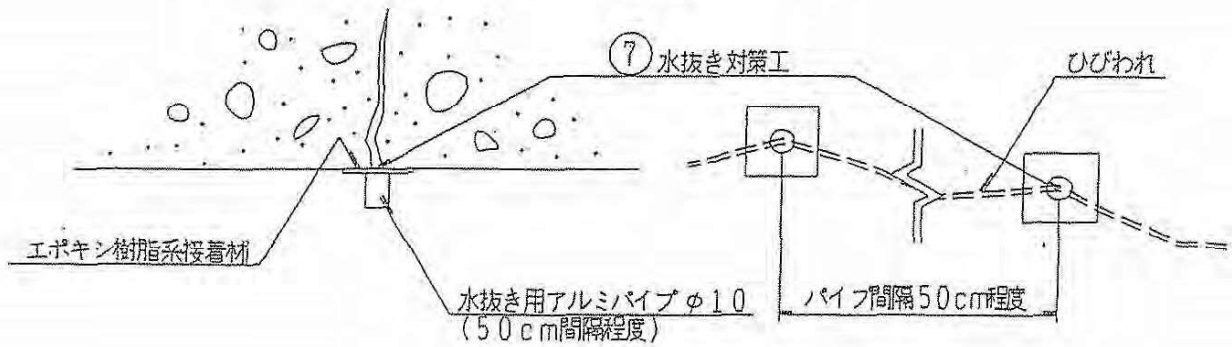
- 注) 1 既設鉄筋は下地処理後、防錆材を塗布すること。  
 2 既設と補修境界部に10mm深さのカッターを入れること。

## 水切り工詳細図

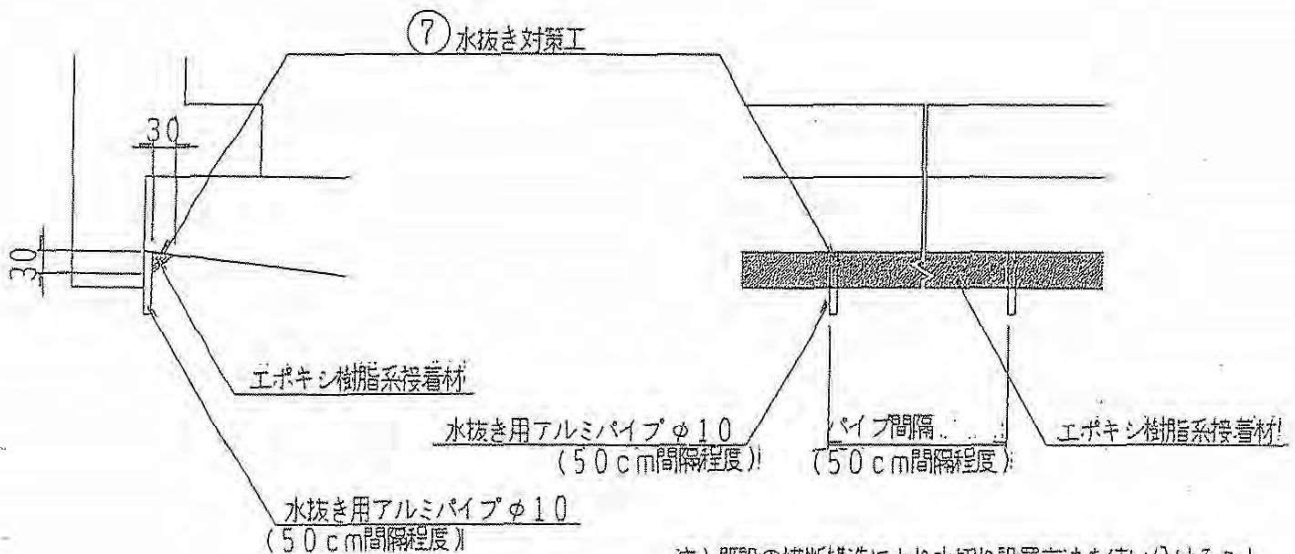


## 水抜きパイプ設置詳細図

(漏水を伴うひび割れや打ち継ぎ目部)



(既設の水切り部に沿って水抜きパイプを設置する場合)



注) 既設の横断構造により水切り設置方法を使い分けること



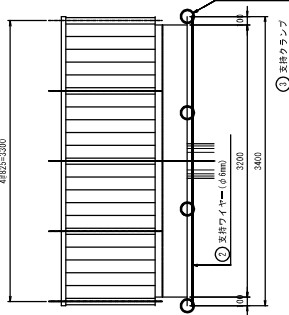
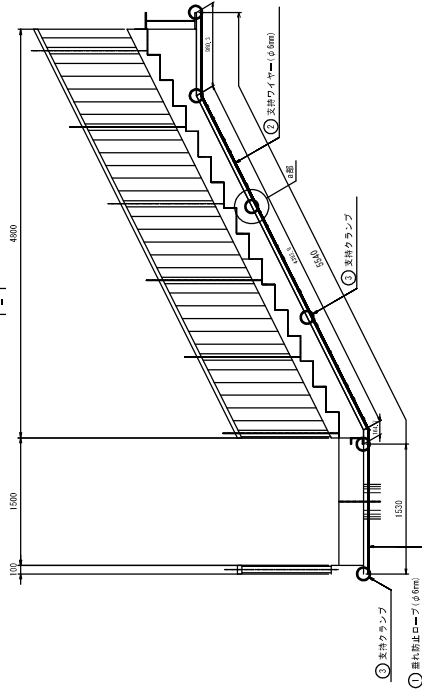
# 剥落防止ネット工計画図

(海側)

断面図 S=1:30

3-3

1-1

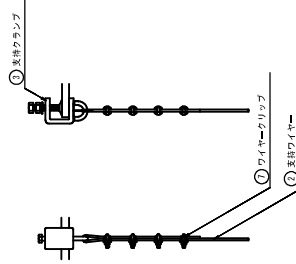
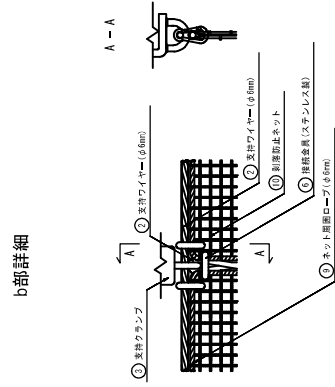


a部詳細

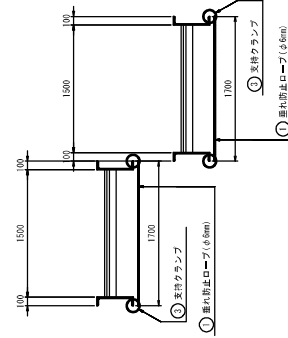
番号	材料名称	方法	材質	単位	数量	備考
①	垂れ止めロープ	φ4.5(三つ打も)	ナイロン 6mm	n	13.6	阪生中歩道橋
②	支持ワイヤー	JIS S 3525 (鋼メッキ)	φ5.5(四角×2)	n	21.3	阪生中歩道橋
③	支持クランプ			個	28	阪生中歩道橋
④	網式打込みアンカー	W10×10		本	—	—
⑤	支持アイボルト	鋼筋(名径10mm)		個	—	—
⑥	接続金具	φ8 (P径50mm)	AK 100	個	6	阪生中歩道橋
⑦	ワイヤークリップ	φ8 (P径50mm)	JIS F 2009 ネット	個	24	阪生中歩道橋
⑧	網め込みロープ	φ4.5(三つ打も)		本	—	—
⑨	周部ロープ	φ4.5(三つ打も)	ナイロン 6mm	n	31.3	阪生中歩道橋
⑩	剥落防止ネット	10mm目合い(黒)	ナイロン(防炎加工) 1500E:2本 10mm目	m <sup>2</sup>	22.7	阪生中歩道橋
⑪	平歩留補助材	138×30	発泡スチロール	n	—	—
⑫	発泡スチロール		エポキシ樹脂接着剤	n	—	—

b部詳細

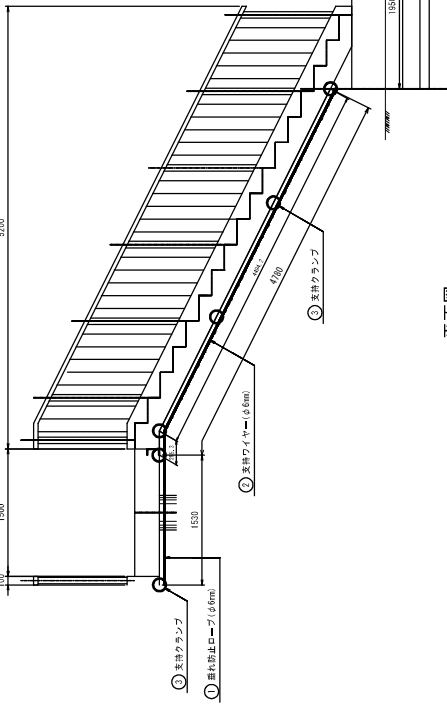
支持ワイヤー終末処理詳細



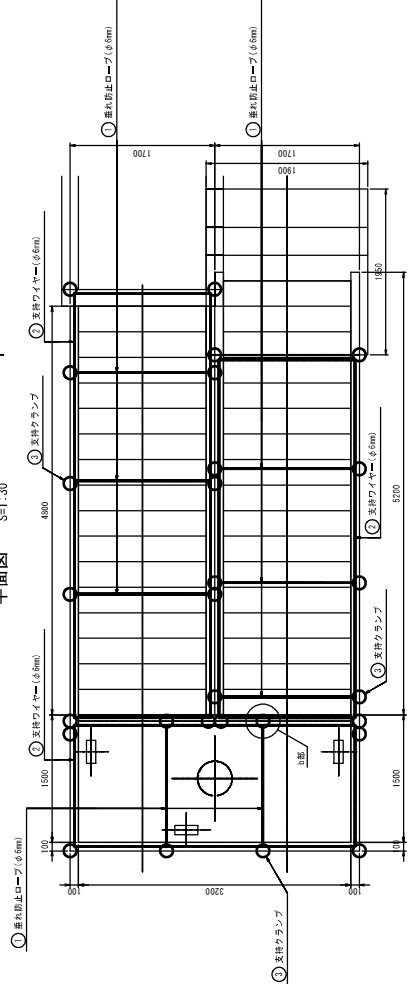
4-4



2-2



平面図 S=1:30

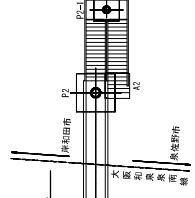


阪生中歩道橋

剥落防止ネット工数量表

部位	単位	数量
上段	m <sup>2</sup>	9.4
下段	m <sup>2</sup>	8.1
備補部	m <sup>2</sup>	5.2
合計	m <sup>2</sup>	22.7

位置図 S=1:200



注:この図面は、標準仕様および種別一級品を前提として作成されたものである。  
構造方法を参照してください。

図名	図番	数量	単位	備考
剥落防止ネット				
支持ワイヤー				
支持クランプ				
ワイヤークリップ				
網式打込みアンカー				
支持アイボルト				
接続金具				
ワイヤークリップ				
網め込みロープ				
周部ロープ				
剥落防止ネット				
平歩留補助材				
発泡スチロール				

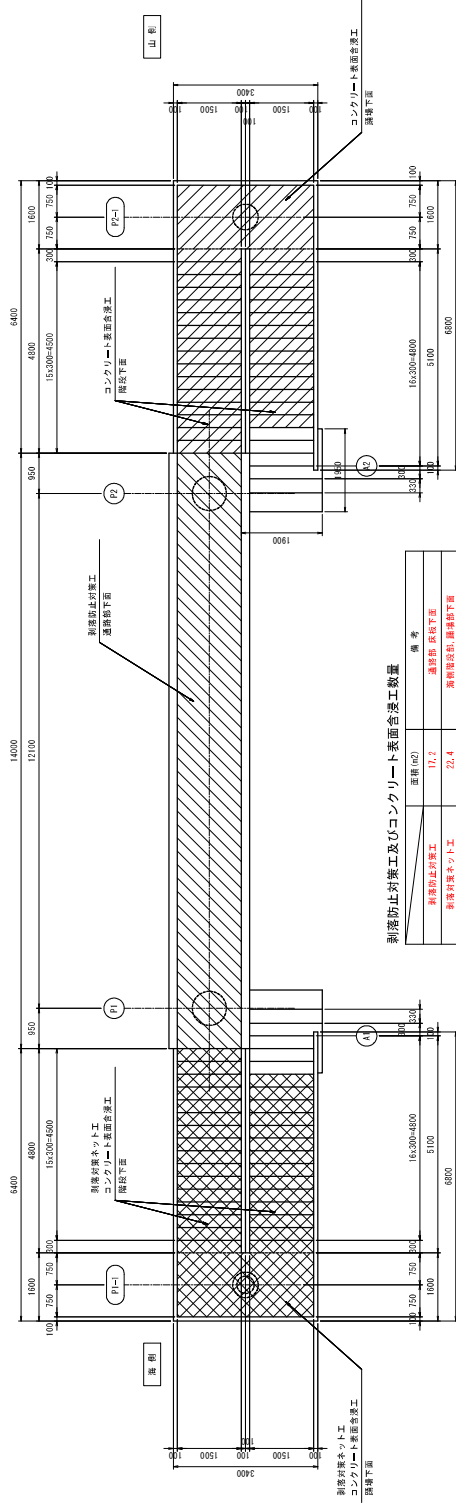


# 補修詳細図(その1)

S=1:60

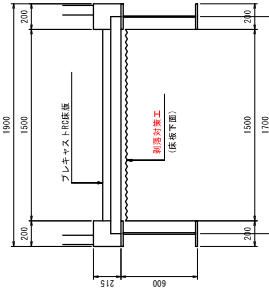
## 剥落防止対策工及びコンクリート表面合浸工

### 平面図

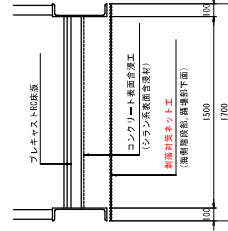


### 断面図 S=1:20

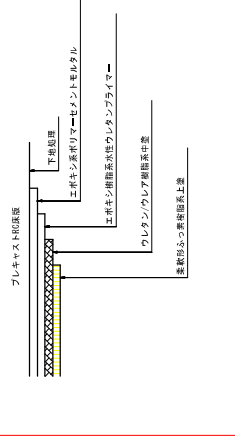
#### 通路部



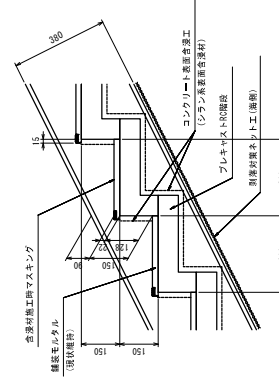
#### 階段部、踊り場部



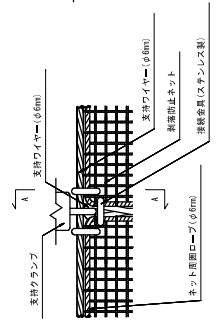
### 剥落防止工詳細図



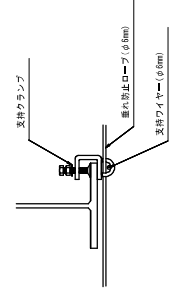
### コンクリート表面合浸工詳細図



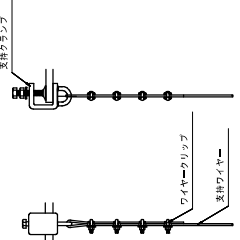
### 剥落防止ネット詳細図



### 支持クランプ取付要領



### 支持ワイヤー終末処理詳細



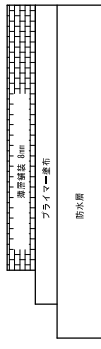
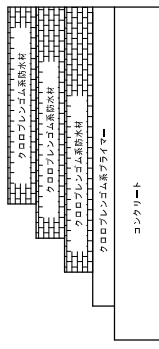
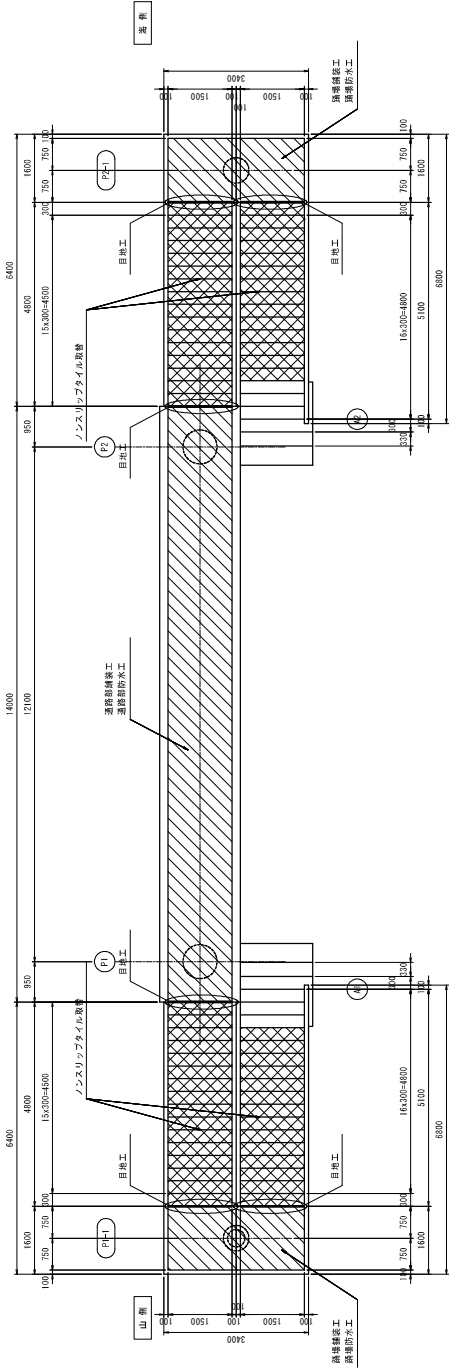
図番	図名	図尺	番	号
1	剥落防止対策工	1/60		
2	コンクリート表面合浸工	1/60		
3	剥落防止ネット	1/60		
4	支持クランプ	1/60		
5	支持ワイヤー終末処理	1/60		

# 補修詳細図(その2)

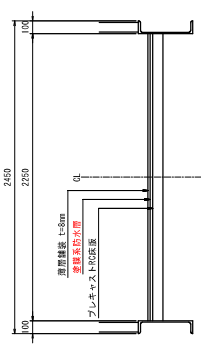
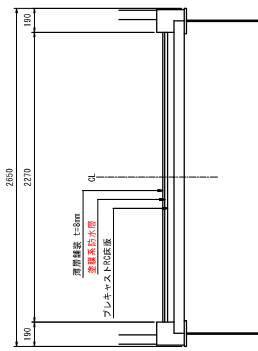
## 橋面防水工及びノンスリップアップ取替工

S=1:60

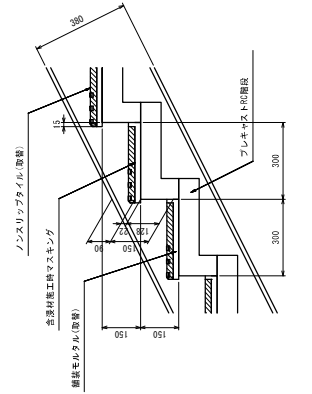
### 平面図



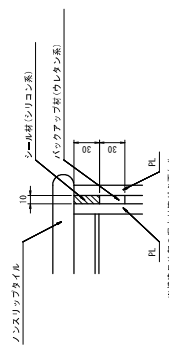
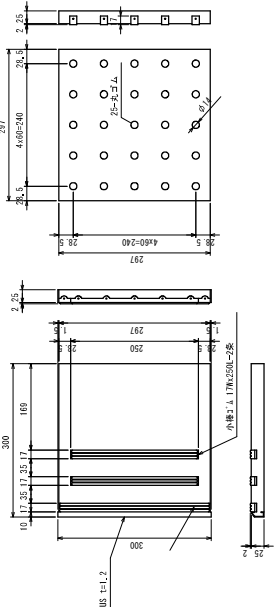
#### 通路部



#### 通路部



#### 階段張り場部



#### 注記

1. 補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
2. 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び数量を確認の上で行うこと。

図名	図番	数量	単位	備考
非溶材施工マスレンガ	00.5	20.5	張	
遮断部防水塗料	00.6	20.6	塗	
厚層塗膜工	02	9.5	㎡	
遮断部防水工	02	9.5	㎡	
ノンスリップアップ取替	02	27.0	㎡	
目地工延長	n	9.0	延	
シール材延長	リットル	2.7	リットル	シリコン系 t=10mm(階段取付部)
バックアップ板延長	リットル	2.7	リットル	ウレタン系 t=10mm(階段取付部)

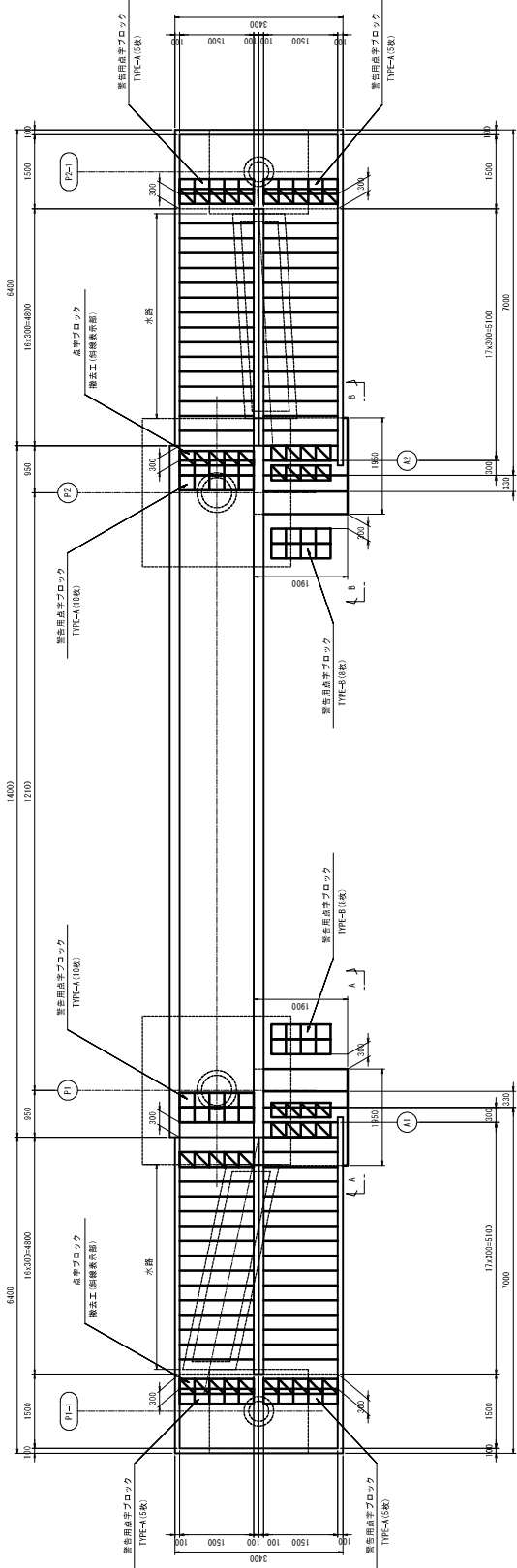
図名	図番	数量	単位	備考
非溶材施工マスレンガ	00.5	20.5	張	
遮断部防水塗料	00.6	20.6	塗	
厚層塗膜工	02	9.5	㎡	
遮断部防水工	02	9.5	㎡	
ノンスリップアップ取替	02	27.0	㎡	
目地工延長	n	9.0	延	
シール材延長	リットル	2.7	リットル	シリコン系 t=10mm(階段取付部)
バックアップ板延長	リットル	2.7	リットル	ウレタン系 t=10mm(階段取付部)

作成者	作成日	承認者	承認日
設計者	設計日	監査者	監査日
図主	図番	図号	図名
図主	図番	図号	図名
図主	図番	図号	図名
図主	図番	図号	図名
図主	図番	図号	図名
図主	図番	図号	図名
図主	図番	図号	図名
図主	図番	図号	図名
図主	図番	図号	図名
図主	図番	図号	図名

# 補修詳細図(その4) 点字ブロック設置

S=1:50

平面配置図

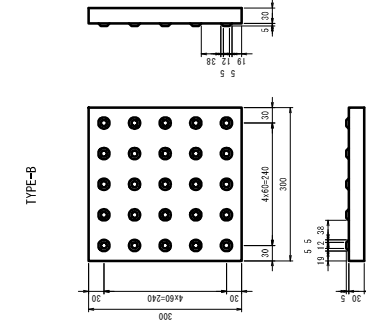
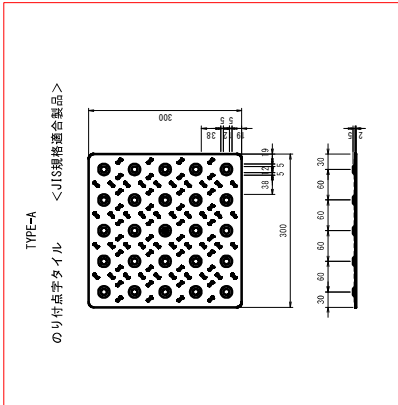


視覚障害者警告用点字ブロック

S=1:5

B - B S=1:30

A - A S=1:30



- 注記
- 1.補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
  - 2.施工に際しては、必ず現地にて修繕箇所及び数量を確認の上で行うこと。

点字ブロック数量

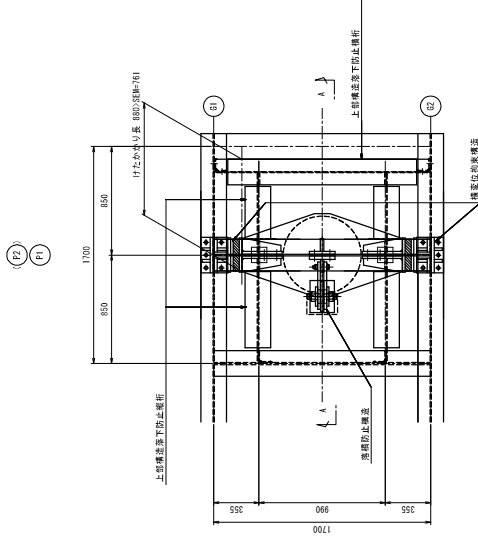
数量(枚)	備 考
46	周辺部(歩道幅調整部)の特殊形状
TYPE-A	彩色:赤色エム(10mm)、黒色(15mm)
TYPE-B	材質:コンクリート(≧30mm)

図 号	修 訂 号	修 訂 年 月
図 名	修 訂 内 容	修 訂 年 月
製 図 者	製 図 部 門	製 図 年 月
検 査 者	検 査 部 門	検 査 年 月
施 工 監 理 者	施 工 監 理 部 門	施 工 監 理 年 月
発 注 者	発 注 部 門	発 注 年 月
大 阪 市 学 校 地 区 土 木 事 務 所		平 成 年 月

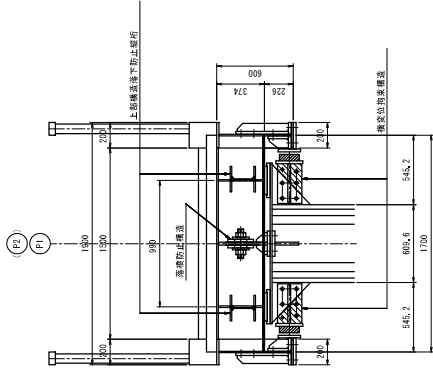
# 麻生中歩道橋 落橋防止システム構造図

S=1:20

平面図



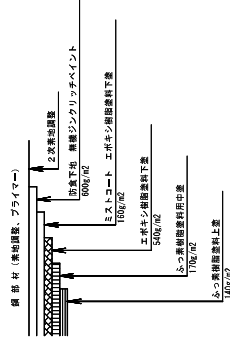
支点上断面図



塗装仕様

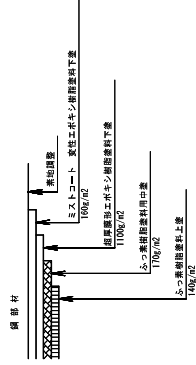
## 一般部外面塗装仕様

(C-5 塗料系)



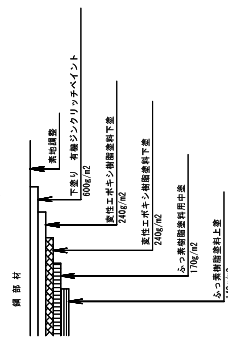
## 高ガボルト連結部塗装仕様

(F-11 塗料系)

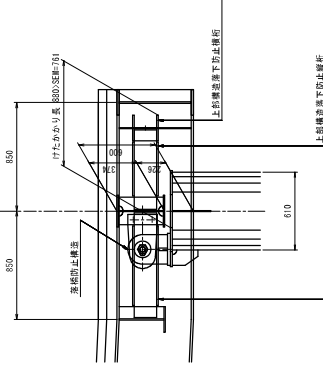


## 溶接部塗装仕様

(F-13 塗料系)



A-A



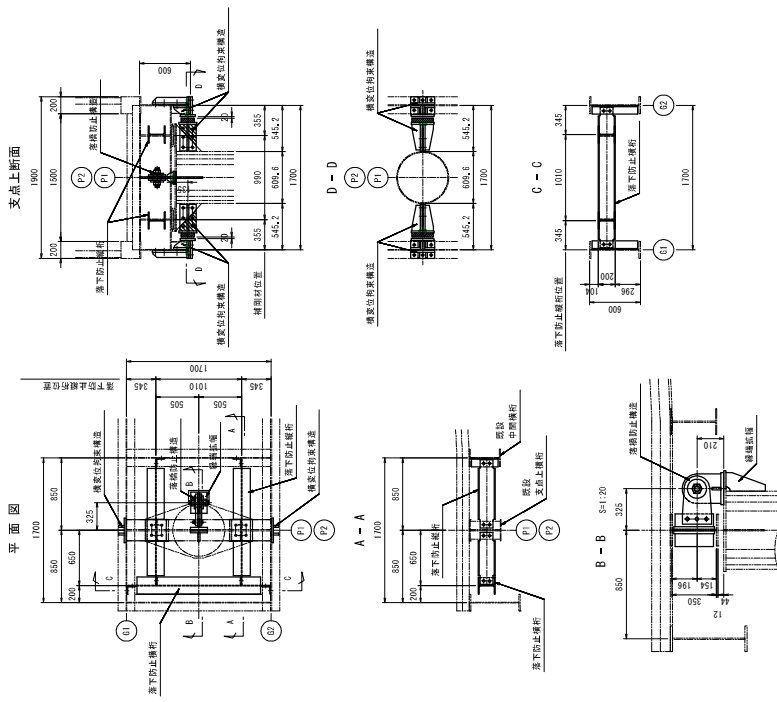
図名	図号	縮尺	作成者	承認者	作成日
麻生中歩道橋					
計画書					
仕様書					
図面					
竣工					
改訂					
図名					
縮尺					
作成者					
承認者					
作成日					

注記  
 1. 落橋防止システムを図面するうえで、排水管が受難がある場合は排水、覆田を行うこと。

落橋防止システム詳細図(その1)

S=1:30

取付位置図

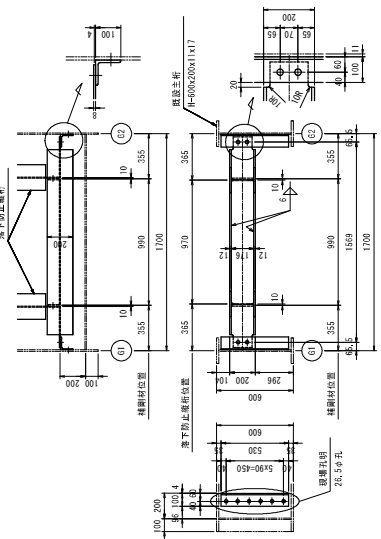


耐震補強工数量表

品名	数量	備考
鋼管	3,324	
角形鋼管	22,464	6mm厚
鋼板	124	

落下防止横桁 (製作数: 2)

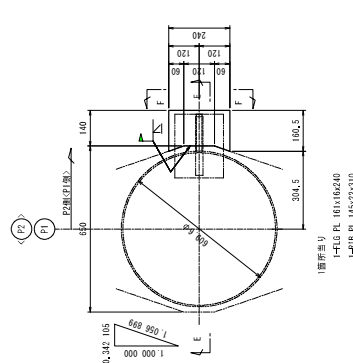
S=1:20



1部所準用  
 2-F16 PL 20x22x148  
 1-MB PL 1768x1649  
 2-P 80x12x176  
 2-1 100x100x10x50 (SS400)  
 4-108 W22x55(S101)  
 取付孔間(φ孔) 12ヶ所

縁端拵 (製作数: 2)

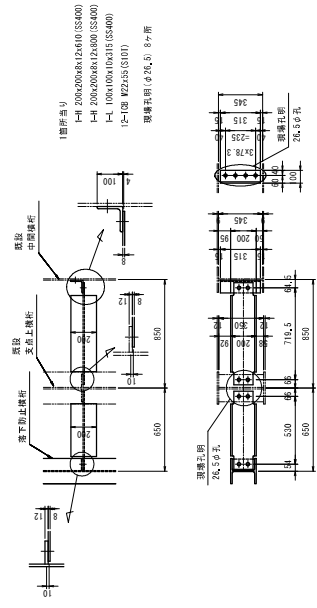
S=1:10



1部所準用  
 1-F16 PL 65x162x40  
 1-F16 PL 445x2310

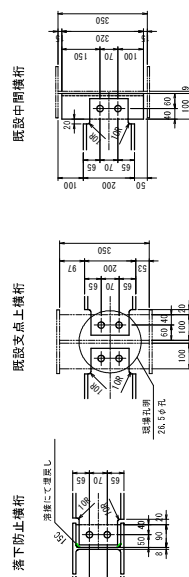
落下防止縦桁 (製作数: 4)

S=1:20

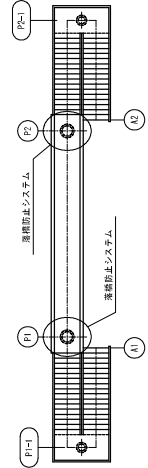


縦桁取付部詳細図

S=1:10



配置図



- 注記
1. 現場製作時は、必ず設計図面の上で施工すること。
  2. 施工に際しては、必ず現場にて構造面図及び数量を照合の上で行うこと。
  3. 特記なき材質は、全てS400とする。
  4. 特記なきネジ・ワッシャーは、SBRとする。
  5. ♀は、108 W22x55(S101)を示す。

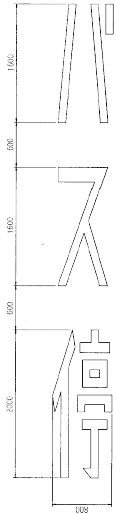
図番	図名	製図者	年月
1	落橋防止システム		
2	落下防止横桁		
3	縁端拵		
4	縦桁取付部		
5	配置図		



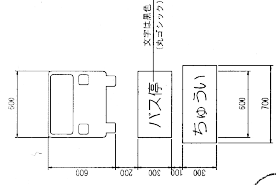
自転車文字 S=1:30  
文字：白



バス停文字 S=1:30  
文字：白

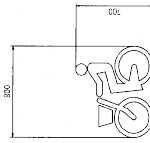


バス停注記記号 S=1:20  
文字：白  
下部：青



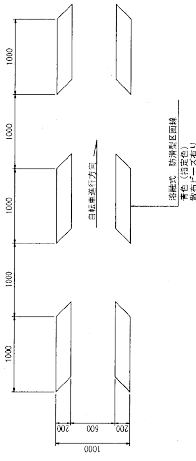
1

自転車記号 S=1:20  
記号：白



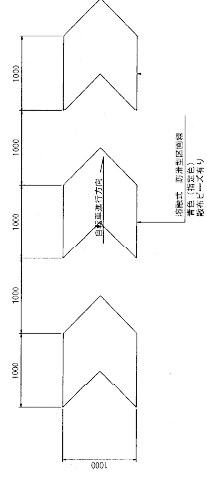
3

青本羽マーク B S=1:30  
図様：青

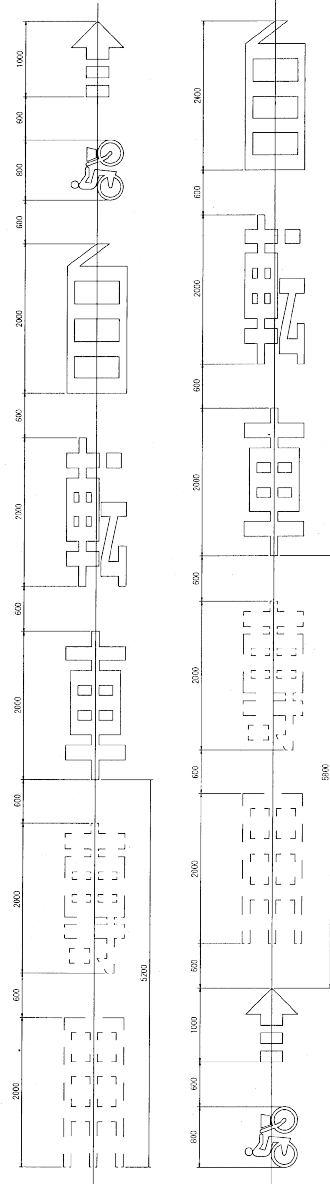


2

青矢羽マーク A S=1:30  
図様：青



文字記号配置図 S=1:30

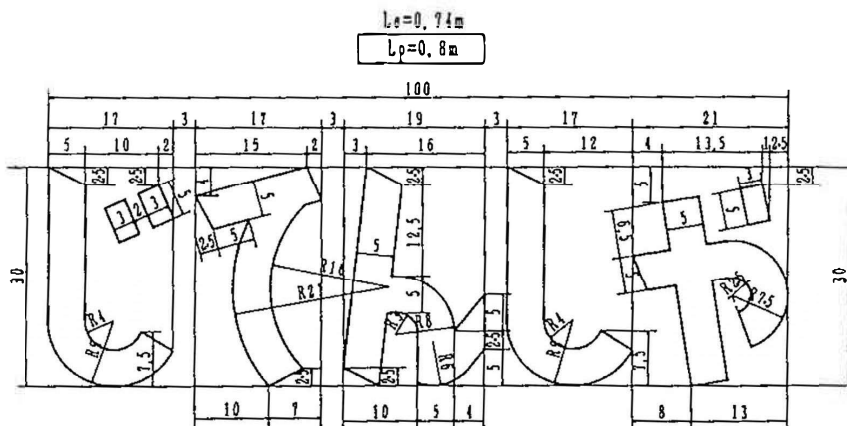
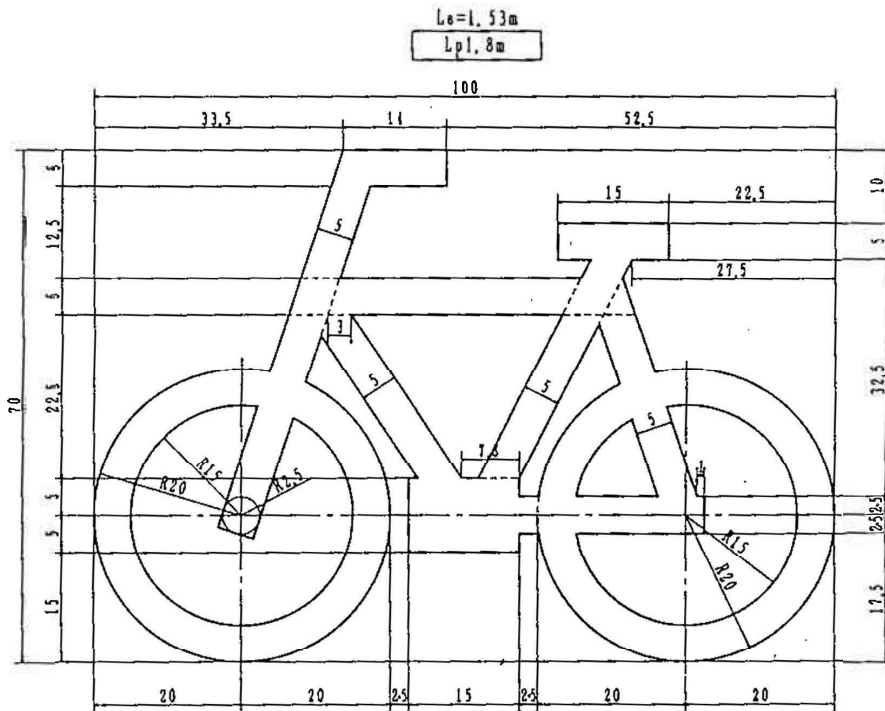
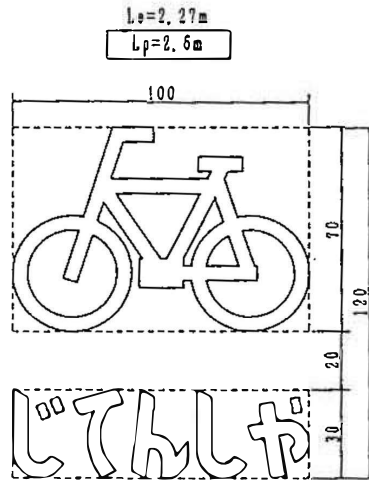


工事名	場所	国名名称	構造	図号
昭和	平成	25	年	12
月				

3.2-L

### 自転車図示標示と文字標示の組合せ

(東京警視庁指定)

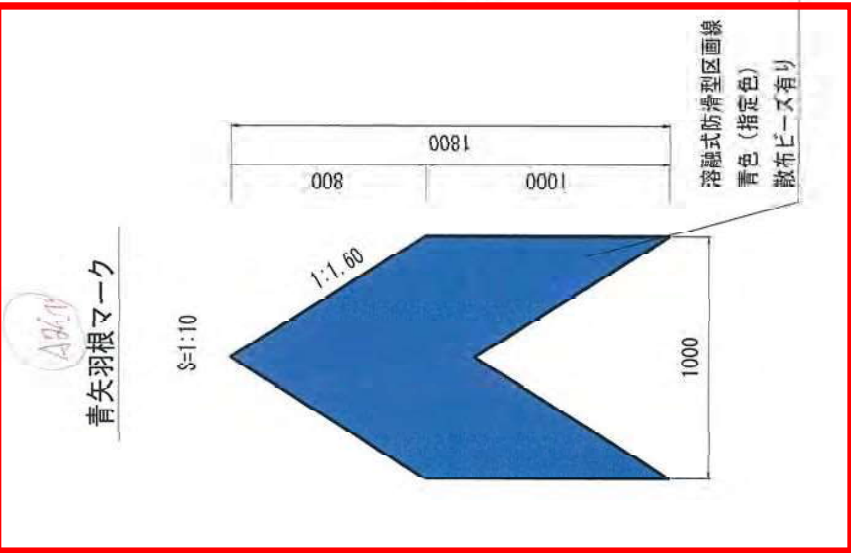




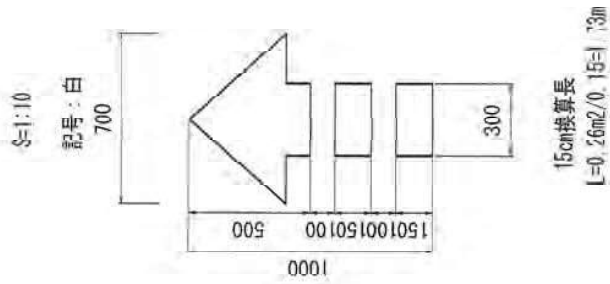
矢羽根等寸法図

Aタイプ

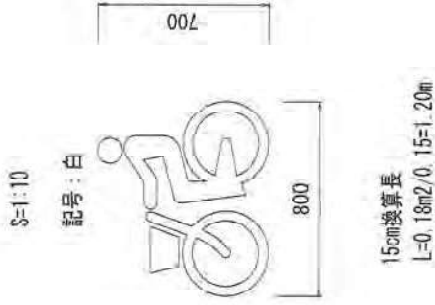
青矢羽根マーク



矢印



自転車マーク



逆走防止看板



備考：矢羽根、自転車マーク、印字などは、次の資料による。

○3号仕様

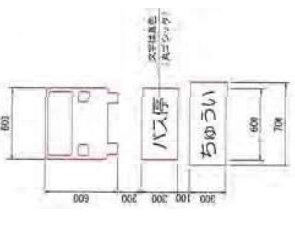
- ・標高線：1.0m間隔（区間で体積が異なる区間は利用可能範囲は分タイプ（200）0.5m）
  - ・交差点線：2.0m間隔（自転車通行手続を完了した交差点設計の時は、0.0）
  - ・形状：溶融式工法に適合
- 併設マーク、矢印
- ・標高線：2.0m間隔（区間で体積が異なる区間は利用可能範囲は分タイプ（200）1.0-5.0m間）
  - ・交差点線：交差点形状に「標高線」を完全で設置可能な範囲内は併設可能（分タイプ（200）7.0-5.0）
  - ・形状：溶融式工法に適合

年度	平成25年度	計画年度	25年度
工事名	自転車レーン設置工事		
工事箇所	大阪府南土木事務所管内		
図面名	矢羽根寸法図		
冊子	1/200	作成年月日	平成25年7月

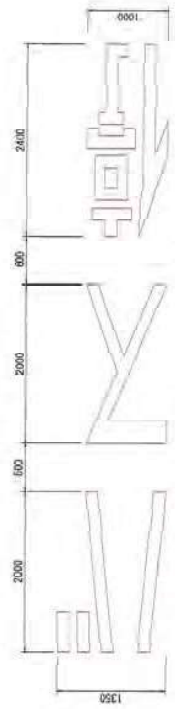
大阪府 南土木事務所

宮山台地区(宮山台茶山台線)  
構造図(1)

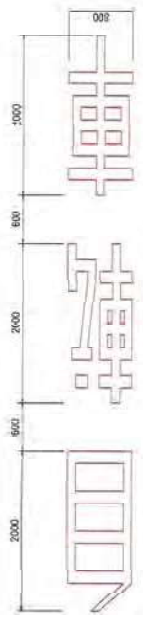
バス停注意記号(標準) S=1.20  
記号:白  
文字:黒



バス停文字(標準) S=1.30  
文字:白

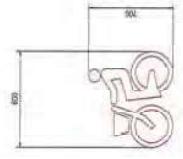


自転車文字(標準) S=1.30  
文字:白

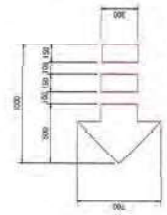


Lp=14.6m (3文字)

自転車記号(標準) S=1.20  
記号:白

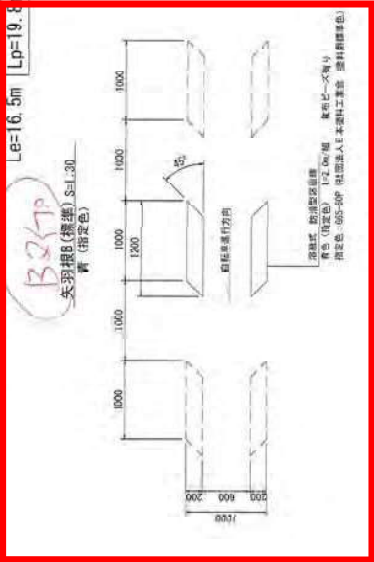


矢印 S=1.30  
文字:白

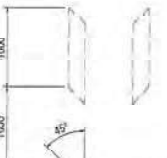


Le=1.7m Lp=2.1m

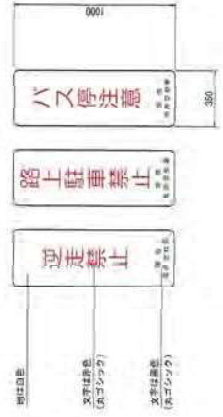
Le=16.5m Lp=19.8m (3文字)



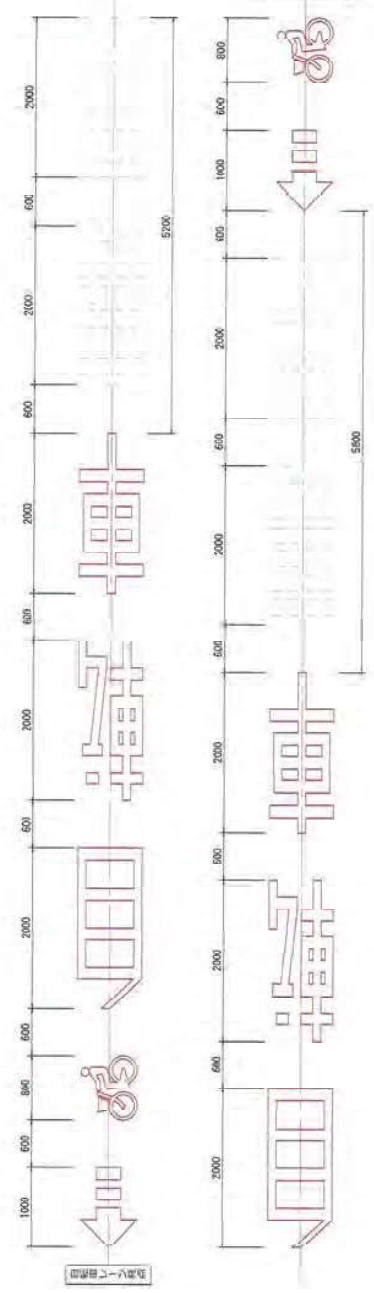
矢印標B(標準) S=1.30  
記号(指定色)



注意板(標準) S=1.15  
W500mm×H1000mm×厚み0.5mm  
アルミニウム製、熱入プレス、ステンレスバンドは点線のみ  
Aタイプ Bタイプ Cタイプ



文字記号記号(標準) S=1.30



路面彩色(標準) (参考) ※自転車レーン幅員1.5mの場合  
樹脂系すべり止め舗装 RPN-501  
指定色: R55-GP (社団法人日本塗料工業会 塗料標準色)



※用紙サイズがA3の場合、縮尺は表示の1/2

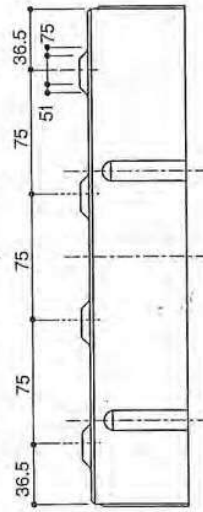
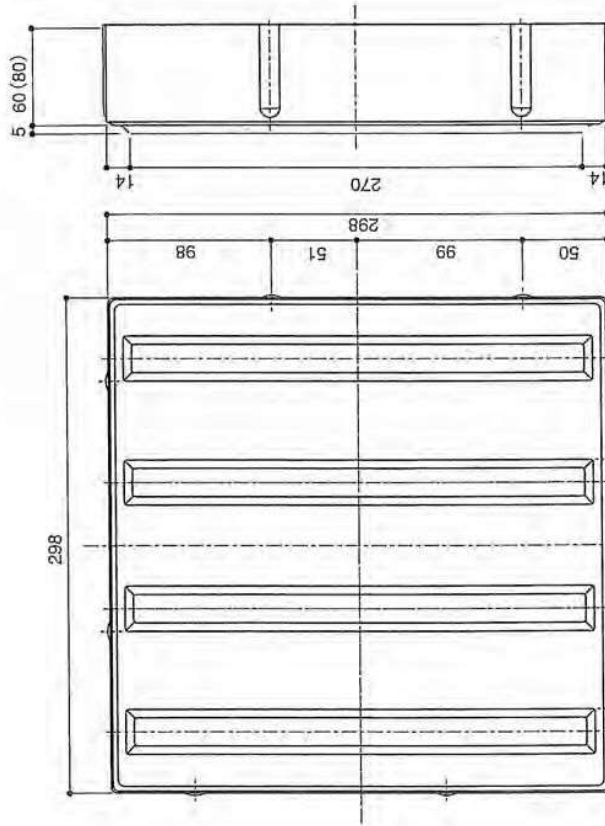
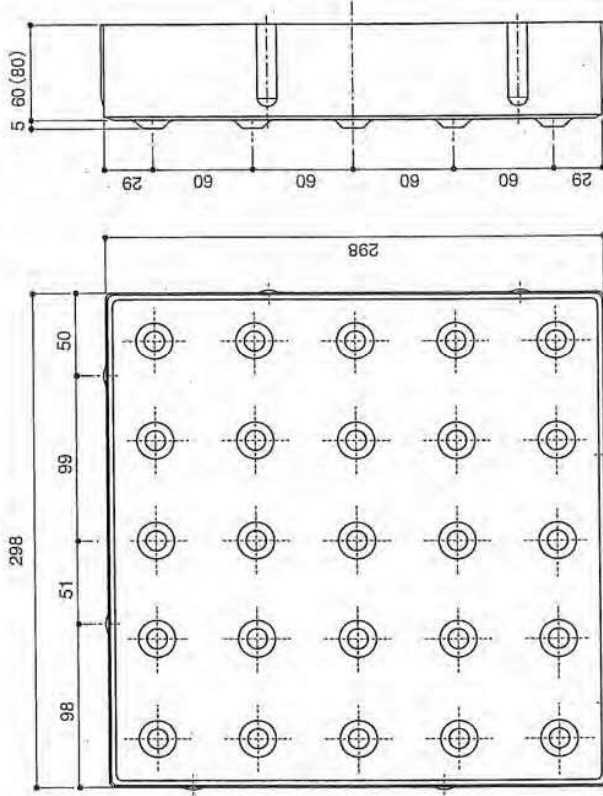
工事名 宮山台地区(宮山台茶山台線)自転車専用自転車整備工事  
場所 【宮山台地区】南宮山台駅か

図面名称 構造図(1)

縮尺	表示	1/2
製	製	製
検	検	検
監	監	監
設	設	設
計	計	計

作成・設計 平成28年11月 自転車整備設備部

15



位置表示平板 NO. 03-2 (乾式成型不透水タイプ)  
NO. 04-2 (乾式成型透水タイプ)

誘導表示平板 NO. 03-1 (乾式成型不透水タイプ)  
NO. 04-1 (乾式成型透水タイプ)

**警告**  
 施工の際は部材の固定を確実に行ってください。  
 固定が十分でないこと、倒壊、欠落等の危険があります。

*JIS T9251:2001 による	
File name	Dim
視覚障害者用誘導ブロック (乾式成型透水・不透水タイプ)	
Scale=1/5	

# 耐久性にすぐれた点字シートの貼付施工タイプ

## ステップガイド点字シート

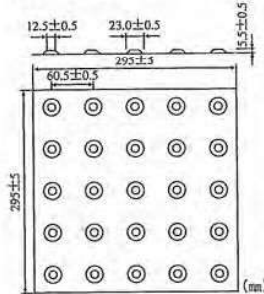
下地塗料（アクリライトVH-Y）を塗布したあと、点字シートを設置する貼付タイプで、きれいに仕上がり、耐久性・強度ともにすぐれています。

**点状** ● 輪荷重による変形がなく、路面の凹凸にも追随し、美しく仕上げることができます。

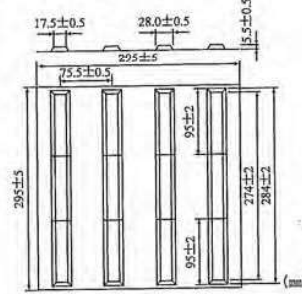
**線状** ● 輪荷重による変形がなく、狭い現場にも対応でき、しかもガス・水道工事などの道路復旧も容易に行えます。

### 形状・寸法及びその配列 ※製品寸法

#### ●TJタイプ



#### ●SJタイプ



### 設置方法

#### 下地施工

マスキング後、下地塗料をコテ等で塗布します。



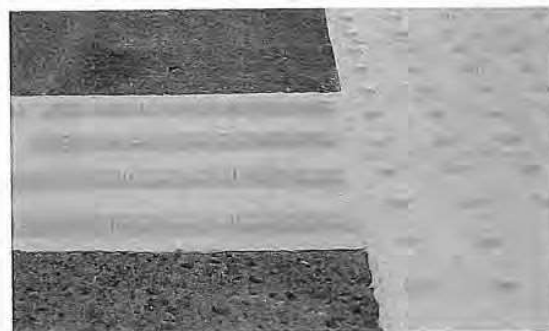
#### 点字シート貼付

点字シートを貼付した後、刷毛等でなじませます。



#### 完成

すみやかにテープを除去し、下地塗料の硬化を確認し、トップコートを上塗りして完成です。



### 製品規格

#### ●点字シート

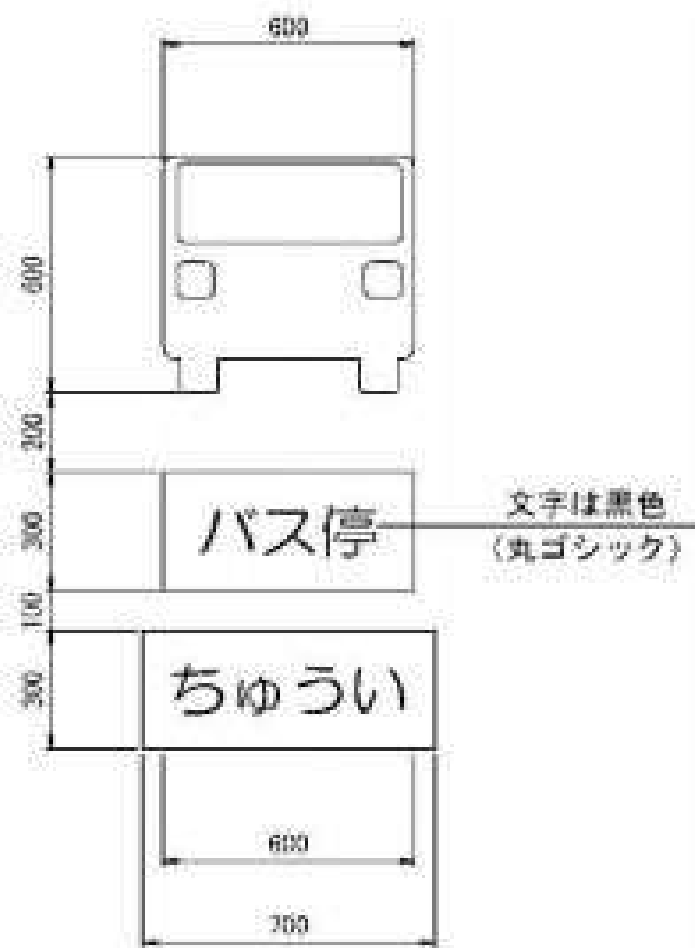
項目	品質規格
密度 (23℃)	1.7 ± 0.2 g/cm <sup>3</sup>
圧縮強さ (23℃)	0.802kN/cm <sup>2</sup> 以上
曲げ強度 (23℃)	4.903MPa以上
引張強度 (23℃)	2.942MPa以上
耐摩耗性	200mg以下
すべり抵抗値	50 (BPN) 以上
耐候性	暴露12ヶ月の試験でしわ、割れを認めないこと
色相 (色差)	標準黄色見本との色差 (ΔE) 3.0以内

#### ●アクリライトVH-Y

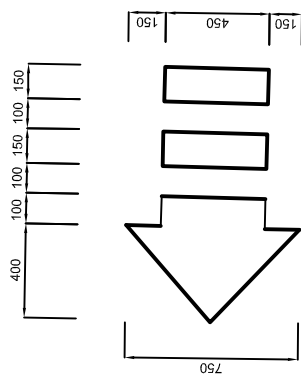
項目	品質規格
密度 (23℃)	1.7 ± 0.2 g/cm <sup>3</sup>
可使時間 (23℃)	5~15分
硬化時間 (23℃)	45分以内
圧縮強さ (23℃)	0.802kN/cm <sup>2</sup> 以上
粘度 (23℃)	3,000~7,000Pa·s
引張接着強さ	0.049kN/cm <sup>2</sup> 以上
耐候性	暴露12ヶ月の試験でしわ、割れを認めないこと
色相 (色差)	標準黄色見本との色差 (ΔE) 3.0以内

●色 黄色を標準色とする。

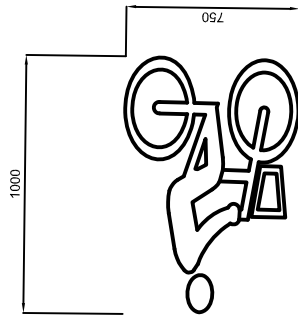
[日塗工No.22-80V (No.308) マンセル値(参考) 2.5Y8/12]



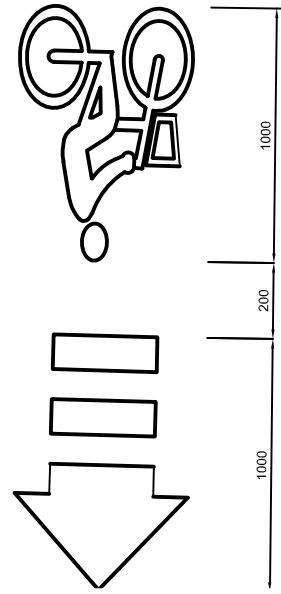
# 矢印



# ピクト

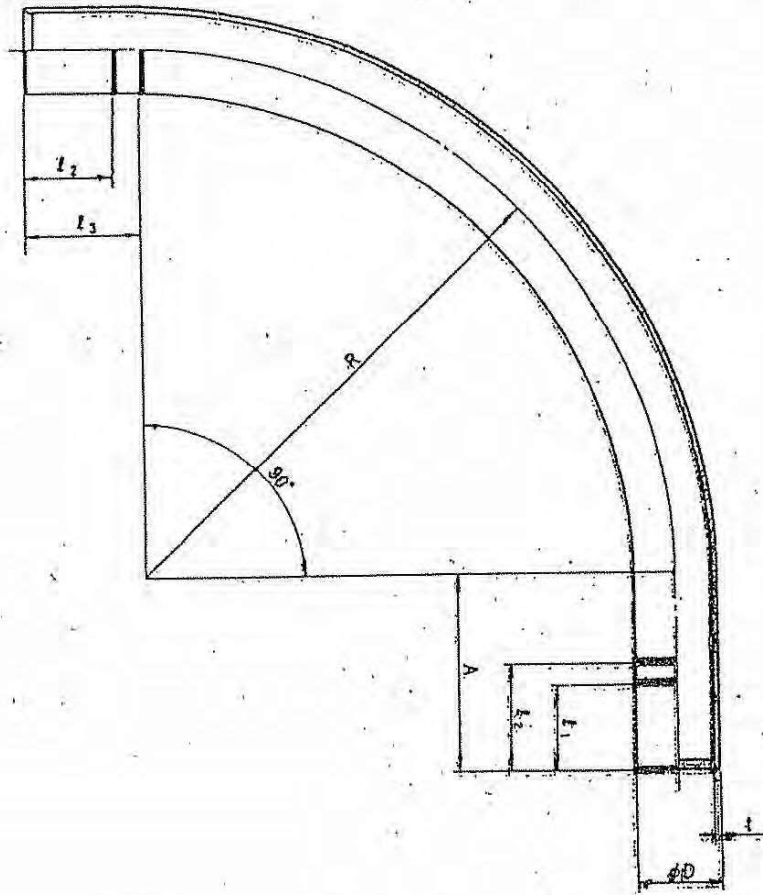


15cm換算延長  
 $L=0.33/0.15 \times 1.2$   
 $=2.64\text{m/箇所}$



自転車マーク (矢印およびピクト)  
(大阪府自転車通行空間法定外表示実施要領 (改定版) H29.3版)

電共 PV管



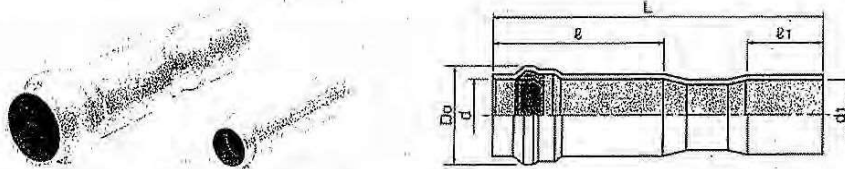
単位：mm

対象品	呼び径	ID	t	A	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>	R
	25	34.0±0.3	3.0±0.30	400	65	85	115	500
	50	50.0±0.5	4.5±0.40	400	100	120	150	500
	75	96.0±0.6	6.5±0.55	400	130	150	190	1000

備考：クボク規制品。

## Vカンツギテ (ビニル管差込み継手)

品番8082



単位:mm

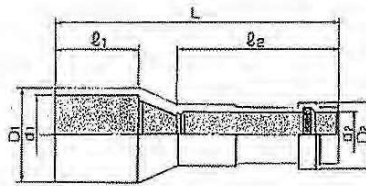
呼び径	ゴム輪受口部			接着受口部		全長 L (参考)
	D <sub>0</sub> (参考)	d (基本寸法)	l (標準)	d <sub>1</sub> (基本寸法)	l <sub>1</sub> (標準)	
25	50	34.6	115	34.55	40	163
No. 13	84	61.0	144	60.8	63	277
No. 12	129	97.3	175	96.8	75	257

備考: 1. 呼び径75は、日本通信電材(株)製で、上図と形状が異なります。  
2. 呼び径25は、上図と形状が異なります。

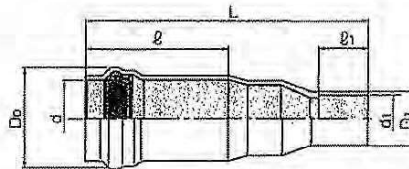
## 異径管差込み継手

品番8711

(25mm-50mm)



(75mm-50mm)



(25mm-50mm)

単位:mm

接着受口部			ゴム輪受口部			全長 L (参考)
D <sub>1</sub> (参考)	d <sub>1</sub> (基本寸法)	l <sub>1</sub> (標準)	D <sub>2</sub> (参考)	d <sub>2</sub> (基本寸法)	l <sub>2</sub> (標準)	
70	60.8	63	50	34.6	122.5	214.5

(75mm-50mm)

単位:mm

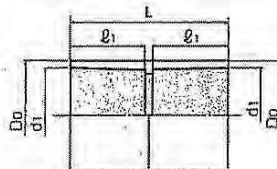
ゴム輪受口部			接着受口部			全長 L (参考)
D <sub>0</sub> (参考)	d (基本寸法)	l (標準)	D <sub>1</sub> (参考)	d <sub>1</sub> (基本寸法)	l <sub>1</sub> (標準)	
129	97.3	182	70	60.8	63	360

備考: ゴム輪は75mm差込み継手硬質塩化ビニル管 (P-Vカン) のゴム輪と同じです。

## 75mmビニル管ソケット

品番8080

日本通信電材(株)製



単位:mm

呼び径	D <sub>0</sub> (参考)	d <sub>1</sub> (基本寸法)	l <sub>1</sub> (標準)	全長 L (参考)
75	110	96.8	75	157

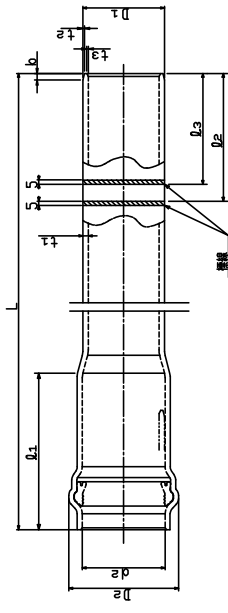
※管枕などの関連部材はP.33以降に掲載しています。



# 管路材構造図(3)

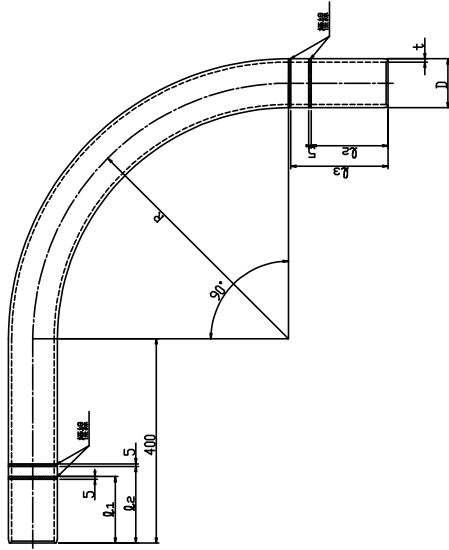
(通信、道路用PV管)

直管

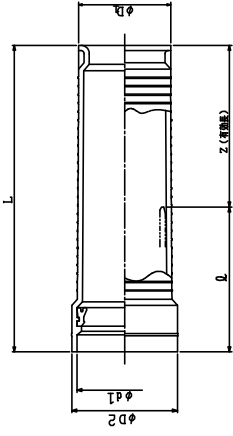


呼び径	管体部			差口部			差口部			参考質量 kg/本		
	L	D1	t1	D2	d	b	t2	t3	t			
25	4075	34	3.0	50	34.6	115	6	85	65	1.5	1.0	1.8
50	4110	60	4.5	84	61.0	144	6	120	100	1.5	1.5	4.7
75	5690	96	6.5	129	97.3	182	8	150	130	2.0	2.0	15.0

90P-V曲管

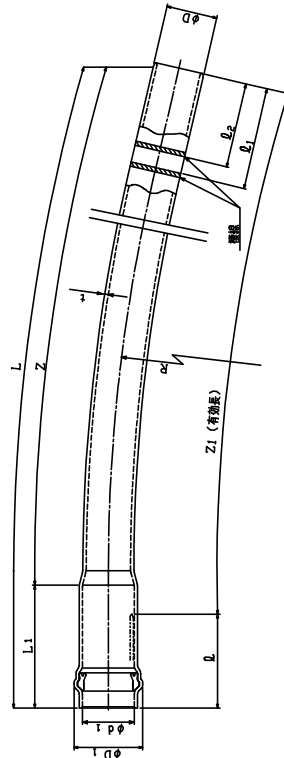


ダクトスリーブ



呼び径	φD1	φD2	φd1	L	Z	有効長mm
25	28	36.5	37.0	258	140	110
50	78	83	65.3	325	160	140
75	110	124	112.0	360	190	170

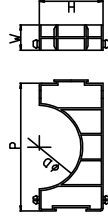
曲管



呼び径	単位: mm										
	D	D1	d1	L	L1	Z	Z1	t	φ	R	
50	60	84	61.0	1110	144	966	1000	4.5	110	100	5000
75	96	129	97.3	1140	182	958	1000	6.5	140	130	10000

管枕

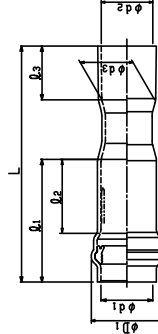
P-V管φ75用



呼び径	単位: mm			
	D	P	V	H
	75×130P	97	130	30
50×95P	61	95	30	47.5

※ 管枕の設置間隔は、管径1本当たり2ヶ所設置を標準とする。

V管P継手



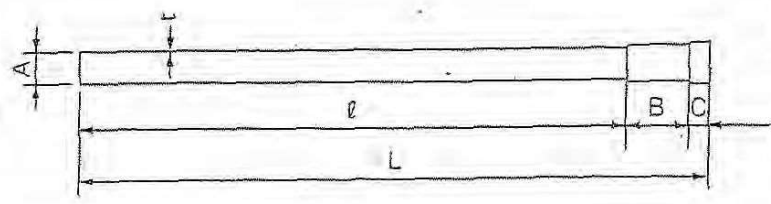
呼び径	単位: mm						
	L	D1	d1	d2	d3	φ1	φ2
50	277	84	61.0	60.3	59.2	144	63
75	257	129	97.3	96.8	94.9	175	75

※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

年度	平成	年度	番号	32/53
路線名	堺市計画道路 枚方大和斎田線 外			
工事名				
所在地	枚方市 藤子作東町 外			
図面番号	管路材構造図(3)			
編 尺	1:20	作 尺	年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所				

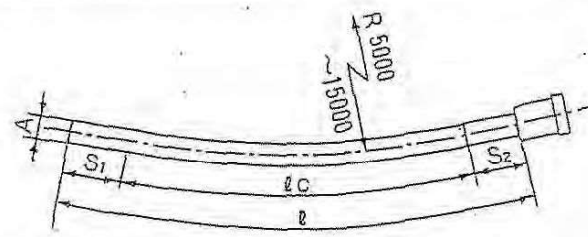
# 1 軽量ケーブル保護鋼管(KGP)直管

寸法単位：mm



管の呼び径	寸法		接合部		有効長	全長	重量
	管の外径 A	管の肉厚 t	B	C	ℓ	L	kg/本
80	89.1	3.0	150	75	3,500	3,725	25.3
100	114.3	3.0	150	75	3,500	3,700	32.3
125	139.8	3.0	175	75	3,500	3,750	40.5
150	165.2	3.3	250	60	3,500	3,810	53.0

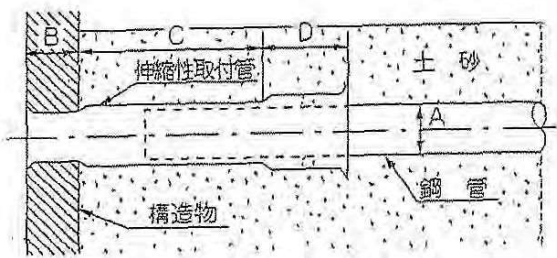
# 2 軽量ケーブル保護鋼管(KGP)曲管



管の呼び径	寸法		直線部		曲線部	有効長
	管の外径 A	S <sub>1</sub>	S <sub>2</sub>	ℓ <sub>c</sub>	ℓ	
80	89.1	325	175	1,000	1,500	
100	114.3	325	175	1,000	1,500	
125	139.8	325	175	1,000	1,500	
150	165.2	600	600	800	2,000	

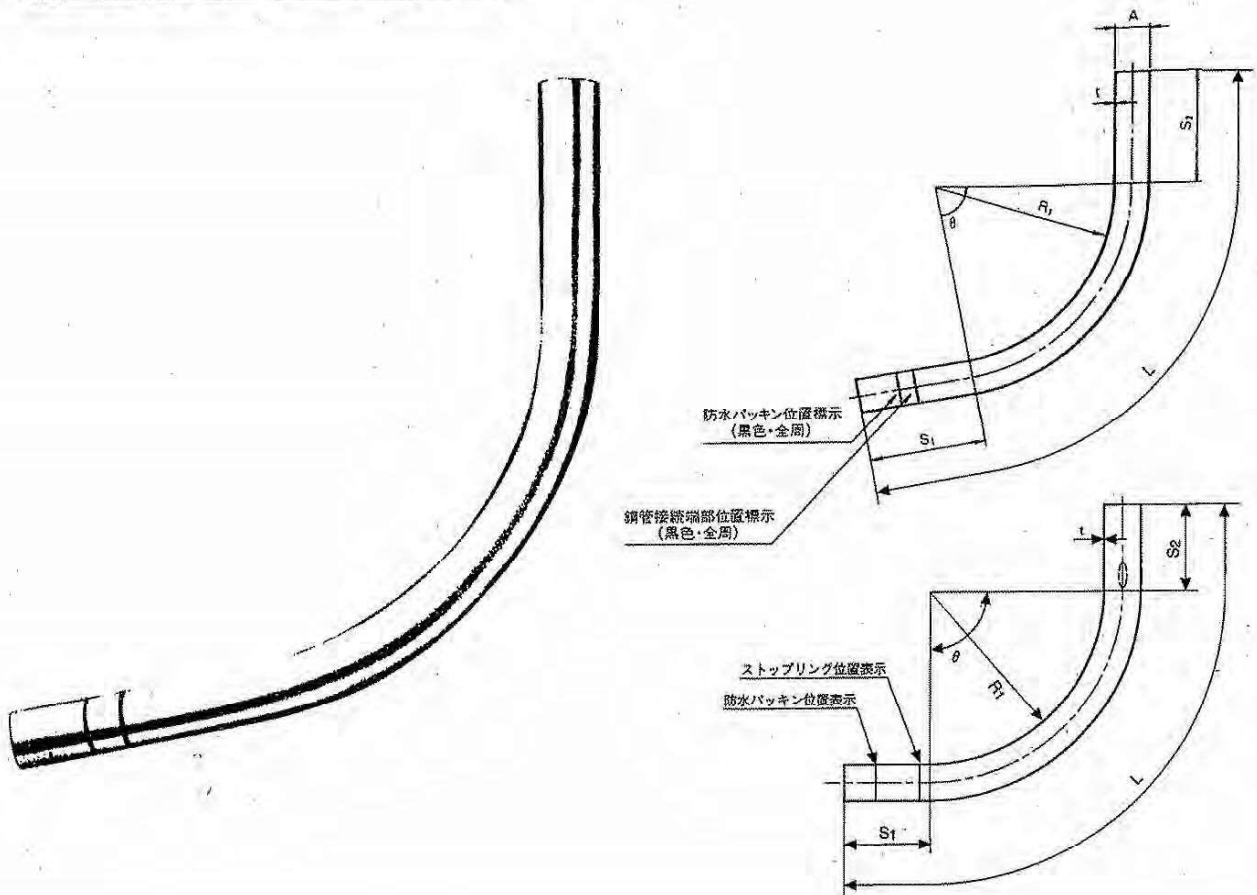
# ケーブル保護伸縮性取付管(GPI)

単位mm



管の呼び径	接続鋼管の外径	構造物取付部	伸縮部	防水パッキン移動部
	A	B	C	D
80	89.1	140	450	225
100	114.3	140	450	225
125	139.8	140	475	225

# ケーブル保護ベンド管



寸法表

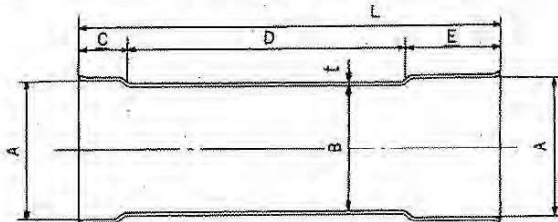
単位: mm

商品コード	管の呼び径	寸法		直線部		曲げ半径	曲げ角度	管の厚さ	有効長	メッキ 付着量 g/m <sup>2</sup>	概算重量 (メッキ含み) kg/m	規格仕様 関係電力
		A	S <sub>1</sub>	S <sub>2</sub>	R <sub>1</sub>	θ°	t	L				
No.7 50730 50737	90	89.1	300	300	600	90	2.3	1,612	600	5.2	関西 CCBOX	
												550
No.6 50630 50637 53380	90	114.3	300	300	600	90	2.6	1,632	600	7.5	関西 CCBOX 受注生産扱い	
												550
												500
												500
50056 50057 50058 50066	125	139.8	500	500	800	80	3.0	2,215	600	10.8	関西 CCBOX 受注生産扱い	
												550
												300
												530
56050	125	131.4	500	300	800	88	3.2	2,130	600	10.7	中部	
特注	80	89.1	300	300	1,300	90	3.3	2,642	600	7.4	中国 受注生産扱い	
53490	100	114.3	500	500								
53690	150	165.2	800	800								
55030 55040 55050	100	114.3	250	250	1,200	90	3.3	1,385	600	7.4	四国 受注生産扱い	
												2,542
												1,500
												2,856
55080 55090 55100	150	165.2	310	310	1,200	90	3.3	2,505	600	13.9	四国 受注生産扱い	
												2,862
												1,300
												2,976
53570 53560 53550	80	89.1	500	500	1,200	90	3	2,885	550	7.4	北陸 受注生産扱い	
												100
												114.3

(注) ベンド部については、ご要望に応じた半径(500R以上)、角度(θ)に加工いたします。

# 鋼管用継手

## ケーブル保護鋼管用継手A



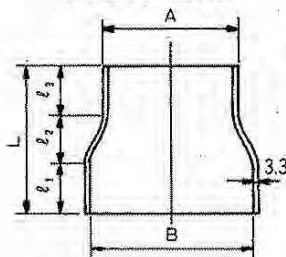
寸法表

単位: mm

商品コード	寸法		A	B	C	D	E	t	L	規格仕様 関係電力
	管の 呼び径									
No. 9 50740	80		96.0	91.2	40	200	80	2.3	320	関西 CCBOX
No. 8 50640	100		123.4	116.4	50	250	100	2.6	400	関西 CCBOX
50082	125		152.0	142.0	50	300	100	3.3	450	関西 CCBOX

(注) 継手には、各サイズに応じた防水パッキン、ストップリングが2組宛付属しています。(P30・31)  
配管用炭素鋼管 (SGP) とケーブル保護鋼管 (KGP) の外径が同じですのでSGPとの接続も可能です。

## ケーブル保護鋼管用継手B (立上り管用)



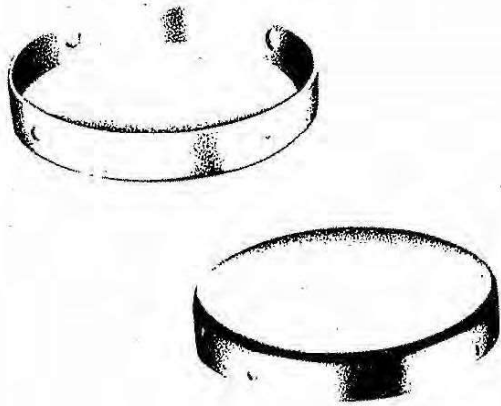
寸法表

単位: mm

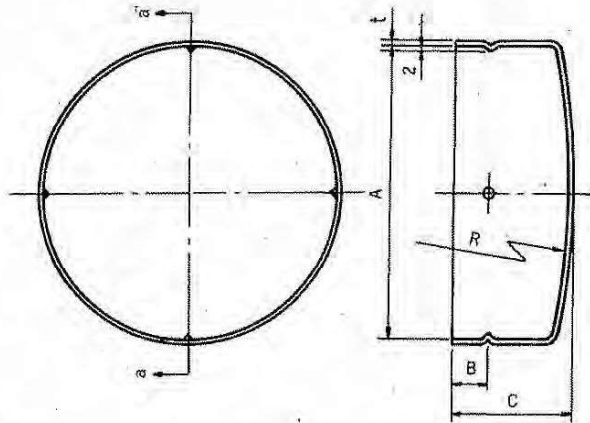
商品コード	寸法		A	B	φ <sub>1</sub>	φ <sub>2</sub>	φ <sub>3</sub>	L	規格仕様 関係電力
	管の 呼び径								
50090	125-100		114.3	142	40	40	40	120	関西

# 鋼管用キャップ

鉄製キャップ



a-a' 断面



寸法表

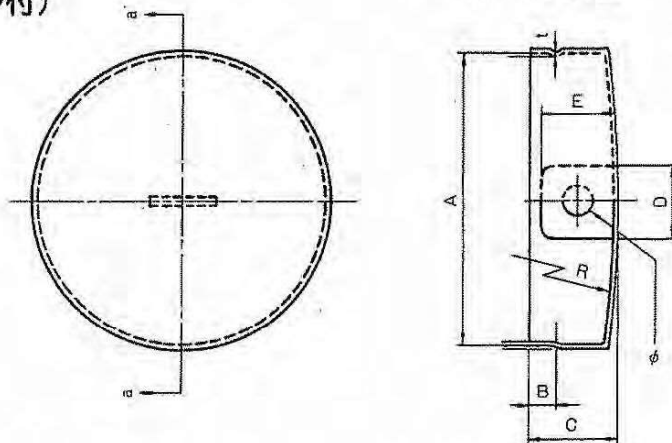
単位: mm

No. 15  
No. 14

商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	C	t	R	規格仕様 関係電力
56500	80		92	10	30	1.6	300	関 西
56520	100		118	15	50	1.6	300	
50120	125		142	10	30	1.6	300	関 西
53330	150		168	15	50	1.6	600	

鉄製キャップ(フック付)  
(ケーブル引込用呼び線引留フック付)

a-a' 断面



寸法表

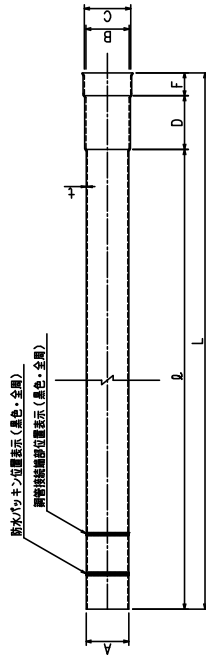
単位: mm

商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	C	D	E	t	R	φ
56501	80		92	10	30	40	40	1.6	300	18
56521	100		118	15	50	40	40	1.6	500	18
56510	125		142	10	30	40	40	1.6	300	18
53331	150		168	15	50	40	40	1.6	600	18

# 管路材構造図(1)

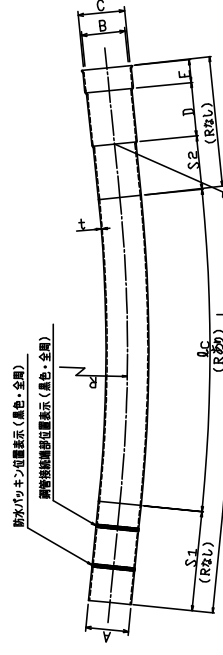
(電力用亜鉛メッキ鋼管)

直管



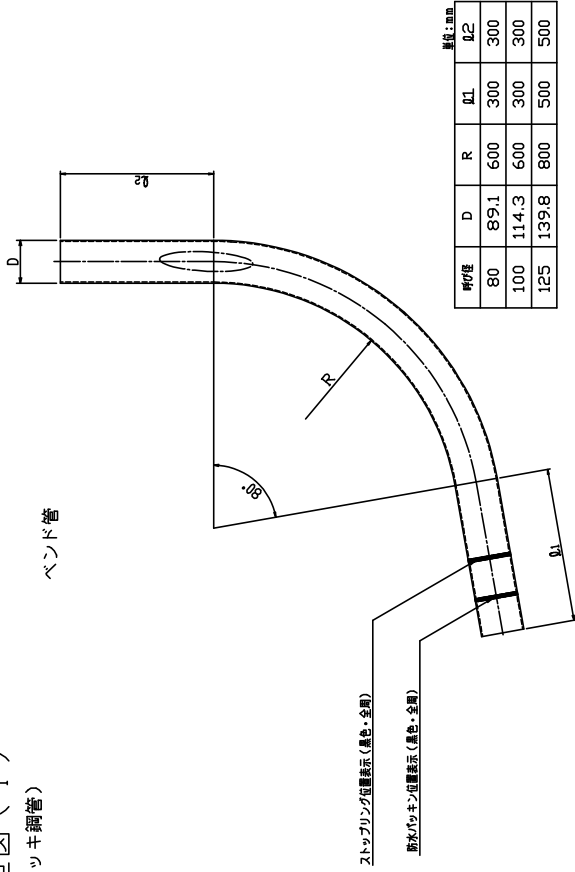
寸法 呼び径	規格					単位:mm	
	A	B	C	D	E	有効長 L	めね付長さ g/φ <sup>2</sup>
80	89.1	91.2	96.0	150	75	3500	600
100	114.3	116.4	123.4	150	75	3700	550
125	139.8	142.0	152.0	175	75	3750	600

曲管



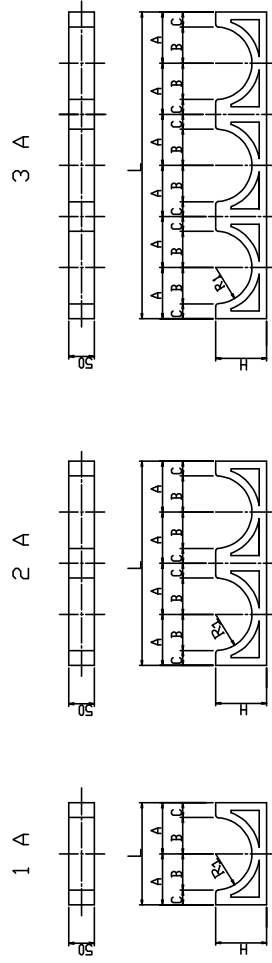
寸法 呼び径	規格					単位:mm		
	A	B	C	D	E	規格部 S1 S2	管の長さ t	曲げ半径 R
80	89.1	91.2	96.0	150	75	325 175	3.0	5000
100	114.3	116.4	123.4	150	75	325 175	3.0	5000
125	139.8	142.0	152.0	175	75	325 175	3.0	5000

バンド管

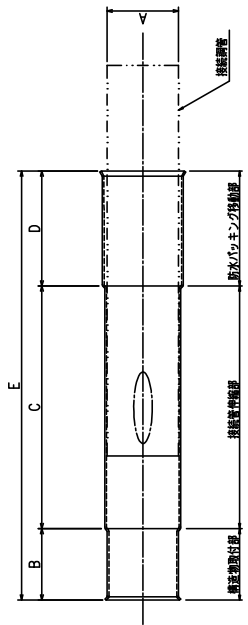


呼び径	D	R	R1	R2	単位:mm
80	89.1	600	300	300	
100	114.3	600	300	300	
125	139.8	800	500	500	

管枕



伸縮性取付管(ダクトスリーブ)



呼び径	単位:mm									
	寸法 呼び径	A	B	C	H	L	R1	R2	呼び径	呼び径
125	1A	95	71	24	85	190	71	71	125	71
	2A	95	71	24	85	380	71	71	125	71
	3A	95	71	24	85	570	71	71	125	71

※ 管枕の設置間隔は、管径1本当り2ヶ所設置を標準とする。

寸法 呼び径	規格部					単位:mm		
	A	B	C	D	E	規格部	呼び径	呼び径
80	89.1	140	450	225	815	規格部 <td>80</td> <td>80</td>	80	80
100	114.3	140	450	225	815	規格部 <td>100</td> <td>100</td>	100	100
125	139.8	140	475	225	840	規格部 <td>125</td> <td>125</td>	125	125

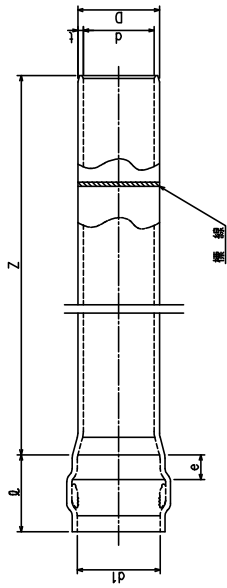
年度	平成	30/53
路線名	伊勢丹線延伸 秋分大田田線 外	
工事名	秋分市 赤子作車庫 外	
所在地	秋分市 赤子作車庫(1)	
図面番号	1:20	年月 平成18年3月
編入	大阪府秋分土木事務所	

※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

# 管路材構造図(2)

(電力用合成樹脂管)

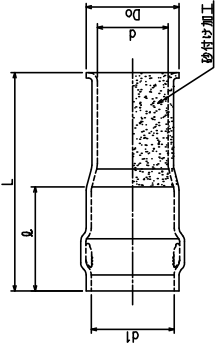
## 直管



単位: mm

呼び径	D	d	d1	t	l	e	Z
75	89.0	77	90.2	5.9	125	61	
100	114.0	100	115.5	7.1	135	64	5000
125	142.5	125	144.2	8.5	140	67	

## ダクトスリーブ

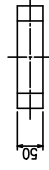


単位: mm

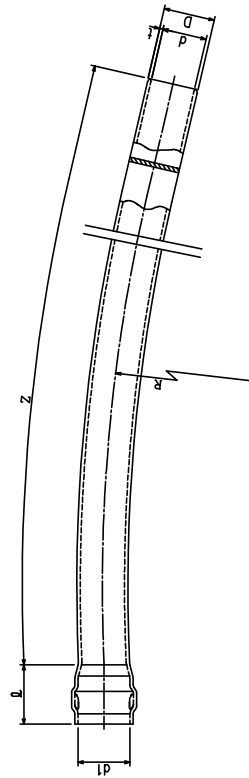
呼び径	d1	d	Do	l	Z
75	90.2	77	100	260	
100	115.5	100	130	280	450
125	142.5	125	165	295	

## 直管

## 管枕



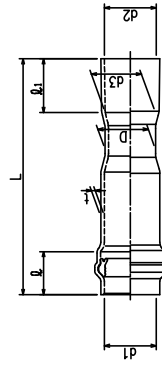
## 曲管



単位: mm

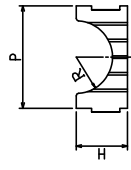
呼び径	D	d	d1	t	l	e	Z	R
75	89.0	77	90.2	5.9	125	61		5000
100	114.0	100	115.5	7.1	135	64	1000	10000
125	142.5	125	144.2	8.5	140	67		

## 異種管継手



単位: mm

呼び径	L	l	d1	D	d2	d3	t
75	400	120	150	89.0	91.3	89.3	5.9
100	655	130	210	114.0	117.7	113.5	7.1
125	655	135	210	142.5	142.4	138.2	8.5



単位: mm

呼び径	形状	R	P	H
100	1A	71.5	185	92.5
125	1A	71.5	185	92.5

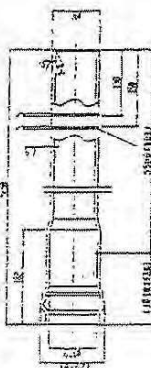
※ 管枕の設置間隔は、管路1本当り2ヶ所設置を標準とする。

※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

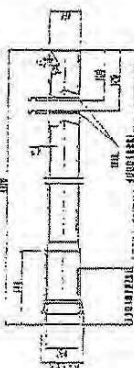
年 度	平成	31	年 次	31/53
路線名	御所計画道路 枚方大和田線 外			
工事名	枚方市 藤子作線 外			
所在地名	管枕材構造図(2)			
図面番号	1:20			
編 尺	年 月	年 月	年 月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所				

PV管 構造図-2

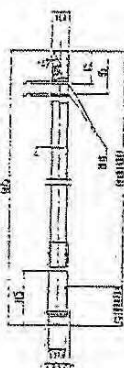
直管 (50VA規格) (250) (250)



直管 (75VA規格) (250) (250)

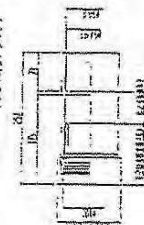


直管 (100VA規格) (250) (250)

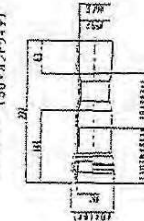


V管P継手

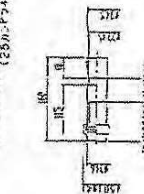
(50VA規格) (250) (250)



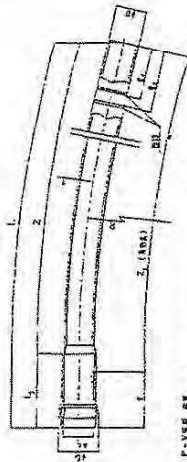
(50VA規格) (250) (250)



(250) (250) (250)



曲管 (50VA規格) (250) (250)

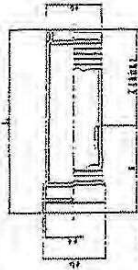


P-VER 50

規格	D	G	J	L	Z	Z	L	L	Z	L	Z	L	Z	L	Z
50	80	80	80	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
75	80	120	120	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110

マフトスリーブ

(50VA規格) (250) (250)



P-VER 50

規格	AN	AN	AN	L	Z	L	Z	L	Z
25	48	52	40	258	118	118	118	118	118
50	76	82	63	325	100	110	110	110	110
75	110	124	112	300	100	110	110	110	110

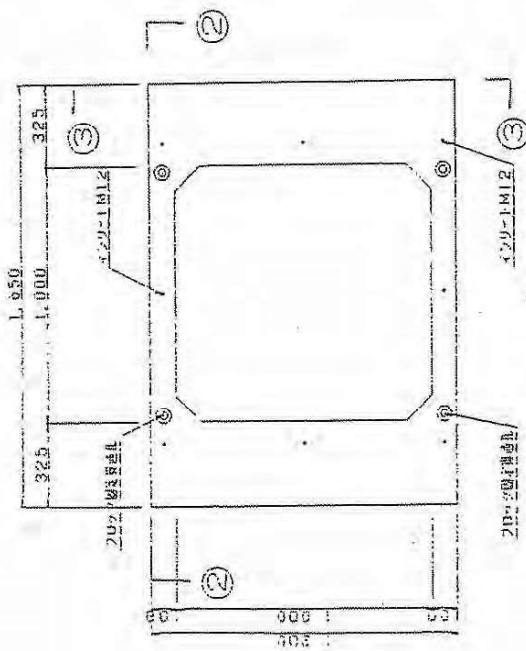
図番	18/24
図名	PV管 構造図-2
製作者	...
承認者	...
発行日	...
発行所	...
備考	...



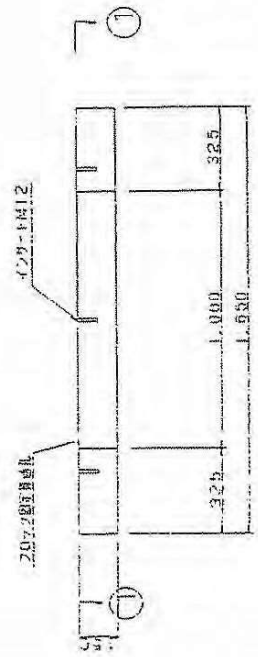
機器据付用ブロック (I-100) 構造図 S-1/10

平面図

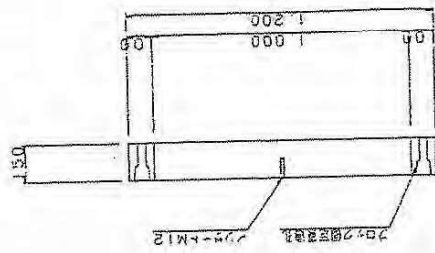
① - ①



② - ②

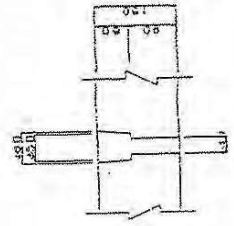


③ - ③



ブロック固定貫通孔詳細図

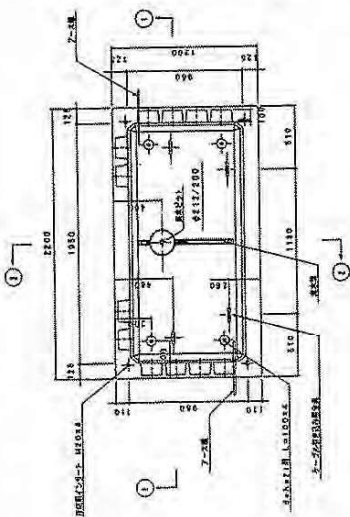
S-1/5



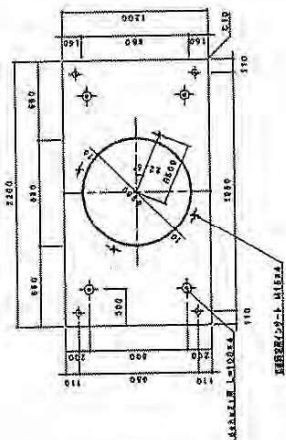
平成 14 年度	図 番 号	10/24
事業 名	一 般 財 政 費 用	
機 関 名	地 方 特 別 行 政 体 制 立 法 ( 第 1 次 )	
工 務 名	新 入 込 引 込 機 器 工 事	
施 工 場 所	新 入 込 引 込 機 器 工 事	
図 紙 名	新 入 込 引 込 機 器 工 事	
図 紙 番 号	S-1/10	

電力用機構造図(1) S=1:20  
(プレハブ基礎2型 950x1950x1100)

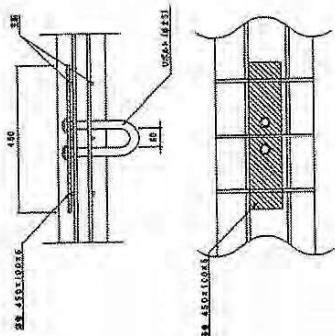
3-3断面図



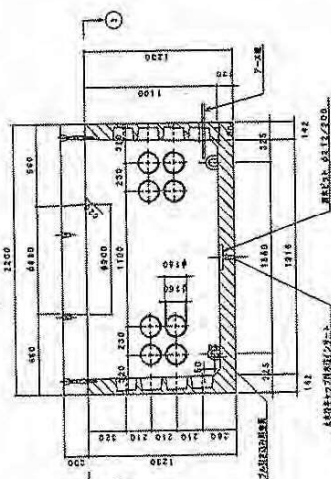
全面取付プロック (S-B-B型)



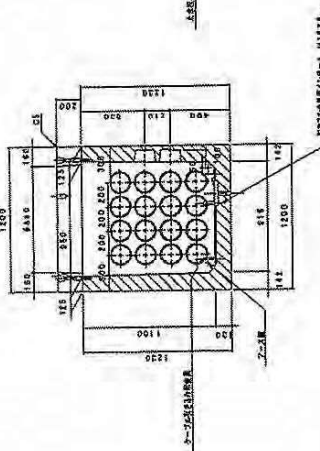
ケーブル引入金具取付詳細図 S=1:5



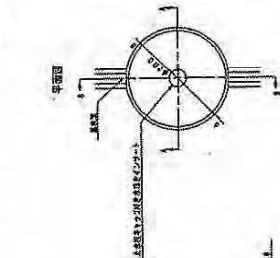
1-1断面図



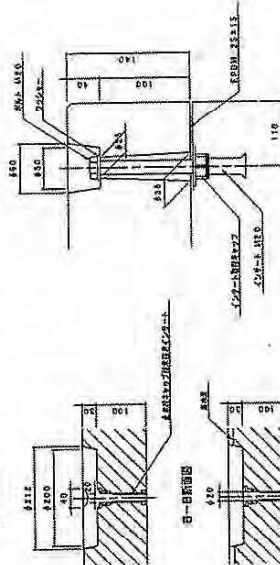
2-2断面図



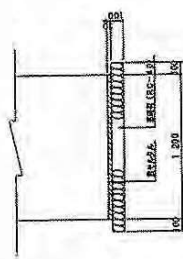
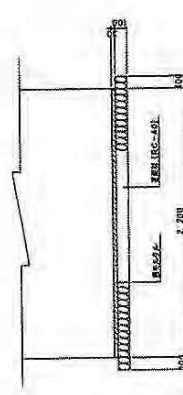
鉄水ビレット組立図 S=1:5



接合部詳細図 S=1:3



基礎工



友友②

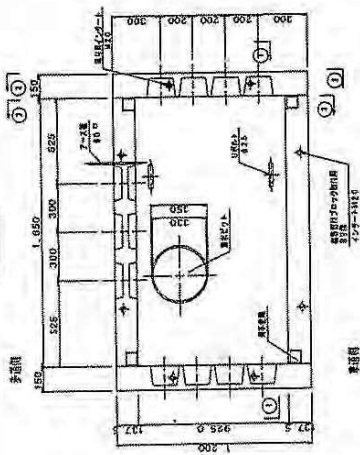
設計条件

基礎型	上付型 T-25 P=60kN/個
基礎数	数量 T-25 P=60kN/個
基礎寸法	基礎寸法: 140.0
基礎形状	基礎形状: 角鉄コナクリール製鉄骨
基礎総重量	基礎総重量: 0.36x1.95x1.10m
基礎材料	基礎材料: F=31kN/m <sup>3</sup>
基礎設計	基礎設計: K1=0.5
基礎仕様	基礎仕様: No.6=35kN/m <sup>2</sup>
基礎重量	基礎重量: 50495A

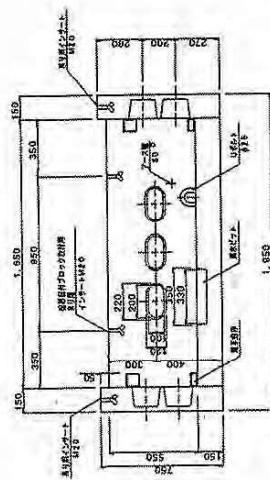
基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
基礎	基礎	基礎	基礎	基礎

電力用機構造図 (1) S=1:15  
 プレハブ基礎1型 900×1650×550

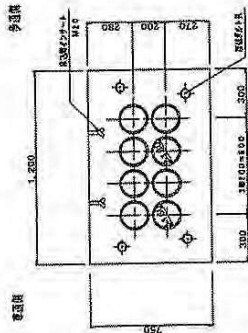
②-① 断面図



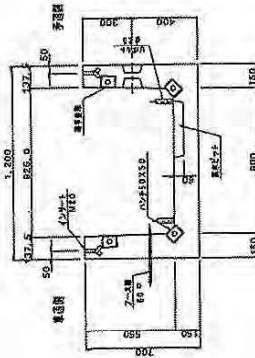
①-① 断面図



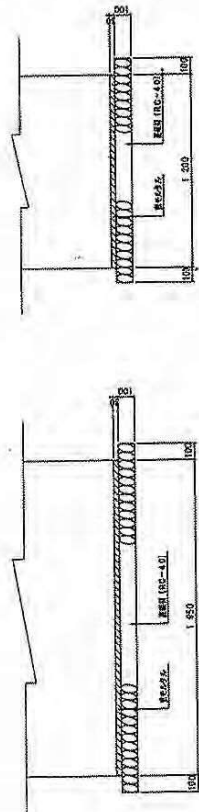
②-② 断面図



③-③ 断面図



基礎工



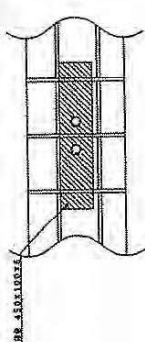
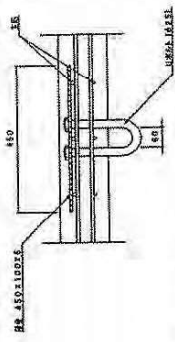
設計条件	
圧縮強度	24.5N/mm <sup>2</sup> (f <sub>c</sub> =50N/mm <sup>2</sup> )
変形係数	1=0.1
土圧係数	k=0.308
土重り	0.25m
構造	鉄筋コンクリート山形基礎
供用圧力図	
設計圧縮強度	σ <sub>ok</sub> =30N/mm <sup>2</sup>
設計引張強度	σ <sub>ek</sub> =11N/mm <sup>2</sup>
設計引張強度	τ <sub>sk</sub> =0.5N/mm <sup>2</sup>
設計引張強度	σ <sub>sk</sub> =150N/mm <sup>2</sup>

① 設計条件は、基礎の設計に準じて決定されたものである。  
 ② 基礎の設計は、基礎の設計に準じて決定されたものである。

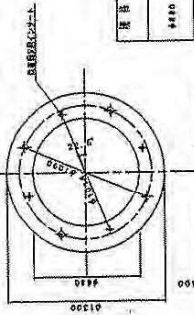
茨交 ③

図名	番号	14/21
図州名		
工事名		
所収場所		
図主名		電力用機構造図 (1)
設計者		
校核者		

ケーシング引込金具取付詳細図 S=1:5

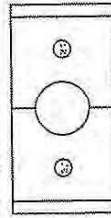


出入口7-ロツク詳細図



項目	単位	数量
ボルト	個	15
ナット	個	15
ワッシャー	個	30
取付ボルト	個	30
合計		70

7-ロツク詳細図

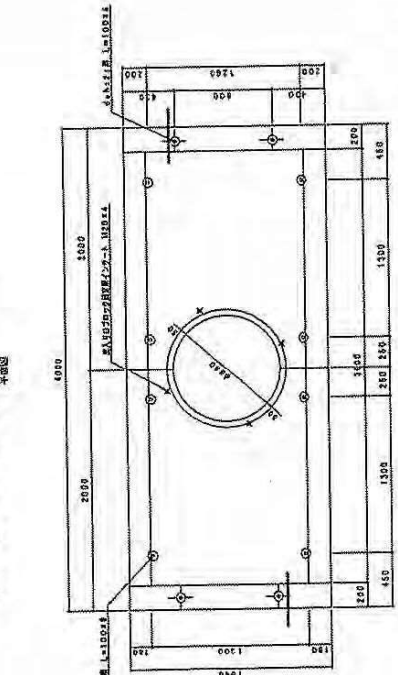


材料	数量	単位
B17027	5335	個
B22027	5310	個
ワッシャー	1605	個
取付ボルト	13355	個
合計		

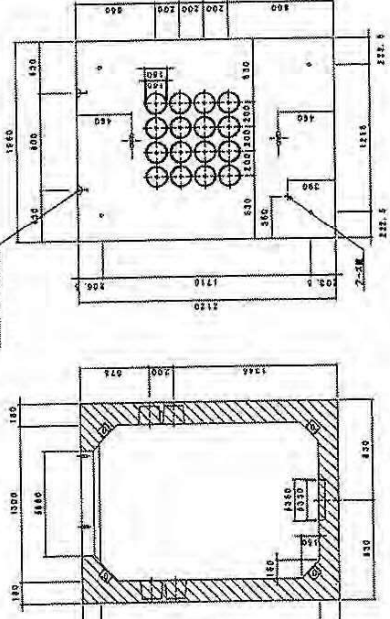
項目	内容
設計者	山本 隆夫
校核者	山本 隆夫
図面番号	11-30
図面名称	電力用材料構造図 (3)
製図者	山本 隆夫
承認者	山本 隆夫
図面内容	電力用材料構造図 (3)
製図日	11/30

項目	内容
設計者	山本 隆夫
校核者	山本 隆夫
図面番号	11-30
図面名称	電力用材料構造図 (3)
製図者	山本 隆夫
承認者	山本 隆夫
図面内容	電力用材料構造図 (3)
製図日	11/30

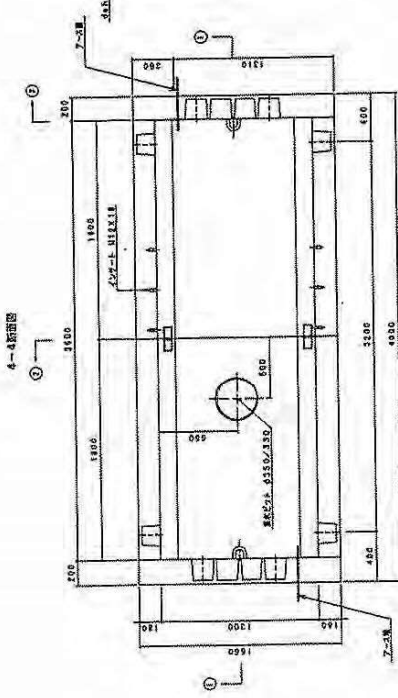
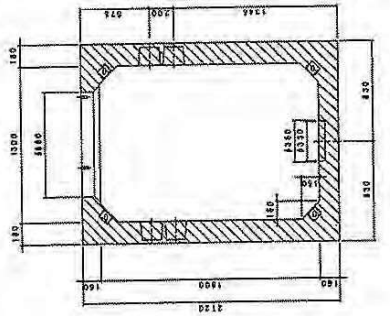
電力用材料構造図 (3) S=1:2.0  
(プレハブ入孔 1300x3600x1800) 平面図



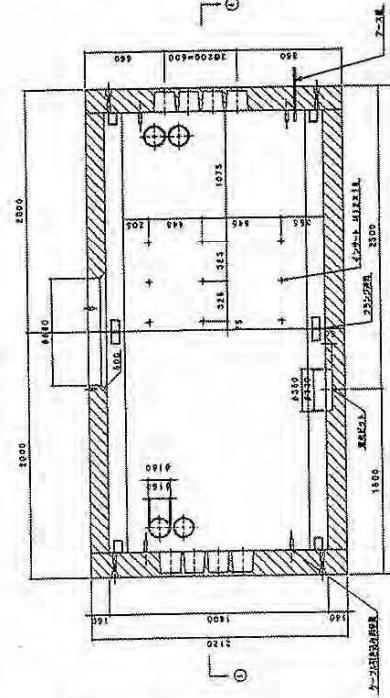
3-3断面図



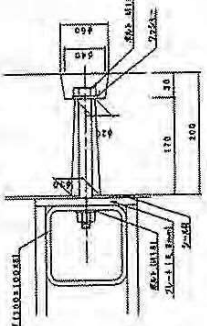
2-2断面図



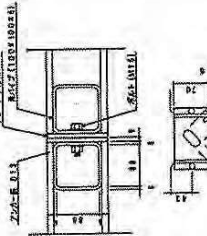
1-1断面図



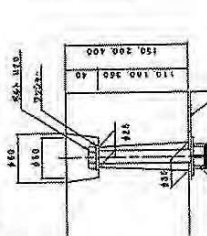
断面取付詳細図 S=1:3



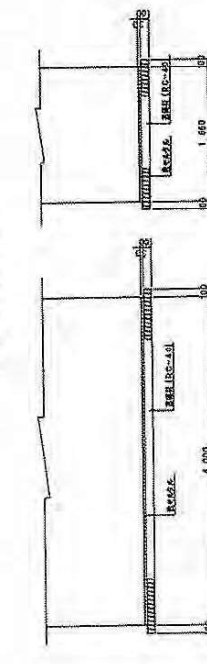
7-ロツク詳細図 S=1:5



出入口7-ロツク詳細図 S=1:5

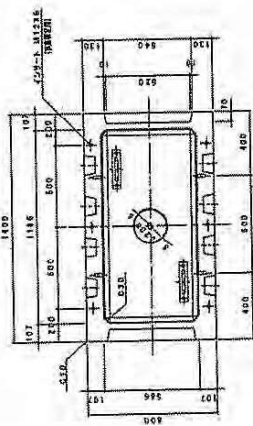


基礎工 S=1:30

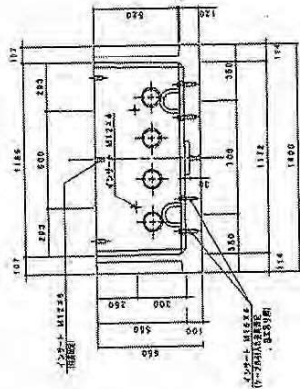


電力用機構造図(2) S=1:1.5  
(分紙幅 600x1200x550)

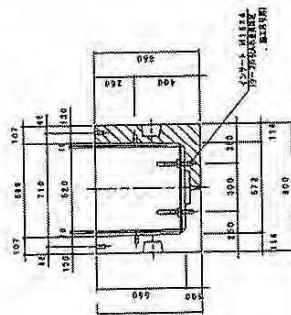
等価図



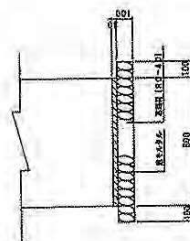
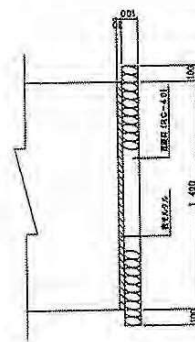
側面図



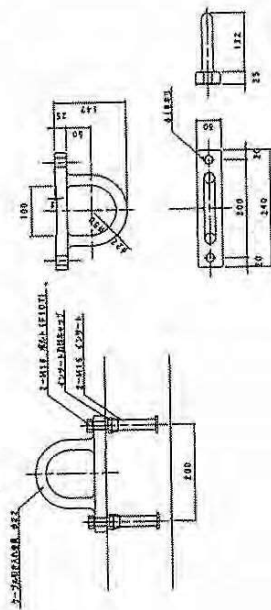
正面図



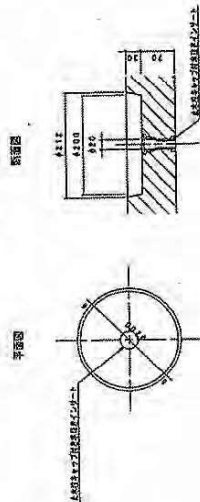
基礎工



ケーブル引入れ金具取付詳細図 S=1:1.5



集水ピット部詳細図 S=1:1.5



項目	仕様
材料	鉄板 厚 1.5mm 鋼線 径 3mm
数量	1ヶ所
仕様	鉄板 厚 1.5mm 鋼線 径 3mm
構造形式	鉄板コンクリート埋設
埋設深度	0.50m x 1.20m x 0.65m
基礎面積	1.20m x 0.65m
土圧係数	K=0.308
埋設材料	コンクリート
数量	1ヶ所
備考	

この図は設計図書(原図)の基準とする。工事現場で必要に応じて変更すること。

材料	鉄板
数量	1ヶ所
仕様	鉄板 厚 1.5mm
構造形式	鉄板コンクリート埋設
埋設深度	0.50m x 1.20m x 0.65m
基礎面積	1.20m x 0.65m
土圧係数	K=0.308
埋設材料	コンクリート
数量	1ヶ所
備考	

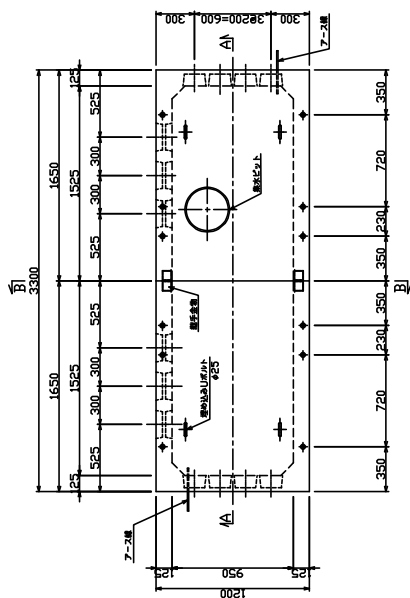
図号 5

図名	電力用機構造図(2)
図番	15/30
図尺	1:1.5
図種	電力用機構造図(2)
設計	電力用機構造図(2)
監理	電力用機構造図(2)
承認	電力用機構造図(2)
作成	電力用機構造図(2)
検査	電力用機構造図(2)
指示	電力用機構造図(2)
確認	電力用機構造図(2)
修正	電力用機構造図(2)
備考	

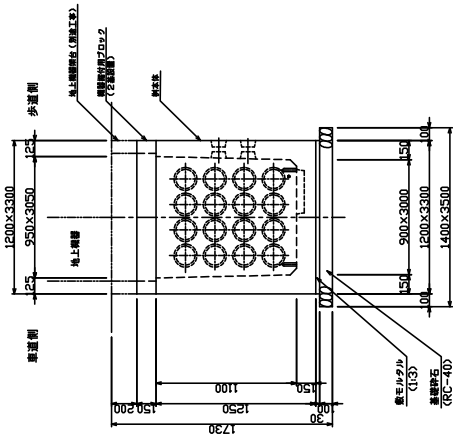
大府府営土木事務所

E 1 樹構造図 S=1:20  
(950×3050×1100 機器枠)

平面図

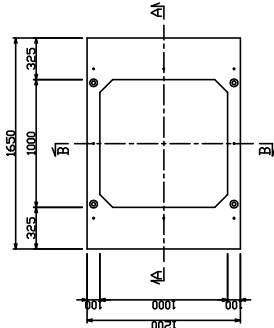


設置断面図

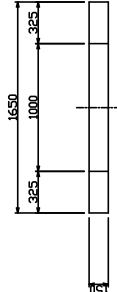


機器据付用ブロック

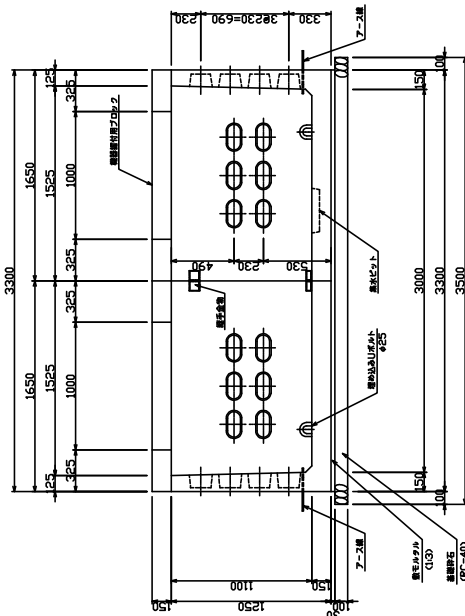
平面図



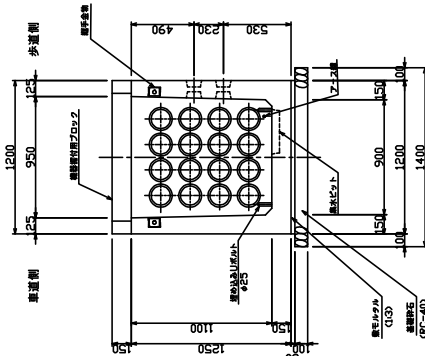
A-A断面図



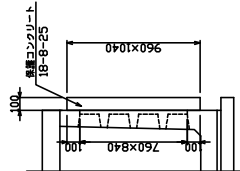
A-A断面図



B-B断面図



保護コンクリート



設計条件

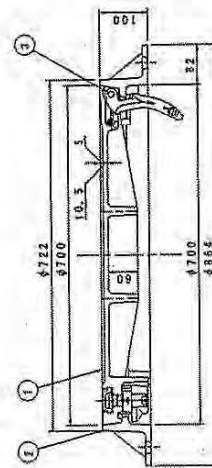
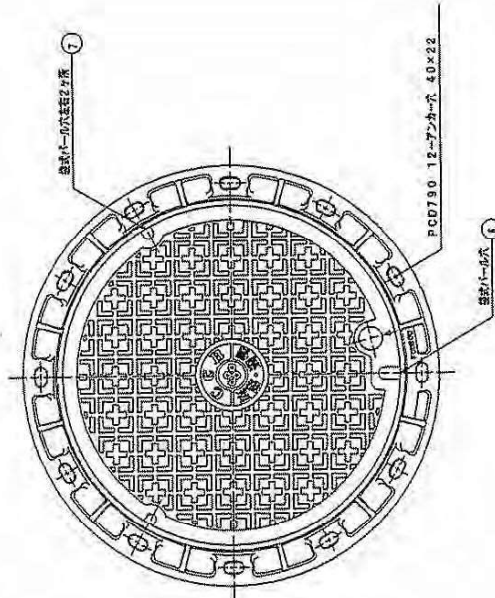
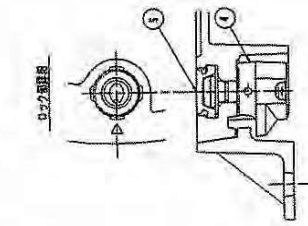
樹種	2.45mφ (G=500mm)
樹高	樹高 1 = 0.1
樹幹直径	樹幹直径 1 = 0.1
土質	土質 1 = 0.30m
土質	土質 2 = 0.30m
土質	土質 3 = 0.30m
土質	土質 4 = 0.30m
土質	土質 5 = 0.30m
土質	土質 6 = 0.30m
土質	土質 7 = 0.30m
土質	土質 8 = 0.30m
土質	土質 9 = 0.30m
土質	土質 10 = 0.30m
土質	土質 11 = 0.30m
土質	土質 12 = 0.30m
土質	土質 13 = 0.30m
土質	土質 14 = 0.30m
土質	土質 15 = 0.30m
土質	土質 16 = 0.30m
土質	土質 17 = 0.30m
土質	土質 18 = 0.30m
土質	土質 19 = 0.30m
土質	土質 20 = 0.30m

※ 特記事項  
1. 幹本体のフェース幅2ヶ所に、A種及びB種樹幹に対応する樹幹径φL-75cmの深さ以上に設置すること。  
(100以下)

年度	平成	年度	番号	34/53
路線名	御所計画道路 枚方大和富田線 外			
工事名	枚方市 遊子作道 外			
所在地	E1緑地公園			
図面種類	E1緑地公園			
縮尺	1:20	発行	年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所				



道路及び通信用樹蓋構造図 S=1:5  
(車道部)



記号 名 用: 構造用 Y-25  
 使用量: 98KN (101)  
 使用枚数: 0.4  
 使用箇所: 700k以上

品番	品名	数量	単位	備考
1	ゴムキャップ	CR	2	CP2
2	ゴムキャップ	CR	1	CP1
3	ゴムキャップ	CR	1	R-1
4	ロック機構	FCD800	1	O-85
5	取付金物	FCD600	1	97
6	取付金物	FCD600	1	
7	取付金物	FCD700	1	
8	取付金物	FCD700	1	

変更 (8)

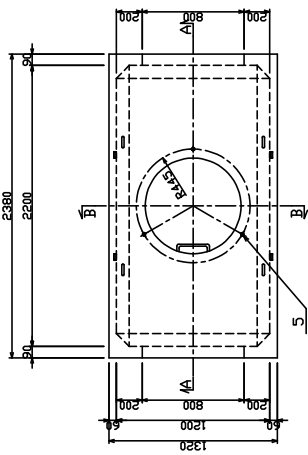
品番	品名	数量	単位	備考
1	ゴムキャップ	20	30	
2	ゴムキャップ			
3	ゴムキャップ			
4	ロック機構			
5	取付金物			
6	取付金物			
7	取付金物			
8	取付金物			



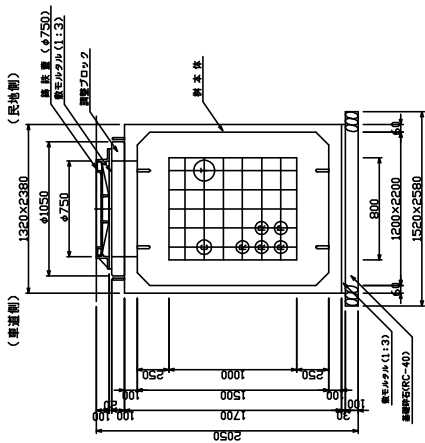


RT 樹構造 図 S=1:20  
(1200×2200×1500 歩道用)

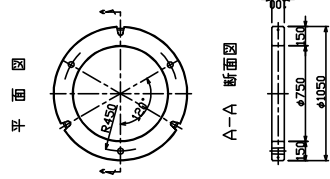
平面図



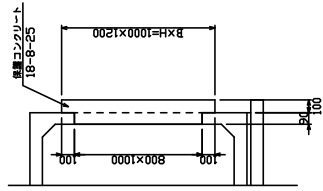
設置断面図



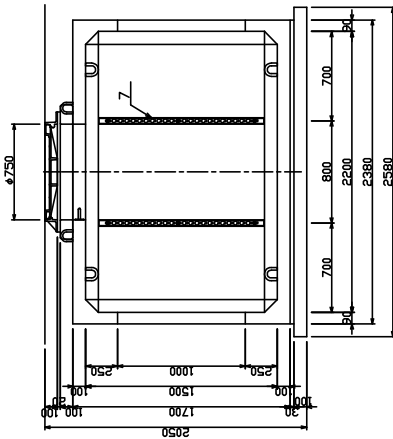
調整ブロック



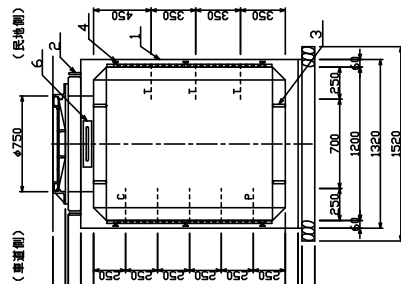
保護コンクリート



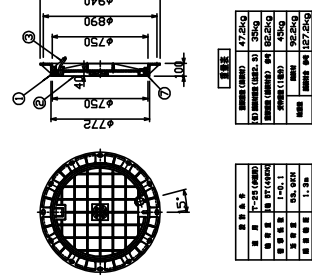
A - A 断面図



B - B 断面図



化粧鉄蓋構造図  
(φ750 歩道用)



種別	数量	単位	仕様
1	1	個	1000×1000
2	1	個	1000×1000
3	1	個	1000×1000
4	1	個	1000×1000
5	1	個	1000×1000
6	1	個	1000×1000
7	1	個	1000×1000

種別	数量	単位	仕様
1	1	個	1000×1000
2	1	個	1000×1000
3	1	個	1000×1000
4	1	個	1000×1000
5	1	個	1000×1000
6	1	個	1000×1000
7	1	個	1000×1000

符号	名称	数量	規格	備考
①	本体	1	レジンコンクリート	
②	南下フック	4	レジンコンクリート	φ16
③	プーリングボルト	8	SS400面鉛メッキ	φ22
④	断金動脈付用インサート	12	SUS304	M12
⑤	鉄管用インサート	3	SUS304	M16
⑥	段差ステップ	1	SS400面鉛メッキ	φ16
⑦	断金物 (L=1290)	4	SS400面鉛メッキ	

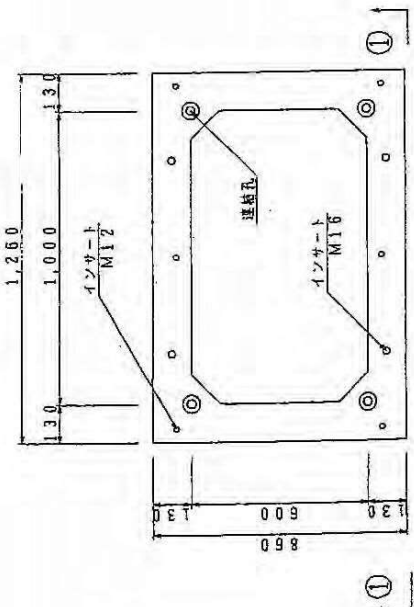
設計条件	
活荷重	1軸 50kN
設計荷重	1軸 50kN
影響係数	1 = 0.1
構造形式	工場製鉄 レジンコンクリート構造構造
内定寸法	1200' × 2200' × 1500'
土の単位重量	γs = 19kN/m <sup>3</sup>
土圧係数	K <sub>0</sub> = 0.5
使用材料	1) 2) カット 設計基準値強度 σ <sub>bk</sub> = 18.0MPa

年度	年度	年度	年度	年度
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5

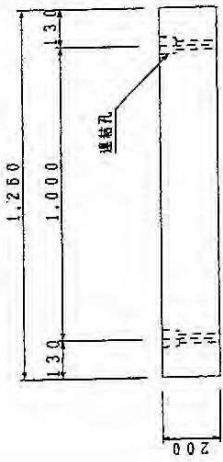
3

5 - 15  
 機器据付けブロックS-100  
 (H=200)

平面図

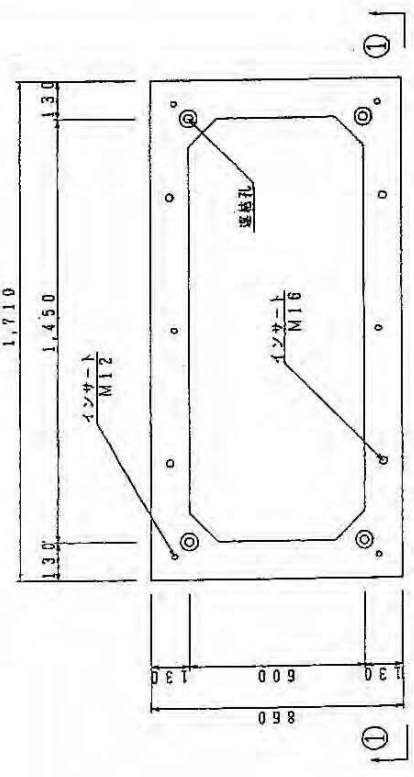


正面図 ①-①

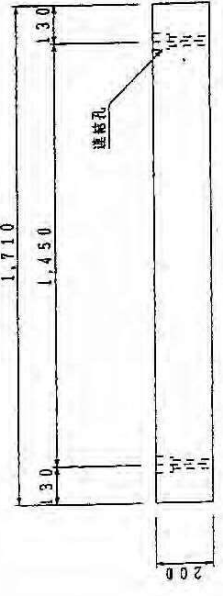


5 - 16  
 機器据付けブロックS-145  
 (H=200)

平面図



正面図 ①-①



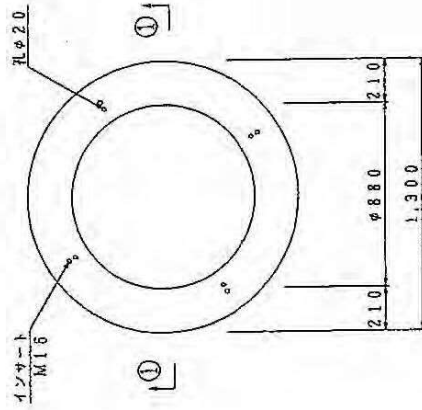
4

首座ブロック (配電用)

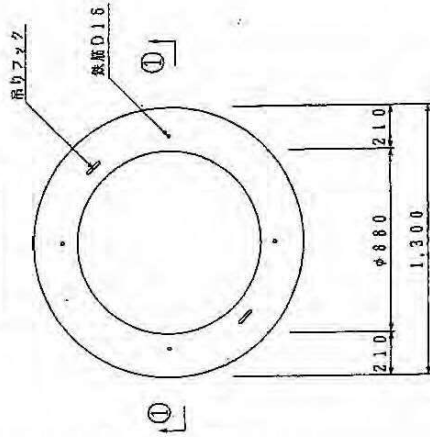
8 - 17 8 - 18 8 - 19  
(H=400, 600, 800用)

8 - 16  
(H=200用)

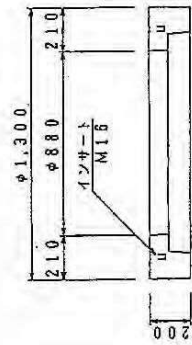
平面図



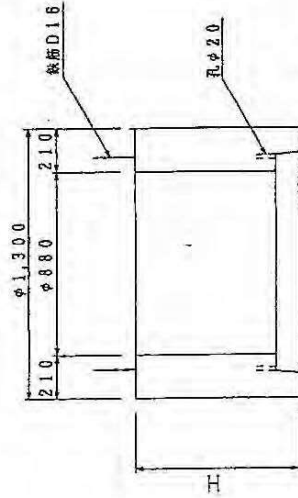
平面図



断面図 ①-①



断面図 ①-①

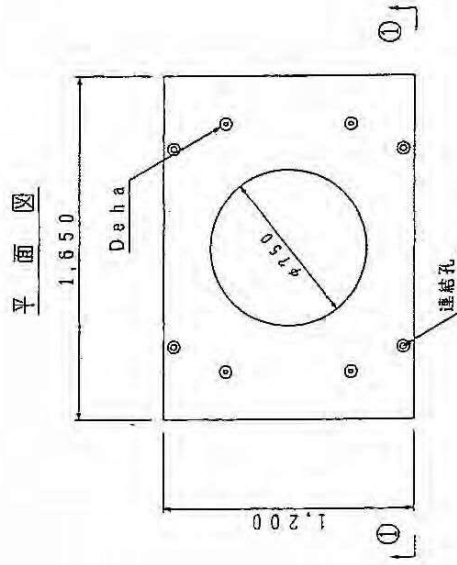


\*但し、H=400, 600, 800

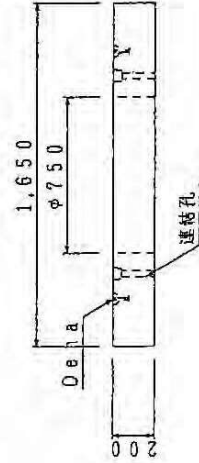
5

金蓋取付用ブロックI-100(φ750)構造図

1 - 24

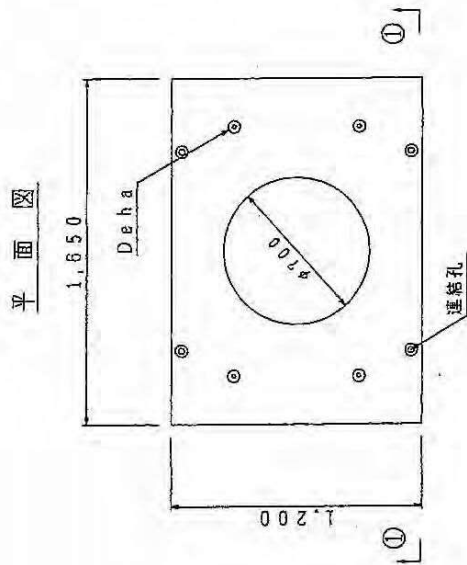


正面図 ①-①

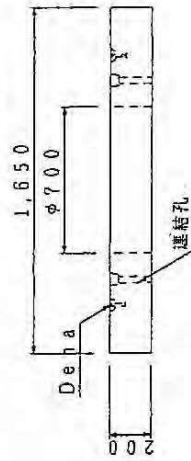


金蓋取付用ブロックI-100(φ700)構造図

1 - 23



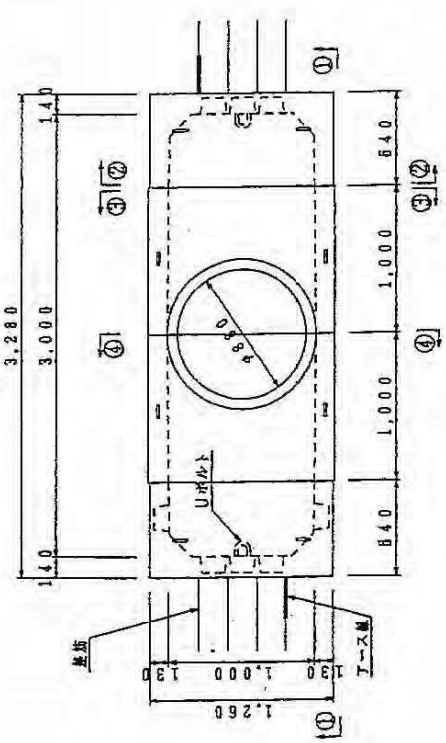
正面図 ①-①



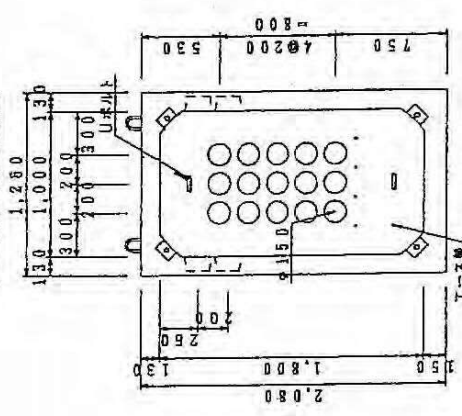
⑥ プレハブ人孔A5型構造図  
1.0X1.8X3.0m

設計条件	
活荷重	245kN (P=50kN)
覆土厚	真土1.1, 歩道1=1.1
土圧係数	k=0.5
土盛り	0.4m~2.0m
構造	除筋コンクリート構造構造 (許容応力度)
コンクリート	設計圧縮強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 引張強度 $\sigma_{tk}=11\text{N/mm}^2$
鉄筋	許容応力度 $\sigma_{st}=0.5\text{N/mm}^2$ 引張強度 $\sigma_{tk}=180\text{N/mm}^2$

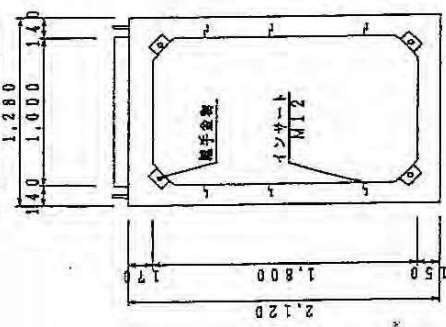
平面図



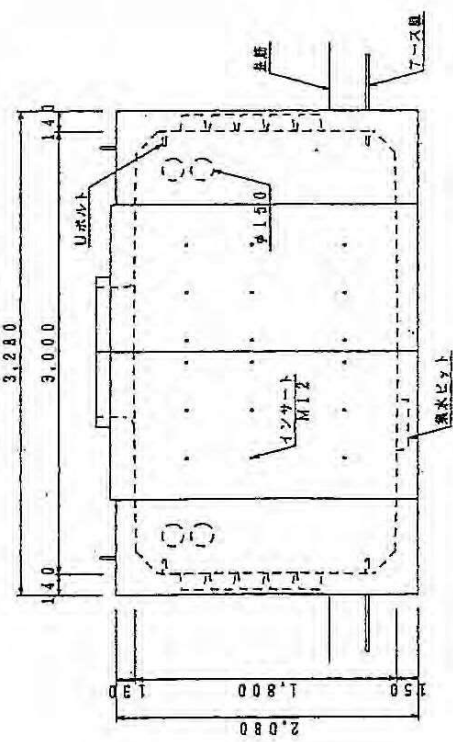
断面②-②



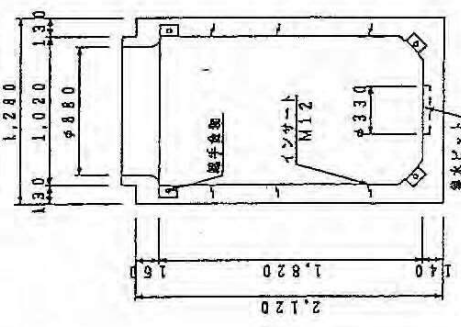
断面③-③



側面図 ①-①

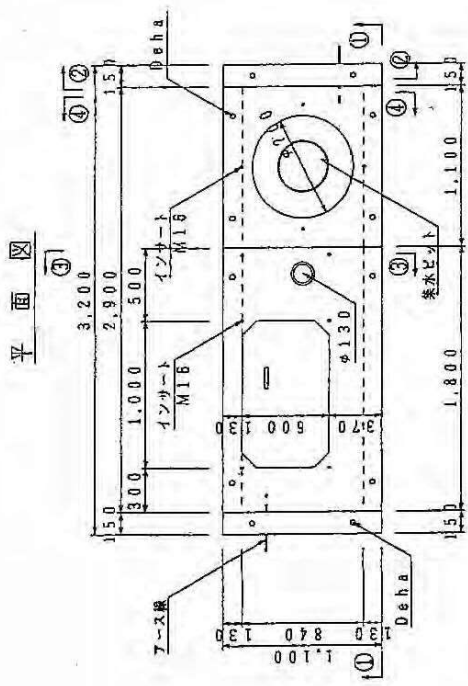


断面④-④

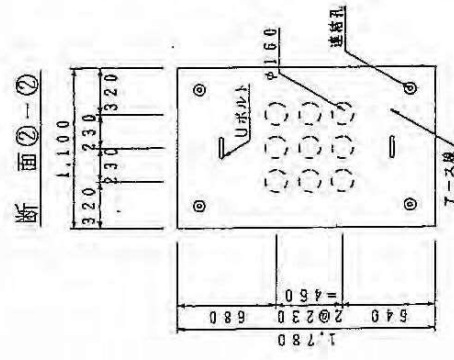


プレハブ基礎 S1 型

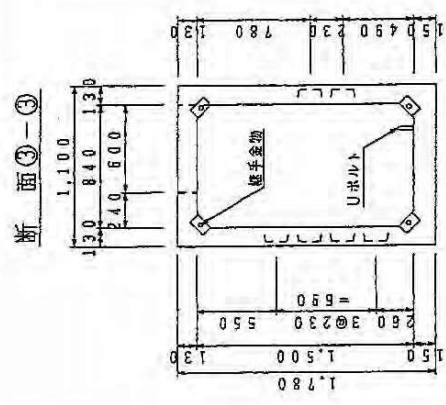
設計条件	
活荷重	245kN (P=50kN)
耐震係数	歩道: 1=0.1
土圧係数	k=0.5
土被り	0.30m
構造	鉄筋コンクリート箱形構造
(許容応力度)	
コンク	設計許容強度 $\sigma_{ti} = 3.0 \text{ N/mm}^2$
リート	曲げ圧縮応力度 $\sigma_{ci} = 1.1 \text{ N/mm}^2$
引張応力度	$\sigma_{ti} = 0.5 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	引張応力度 $\sigma_{si} = 18.0 \text{ N/mm}^2$



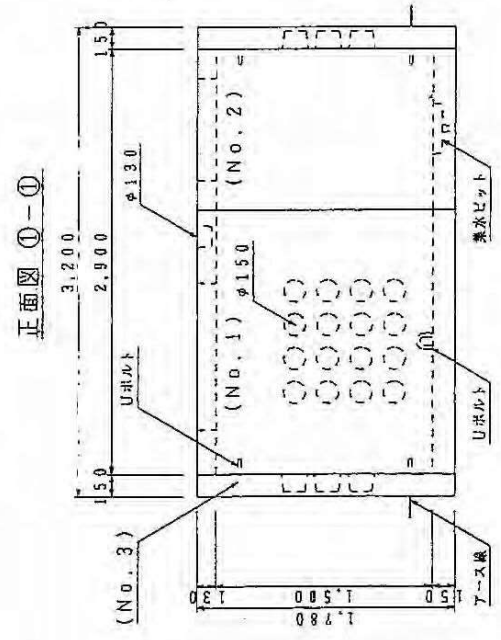
平面図



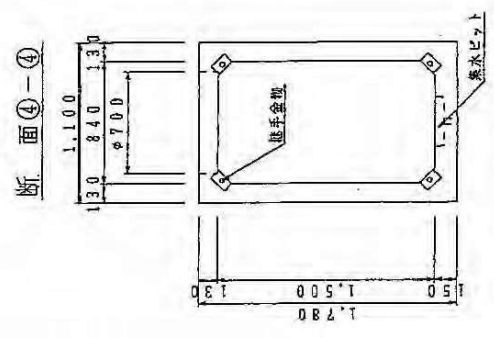
断面図②-②



断面図③-③



正面図①-①



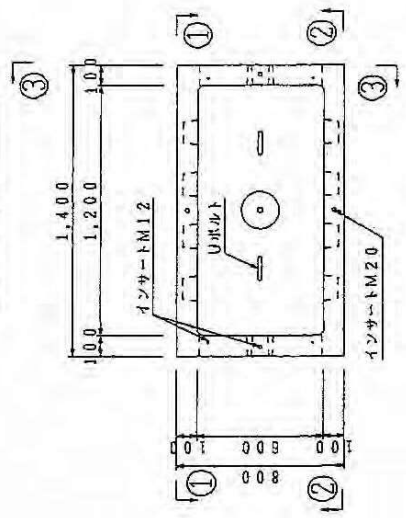
断面図④-④

⑧

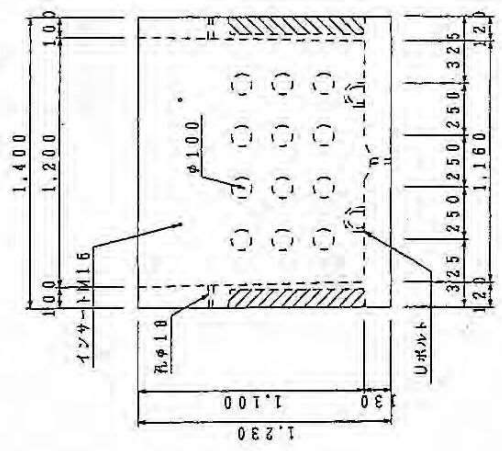
通信用ハンドホール (Type 14) 構造図

設計条件	
送電重量	24.5kW (P=50kW)
折減係数	乗運: 1=0.4
土圧係数	k=0.308
土質	0.15m
構造	鉄筋コンクリート型構造
(許容応力度)	
コンクリート設計強度	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
コンクリート引張強度	$\sigma_{ct}=11\text{N/mm}^2$
鉄筋引張強度	$\sigma_{sk}=180\text{N/mm}^2$

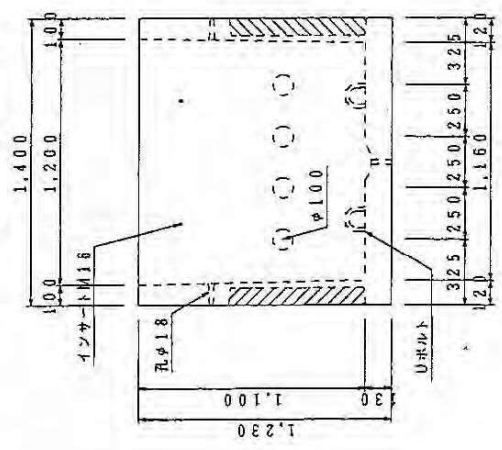
平面図



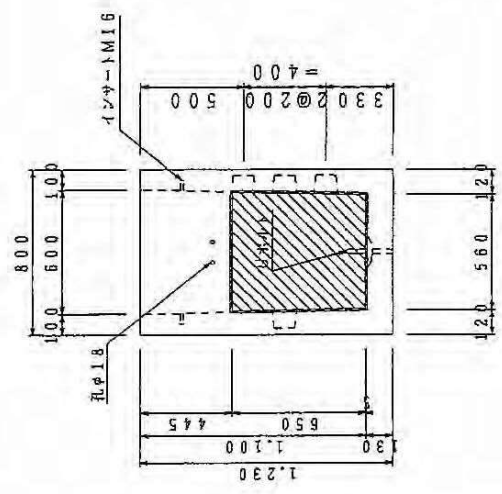
正面図 ①-①



正面図 ②-②



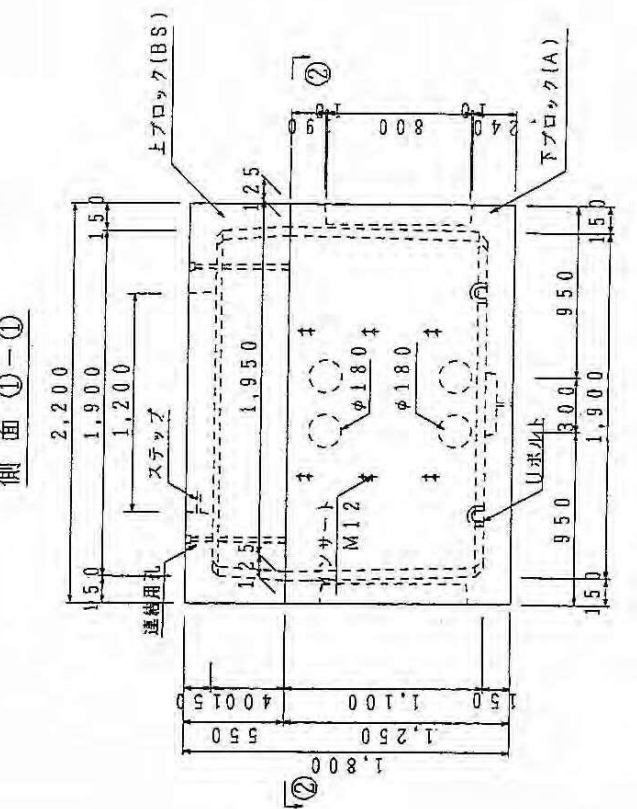
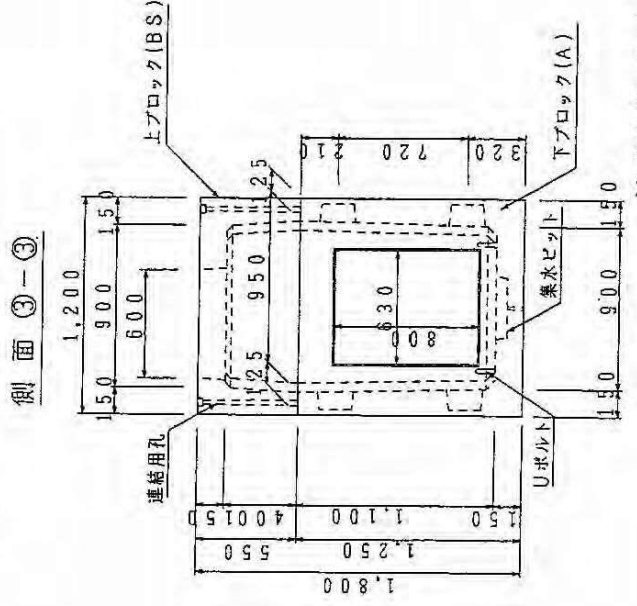
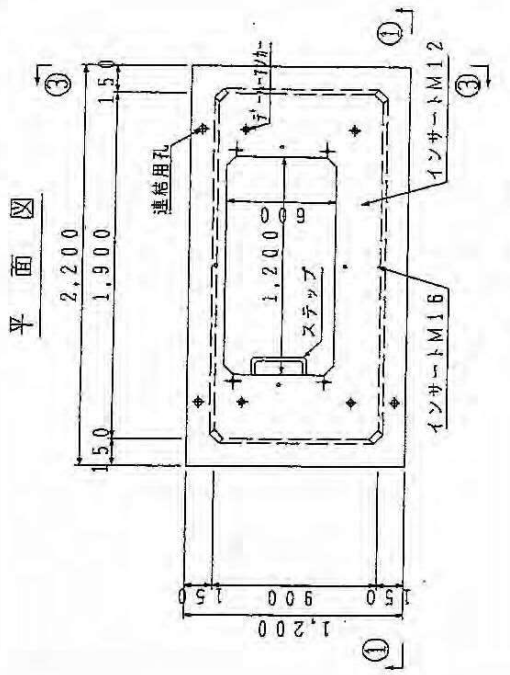
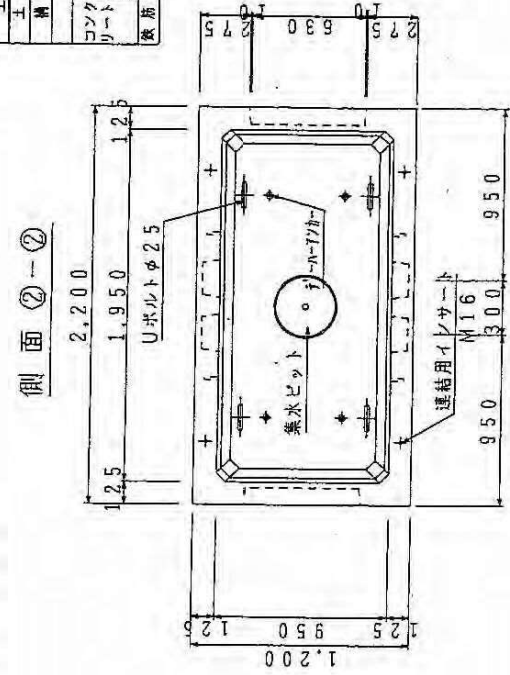
側面 ③-③





9) T 桁 (Type-4) 構造図

設計条件	
活荷重	245M (P=50M)
衝撃係数	歩道: $k=0.1$ , 車道: $k=0.4$
土圧係数	$k=0.50$
土質	
構造	(許容応力度)
コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
リート	曲げ圧縮応力度 $\sigma_{ct}=11\text{N/mm}^2$
	剪断応力度 $\tau_t=0.5\text{N/mm}^2$
鉄筋	引張応力度 $\sigma_{st}=180\text{N/mm}^2$



株式会社 日本ネットワークサポート

電カケーブル用

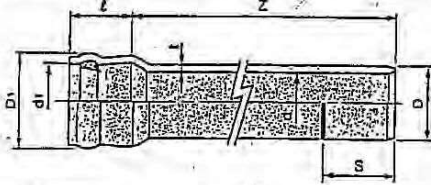
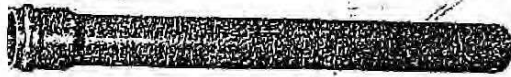
電共 MCEP-SVP管

SVP

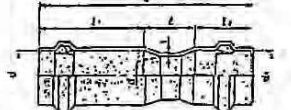
Super Impact Vinyl Pipe

耐熱・耐衝撃性硬質塩化ビニル管 SVP

RR直管

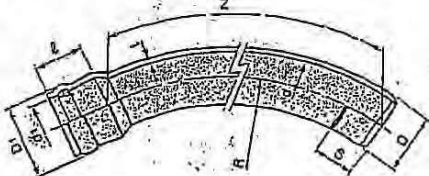


ヤリトリ継手

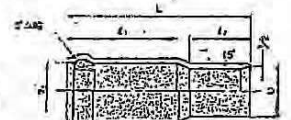


寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.5	3.5	4.5	6.0	7.5	9.0	10.5	12.0

RR曲管



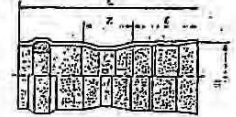
伸縮吸収継手



寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.5	3.5	4.5	6.0	7.5	9.0	10.5	12.0

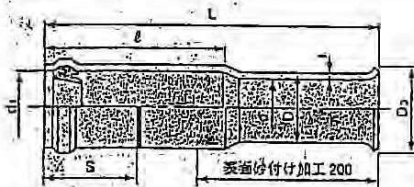
寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.5	3.5	4.5	6.0	7.5	9.0	10.5	12.0

鋼管用異種継手



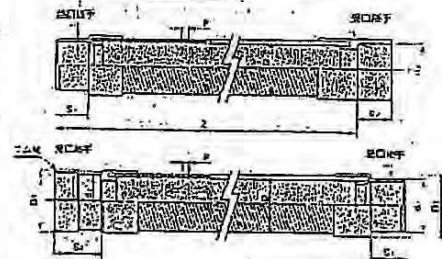
寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.5	3.5	4.5	6.0	7.5	9.0	10.5	12.0

ダクトスリーブ



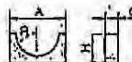
寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.5	3.5	4.5	6.0	7.5	9.0	10.5	12.0

EFVP



寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.5	3.5	4.5	6.0	7.5	9.0	10.5	12.0

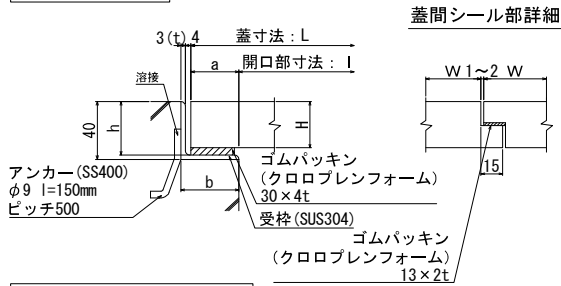
管台



寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.5	3.5	4.5	6.0	7.5	9.0	10.5	12.0

# 合成木材蓋：単板蓋タイプ

蓋型式：タイプI

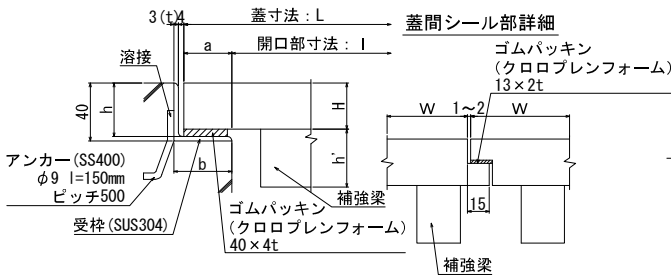


合成木製蓋（単板蓋タイプ）形式選定表

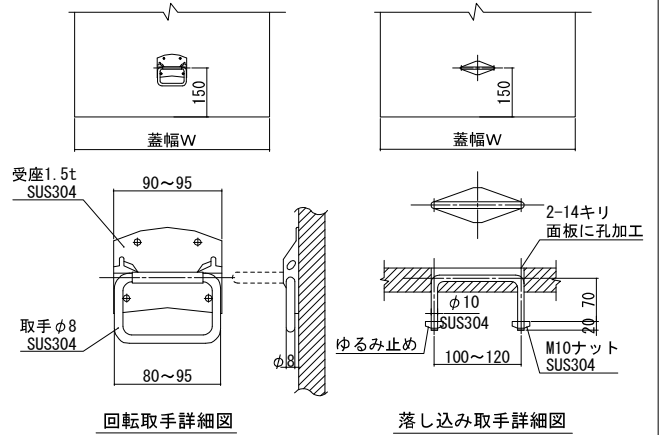
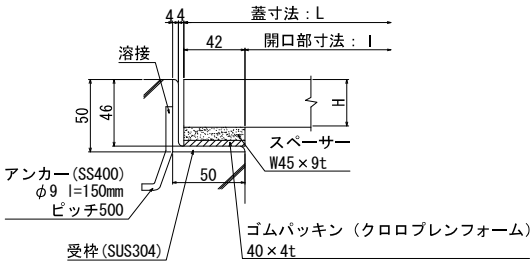
タイプ区分	蓋形式 (L×W×H)	開口部寸法 l (mm)	受枠寸法					参考蓋重量 (kg/m <sup>2</sup> )
			a	h	h'	b	t	
I	① ( ~1066) × 600 × 33.5	~1000	33	37	-	40	3	20
	② (1067~1266) × 600 × 33.5	1001~1200	33	37	-	40	3	22
II 補強梁付	③ (1267~1666) × 600 × 33.5	1201~1600	33	37	40	40	3	23
	④ (1667~2066) × 600 × 33.5	1601~2000	33	37	60	40	3	24

- 注 1) 受枠寸法のhにはパッキン厚を含む。  
 2) 蓋幅は、標準600mmとし、調整用は300~600mmとする。  
 3) 受枠がL50×50×4tの場合、蓋裏面にスペーサー(W45×9t)を接着して対応する。(参考図-1参照)  
 4) タイプ②については、補強梁付きも可能とする。(タイプI参照)

蓋型式：タイプII  
単板蓋（補強梁付きの場合）



参考図-1  
単板蓋（受枠50mmの場合）

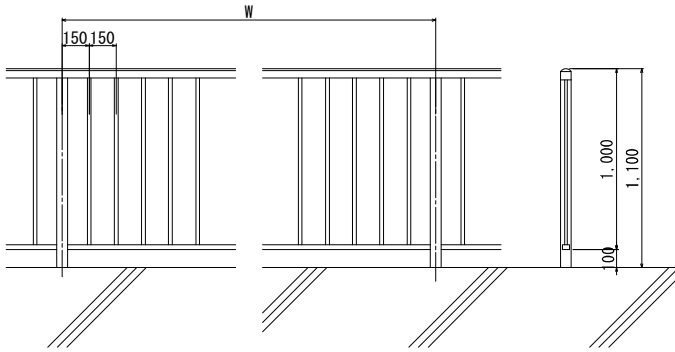


# 合成木材蓋 リスト

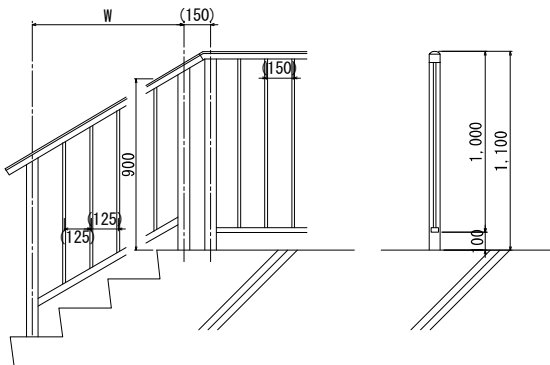
	F-1, F-3	F-2	F-4
開口寸法	1500 × 1500	2000 × 2500	1450 × 2550
蓋割付			

手すり：アルミニウム製（取合い）

アルミニウム製手すり（一般部）

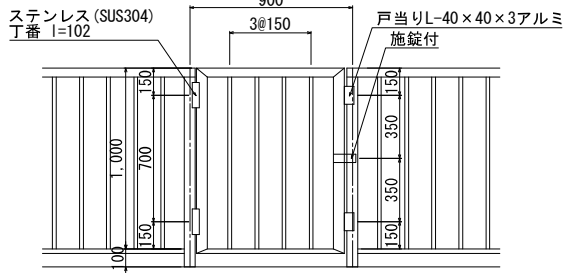


アルミニウム製手すり（階段部）



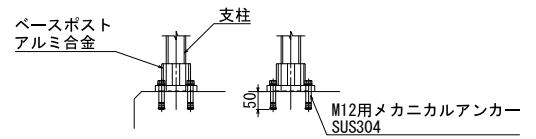
傾斜部と水平取合いは参考とする。

手すり用扉



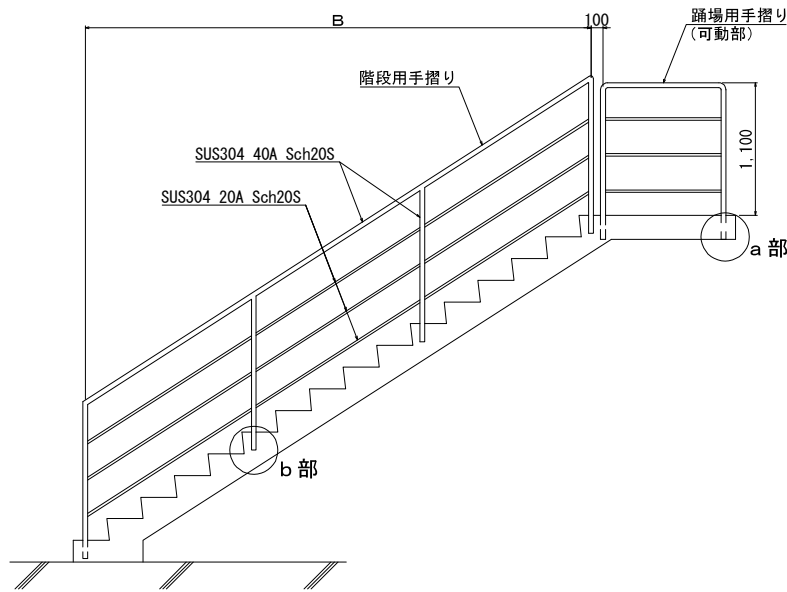
柱脚の定着方法

ベースポストタイプ

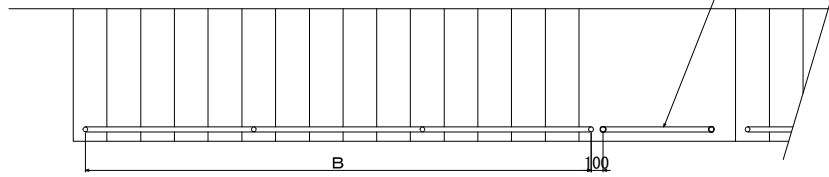


# 池内階段手摺り (SUS304)

断面図  
S=1:30

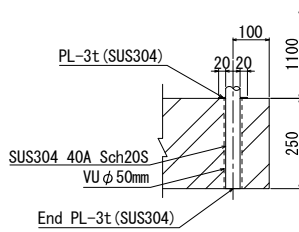


平面図  
S=1:30



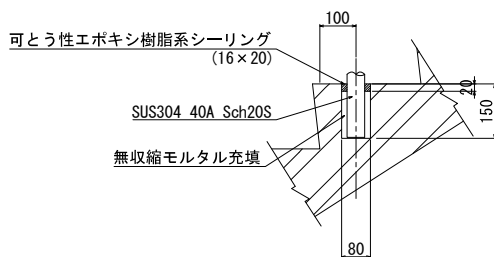
a部詳細図 (可動部)

S=1:10



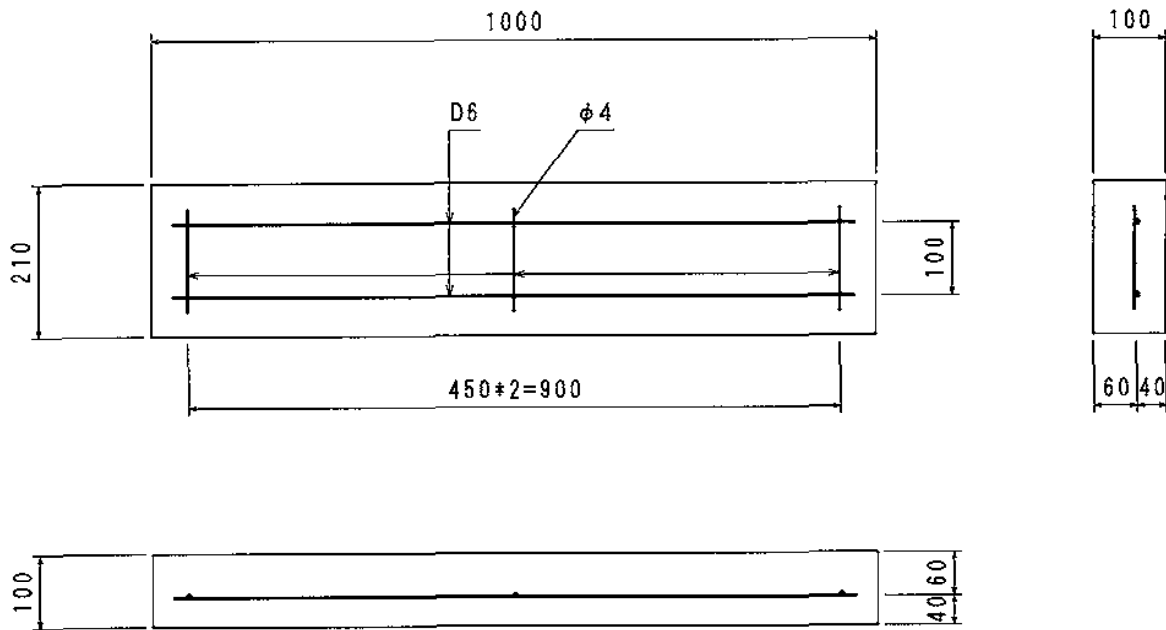
b部詳細図 (固定部)

S=1:10



- ・手摺りのスパンは2m未満とする。
- ・手摺りの支柱は $B < 4m$ のとき1本、 $B \geq 4m$ のときは2本とし、支柱間隔は均等割とする。

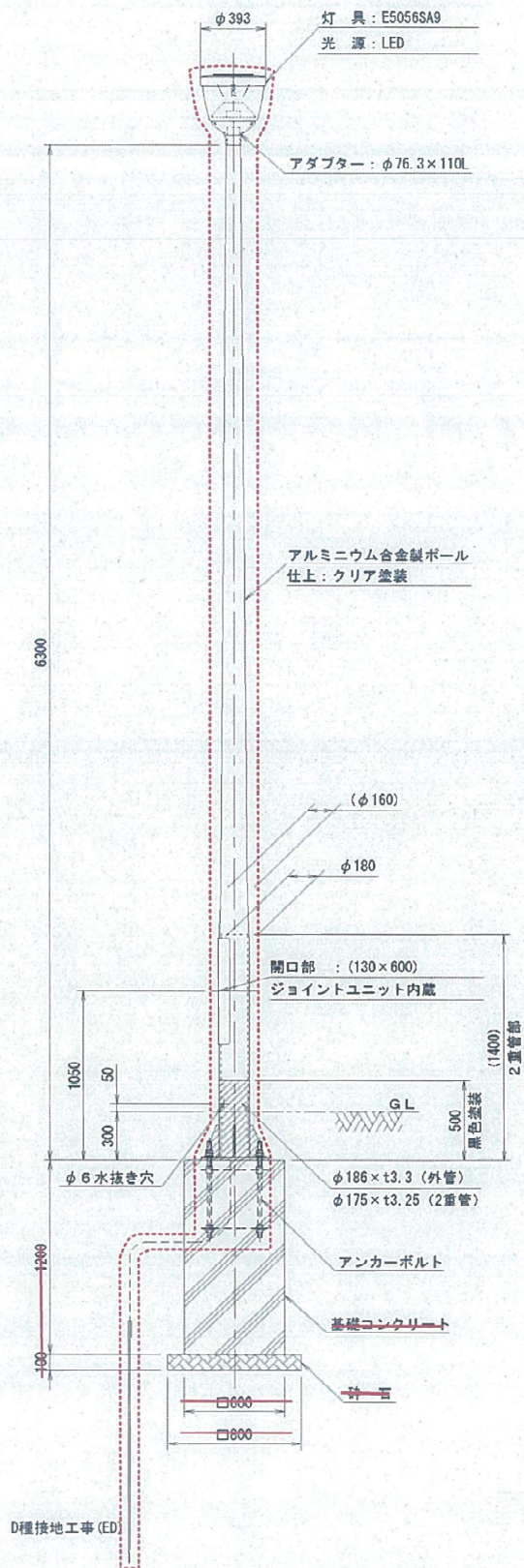
基礎ブロック 210\*1000\*100



参考重量	51	kg
縮尺	S=1/10	

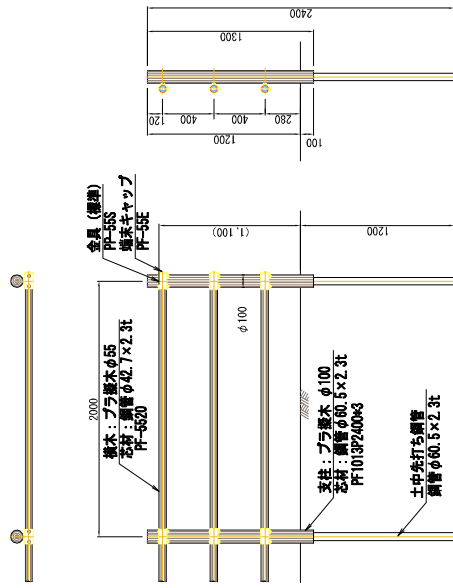
名称	基礎ブロック 210*1000*100	
----	---------------------	--

照明灯



# 取付里道 構造図

転落防止柵 S=1:20

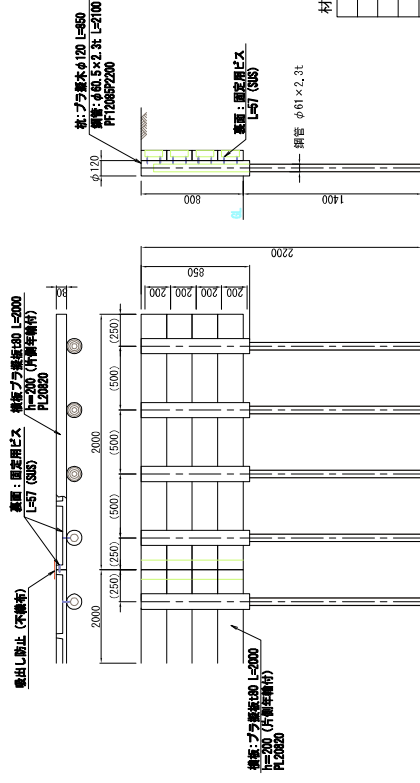


材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
転落防止柵	プラチ木φ100	本	10.00	土中用

土留め工 S=1:20

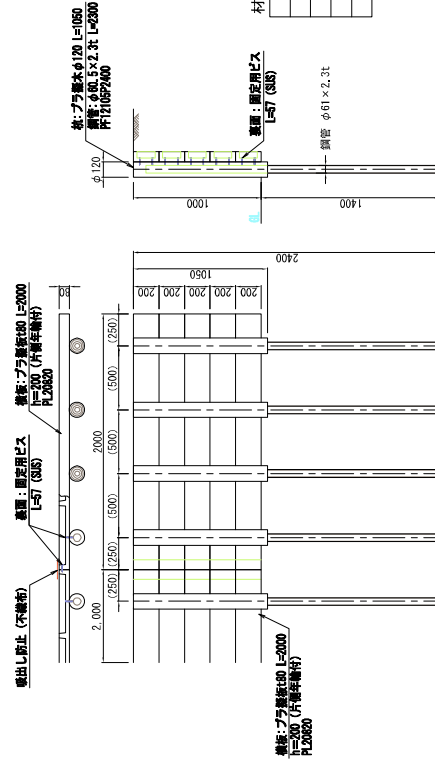
## 土留め工 (A)



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
横板	プラチ木φ120 L=2000	枚	20.00	
杭	プラチ木φ120 L=450	本	20.00	
鋼管	φ60.5 x 2.3t L=2100	本	20.00	

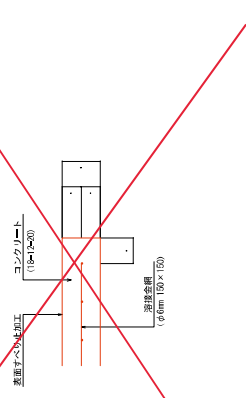
## 土留め工 (B)



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
横板	プラチ木φ120 L=2000	枚	20.00	
杭	プラチ木φ120 L=1050	本	20.00	
鋼管	φ60.5 x 2.3t L=2300	本	20.00	

コンクリート舗装構成図 S=1:10





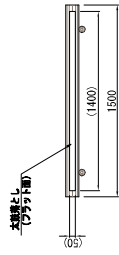
# 階段工構造図(6)

## 階段工(R)

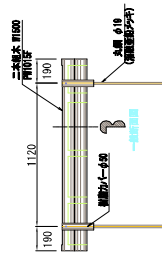
S=1:20

### 標準図

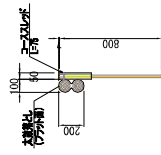
平面図



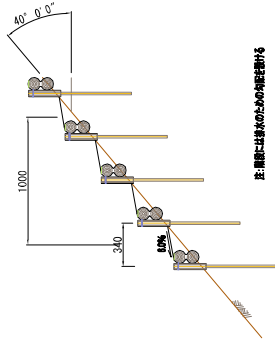
正面図



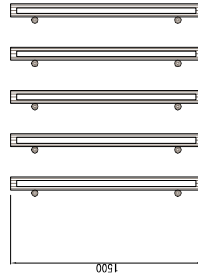
断面図



側面図

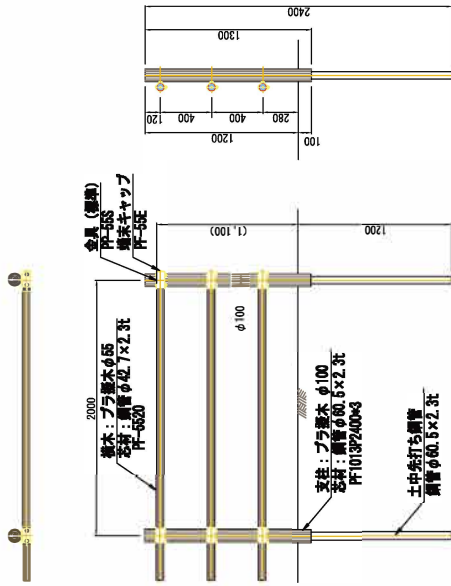


平面図



# 取付里道 構造図

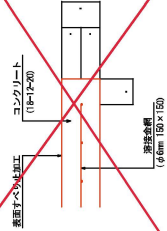
転落防止柵 S=1:20



材料表 10m当り

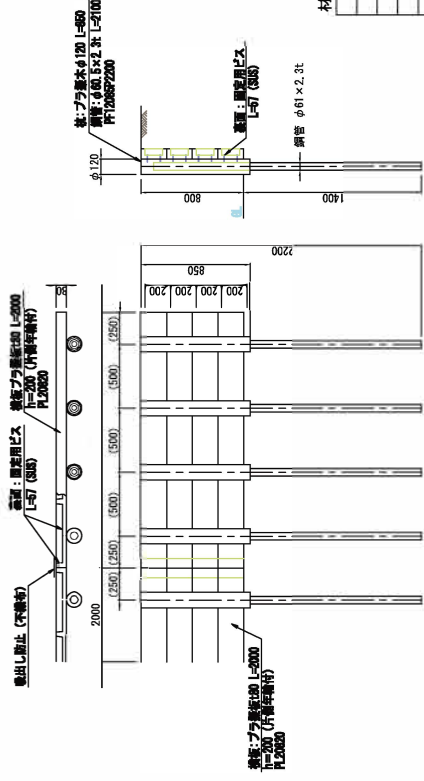
名称	規格	単位	数量	備考
転落防止柵	プラ製木H=1200	m	10.00	土中用

コンクリート舗装構成図 S=1:10



土留め工 S=1:20

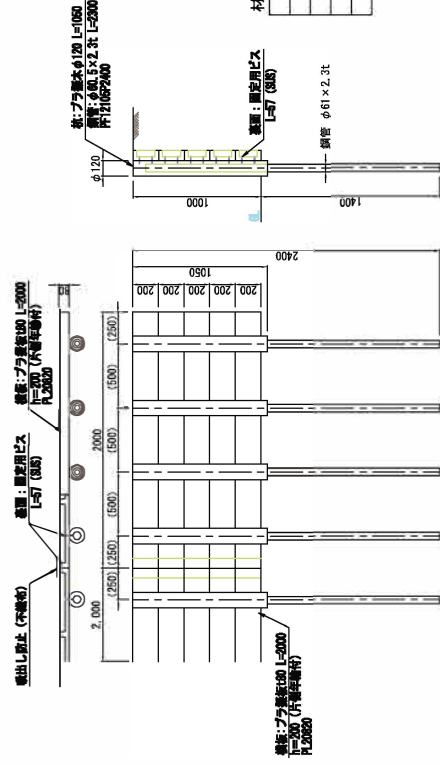
土留め工 (A)



材料表 10m当り

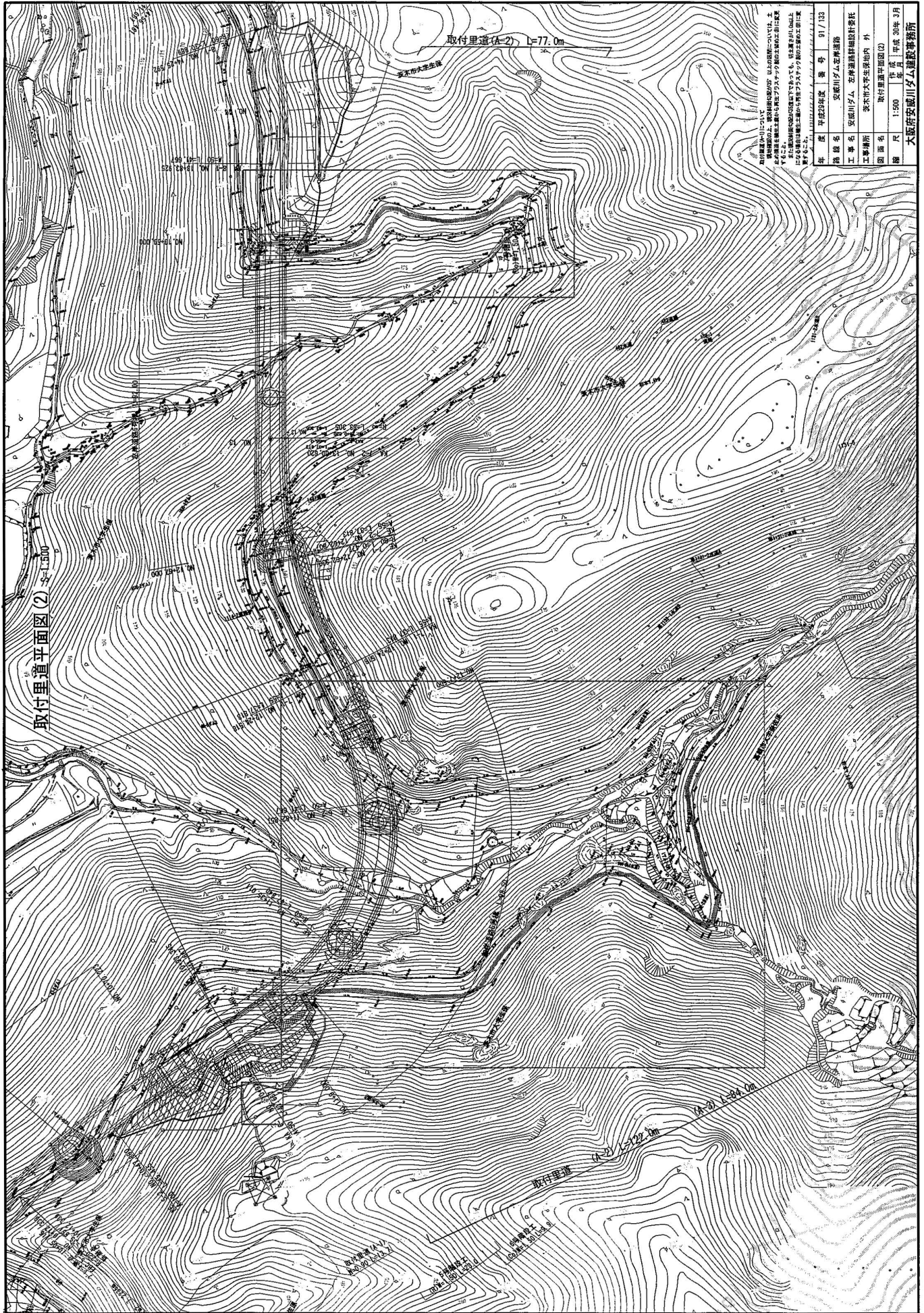
名称	規格	単位	数量	備考
横板	プラ製木φ120 L=450	枚	20.00	
杭	プラ製木φ120 L=450	本	20.00	
鋼管	φ60.5×2.3t L=2100	本	20.00	

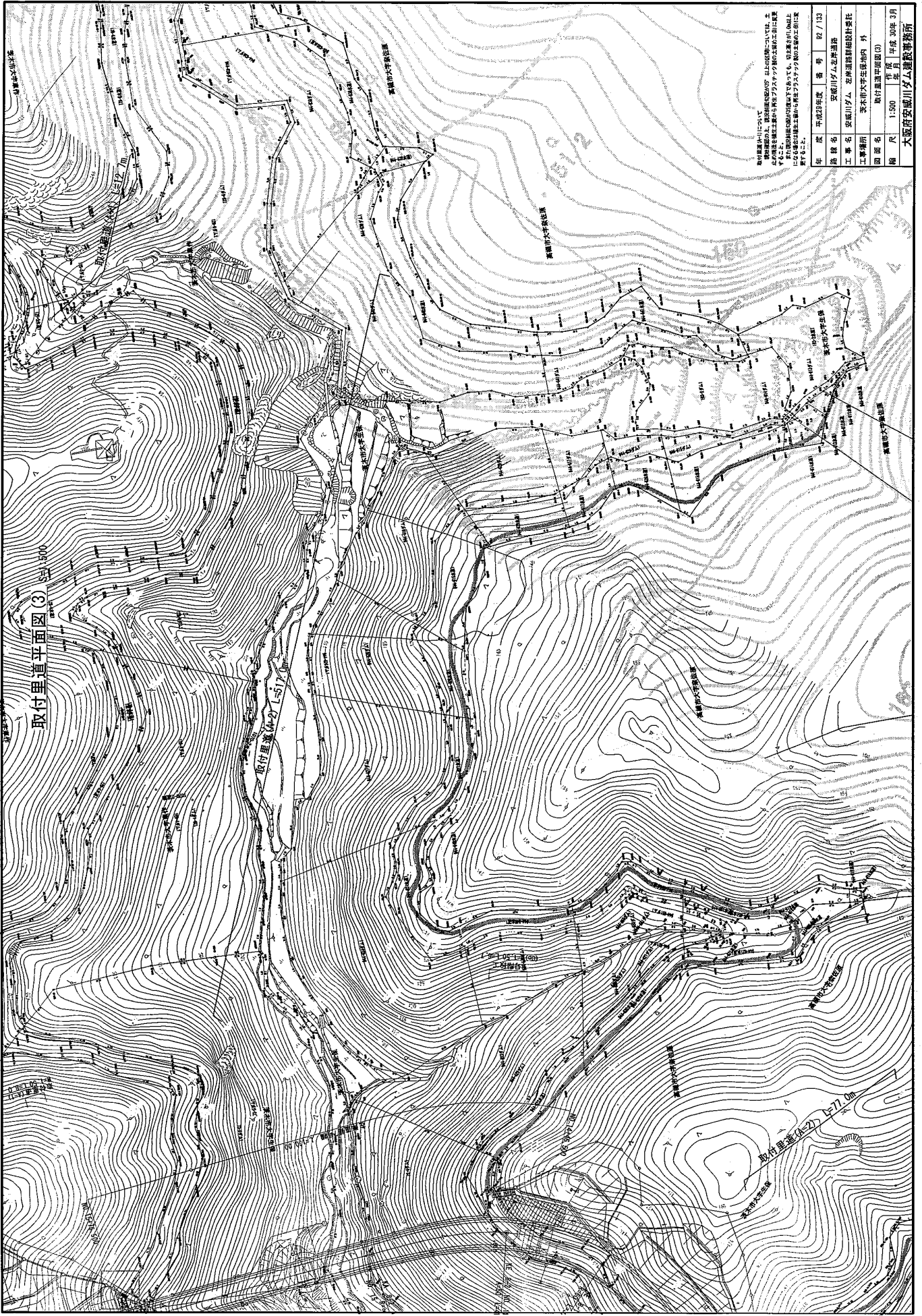
土留め工 (B)



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
横板	プラ製木φ120 L=1050	枚	20.00	
杭	プラ製木φ120 L=1050	本	20.00	
鋼管	φ60.5×2.3t L=2300	本	20.00	





取付里道に於いて  
 取付里道の中心線は、地形図の等高線に  
 垂直に引かれ、その中心線に  
 沿って道路の中心線が  
 定められる。この中心線  
 上の中心線に、道路の  
 幅員が定められる。

年度	平成20年度	番号	第 7 / 133
路線名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム左岸道路建設設計委託		
工事場所	茨城県水戸市五峰地区内 外		
図面名	取付里道平面図 (3)		
縮尺	1:500	作成	平成 20年 3月
大府町安威川ダム建設事務所			

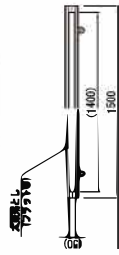
# 階段工構造図(6)

## 階段工(R)

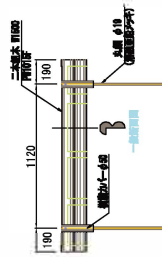
S=1:20

### 標準図

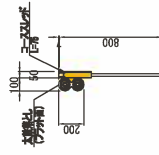
平面図



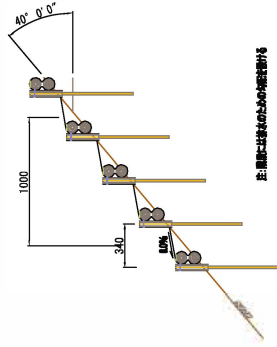
正面図



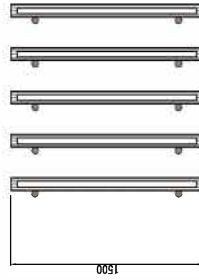
断面図



側面図



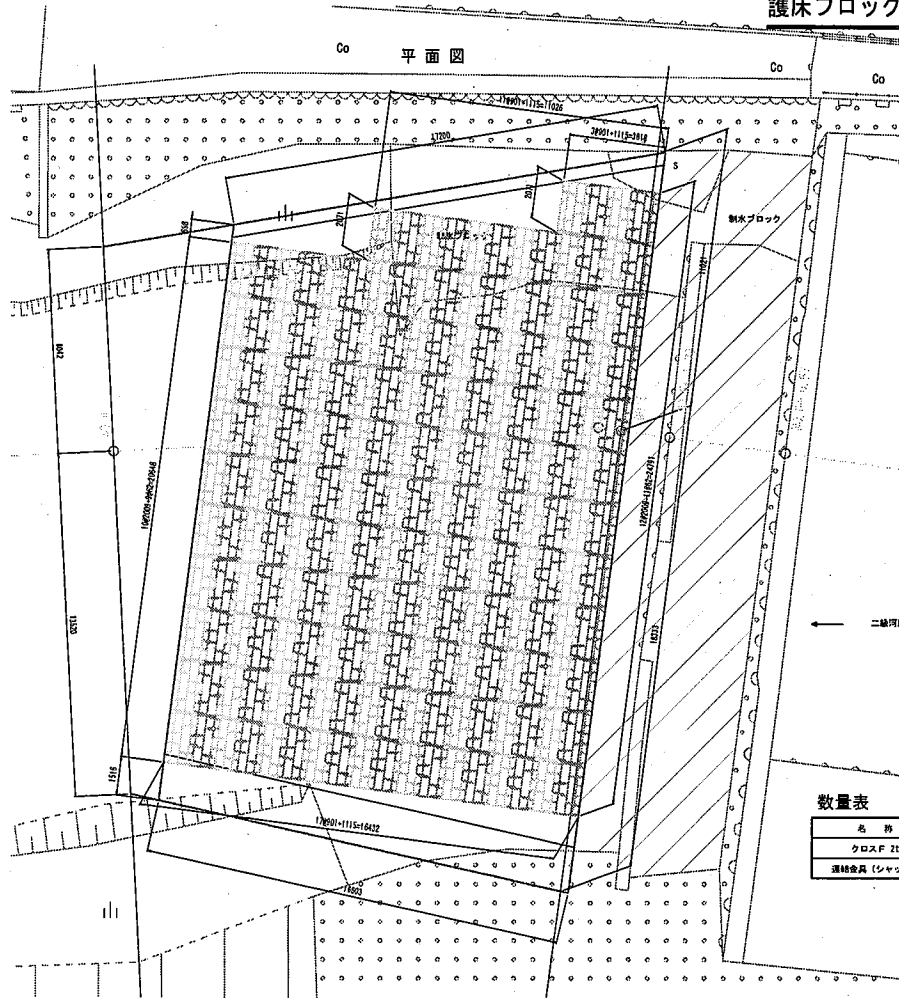
平面図



年度	平成28年度	番号	104 / 133
路線名	安福川ダム左岸道路		
工事名	安福川ダム左岸道路補修設計委託		
工事場所	茨城県大子町保地内 外		
図面名	階段工標準図(6)		
縮尺	1:20	作図	平成30年3月
大塚株式会社 大塚事務所			

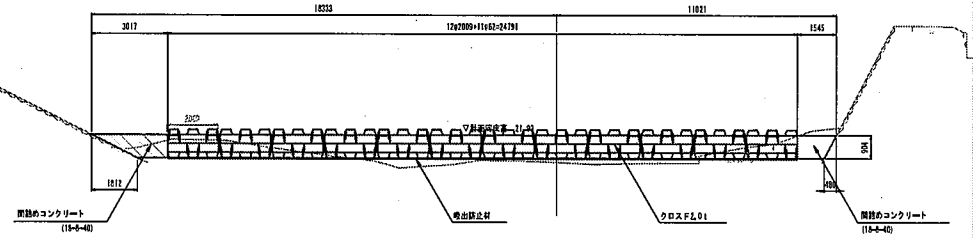
護床ブロック割付工構造図

S=1:100



横断面

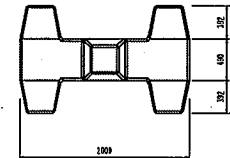
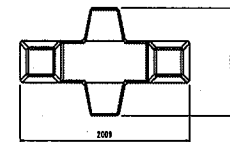
(NO.5)



製品詳細図

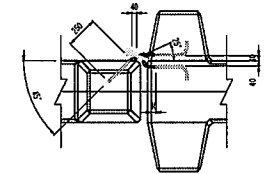
S=1:30

クロスF 2t



連結詳細図

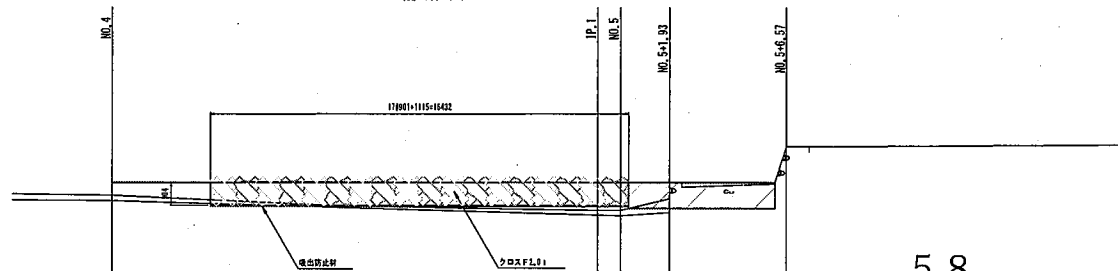
S=1:20



数量表

名称	単位	数量
クロスF 2t	個	196
連結金具 (シャックル)	個	178

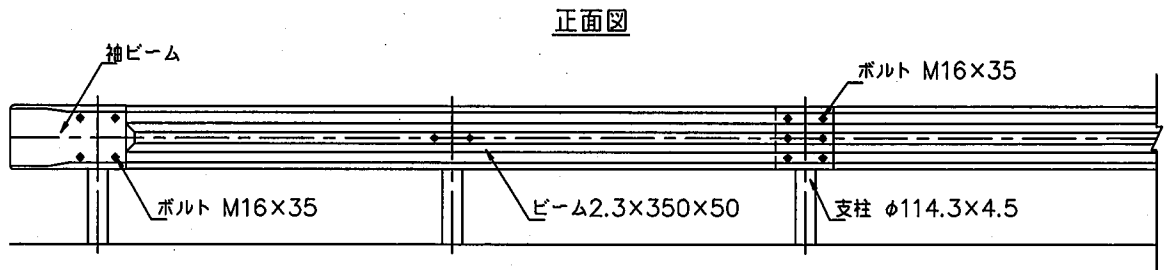
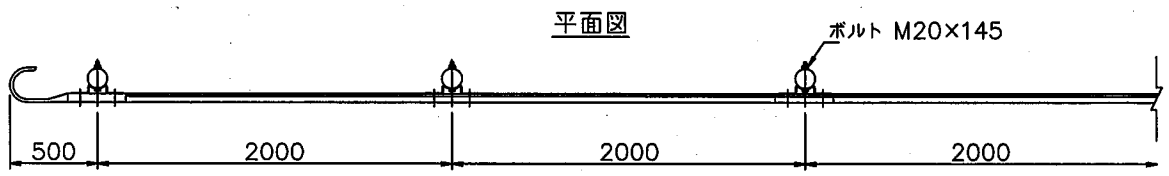
縦断面



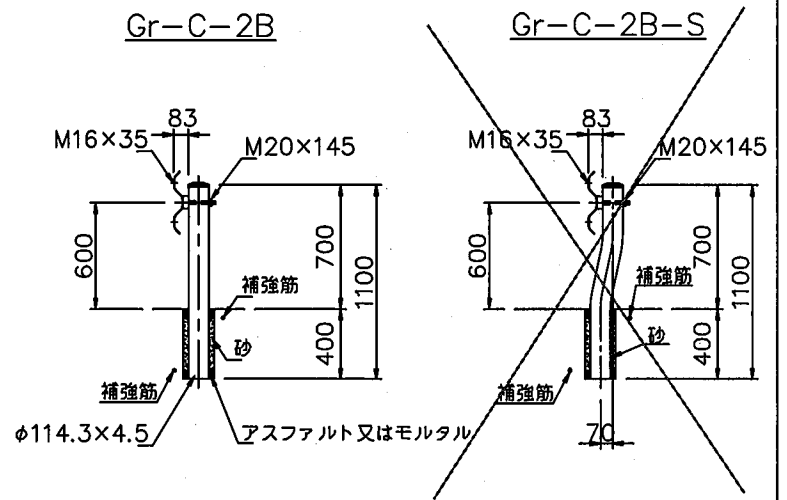
(参考図)

年度	令和元年	作成 年月	令和2年2月
河川名	[Redacted]		
委託名	[Redacted]		
履行場所	[Redacted]		
図面名	護床ブロック割付工構造図		
縮尺	1:100	冊数	3
大阪府農土木事務所			3

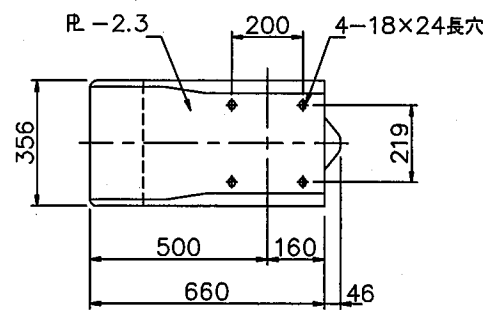
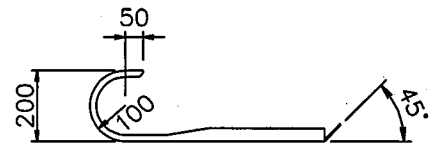
Gr-C-2B  
~~Gr-C-2B-S~~



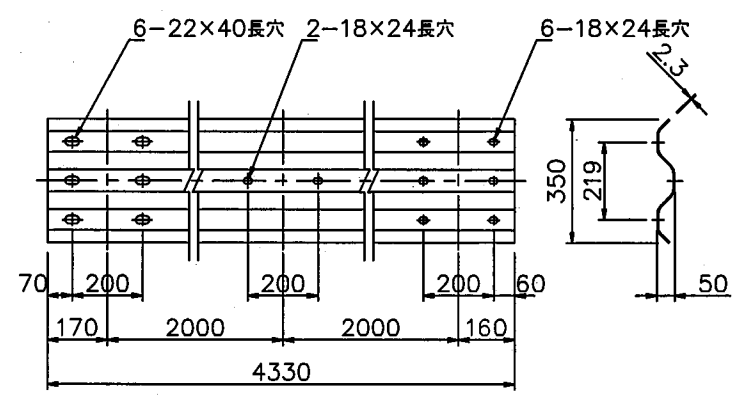
側面図



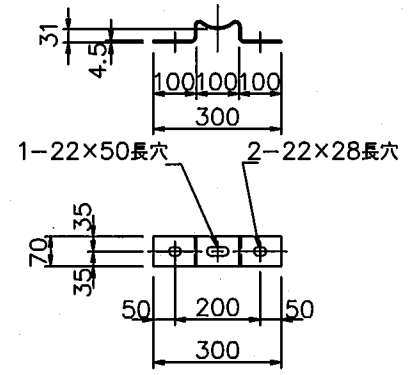
袖ビーム



ビーム

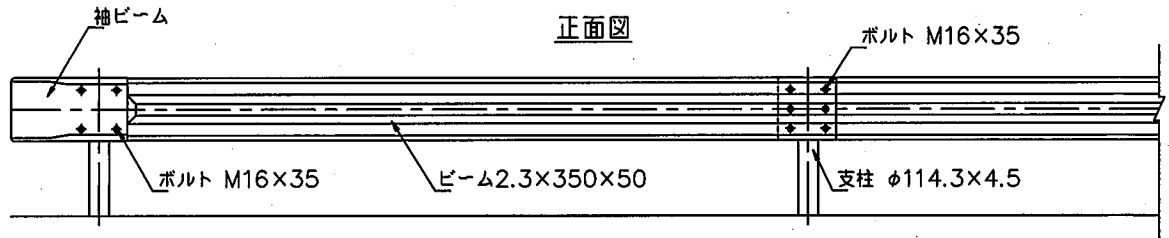
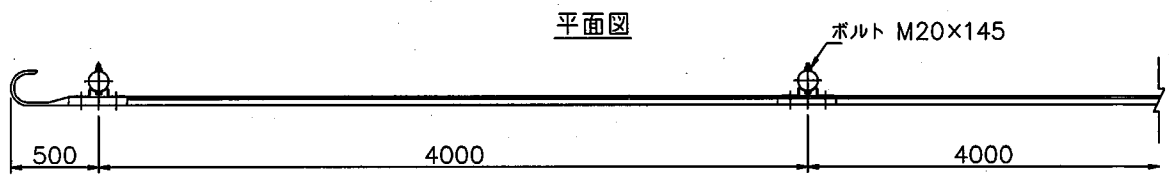


ブラケット

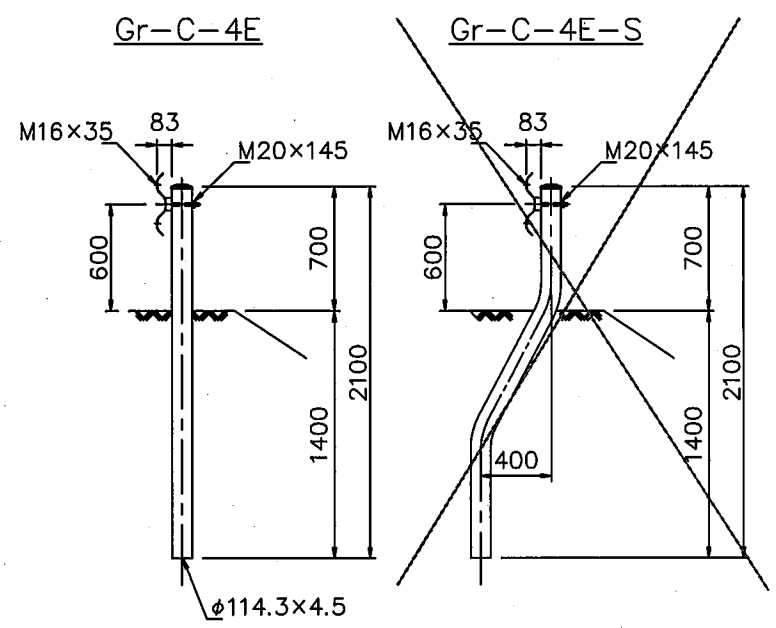


(注) 補強筋配置の詳細は別図-1に示す

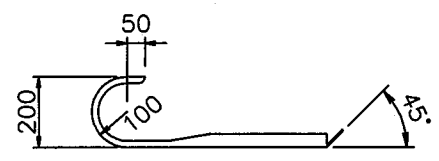
Gr-C-4E  
~~Gr-C-4E-S~~



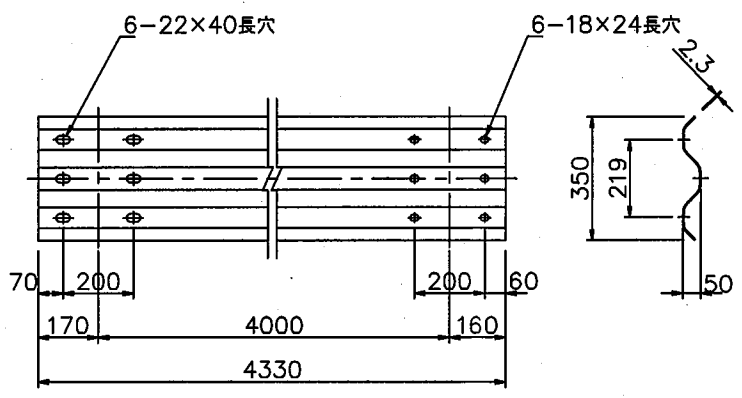
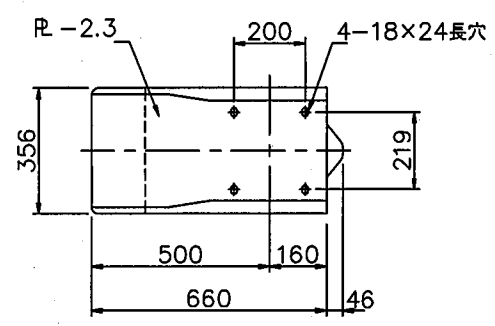
側面図



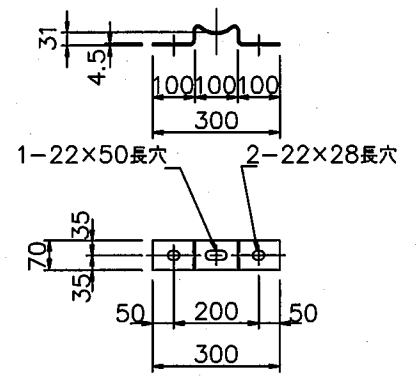
袖ビーム



ビーム



ブラケット



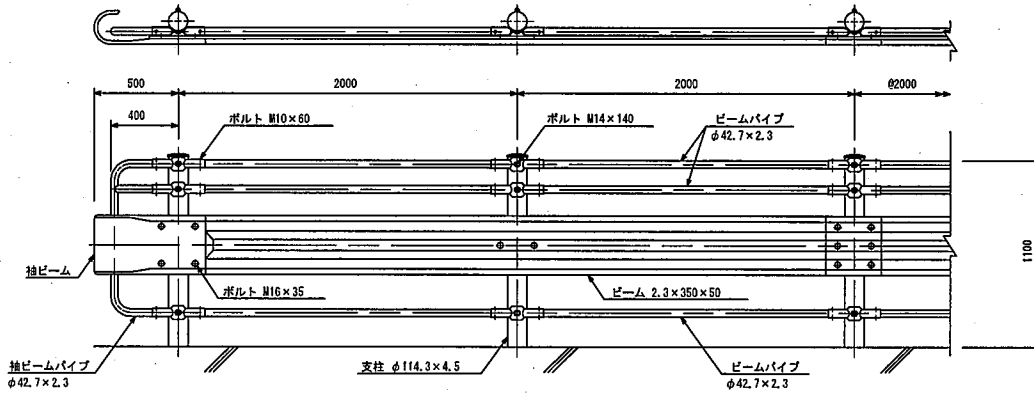


# ガードレール工構造図

(参考図) Gr (P) -C-2B/Gr (P) -C-4E

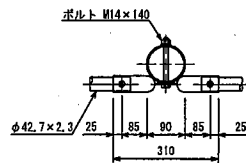
## ガードレール構造図

### 組立図

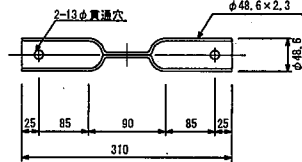


種類	埋込深さ (mm)
Gr (P) -C-2B (構造物用)	400
Gr (P) -C-4E (土中用)	1,400

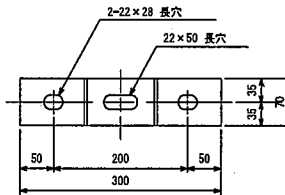
### ビームパイプ接合部



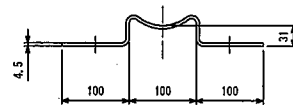
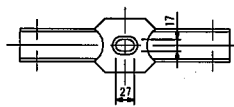
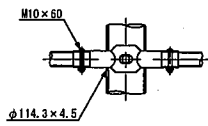
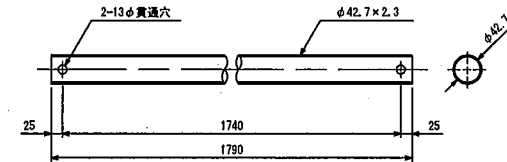
### セーフティブラケット



### ガードレールブラケット



### ビームパイプ



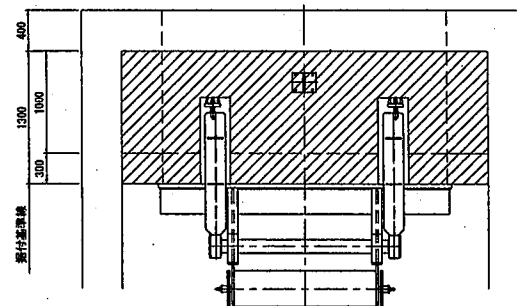
# ゲート一般図 (可動制限装置無)

S=1:25

平面図 S=1:25

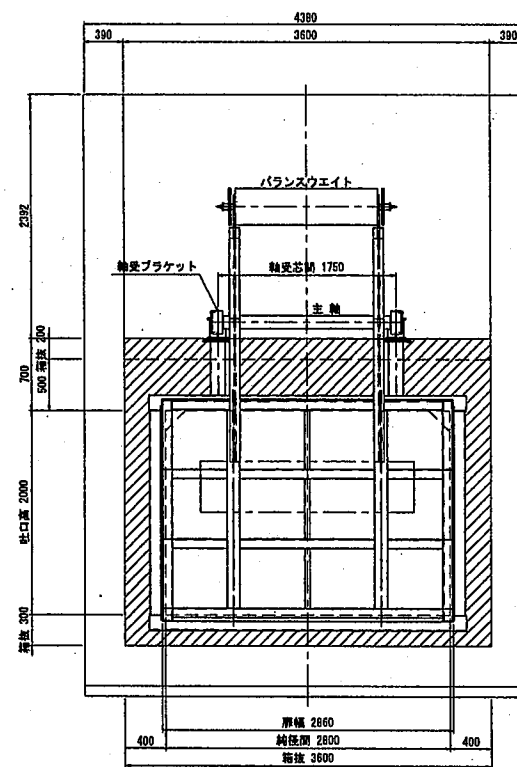
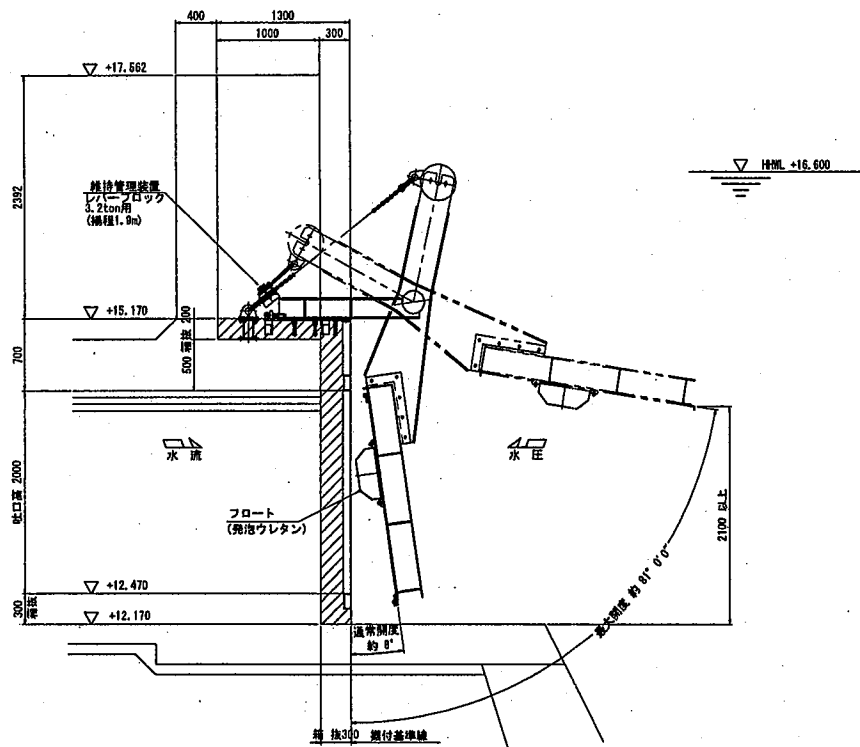
注記  
 ・斜線は2次コンクリートを示す。  
 ・斜線以外の材質は全てSUS304とする。

設計要項	
型式	ステンレス製オートゲート
鋼板厚×柱口高	2.80m × 2.00m
設置数	1門
設計水深	前面: 4.130m 後面: 0m
水密方式	後面4方ゴム水密
開閉方式	内外水位差による自動開閉
開閉角度	通常時開閉角度 約 8° 最大開閉角度 約 61°
備み度	1/600 以下
適用基準書	ダム・堰橋設技術基準(第)



側面図 S=1:25

正面図 S=1:25

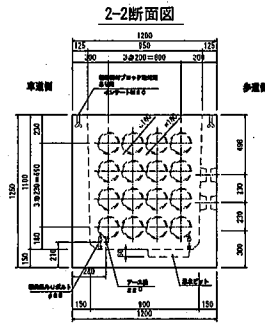
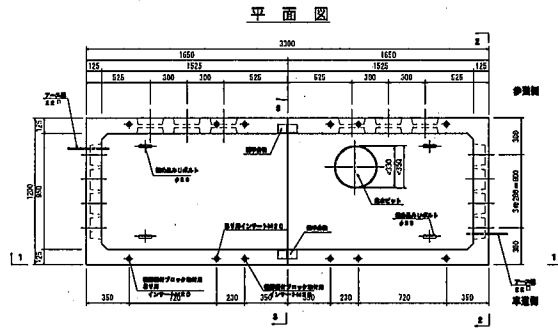


年度	令和元年度	図面番号	/
河川名			
工事名			
所属地名			
図面名	ゲート一般図		
縮尺	S=1:25	作成年月	令和 2年3月
大阪府富田土木事務所			

# E1柵構造図

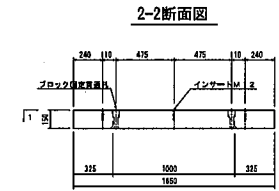
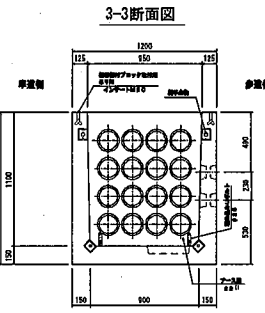
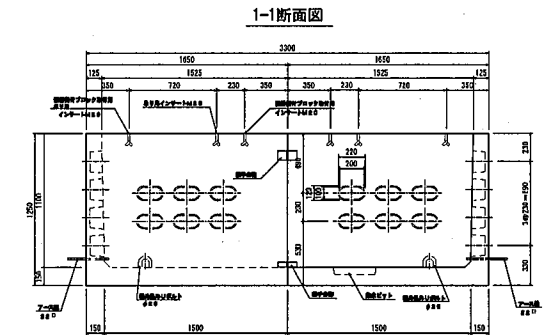
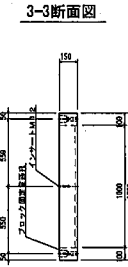
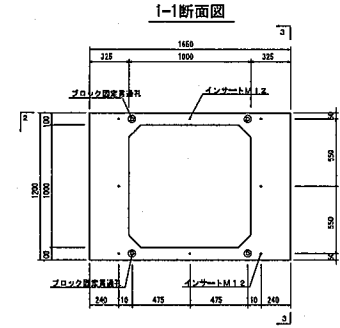
S=1:20

機器2連 (H900×H1100×L3000)

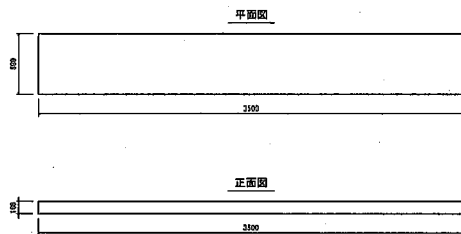


設計条件	
活荷重	2.45kN (P=50kN)
荷重係数	歩掛: $\gamma = 0.1$
支柱径	$k = 0.3 \phi$
構造	鉄筋コンクリートU形構造
(許容応力度)	
設計基準強度	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
コンクリート設計引張応力度	$\sigma_{ca} = 1.1 \text{ N/mm}^2$
鉄筋強度	$f_{sm} = 0.5 \text{ N/mm}^2$
鉄筋引張強度	$\sigma_{sa} = 180 \text{ N/mm}^2$

## 機器据付ブロック



## 基礎ブロック



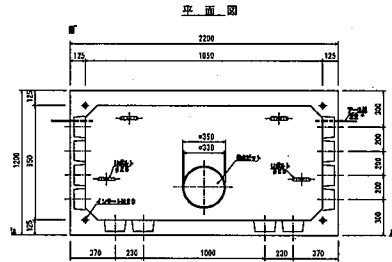
年度	令和2年度	作製	令和2年10月
姓名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
図面別	E1柵構造図		
縮尺	1/20	設計	監査
鳳土木事務所			24/15

# E2桝構造図

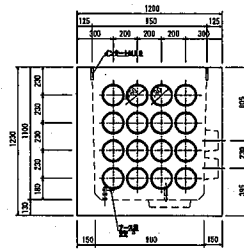
S=1:20

機器1通 (R900×H1100×L1100)

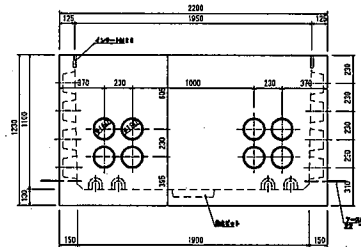
## 機器桝



断面 B-B

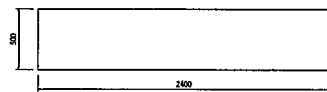


断面 A-A

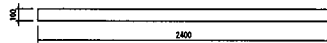


## 基礎ブロック

平面図

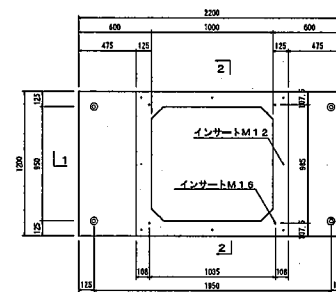


正面図

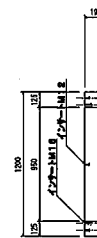


## 機器据付ブロック

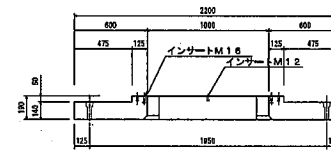
平面図



断面 2-2



断面 1-1



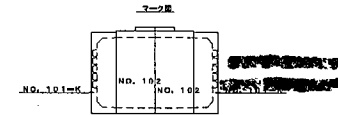
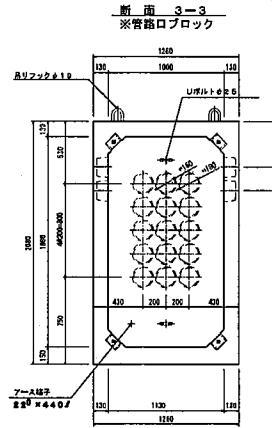
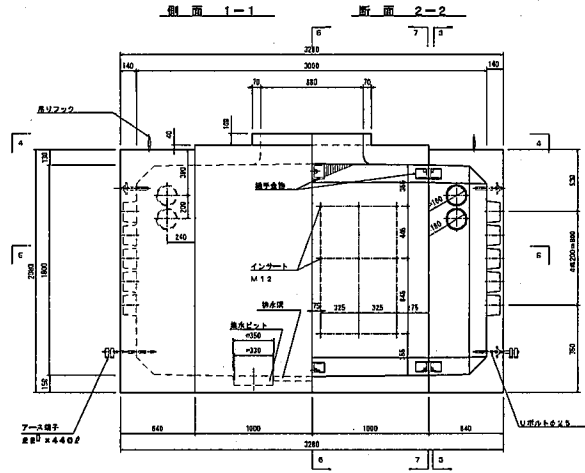
設計条件	
構造種別	非鉄筋コンクリート構造
設計基準	建築基準法 (P=8.0kN)
設計用積載	積載=0.5
材料	非鉄筋コンクリート (強度等級)
コンクリート	設計用強度 (f <sub>ck</sub> )=30.0N/mm <sup>2</sup>
設計用弾性係数	E <sub>c</sub> =3.0×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup>
設計用引張強度	f <sub>td</sub> =0.85N/mm <sup>2</sup>
設計用引張弾性係数	E <sub>s</sub> =2.0×10 <sup>5</sup> N/mm <sup>2</sup>

年度	令和2年度	作製	令和2年 10月
地名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
図面別	E2桝構造図		
縮尺	1/20	設計	量務
風土木事務所			24 / 75

# E3柵構造図

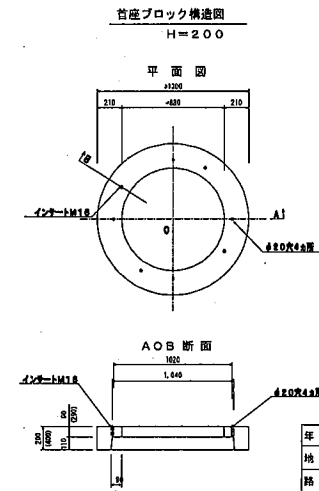
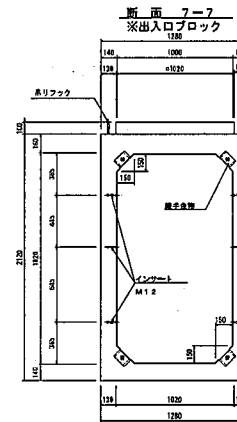
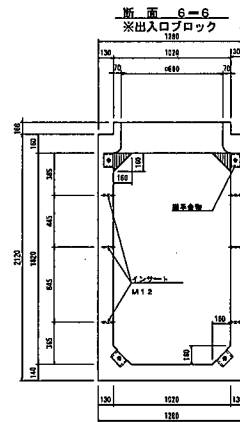
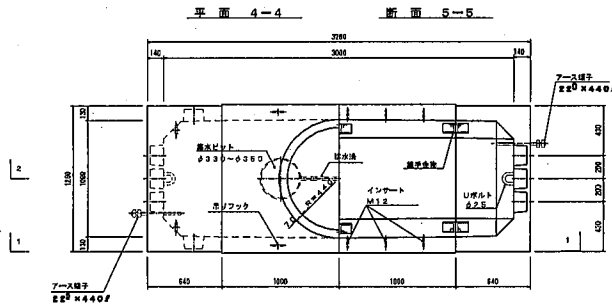
S=1:20

プレハブ人孔A5型(内1000×H1800×L3000)



設計条件	
床面積	2.61坪(25.94㎡)
標準高さ	標準(1)4.4歩高(1.6)
防止土圧係数	k=0.5
構造 (許容応力度)	
設計基準強度	f <sub>cm</sub> = 30N/mm <sup>2</sup>
コンクリート引張強度	f <sub>ctm</sub> = 1.1N/mm <sup>2</sup>
鋼材強度	f <sub>s</sub> = 0.55N/mm <sup>2</sup>
鉄筋引張強度	f <sub>sm</sub> = 1.65N/mm <sup>2</sup>

使用数量		
項目	数量	単位
管路口ブロック	2.04	NO. 1.0.1-K
人孔ブロック	2.19	NO. 1.0.2
人孔ブロック	2.19	NO. 1.0.2
人孔ブロック	2.19	NO. 1.0.2
管路口ブロック	2.04	NO. 1.0.1-K
合計	8.48	

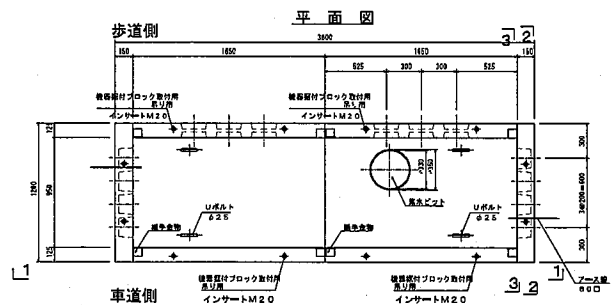


年度	令和3年度	発注	令和3年10月
地名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
図別	E3柵構造図		
縮尺	1:20	設計	番号
国土木事務所			24/75

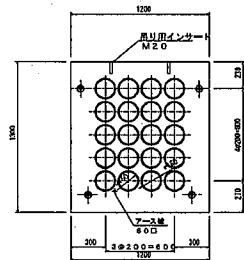
E4樹構造図

S=1:20

プレハブ基礎I型UタイプH1100-2通 (W900×H1100×L3300)



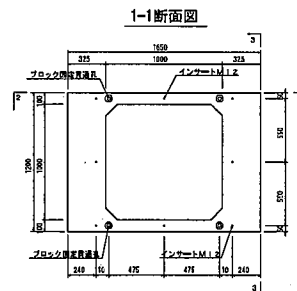
2-2断面図



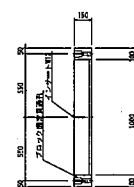
設計条件

底面形状	T=2.45 (P=6.0k)
管径係数	歩道: 1.0, 1
土圧係数	k=0.308
土質	軟弱コンクリートU型構造
許容応力度	
設計基準強度	$f_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
コンクリート設計圧縮応力度	$f_{cd} = 11 \text{ N/mm}^2$
鋼筋応力度	$f_{sd} = 0.55 \text{ N/mm}^2$
鉄筋引張応力度	$f_{tm} = 18.0 \text{ N/mm}^2$

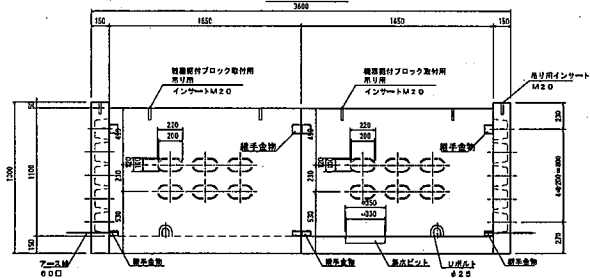
1型機器据付用ブロック1-100構造図



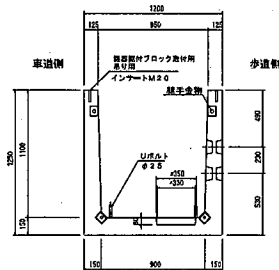
3-3断面図



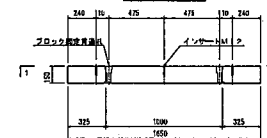
1-1断面図



3-3断面図



2-2断面図

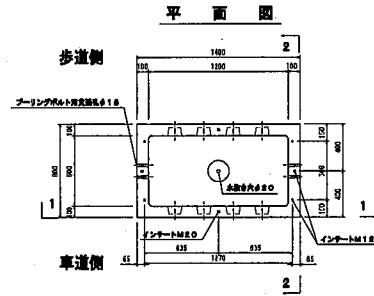


年度	令和2年度	世帯	令和2年10月
地名	[REDACTED]		
路線名	[REDACTED]		
工事名			
図面別	E4樹構造図		
縮尺	1:20	設計	番号
風土木事務所			24
			75

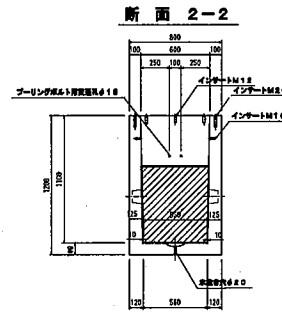
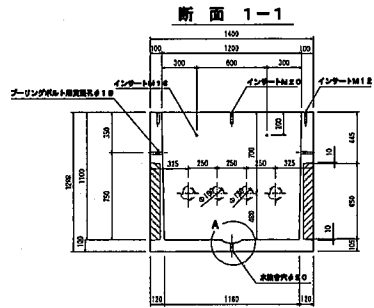
# 0樹構造図

S=1:20

(R200×H1100×L1200)



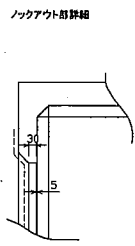
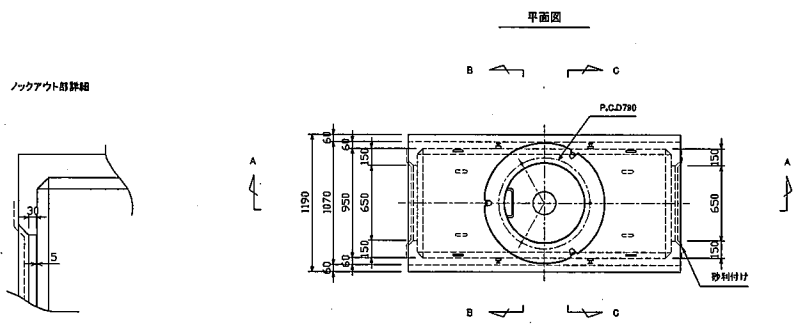
設計条件	
活荷重	2.4kN/m <sup>2</sup> (P=2.0kN)
地震係数	歩道: 1=0.1
土圧係数	k=0.3
構造	鉄筋コンクリート構造
材料強度	(単位: N/mm <sup>2</sup> )
コンクリート引張強度	$f_c k = 30$
コンクリート圧縮強度	$f_{c k} = 110$
鉄筋引張強度	$f_s = 510$
鉄筋引張強度	$f_{s k} = 235$



年度	令和4年度	年度	令和4年 10月
地名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	0樹構造図		
図面別	0樹構造図		
縮尺	1:20	設計	24/75
鳳土木事務所			

R柵構造図 S=1:20

( 950 × 2200 × 1500 )



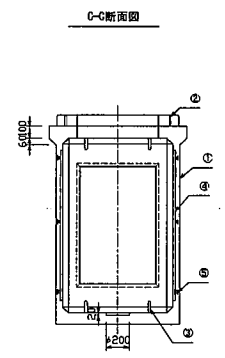
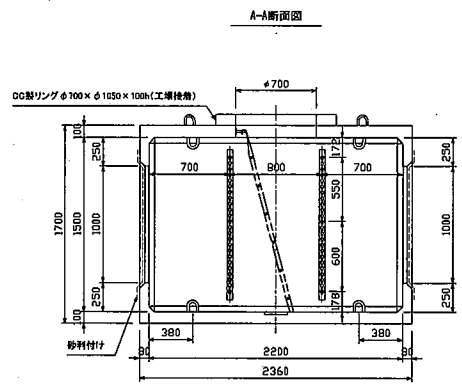
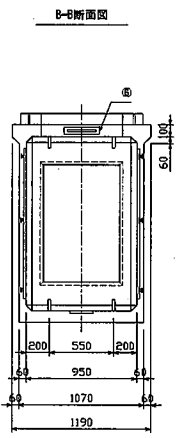
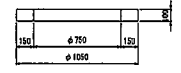
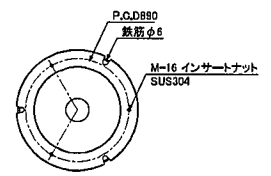
資 材 品

材料	名 称	数量	規 格	備 考
-	鋼脚用ナット	1	SS400亜鉛メッキ	

設計条件

設計荷重	活荷重	745kN (1棟 50kN)
	係 数	$\gamma = 0.1$
構 造 形 式	工場製品 レジコンクリート製柵型構造	
内 容 寸 法	950 × 2200 × 1500	
土の単位重量	$\gamma_s = 19.6kN/m^3$	
土 圧 係 数	$K_a = 0.5$	
使用材料	レジコンクリート	設計基準曲げ強度 $\sigma_{tk} = 18.0MPa$

セメント製築造ブロック

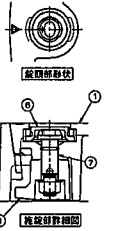
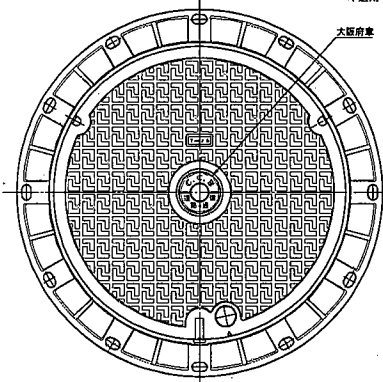


年 度	令和2年度	月 別	令和2年 9月
地 名	[Redacted]		
路 線 名	[Redacted]		
工 事 名	[Redacted]		
図 番 別	R柵構造図		
縮 尺	1:20	設計	13
風 土 木 事 務 所			75



# 鉄蓋構造図(1)

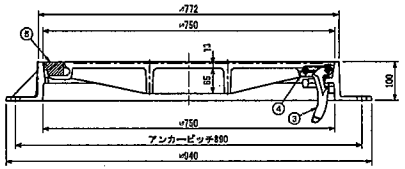
透橋柵蓋構造図  
歩道用 S=1/6



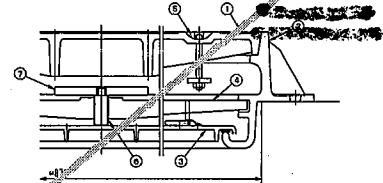
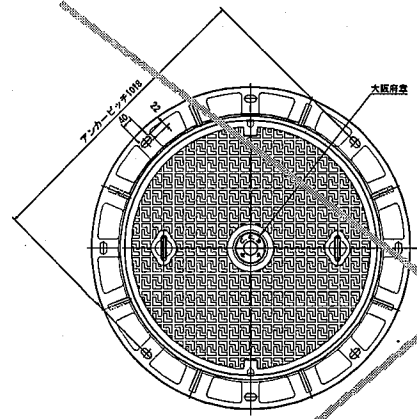
参考重量  
蓋: 68kg  
受枠: 50kg

8	回転錠	FCD800	1
7	ピン	ステンレス	1
6	キャップ	EPDM	1
5	ゴム垫	EPDM	1
4	緩衝押入	NBR	1
3	緩衝金物	FCD600	1
2	受枠	FCD600	1
1	蓋	FCD700	1

歩道用・T=2.5  
一輪荷重 1000N  
衝撃係数 0.4



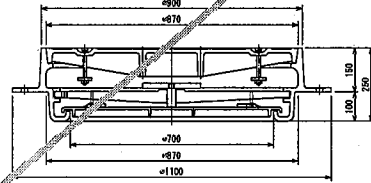
電力柵蓋構造図  
S=1/6



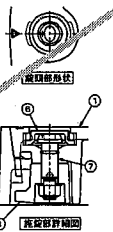
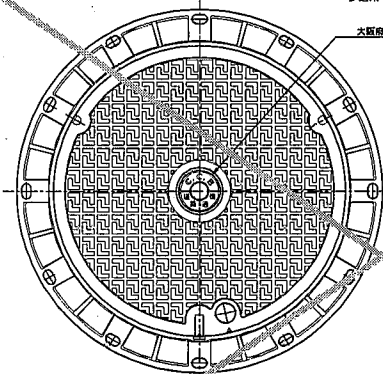
設計重量  
蓋: 110kg  
受枠: 158kg  
中置: 36kg

8	回転錠	FCD600	1
7	ピン	ステンレス	1
6	キャップ	EPDM	1
5	ゴム垫	EPDM	1
4	緩衝押入	NBR	1
3	緩衝金物	FCD600	1
2	受枠	FCD600	1
1	蓋	FCD700	1

歩道用・T=2.5  
一輪荷重 1000N  
衝撃係数 0.4



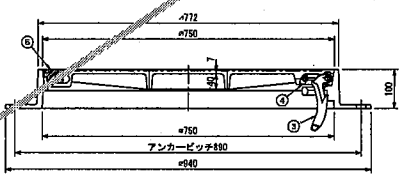
透橋柵蓋構造図  
歩道用 S=1/6



参考重量  
蓋: 44kg  
受枠: 50kg

8	回転錠	FCD800	1
7	ピン	ステンレス	1
6	キャップ	EPDM	1
5	ゴム垫	EPDM	1
4	緩衝押入	NBR	1
3	緩衝金物	FCD600	1
2	受枠	FCD600	1
1	蓋	FCD700	1

歩道用・T=2.5  
一輪荷重 500N  
衝撃係数 0.1

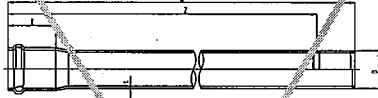


年度	令和2年度	年 月	令和2年 9月
地名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
図別	鉄蓋構造図(1)		
縮尺	図示	設計	番号
鳳土木事務所			12/75

# 管路材詳細図(1)

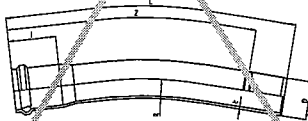
VP(フリーアクセス)・ボディ管・EGVP

## 共用FA管 (VP管 直管)



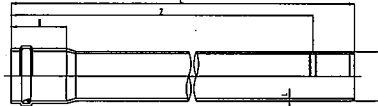
呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	Z	L	
150	223	165	6.9	1,300	5,165

## 共用FA管 (VP管 曲管)



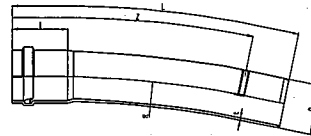
呼び径	長さ	外径	厚さ	曲率半径	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	R	Z	L	
150	225	165	6.9	5,000	1,600	1,165

## ボディ管 (VP管 直管)



呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	Z	L	
200	250	216	10.2	2,500	2,600
250	270	247	12.7	2,500	2,710

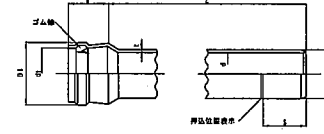
## ボディ管 (VP管 曲管)



呼び径	長さ	外径	厚さ	曲率半径	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	R	Z	L	
200	250	216	10.2	5,000	1,900	1,160
250	270	247	12.7	10,000	1,900	1,210

## ゴム輪受口片受直管 (EGVP)

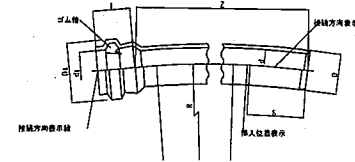
φ100・φ125はVPと寸法が異なるため本図を共用とする。



呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	Z	L	
75	85.0	55.2	125.7	77	95.1
100	114.0	74.4	155.0	100	115.5
125	142.5	93.5	184.4	125	144.2
150	171.5	112.6	213.7	150	173.2

## ゴム輪受口片受曲管 (EGVP)

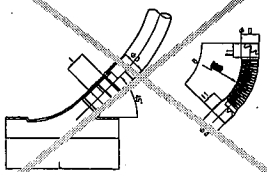
φ100・φ125はVPと寸法が異なるため本図を共用とする。



呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
標準寸	D	t (標準寸)	Z	L	
75	85.0	55.2	125.7	77	95.1
100	114.0	74.4	155.0	100	115.5
125	142.5	93.5	184.4	125	144.2
150	171.5	112.6	213.7	150	173.2

注：行種別は、製造メーカーの選定により異なる。

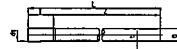
## 共用FA分岐管



## 引込分散継手



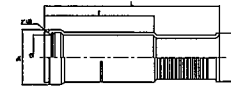
## さや管 (SU管 直管)



呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
標準寸	D	t	Z	L	
20	34.6	24	2.9	5,000	5,110
50	54.4	44	2.9	5,000	5,110

## ダクトスリーブ (EGVP)

φ100・φ125はVPと寸法が異なるため本図を共用とする。



呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
標準寸	D	t	Z	L	
100	117.0	145.2	232.8	21	450.0
125	147.0	175.2	262.8	21	480.0

注：製造メーカーの選定により異なる。

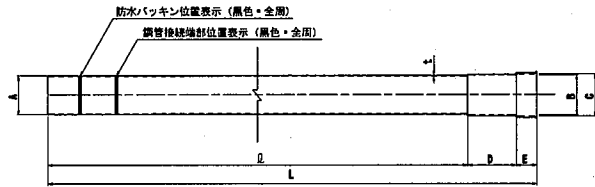
呼び径	本線側				分岐側				
	1 (標準寸)	2 (標準寸)	3 (標準寸)	4 (標準寸)	5 (標準寸)	6 (標準寸)	7 (標準寸)	8 (標準寸)	
150×50	60	15	5.0	410	45°	300	66.8	60	63
150×75	66	15	5.5	418	45°	300	66.8	66	75

年 度	令和2年度	作 業 月	令和2年 9月
地 名	[Redacted]		
路 線 名	[Redacted]		
工 事 名	[Redacted]		
図 書 名	管路材詳細図(1)		
種 別	概 算	設 計	量 算
縮 尺	1/50	1/50	1/50
製 図 者	風 土 木 事 務 所		

## 管路材詳細図(2)

KGP - PV

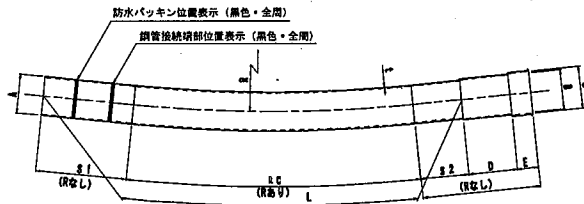
ケーブル保護鋼管直管 (KGP)



寸法 呼び径	管の外径		継合部			管の厚さ		管の長さ L	全長	重量 kg/m	標準重量 (60ヶ所)
	A	B	C	D	E	t	R				
80	89.1	91.2	94.0	160	76	3.0	9500	3725	600	7.4	
100	114.3	116.4	123.4	160	76			3725	550	8.8	
125	139.8	142.0	152.0	175	76			3750	600	10.8	

単位: mm

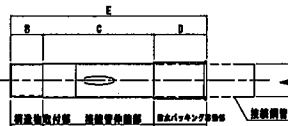
ケーブル保護鋼管曲管 (KGP)



寸法 呼び径	管の外径		継合部			管の厚さ		管の長さ L	全長	重量 kg/m	標準重量 (60ヶ所)
	A	B	C	D	E	t	R				
80	89.1	91.2	94.0	160	76	3.0	925	175	6000	1600	7.4
100	114.3	116.4	123.4	160	76						8.8
125	139.8	142.0	152.0	175	76						10.8

単位: mm

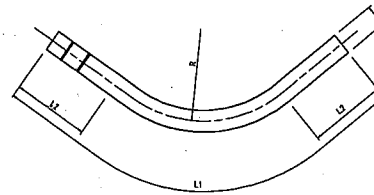
伸縮性取付管 (KGP)



寸法 呼び径	鋼管		伸縮性取付管		全長
	A	B	C	D	
80	89.1	140	450	225	815
100	114.3	140	450	225	815
125	139.8	140	475	225	840

単位: mm

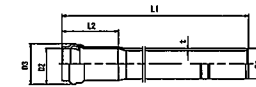
KGP ベンド管



呼び径	L1	L2	D1	t	R
125	2215	500	140	3.0	800
100	1632	300	114	2.8	600
80	1812	300	89	2.3	600

(単位: mm)

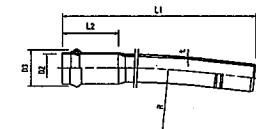
P-V 直管



呼び径	L1	L2	D1	D2	D3	t
75	5290	182	96	97.3	129	6.5
50	4110	144	60	61	84	4.5
25	4075	115	34	34.6	50	3.0

(単位: mm)

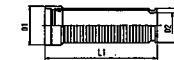
P-V 曲管



呼び径	L1	L2	D1	D2	D3	t	R
75	1140	182	96	97.3	129	6.5	3000, 10000
50	1110	144	60	61	84	4.5	3000, 10000

(単位: mm)

P-V ダクトスリーブ



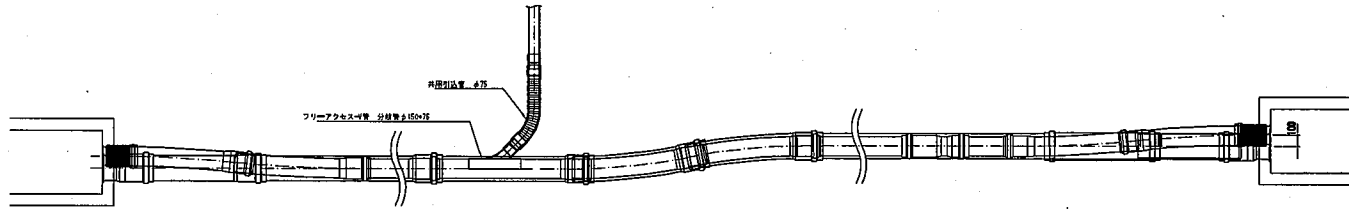
呼び径	L1	D1	D2	D3
75	360	124	83	110
50	225	83	51	78
25	158	62	28	48

(単位: mm)

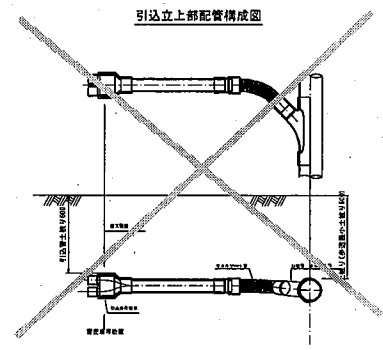
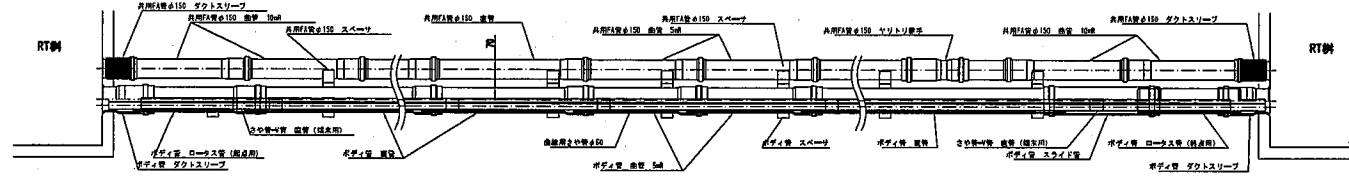
年	昭和29年	月	令和2年	日
地名	[Redacted]			
路線名	[Redacted]			
工事名	[Redacted]			
図面別	管路材詳細図(2)			
縮尺	1/5	設計	[Redacted]	
風土木事務所	[Redacted]		13/75	

# 共用FA・ボデイ管 標準構成図

平面図



側面図



ボデイ管φ150と分岐管の組合せ

分岐管径	φ75	φ100	φ150
ボデイ管径	φ150	φ150	φ150
組合せ	2	3	

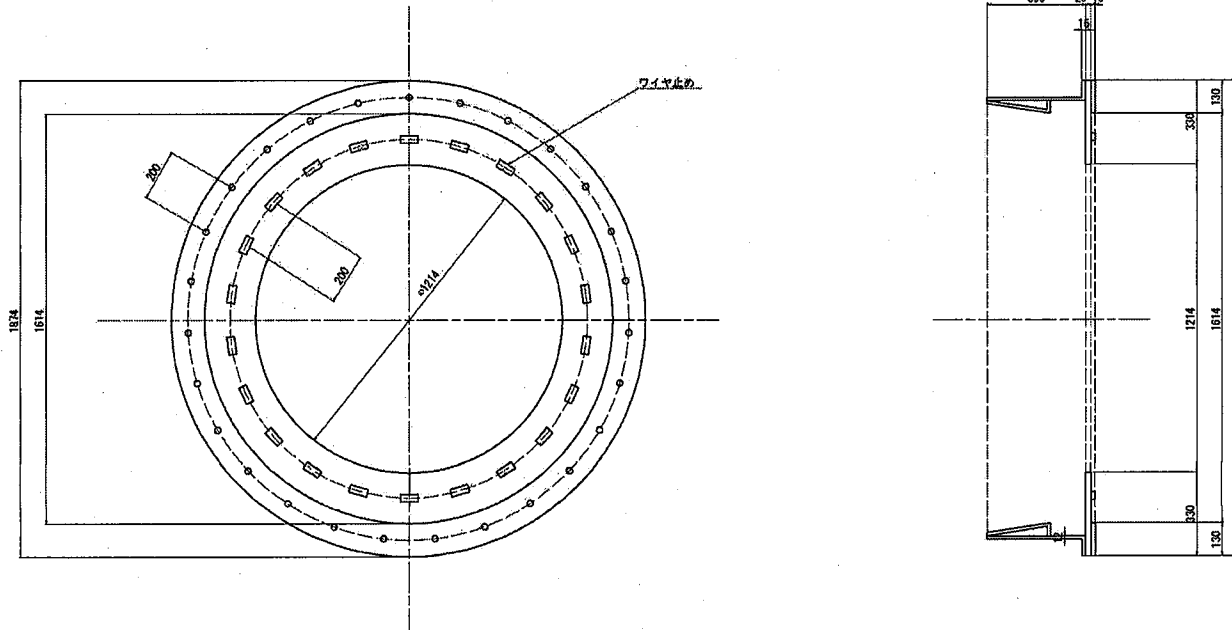
ボデイ管φ150と分岐管の組合せ

分岐管径	φ75	φ100	φ150	φ200
ボデイ管径	φ150	φ150	φ150	φ150
組合せ	4	5	6	7

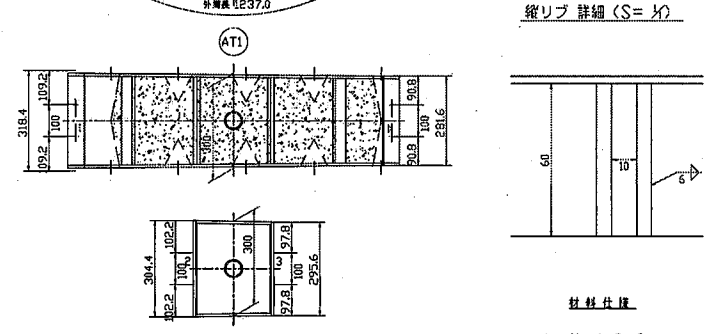
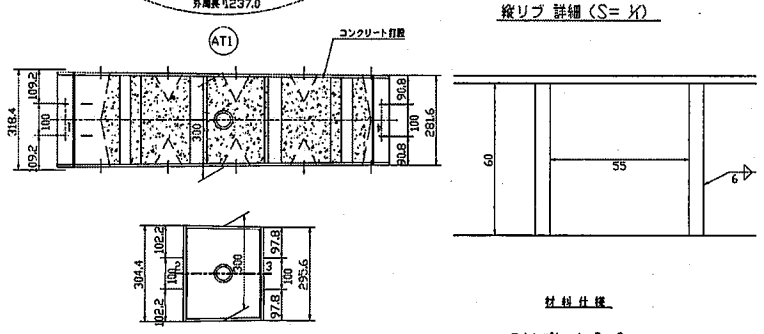
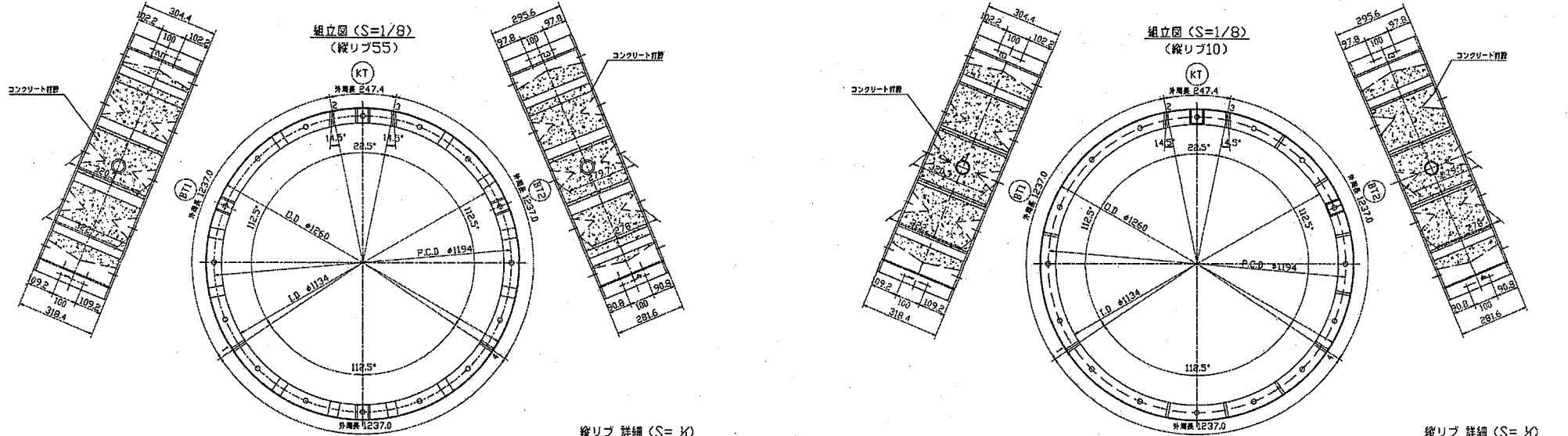
ボデイ管φ150と分岐管の組合せ

分岐管径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450	φ500
ボデイ管径	φ150	φ150	φ150	φ150	φ150	φ150	φ150	φ150	φ150	φ150
組合せ	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

年度	令和2年度	設計	令和2年 9月
地名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
図面別	共用FA・ボデイ管 標準構成図		
縮尺	※	設計	番号
鳳土木事務所			13 / 75

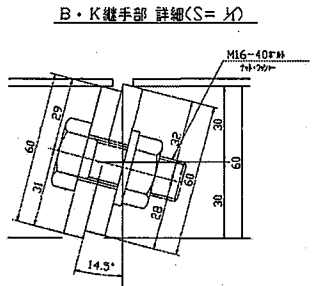
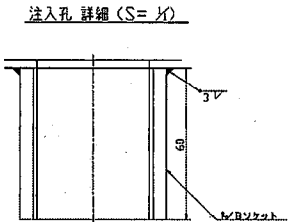
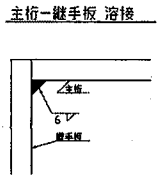
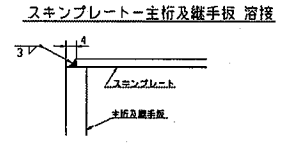
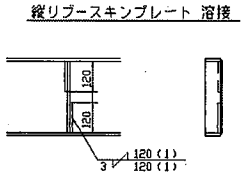


# スチールセグメント (R=10、テーパ=44mm) $\phi 1260 \times 300 \times 63$ 縦リブ10mm, 55mm



- 材料仕様
- スキンプレート R-3
  - 主桁 R-8X60
  - 縦リブ R-55X60
  - 継手板 A R-8X60
  - 継手板 BK R-8X60

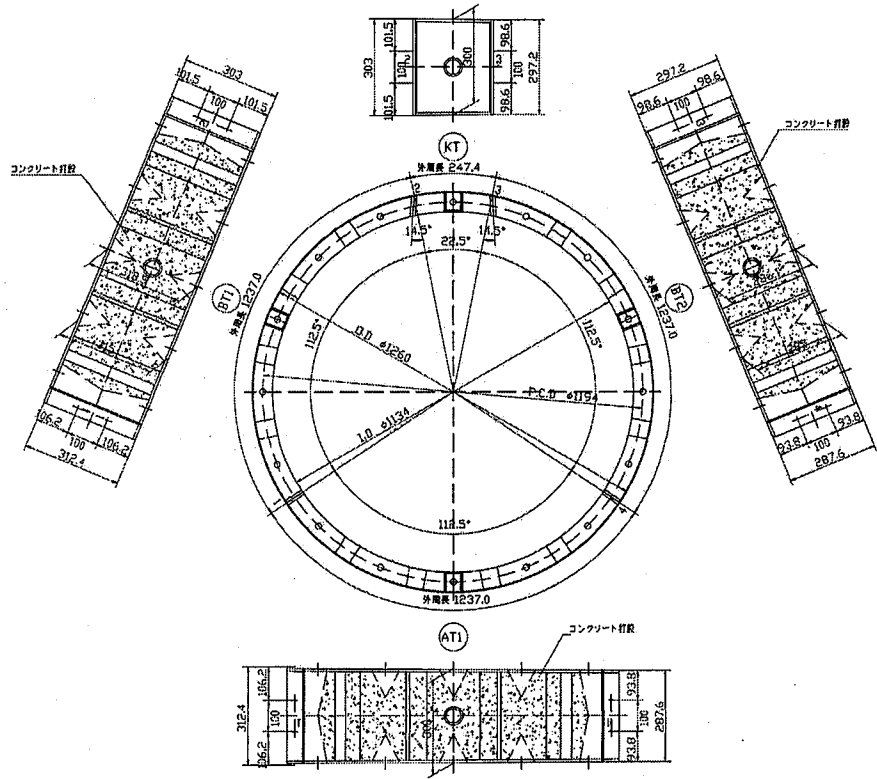
- 材料仕様
- スキンプレート R-3
  - 主桁 R-8X60
  - 縦リブ R-10 X 60
  - 継手板 A R-8X60
  - 継手板 BK R-8X60



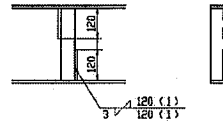
- 仕様
- 外径  $\phi 1260$
  - 幅 322-278 (テーパ=44)
  - 高さ 63
  - 分割数 4 分割
  - 付属品 注入孔
  - ボルト (M16-40) (4.6)
  - 材質 SM490A
  - 塗装 外面ヤビ止1回

# スチールセグメント (R=15、テーパ=30mm) φ1260X300X63 縦リブ55mm

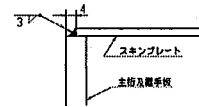
組立図 (S=1/8)



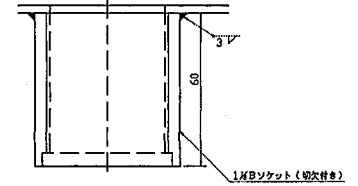
縦リブ-スキムプレート 溶接



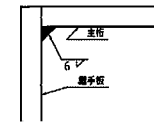
スキムプレート-主桁及継手板 溶接



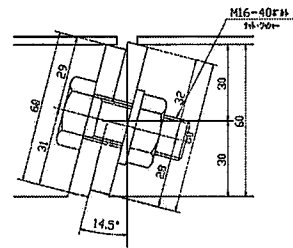
注入孔 詳細 (S=1/4)



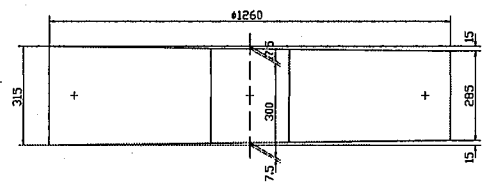
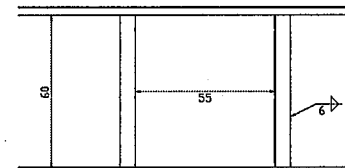
主桁-継手板 溶接



B・K継手部 詳細 (S=1/4)



縦リブ 詳細 (S=1/4)



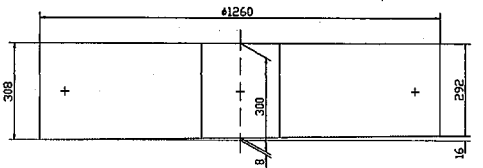
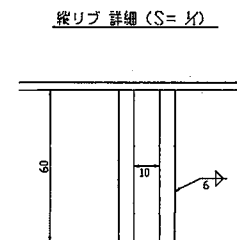
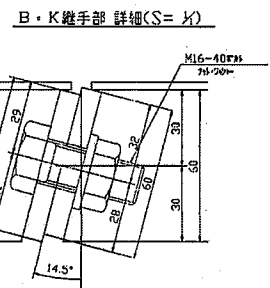
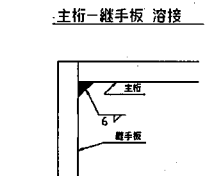
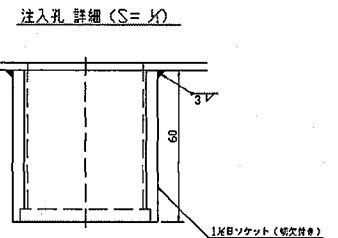
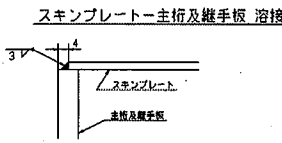
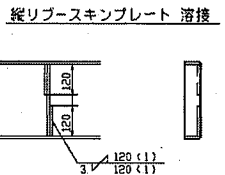
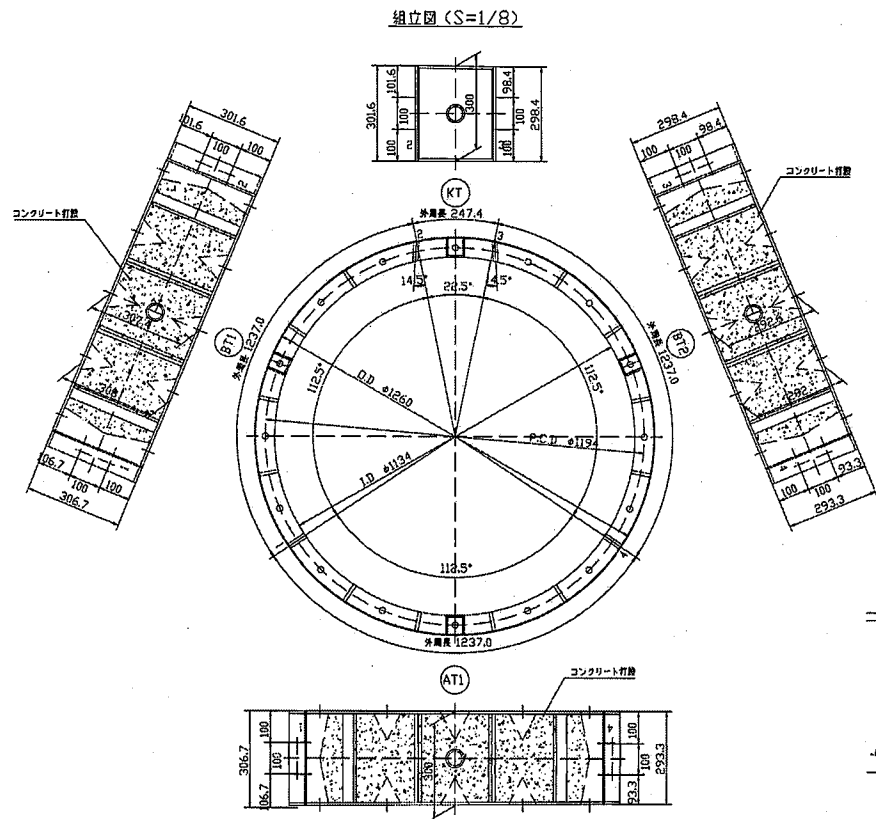
**材料仕様**

- スキムプレート E-3
- 主桁 E-8X60
- 縦リブ E-95X60
- 継手板 A E-8X60
- 継手板 BK E-8X60

**仕様**

- 外径 φ1260
- 幅 315-285(テーパ=30)
- 厚さ 63
- 分割数 4 分割
- 付属品 注入孔 1/4Rソケット (切欠付\*)
- ボルト M16-40X4.6
- 材質 SM490A
- 塗装 外周サビ止め

スチールセグメント (R=30、テーパ=16mm) φ1260X300X63 縦リブ10mm



材料仕様

スキムプレート	R-3
主桁	R-8X60
縦リブ	R-10 X60
継手板 A	R-8X60
継手板 BK	R-8X60

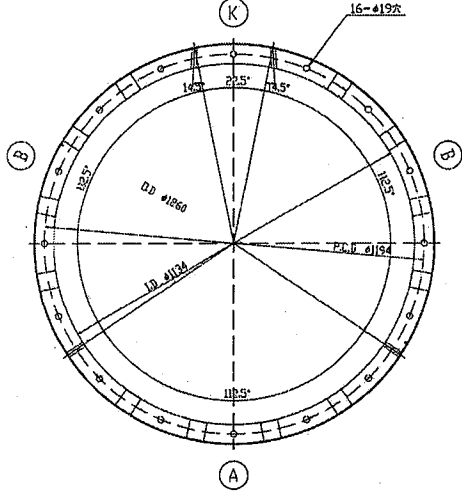
仕度

外径	φ1260
幅	308-292(テーパ=16)
高さ	63
分割数	4 分割
付属品	注入孔 1/8Bソケット (取付時) ボルトCM16-40(4.6)
材質	SM490A
塗装	外壁サビ止1回

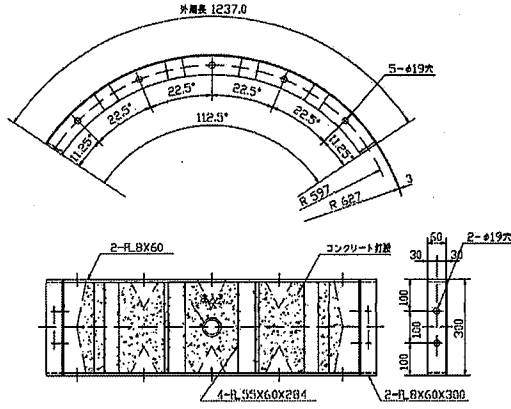


# スチールセグメント(普通) φ1260X300X63 縦リブ10mm, 55mm

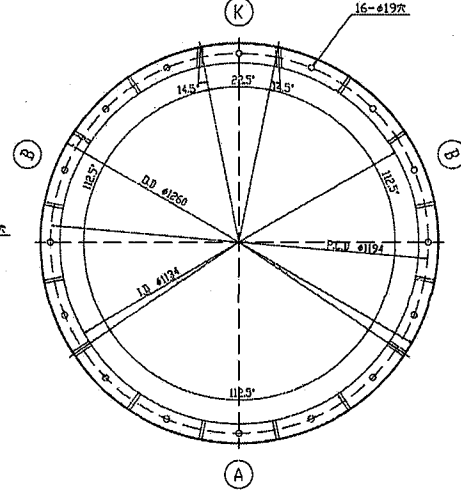
組立図 (S=1/2)  
(縦リブ55)



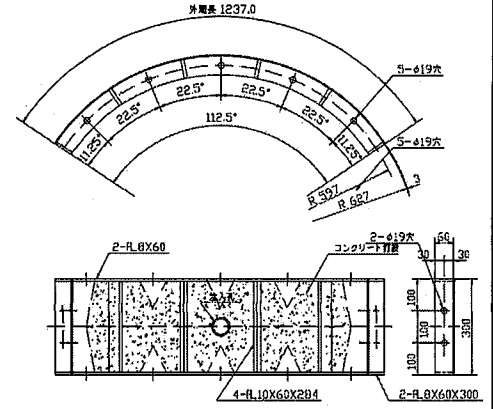
Aセグメント (S=1/2)



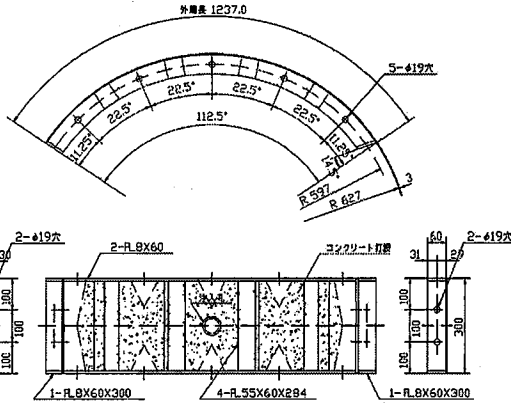
組立図 (S=1/2)  
(縦リブ10)



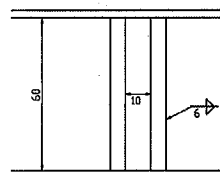
Aセグメント (S=1/2)



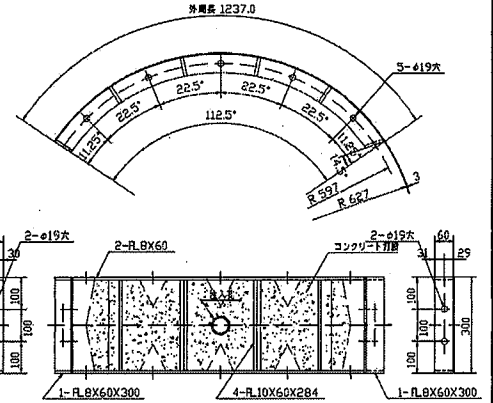
Bセグメント (S=1/2)



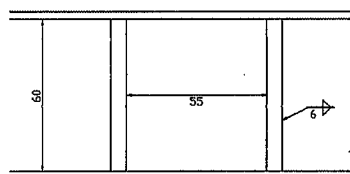
縦リブ 詳細 (S=1/2)



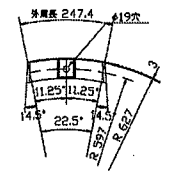
Bセグメント (S=1/2)



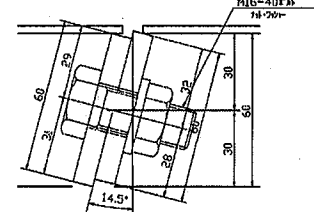
縦リブ 詳細 (S=1/2)



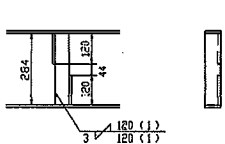
Kセグメント (S=1/2)



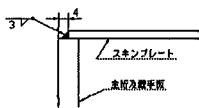
B・K継手部 詳細 (S=1/2)



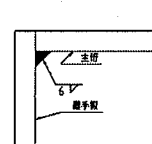
縦リブスキムプレート 溶接



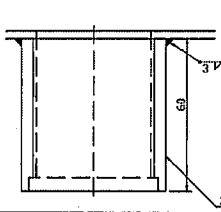
スキムプレート-主桁及継手板 溶接



主桁-継手板 溶接

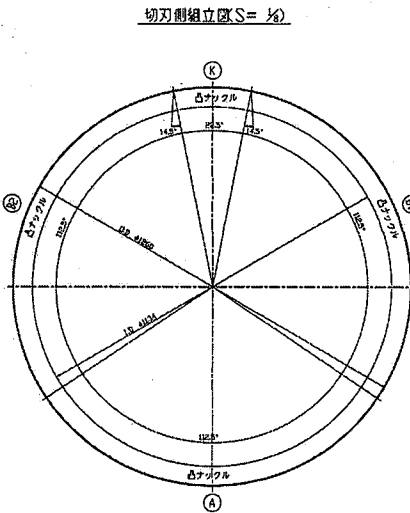
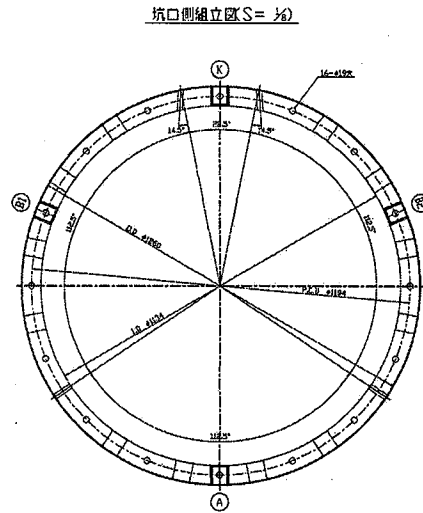


注入孔 詳細 (S=1/2)

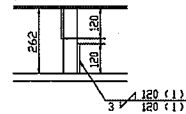


- 仕様
- 外径 φ1260
  - 幅 300
  - 高さ 63
  - 分割数 4分割
  - 付属品 注入孔 1/2Bソケット(切欠付\*)
  - ボルト (M16-40) (4.6)
  - 材質 SM490A
  - 塗装 外面ペシ1層

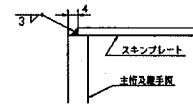
# スチールセグメント(ナックル凸) φ1260X300X63 縦リブ55mm



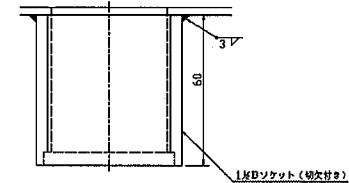
縦リブスキムプレート 溶接



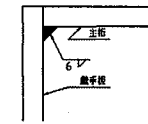
スキムプレート-主桁及継手板 溶接



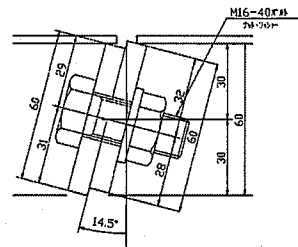
注入孔 詳細(S=1/6)



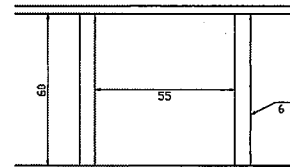
主桁-継手板 溶接



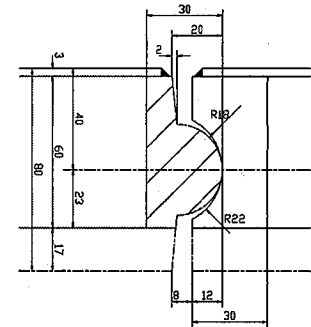
B・K継手部 詳細(S=1/6)



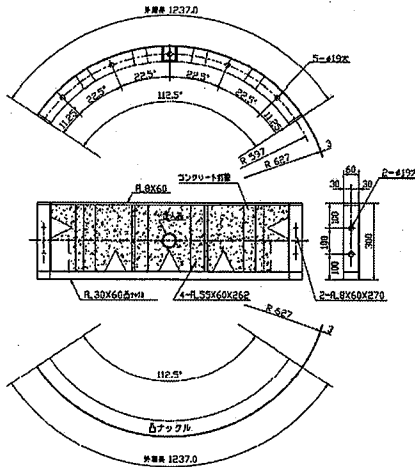
縦リブ 詳細(S=1/6)



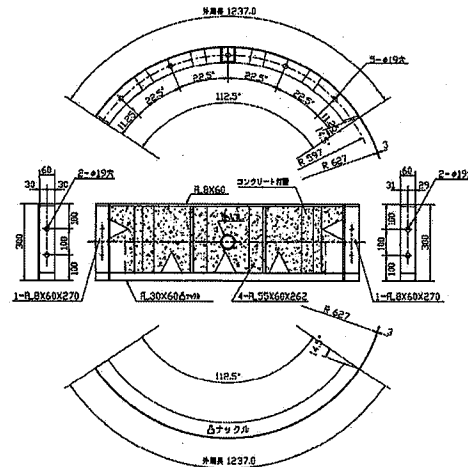
ナックル部詳細(S=1/6)



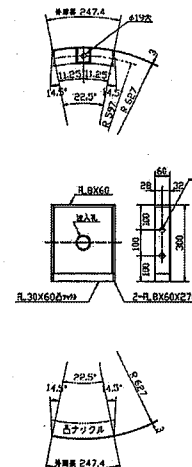
Aセグメント(S=1/6)



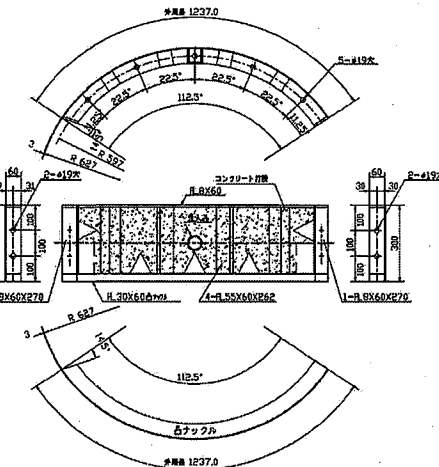
B1セグメント(S=1/6)



Kセグメント(S=1/6)



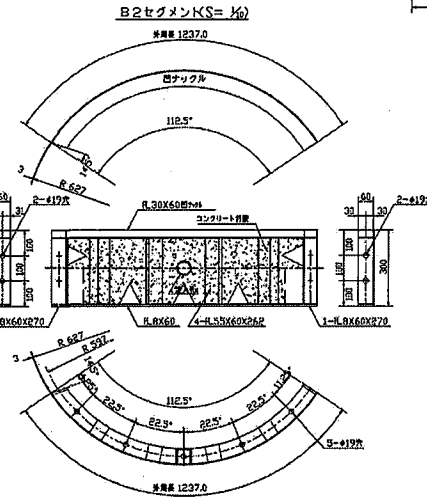
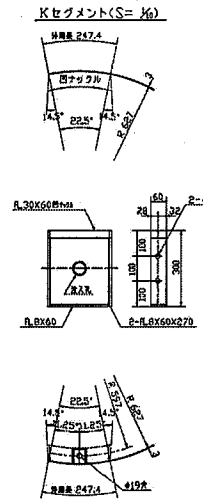
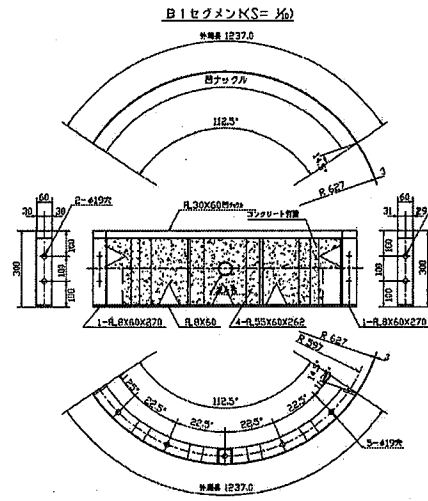
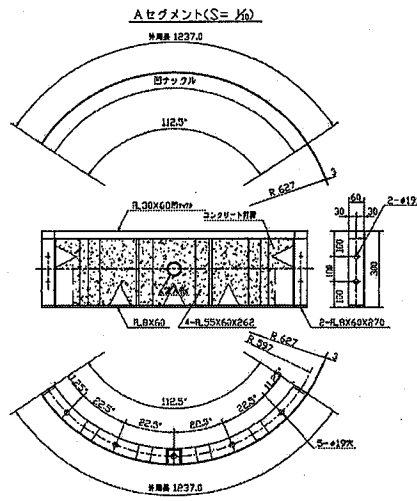
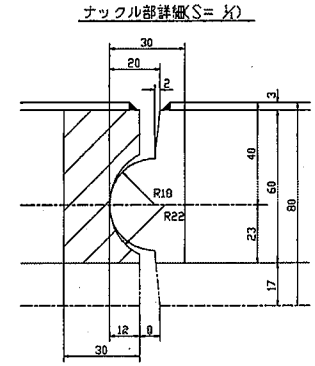
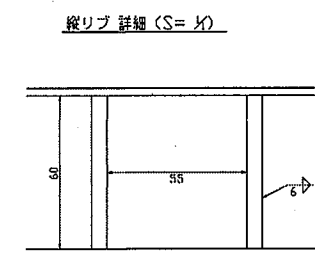
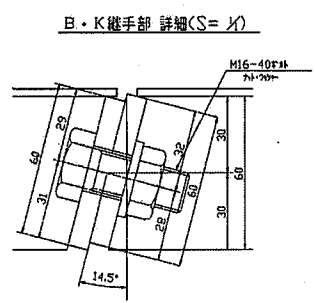
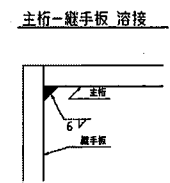
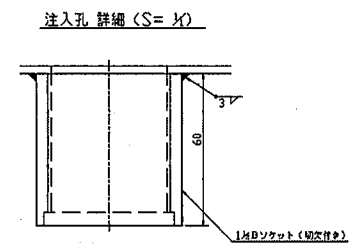
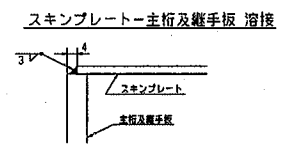
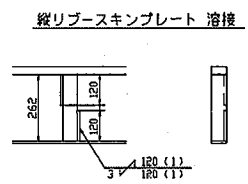
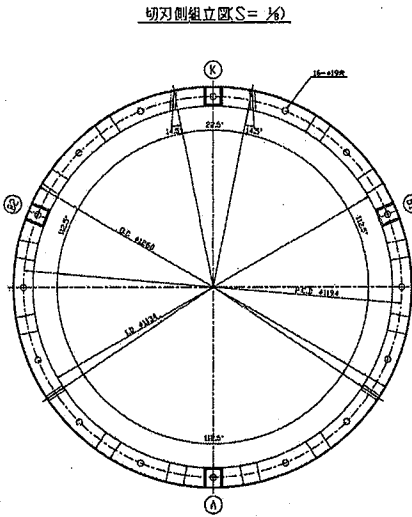
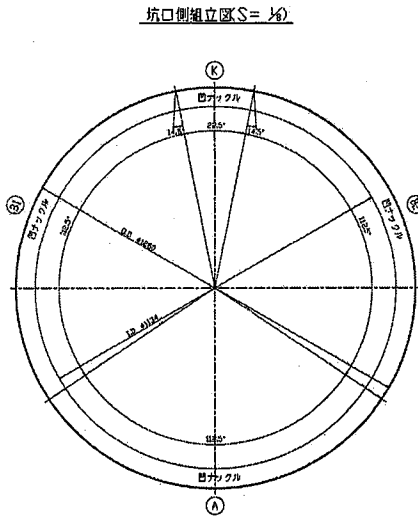
B2セグメント(S=1/6)



仕様

- 外径 φ1260
- 幅 300
- 高さ 63
- 分割数 4分割
- 付属品 注入孔 1/ボソケット(切欠付\*)
- ボルト(M16-40)(4.6)
- 材質 SM490A
- 塗装 外面塩ビ止1回

# スチールセグメント(ナックル凹) φ1260X300X63 縦リブ55mm



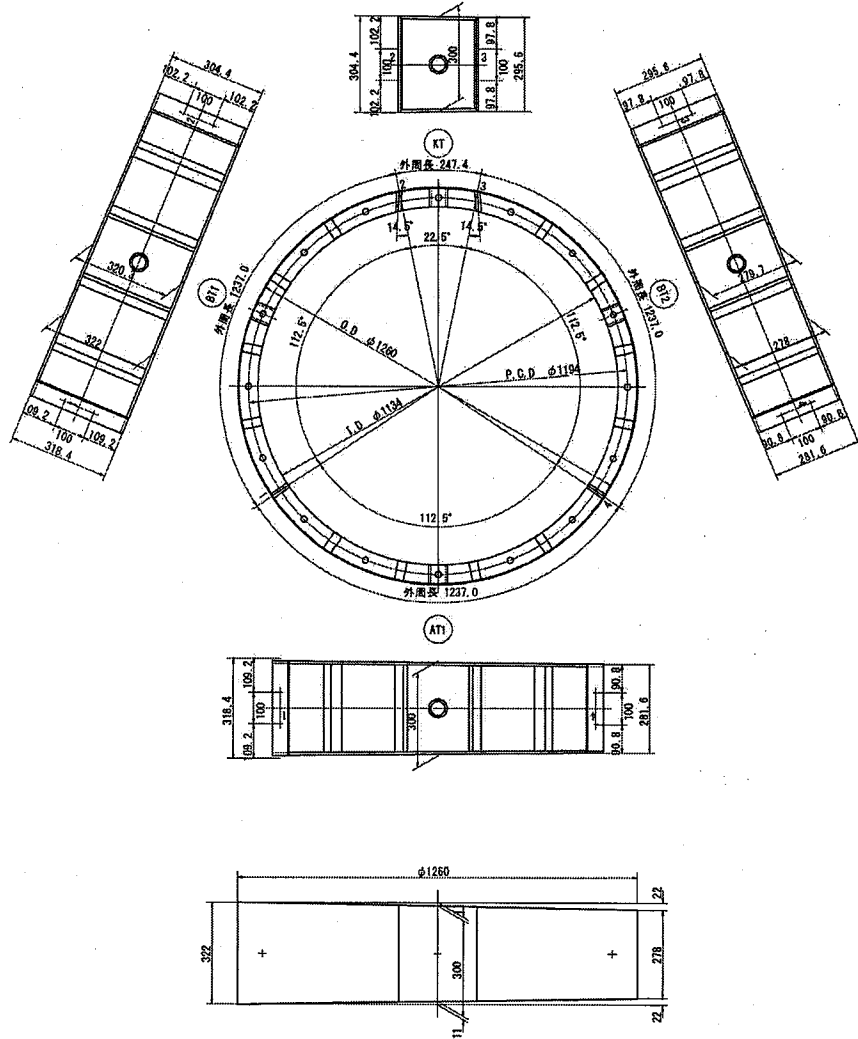
仕様

外径	φ1260
幅	300
高さ	63
分割数	4分割
付属品	注入孔, 1×Bソケット(切欠付)
ボルト	M16-40(4.6)
材質	SM490A
塗装	外面サビ止1回

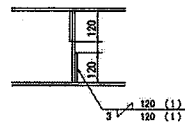
シールド工法用鋼製セグメント構造一般図(2) 縮尺 1:8

スチールセグメント (R=10\_28タイプ) φ1260X300X63 44テーパ

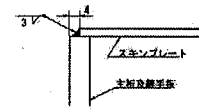
スチールセグメント (R=10\_28タイプ) 縮尺 1:8



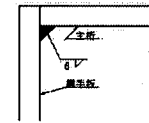
縦リブ-スキンプレート 溶接 縮尺 1:8



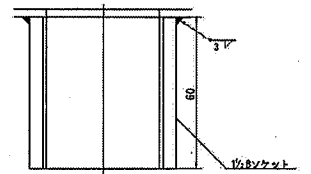
スキンプレート-主折及継手板 溶接 縮尺 1:8



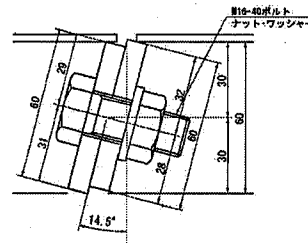
主折-継手板 溶接 縮尺 1:8



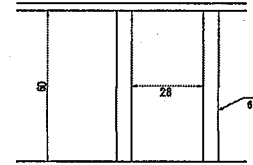
注入孔 詳細 縮尺 1:1



B-K継手部 詳細 縮尺 1:1



縦リブ 詳細 縮尺 1:1



材料仕様

スキンプレート R-3  
主折 R-8 X 60  
縦リブ R-10 X 60  
継手板 A R-8 X 60  
継手板 B R-8 X 60

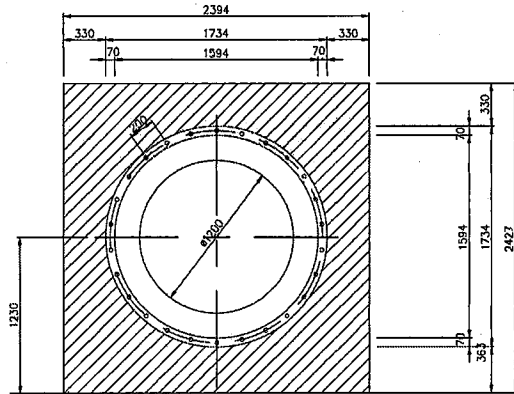
仕様

外径 φ1260  
幅 322-278 (テーパ重44)  
高さ 63  
分割数 4分割  
付属品 注入孔  
ボルト (M16-40) (4.6)  
材質 S490A  
塗装 外面サビ止1回

# 発進坑口構造図

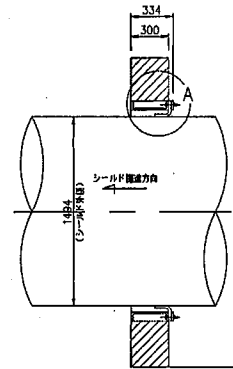
エントランス

S=1/20



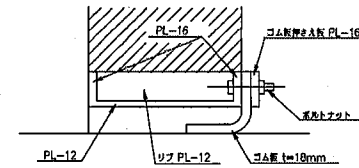
エントランス側面図

S=1/20



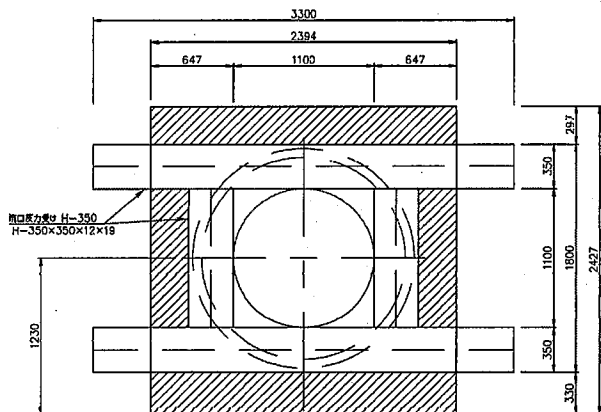
A部詳細図

S=1/5



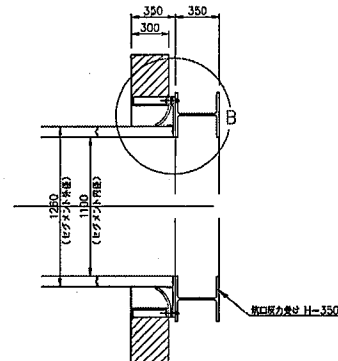
坑口反力受

S=1/20



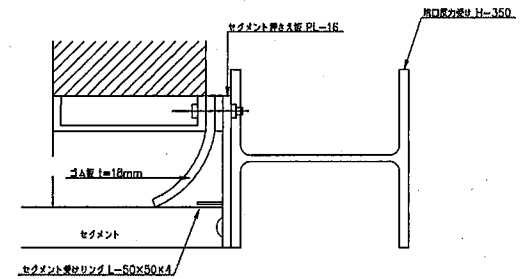
坑口反力受け側面図

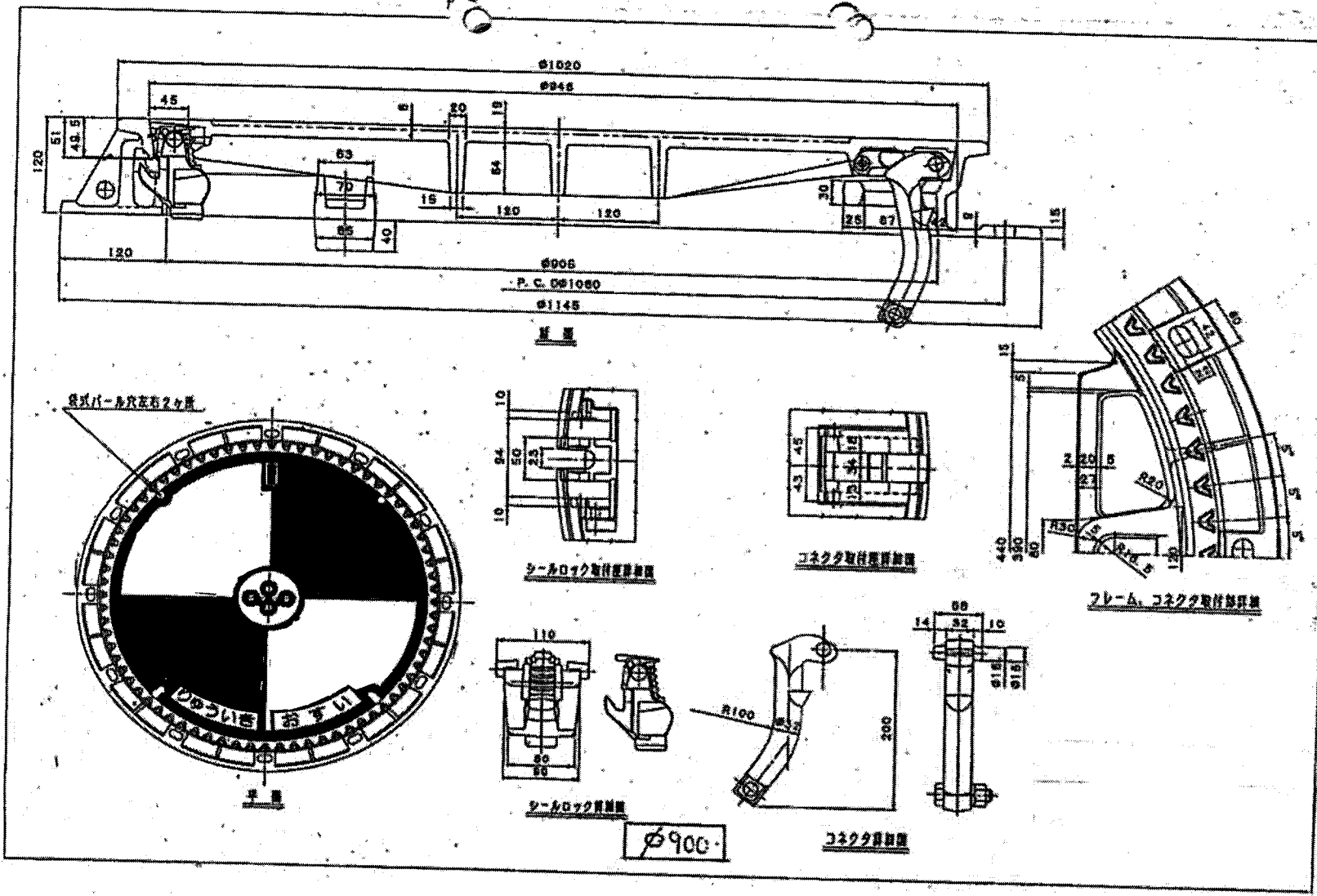
S=1/20



B部詳細図

S=1/5

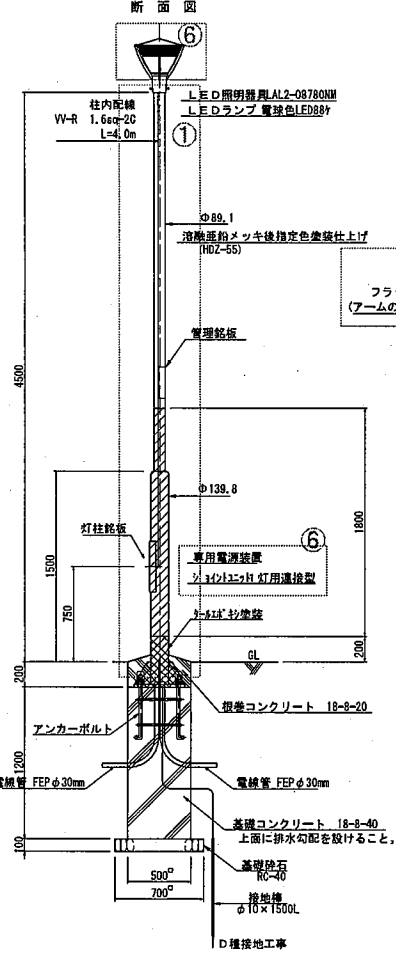




# 構造図 (2)

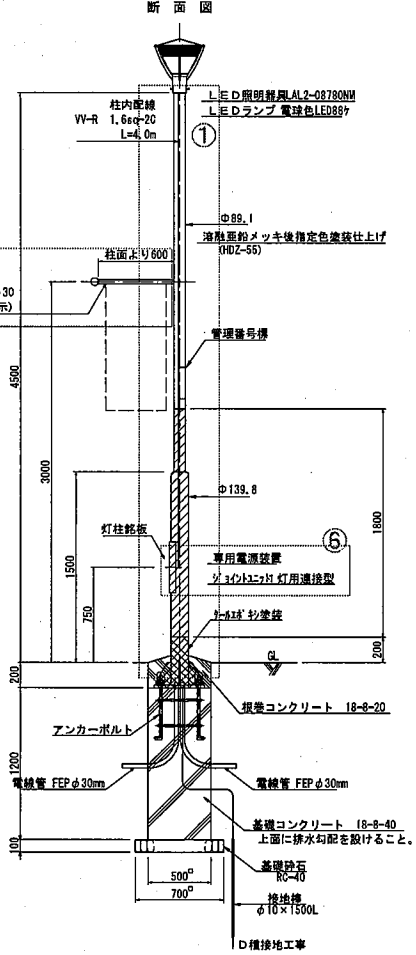
照明灯基礎、照明灯-1

S=1:20

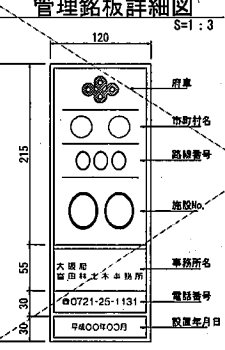
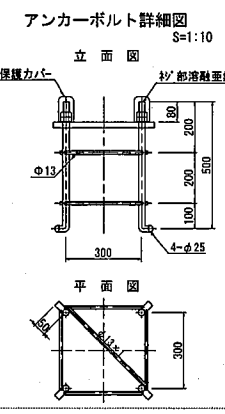
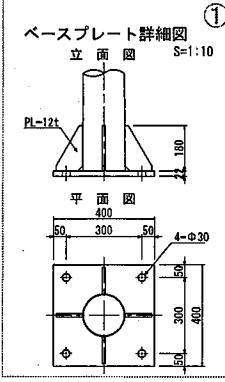


照明灯基礎、照明灯-2

S=1:20



※照明灯-1、-2とも基礎は同等とする。



**仕様**  
 ・基礎は、ビニールテープ製、長さ330mm巾120mmとし、白地に黒、文字は青。  
 ・文字は、反斜シフト(JISZ9117-1級)の抜形数字を貼付する。

### LED照明器具参考図

S=1:10

器具形式：LAL2-08780NM-10D10 適合ランプ：電球色LED807

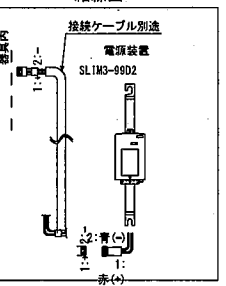
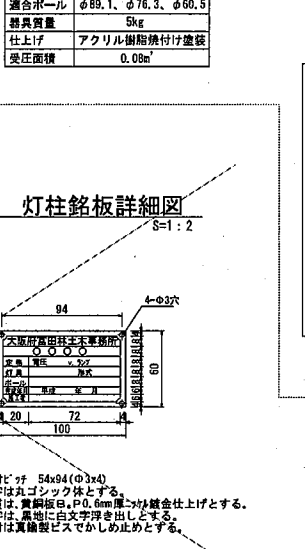
定格電圧	100V	200V
点灯初期時	0.73A	0.39A
6万時間経過時	0.87A	0.45A
6万時間平均	0.80A	0.42A
点灯初期時	72lm	71lm
6万時間経過時	87lm	85lm
6万時間平均	79lm	78lm
点灯初期時	72.6VA	75.9VA
6万時間経過時	87.2VA	80.3VA
6万時間平均	79.9VA	83.1VA

初期時	80%以上(最大値)
平均時	50/60Hz

部品表					
部品番号	部品名称	材質	処理	個数	備考
1	ホルダー・支柱	ADC12	塗装	1	t1.0
2	笠	アルミ	塗装	1	
3	LEDモジュール	SMD		16	
4	内部支柱	SMD		2	
5	グローブ	耐候性ポリカ	フロスト	1	
6	バックギン(1)	シリコングロ	黒色	1	t2.0
7	六角ボルト	SUS304		4	M8×30
8	ナット	SUS304		2	M8
9	防水コネクタ	樹脂		1	2p
10	アース端子			1	M4
11	ケーブル押さえ	ファイバー		1	

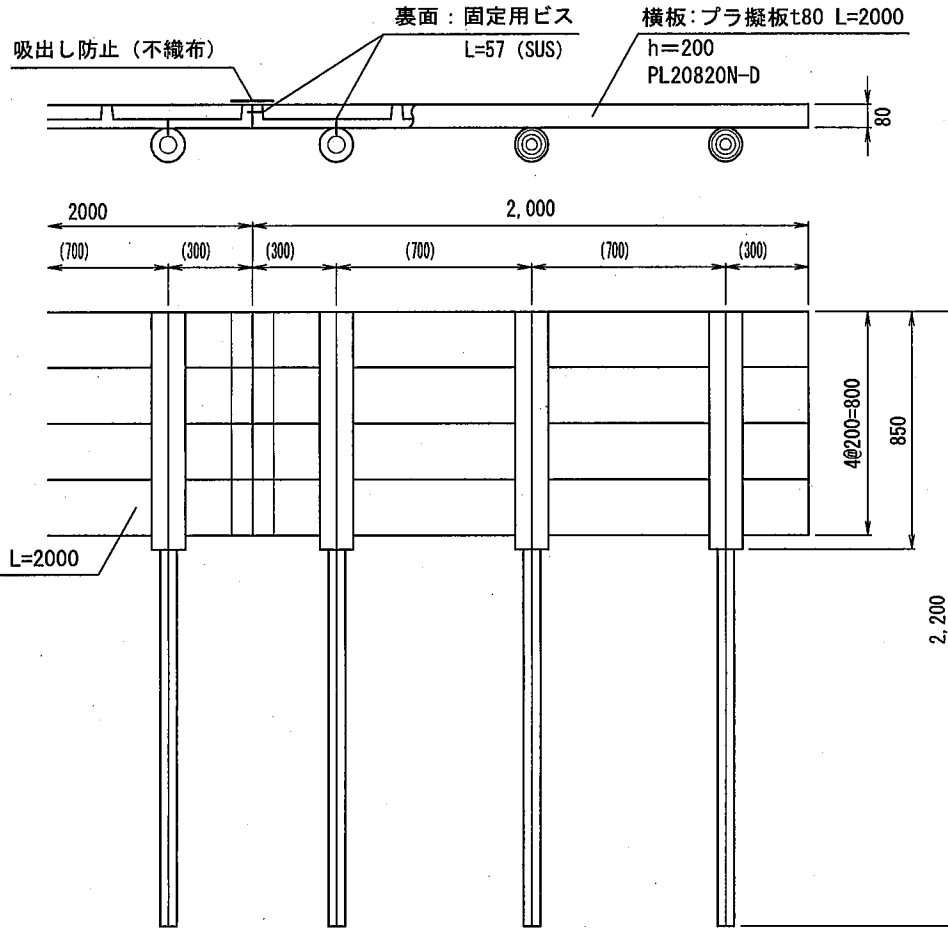
LED仕様  
 LED色：電球色LED  
 相関色温度：3000K  
 平均演色評価数：Ra80  
 LED設計寿命：60,000時間  
 電源設計寿命：60,000時間  
 LED粒数：80粒  
 定格光束(器具光束)：7810lm

適合ポール：φ89.1、φ76.3、φ60.5  
 器具質量：5kg  
 仕上げ：アクリル樹脂粉体付塗装  
 受圧面積：0.08㎡



平成 30 年度		図面番号	5
路線名			
受託名			
委託場所			
図面名	構造図 (2) 縮尺 図示		
事務所名	大阪府高田林土木事務所		

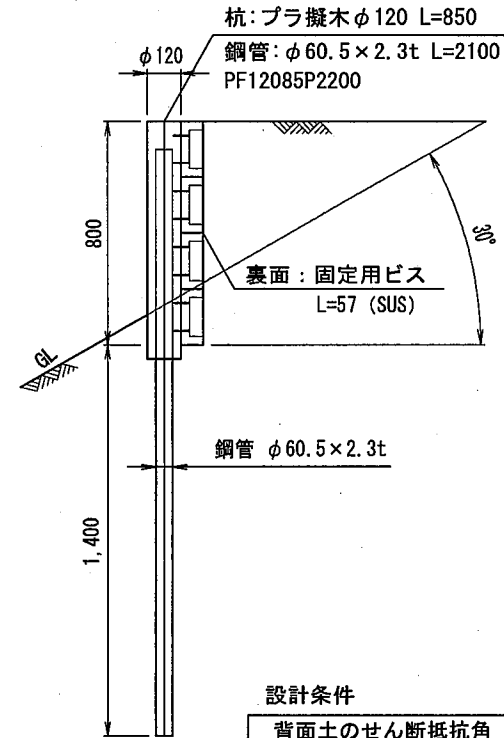
プラ擬木 板柵土留H800 (谷側 30度、40度)  
S=1:25



施工時の注意：

- ※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。
- ※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。
- ※打込み鋼管の天端は、GL+700mmです。(樹脂カバー天端-100mm)
- ※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

【特記】  
 ※プラ擬木は、エコマーク認定品 (樹脂部はリサイクルプラスチック)  
 ※賠償責任保険加入品  
 ※プラ擬木 色：ダークブラウン  
 丸太外観：クヌギ肌模様  
 板材表面：木目模様  
 ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。  
 ※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上



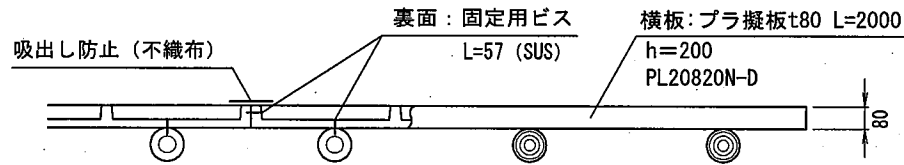
設計条件

背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m
背面土の粘着力	0.00kN/m
載荷重	5.00kN/m
杭根入れ地盤の平均N値	5

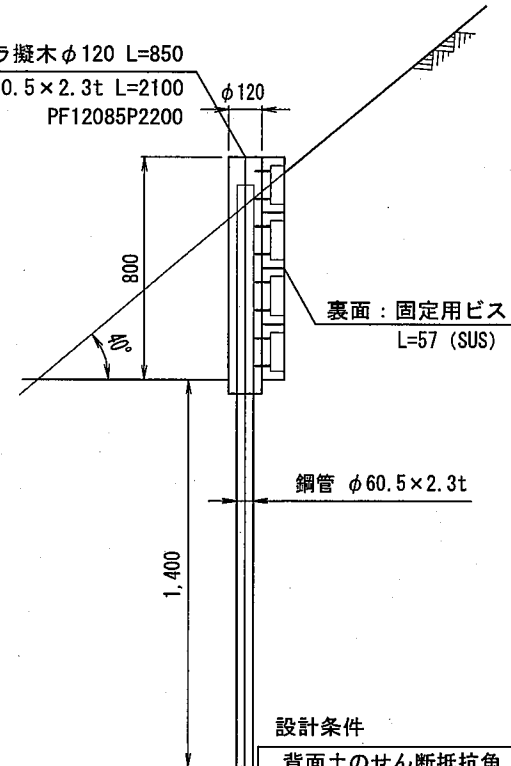
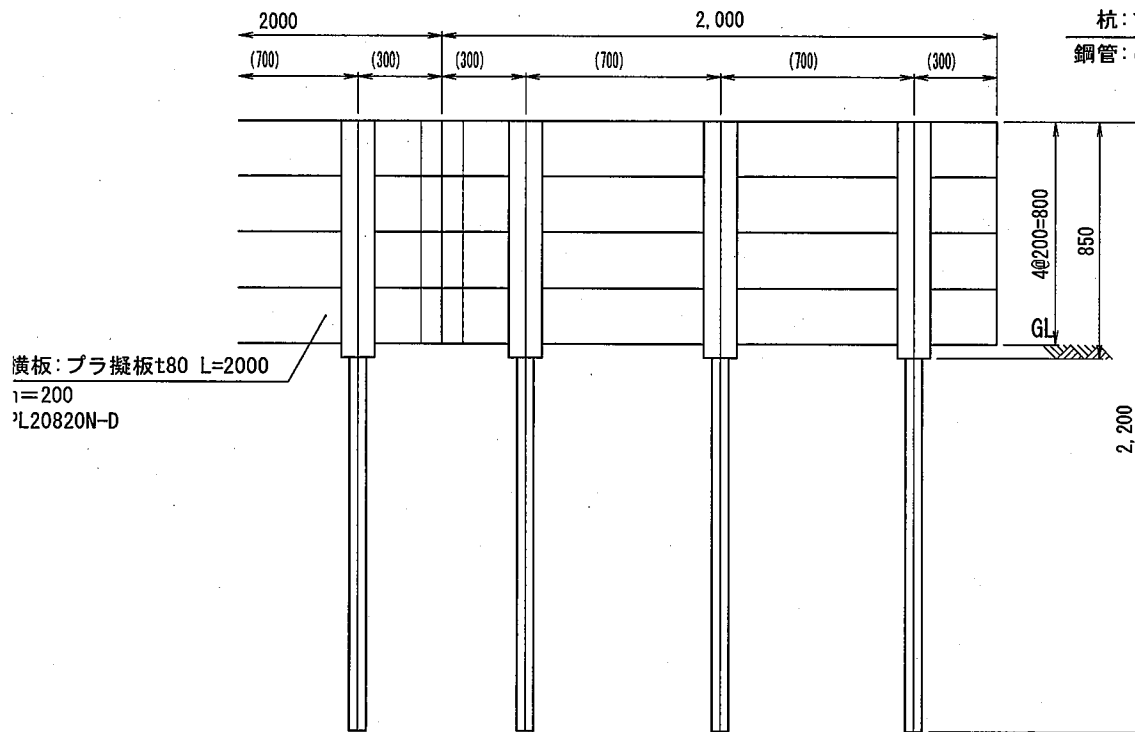
※地盤条件などにより、部材サイズ等が変更されます。



プラ擬木 板柵土留H800 (山側 40度)  
S=1:25



【特記】  
 ※プラ擬木は、エコマーク認定品 (樹脂部はリサイクルプラスチック)  
 ※賠償責任保険加入品  
 ※プラ擬木 色: ダークブラウン  
 丸太外観: クヌギ肌模様  
 板材表面: 木目模様  
 ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。  
 ※使用鋼管は垂鉛メッキ品 STK400以上



設計条件

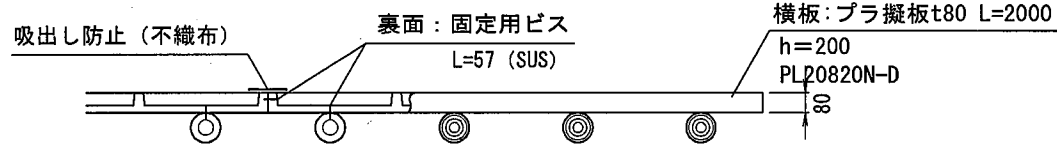
背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m <sup>3</sup>
背面土の粘着力	0.00kN/m <sup>2</sup>
載荷重	5.24kN/m <sup>2</sup>
杭根入れ地盤の平均N値	5

施工時の注意:  
 ※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。  
 ※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。  
 ※打込み鋼管の天端は、GL+700mmです。(樹脂カバー天端-100mm)  
 ※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

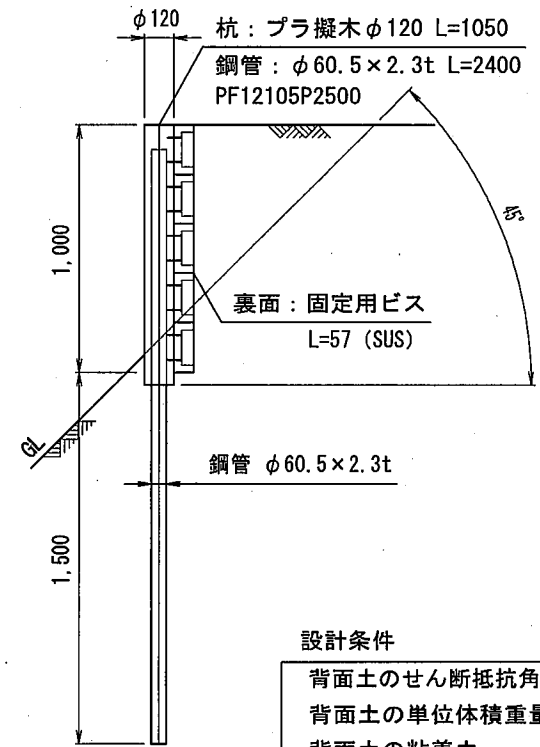
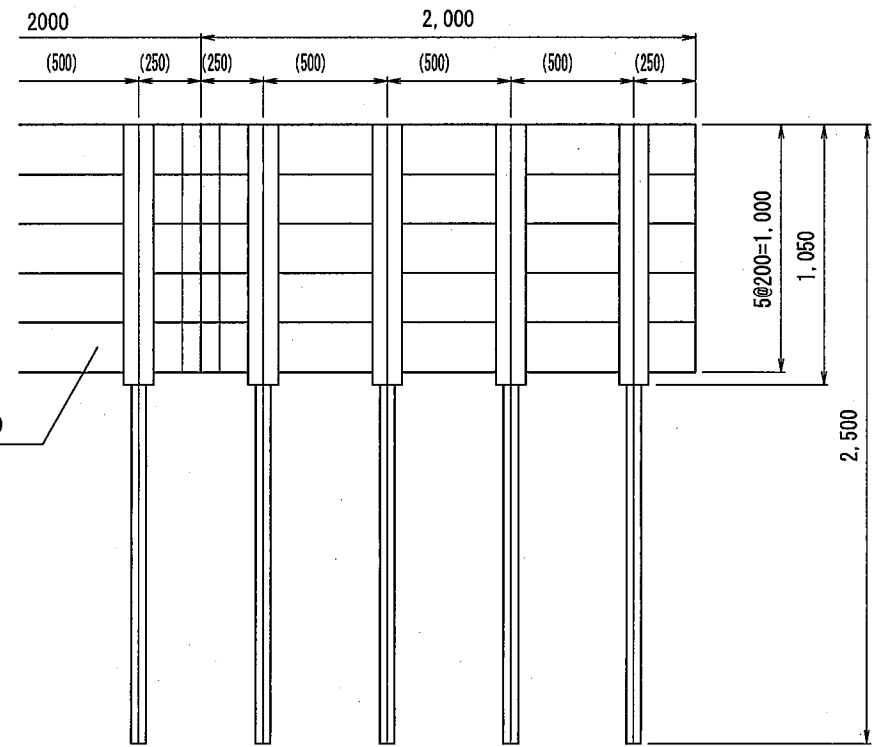
※地盤条件などにより、部材サイズ等が変更されます。

プラ擬木 板柵土留H1000 (谷側 45度)

S=1:30



**【特記】**  
 ※プラ擬木は、エコマーク認定品 (樹脂部はリサイクルプラスチック)  
 ※賠償責任保険加入品  
 ※プラ擬木 色: ダークブラウン  
 丸太外觀: クヌギ肌模様  
 板材表面: 木目模様  
 ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認ください。  
 ※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上



設計条件

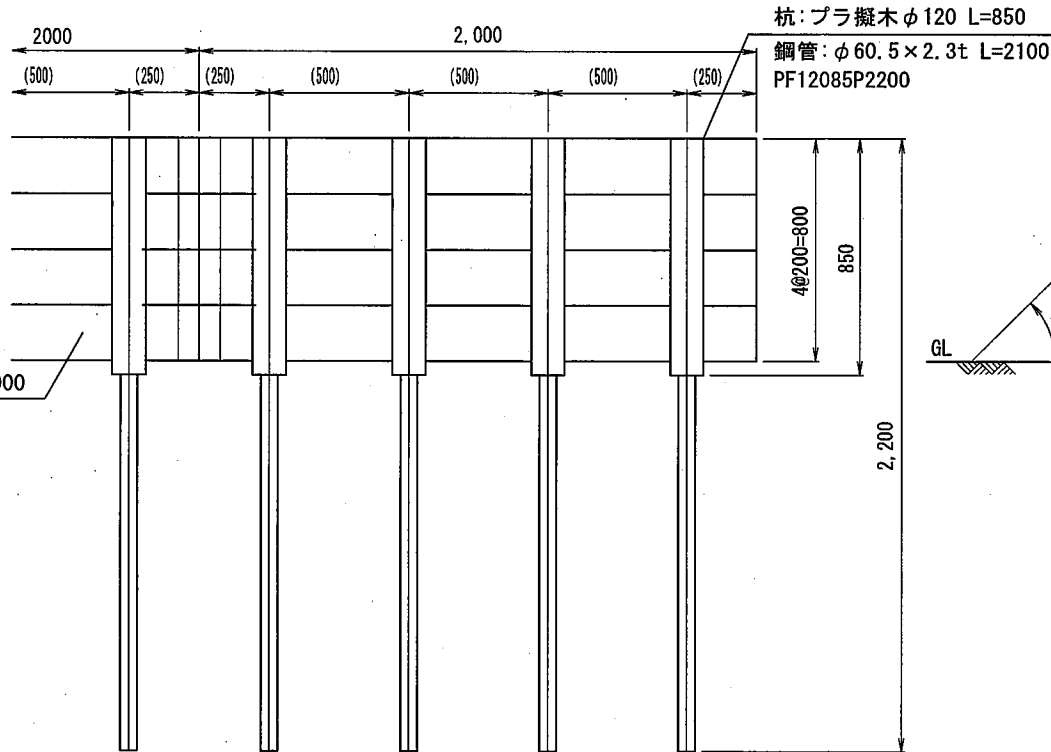
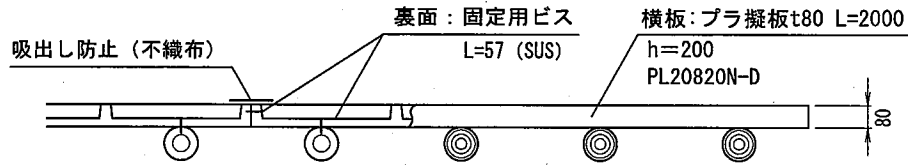
背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m
背面土の粘着力	0.00kN/m
載荷重	5.00kN/m
杭根入れ地盤の平均N値	5

※地盤条件などにより、  
部材サイズ等が変更されます。

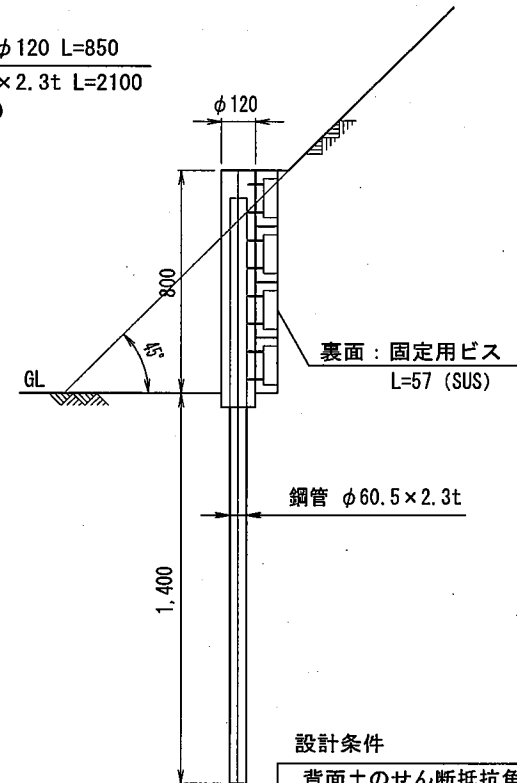
施工時の注意:  
 ※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。  
 ※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。

※打込み鋼管の天端は、GL+900mmです。(樹脂カバー天端-100mm)  
 ※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

プラ擬木 板柵土留H800 (山側 45度)  
S=1:25



【特記】  
 ※プラ擬木は、エコマーク認定品 (樹脂部はリサイクルプラスチック)  
 ※賠償責任保険加入品  
 ※プラ擬木 色: ダークブラウン  
 丸太外観: クヌギ肌模様  
 板材表面: 木目模様  
 ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。  
 ※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上



横板: プラ擬木 t80 L=2000  
h=200  
PL20820N-D

施工時の注意:

- ※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。
- ※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。
- ※打込み鋼管の天端は、GL+700mmです。(樹脂カバー天端-100mm)
- ※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

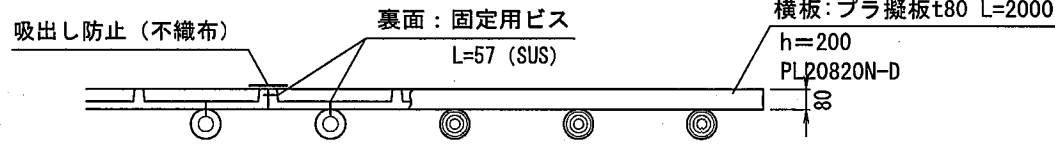
設計条件

背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m <sup>3</sup>
背面土の粘着力	0.00kN/m <sup>2</sup>
載荷重	9.5kN/m <sup>2</sup>
杭根入れ地盤の平均N値	5

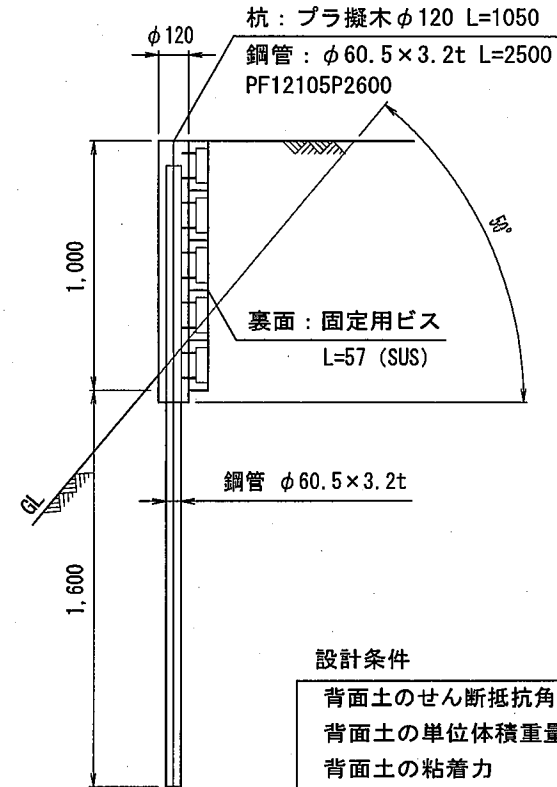
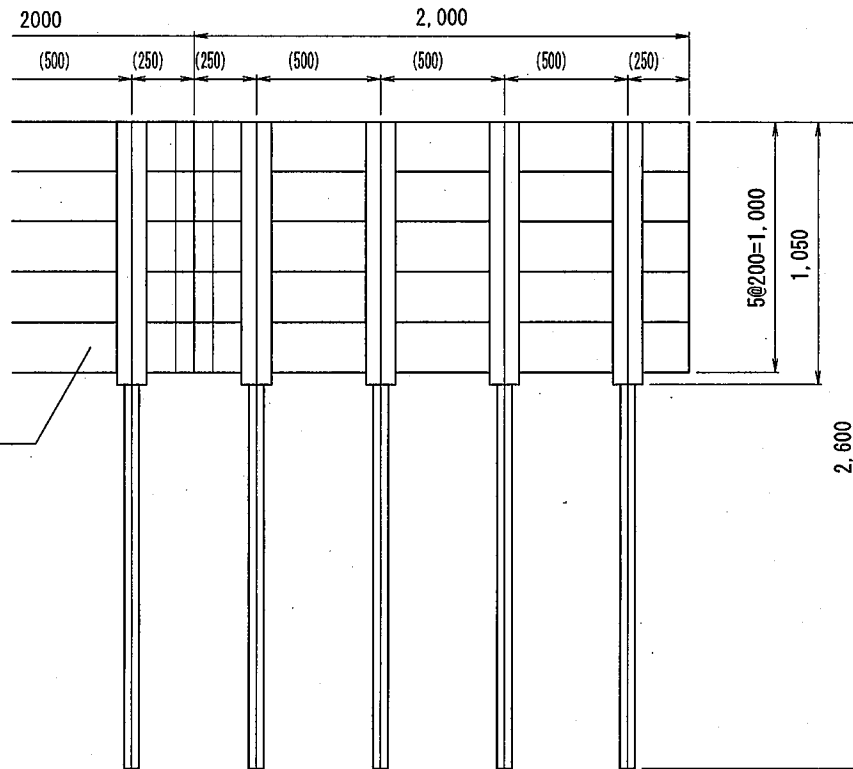
※地盤条件などにより、部材サイズ等が変更されます。

プラ擬木 板柵土留H1000 (谷側 50度)

S=1:30



【特記】  
 ※プラ擬木は、エコマーク認定品 (樹脂部はリサイクルプラスチック)  
 ※賠償責任保険加入品  
 ※プラ擬木 色：ダークブラウン  
 丸太外観：クスギ肌模様  
 板材表面：木目模様  
 ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。  
 ※使用鋼管は垂鉛メッキ品 STK400以上



横板  
 プラ擬板t80 L=2000  
 h=200  
 PL20820N-D

杭：プラ擬木 φ120 L=1050  
 鋼管：φ60.5×3.2t L=2500  
 PF12105P2600

裏面：固定用ビス  
 L=57 (SUS)

鋼管 φ60.5×3.2t

設計条件

背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m
背面土の粘着力	0.00kN/m
載荷重	5.00kN/m
杭根入れ地盤の平均N値	5

※地盤条件などにより、  
 部材サイズ等が変更されます。

施工時の注意：

※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。  
 ※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。

※打込み鋼管の天端は、GL+900mmです。(樹脂カバー天端-100mm)

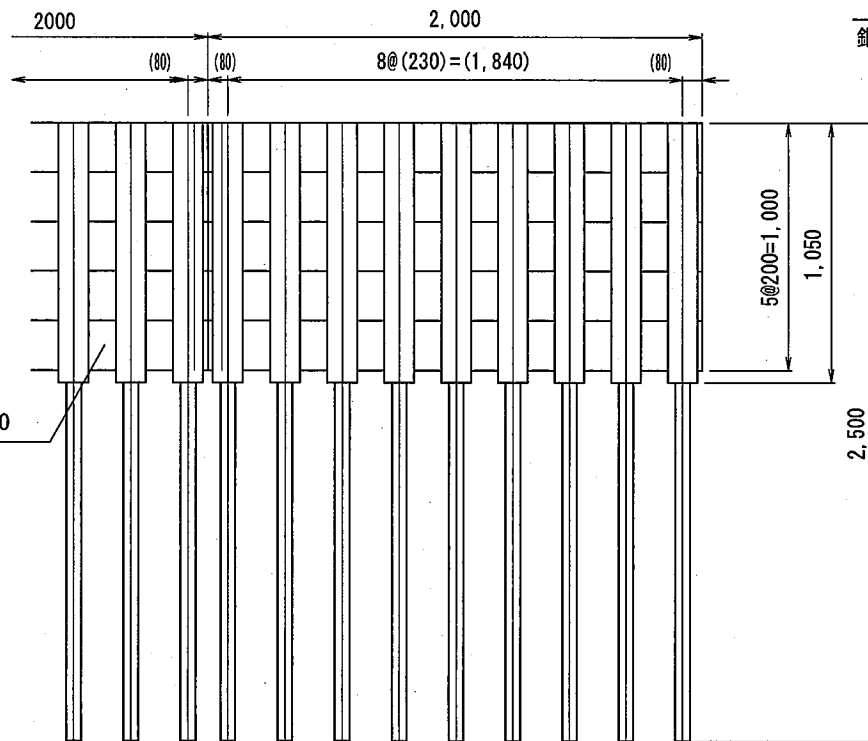
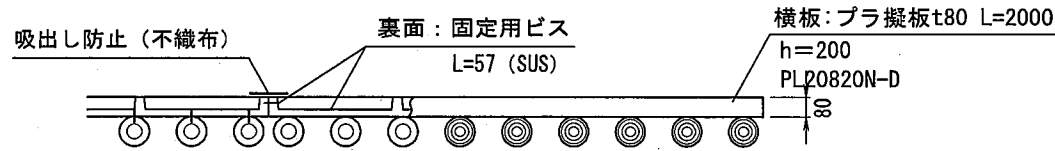
※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

プラ擬木 板柵土留H1000 (山側 50度)

S=1:30

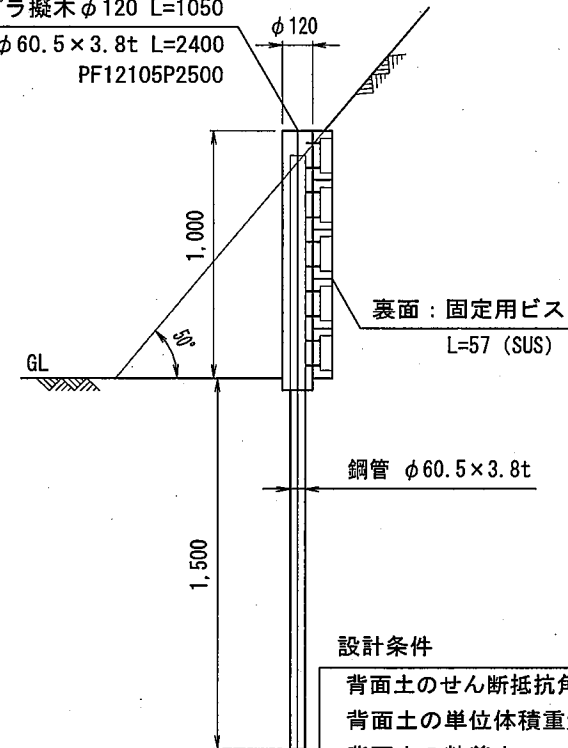
【特記】

- ※プラ擬木は、エコマーク認定品 (樹脂部はリサイクルプラスチック)
- ※賠償責任保険加入品
- ※プラ擬木 色：ダークブラウン
  - 丸太外観：クヌギ肌模様
  - 板材表面：木目模様
- ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認ください。
- ※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上



杭：プラ擬木  $\phi 120$  L=1050

鋼管： $\phi 60.5 \times 3.8t$  L=2400  
PF12105P2500



横板  
プラ擬板t80 L=2000  
h=200  
PL20820N-D

設計条件

背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m
背面土の粘着力	0.00kN/m
載荷重	36.9kN/m
杭根入れ地盤の平均N値	5

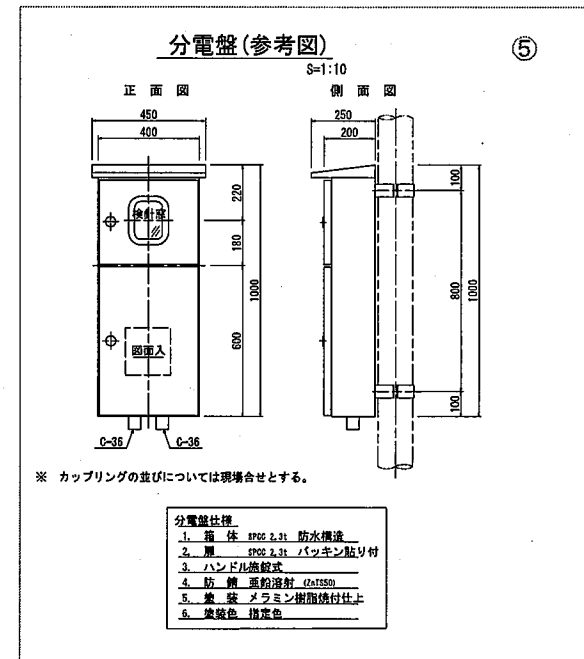
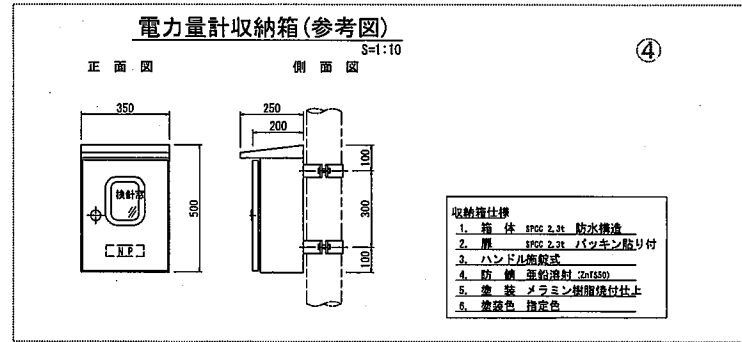
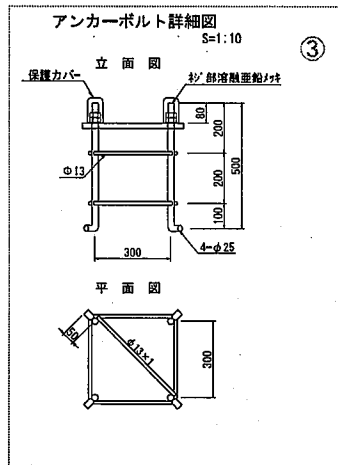
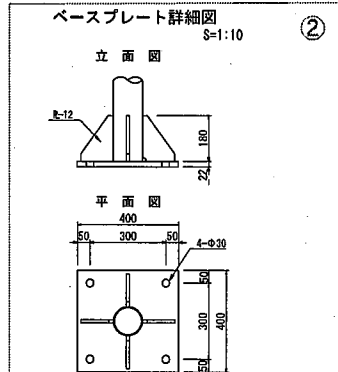
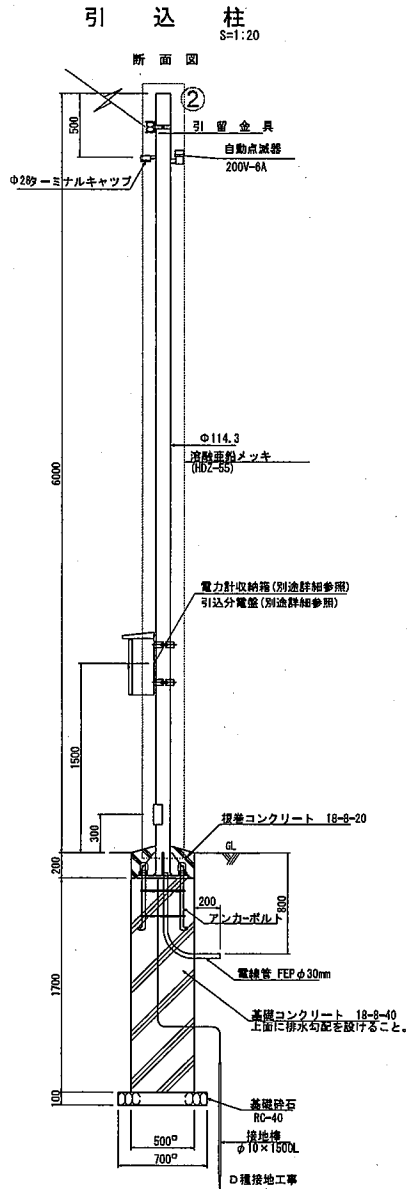
※地盤条件などにより、  
部材サイズ等が変更されます。

※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。  
※設置環境により、補強等が必要となる場合がございます。

※打込み鋼管の天端は、GL+900mmです。(樹脂カバー天端-100mm)

※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

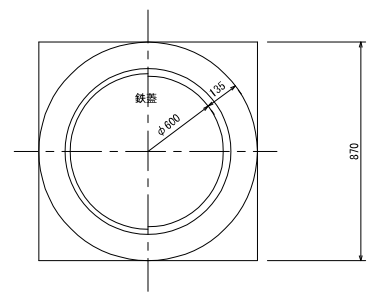
# 構造図 (1)



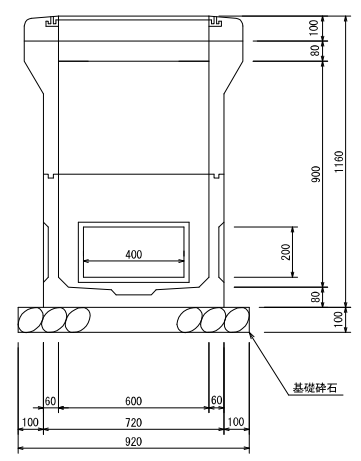
平成 30 年度	図面番号	4 / 7
路線名	[REDACTED]	
委託名	[REDACTED]	
委託場所	[REDACTED]	
図面名	構造図 (1)	縮尺 図示
事務所名	大阪府富田林土木事務所	

信号用ハンドホール構造図 S=1:10  
(600×600×900)

平面図

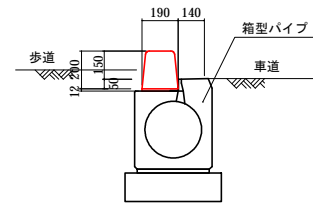


断面図



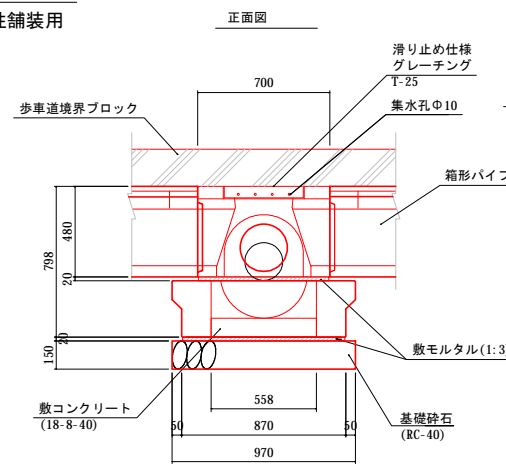
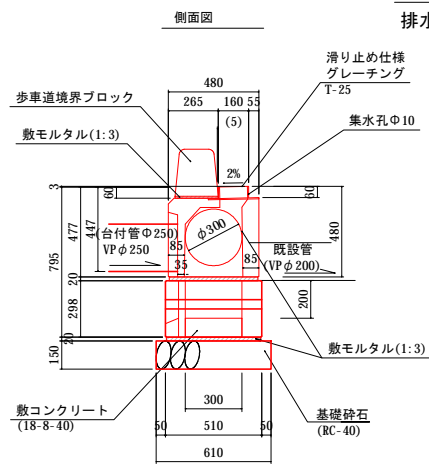
# 構造図 S=1:20

## 箱型パイプ



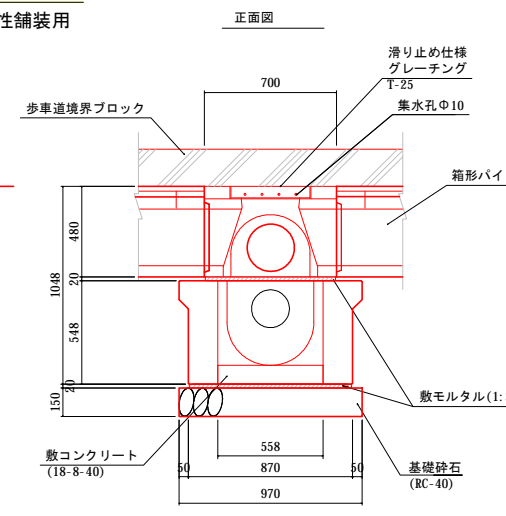
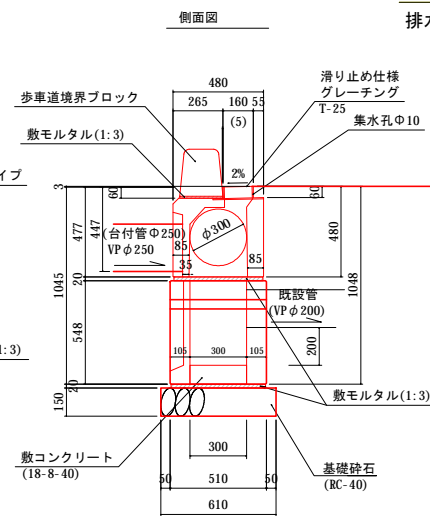
### 側溝用柵1

(h=750用)  
排水性舗装用



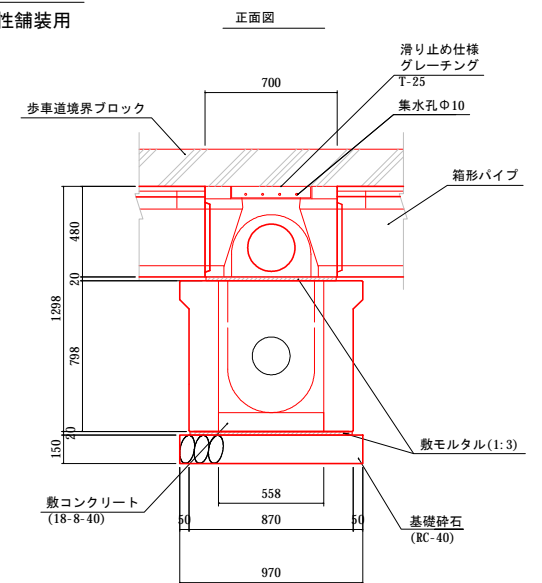
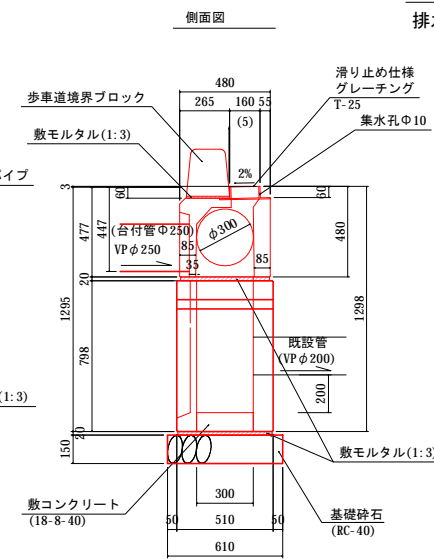
### 側溝用柵2

(h=1000用)  
排水性舗装用



### 側溝用柵3

(h=1250用)  
排水性舗装用

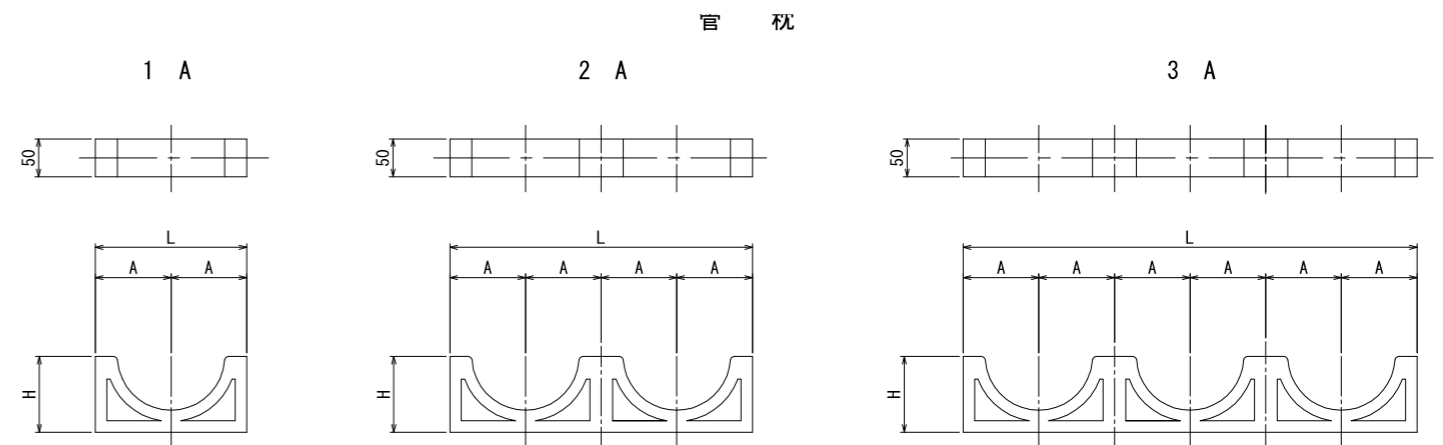


- ※ 柵深さは、既設管の深さに応じ決定する。
- ※ 歩道乗入部は、接続管を台付管とする。



# 管路材構造図 (2) S=NON

(電力用亜鉛メッキ鋼管:KGP)



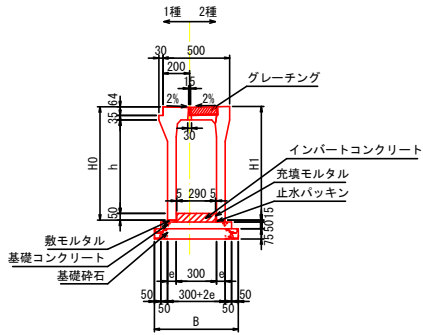
単位: mm

管の呼び径・型別	寸法	A	H	L
100	1 A	90	90	180
	2 A	90	90	360
	3 A	90	90	540

※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

# スリット付自由勾配側溝 街渠縦断用 標準断面図

幅300サイズ



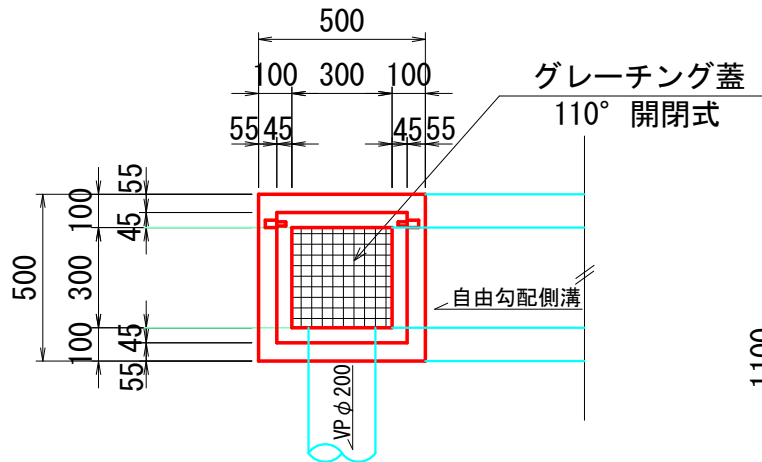
数量表

呼名 (幅×深)	h (mm)	H0 (mm)	H1 (mm)	e (mm)	B (mm)	1種 参考重量 (kg)	2種 参考重量 (kg)	インバート コンクリート (m <sup>2</sup> )	インバート 型枠 (m <sup>2</sup> )	充 填 モルタル (m <sup>2</sup> )	敷モルタル (m <sup>2</sup> )	基礎 コンクリート (m <sup>2</sup> )	基礎コンクリート 型枠 (m <sup>2</sup> )	基礎砕石 (m <sup>2</sup> )
300×300	300	449	451	50	600	416	381	0.189	1.300	0.007	0.015	0.250	1.000	6.000
300×400	400	549	551	55	610	496	461				0.017	0.255		6.100
300×500	500	649	651	60	620	546	511				0.020	0.265		6.300
300×600	600	749	751	65	630	654	619				0.023	0.275		6.500
300×700	700	849	851	70	640	714	679				0.026	0.285		6.700
300×800	800	949	951	75	650	849	814							
300×900	900	1049	1051	80	660	918	883							
300×1000	1000	1149	1151	85	670	1080	1045							
300×1100	1100	1249	1251	90	680	1158	1123							

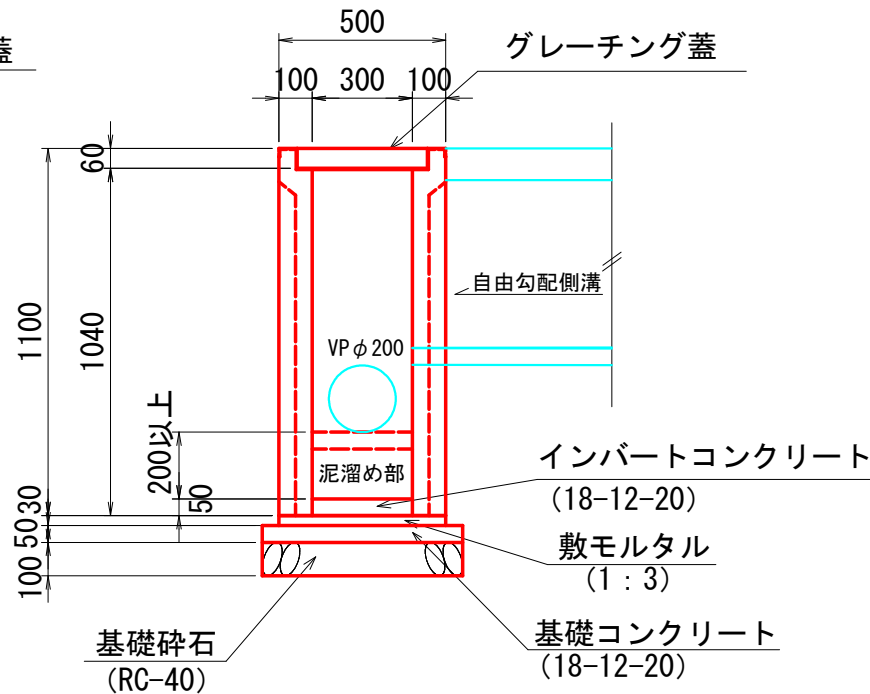
10m当り

## プレキャスト集水桝

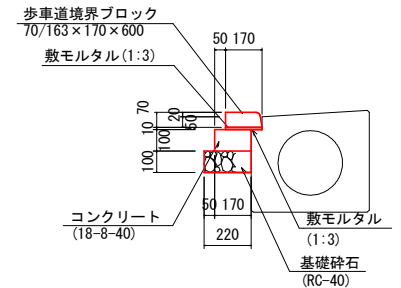
平面図



側面図



縁石Eb型  
(一般部)



[適用範囲]

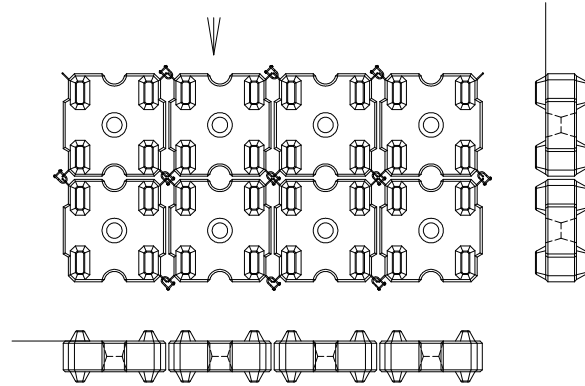
1. コンクリート活荷重は、T-2.5とし道路と平行に載荷する。

[仕様]

1. コンクリート		2. 鉄筋	
設計基準強度 $\sigma_{ck}$	30N/mm <sup>2</sup>	許容引張応力度 (SD295A) $\sigma_{sb}$	160N/mm <sup>2</sup>
許容曲げ圧縮応力度 $\sigma_{cd}$	10N/mm <sup>2</sup>		
許容せん断応力度 $\sigma_s$	0.45N/mm <sup>2</sup>		

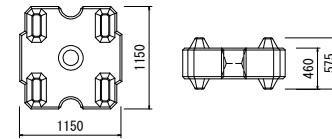
# リーフロック I 型 1.0 t 標準図

標準配列図 S=1:30

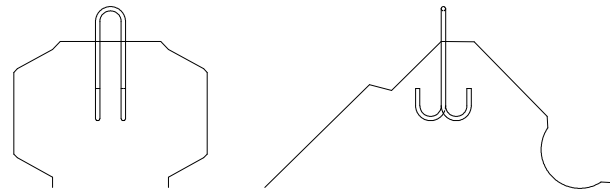


注：必要に応じて吸出防止材を設置する。

規格寸法図 S=1:30



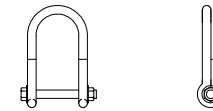
連結鉄筋（フック）詳細図 S=1:10



(1個当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
連結鉄筋	鉄筋φ16	kg	1.91	全長121cm

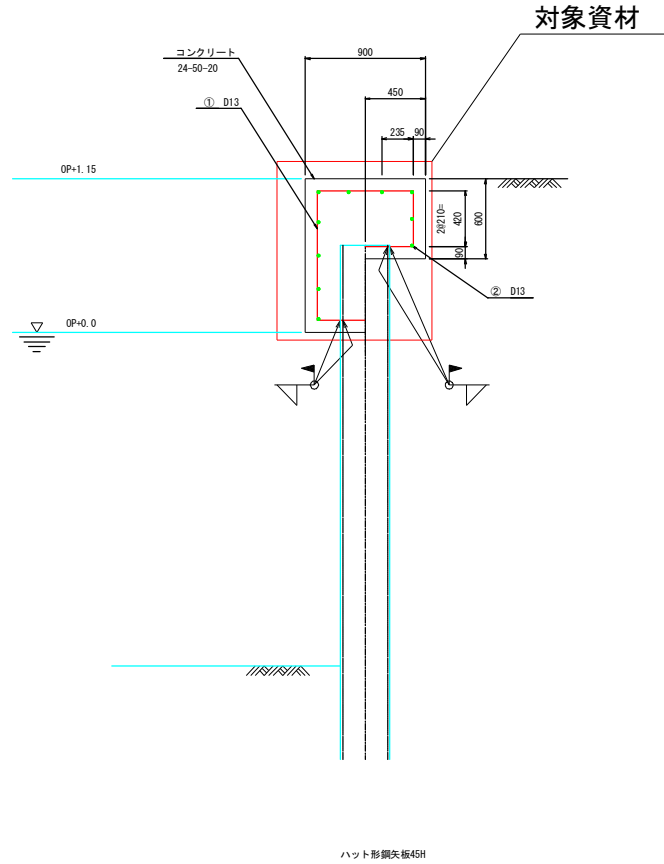
連結金具（シャックル）詳細図 S=1:5



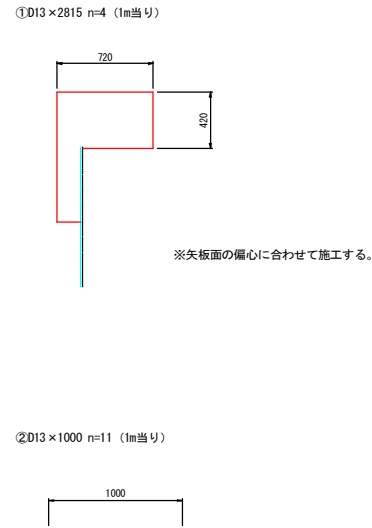
(1個当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
連結金具（シャックル）	鉄筋φ16	kg	1.18	全長60cm

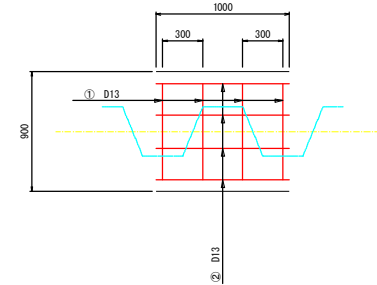
現場打ち断面図



配筋加工図



平面図



鉄筋表

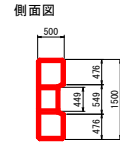
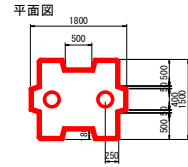
記号	径	長さ	本数	単位重量	1m当り		摘要
					長さ	重量	
	[mm]	[本]	[kg/m]	[kg/本]	[kg]		
①	D13	2815	3.33	0.995	2.80	9.33	□
②	D13	1000	10.00	0.995	1.00	10.00	—
合計						19.33	

※採用した笠コンクリートブロックの寸法の記載をお願いします。(mあたりで換算するため)  
 ※同等品以上のプレキャストコンクリートブロックとする。  
 ※伸縮目地は10mに1箇所設置する。  
 ※1個当りに必要な中詰め材(水中コンクリート)の参考数量を記載すること。

# 根固めブロック構造図 S=1:50

## 護床ブロック 2t型

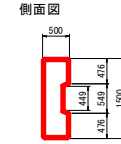
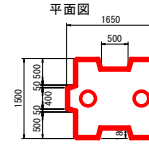
標準型



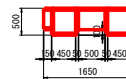
正面図



端部型



正面図

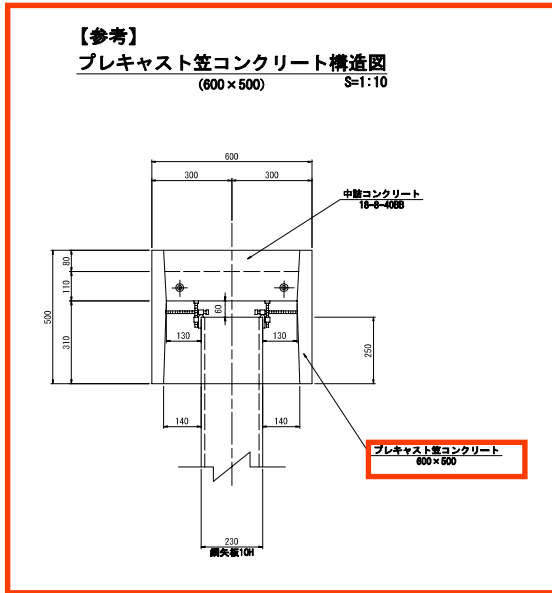


(注記) 各護床ブロックは連結金具にて連結すること。

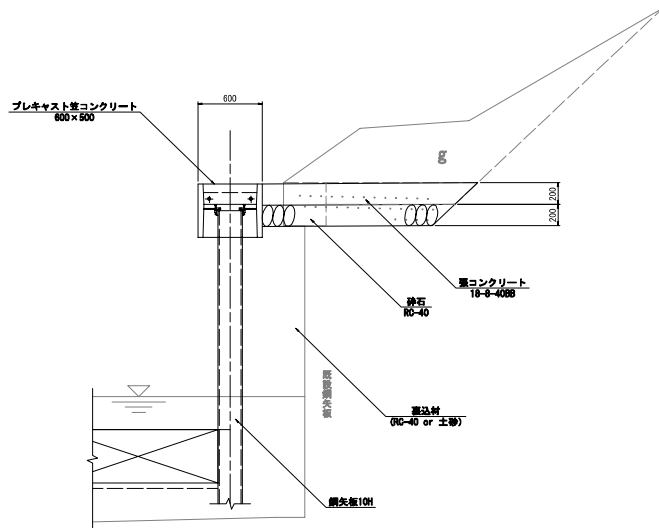
参考図 3

令和3-4年度	図面番号	3 / 13
河川名	二級河川 石津川	
工事名	護岸補強工事 R3-1 工区 (津久野大橋上下流)	
施工地名	堺市西区鶴田町地内	
図面名	根固めブロック構造図縮尺	1:50
大阪府鳳土木事務所		

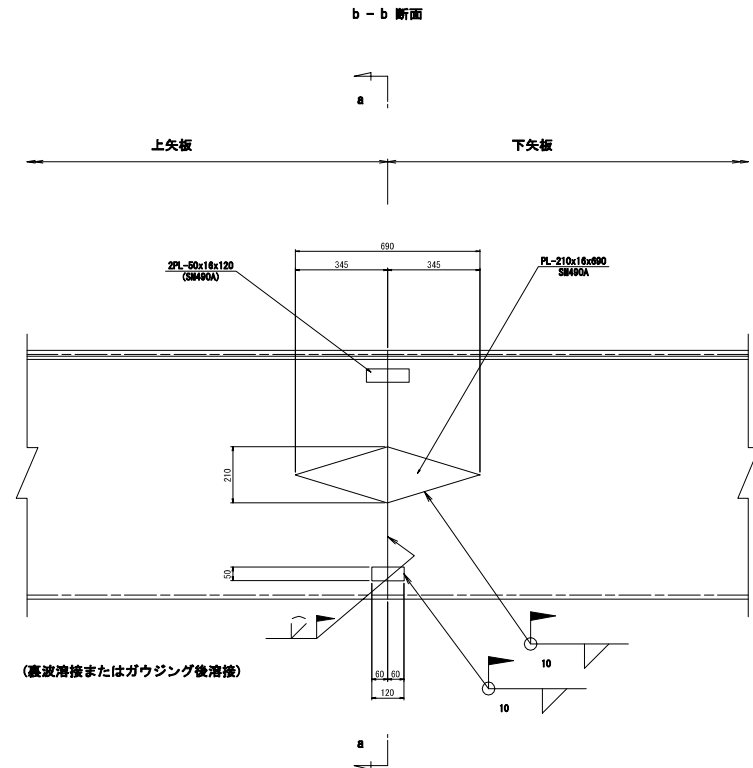
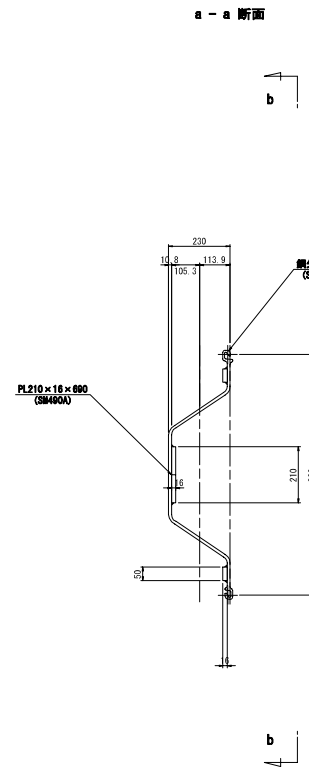
護岸工詳細図



低水護岸構造図  
S=1:25

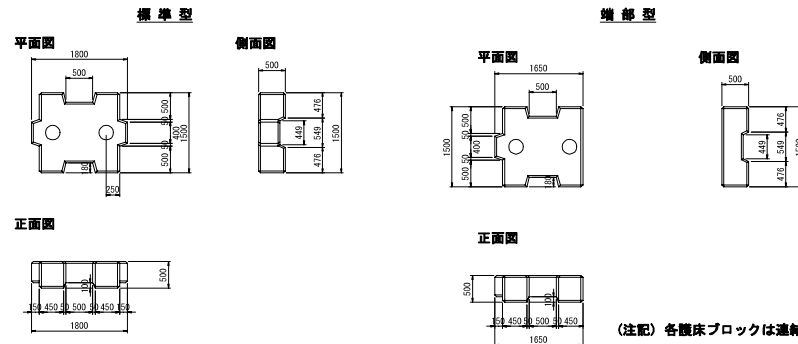


鋼矢板(ハット10H型)継手詳細図  
S=1:10



(備考) 現場溶接継手位置仕様は鋼管杭・鋼矢板技術協会の鋼矢板の溶接継ぎ標準仕様に従う

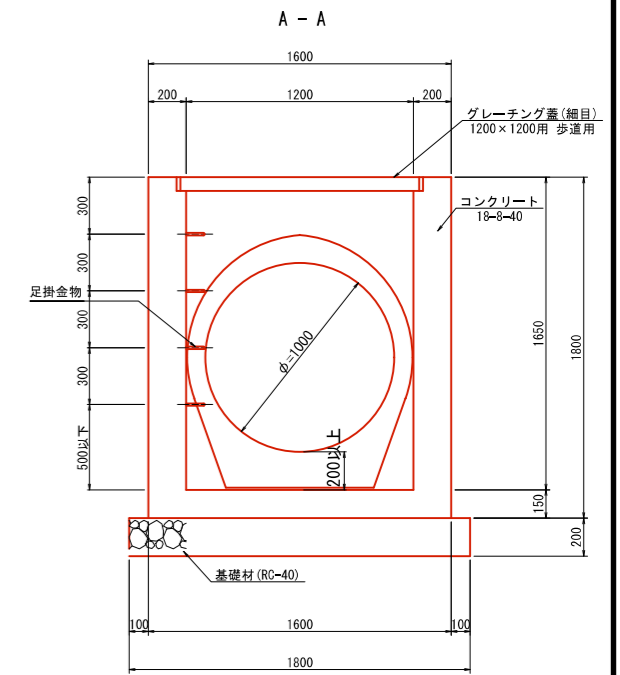
**【参考】**  
**護床ブロック 2t型**  
 S=1:50



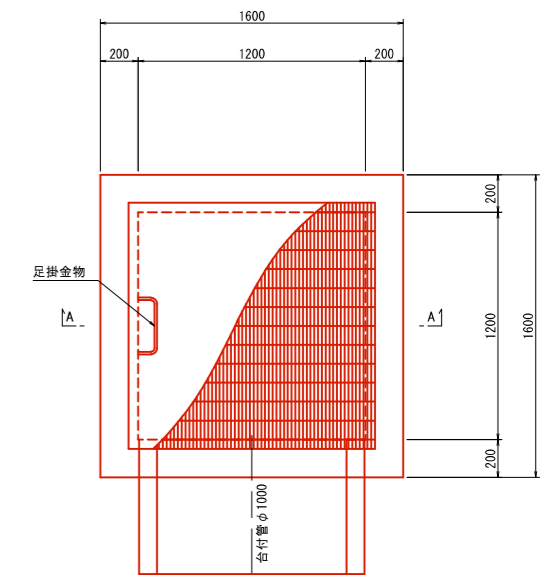
(注記) 各護床ブロックは連結金具にて連結すること。

構造図(3) S=1:20

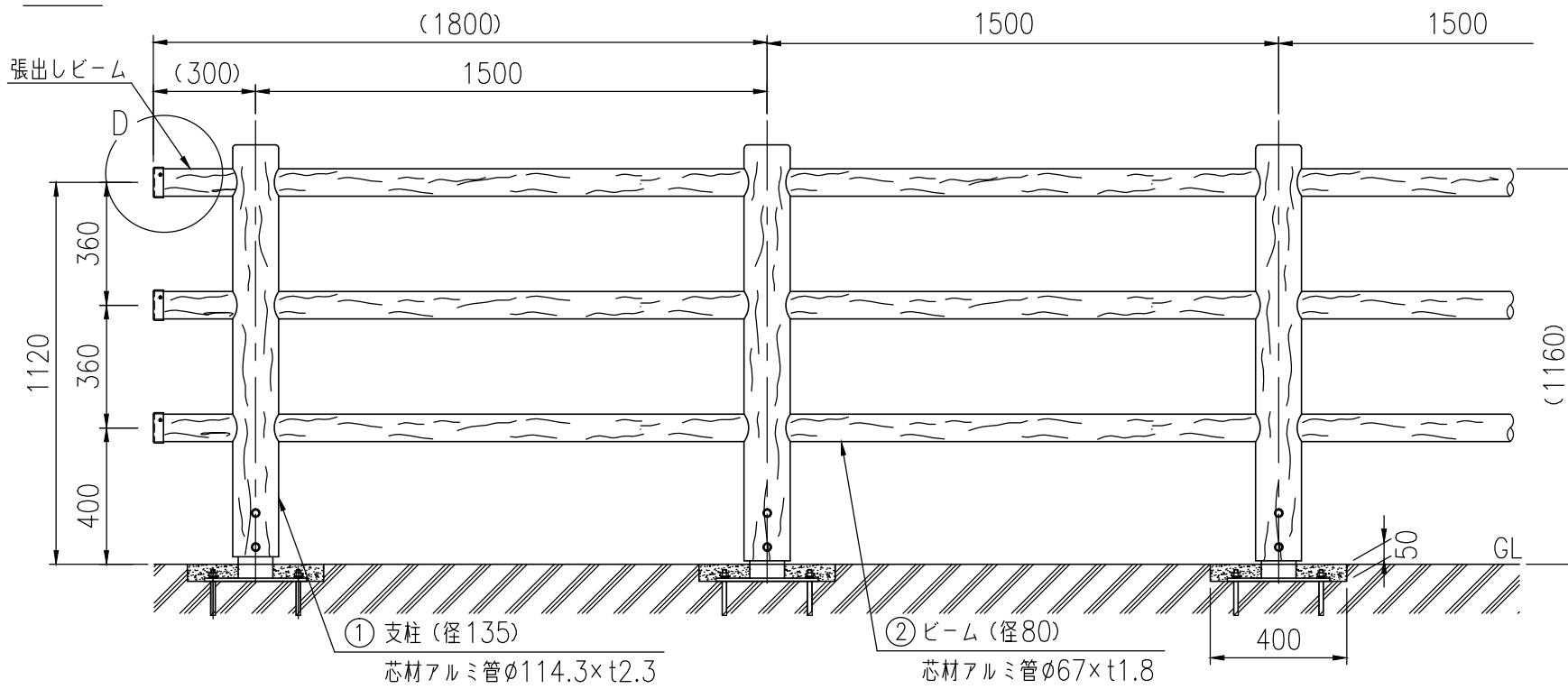
集水樹D



平面図

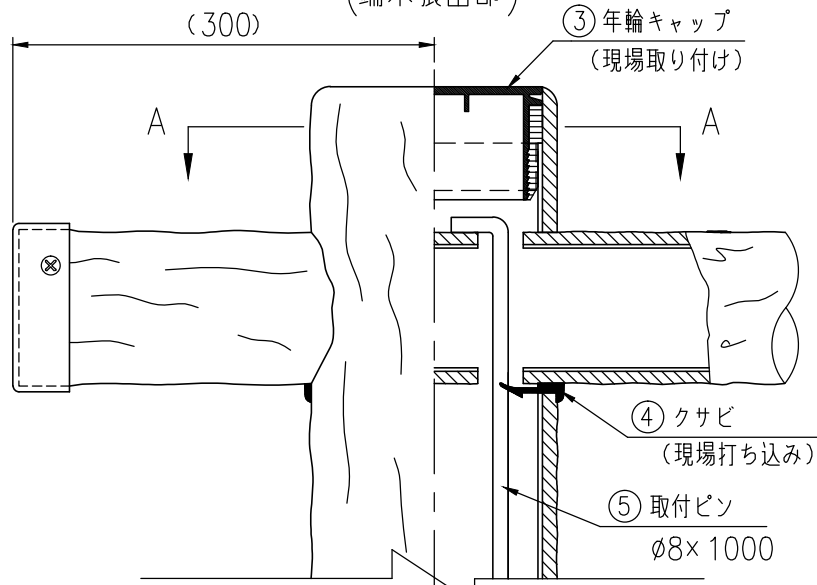


設置図 (1/20)

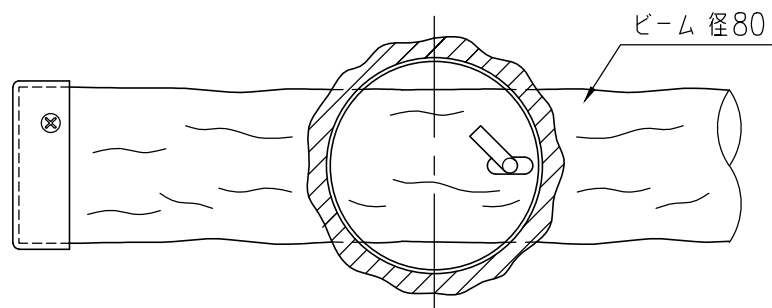


取付部詳細 (1/4)

(端末張出部)

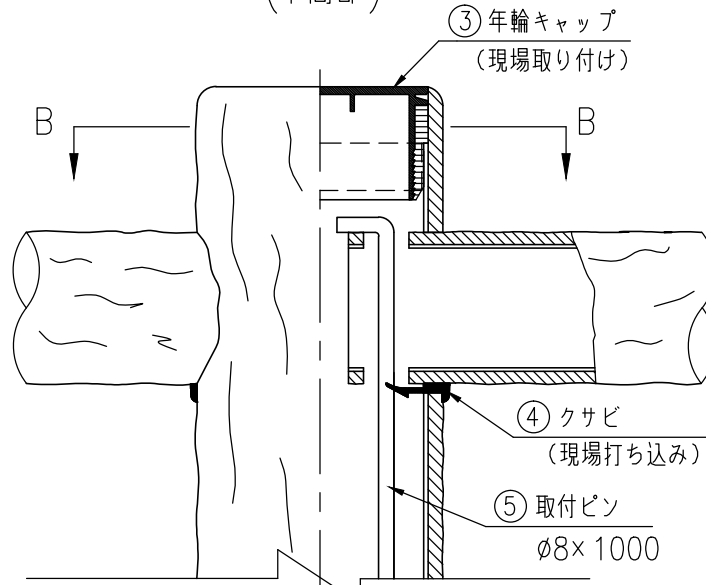


A-A断面 (1/4)

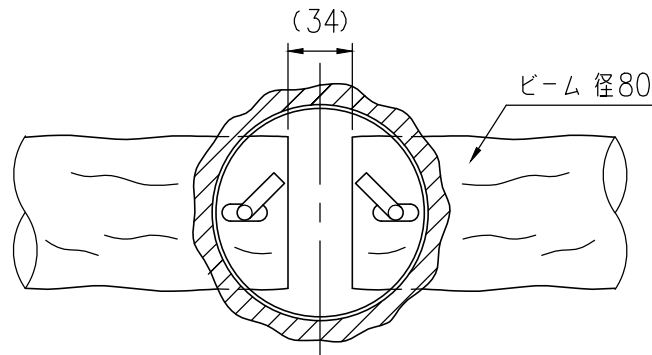


取付部詳細 (1/4)

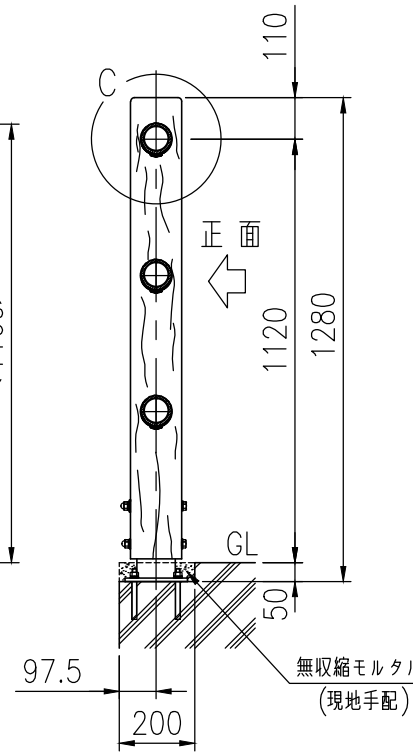
(中間部)



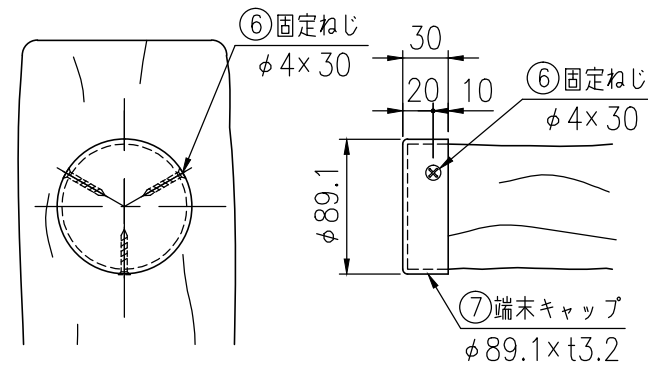
B-B断面 (1/4)



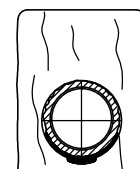
<連続基礎式>  
RAC-3121-15PLトク



D部詳細図 (1/5)



C部詳細図 (1/8)

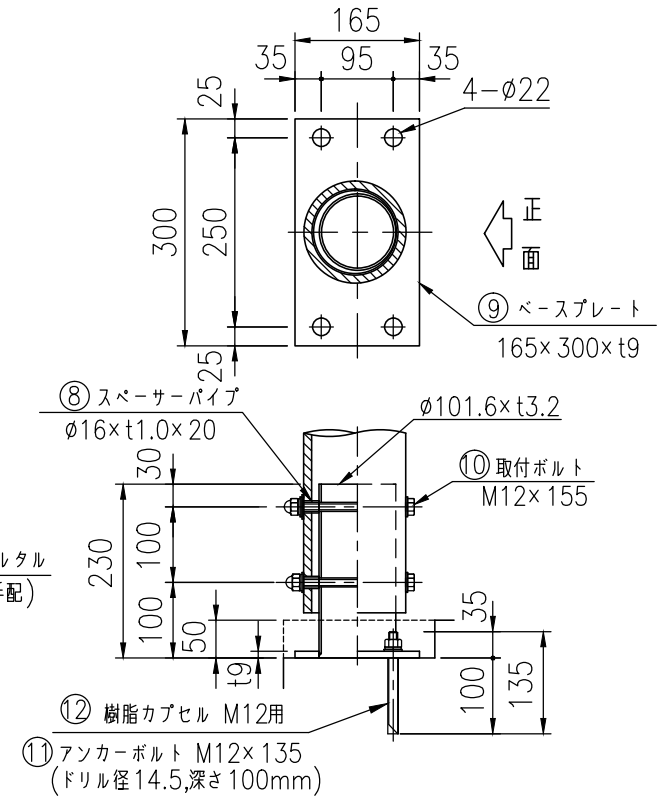


\*特注項目

1	端末張出しビーム
2	端末キャップ
3	支柱長さトク
4	ベースプレート165×300×t9
5	樹脂アンカー M12

タイプ	テンダーウッドレコオーク超軽量横木柵
品番	RAC-3121-15PLトク
図面番号	ARE170092

ベースプレート詳細図 (1/10)

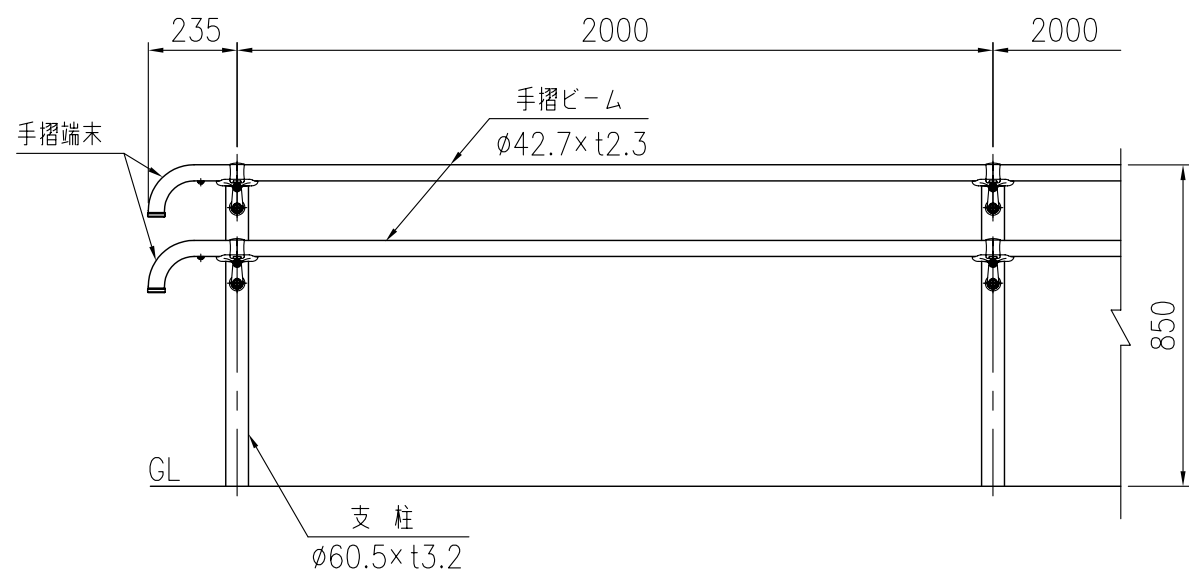


\*注記: 支柱及び横木の外径は凸部の平均値です。  
:仕様は予告なく変更することがあります。  
:端末張出しビームは、支柱にビームを通してから支柱の根固めを行ってください。  
\*基礎は(水平・垂直)地耐力200kN/m<sup>2</sup>の場合の参考寸法です。

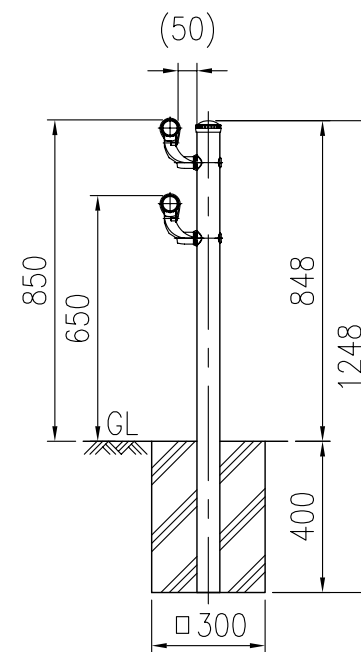
部番	部材名	材質	摘要
1	支柱	A6063S-T5+再生ポリエチレン	アルミ+樹脂被覆
2	ビーム	A6063TE-T5+再生ポリエチレン	アルミ+樹脂被覆
3	年輪キャップ	ポリエチレン	
4	クサビ	ポリエチレン	クロ
5	取付ピン	SS400	亜鉛めっき
6	固定ねじ(φ4×30)	SUS	十字穴付皿ドリルネジ
7	端末キャップ	STK400,SS400	亜鉛めっき+塗装
8	スペーサーパイプ	SUS	
9	ベースプレート t9.0	SS400, STK400	溶融亜鉛めっき
10	取付ボルト M12×155	強度区分4.6,溶融亜鉛めっき+塗装	B1,袋N1,W2,大W1,SW1
11	アンカーボルト M12×135	4.6相当	溶融亜鉛めっき
12	樹脂キャップ	M12用	



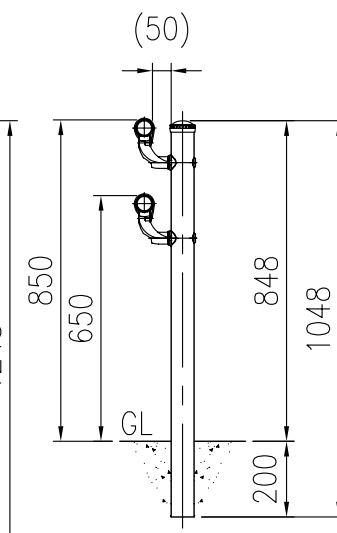
設置図 (1/20)



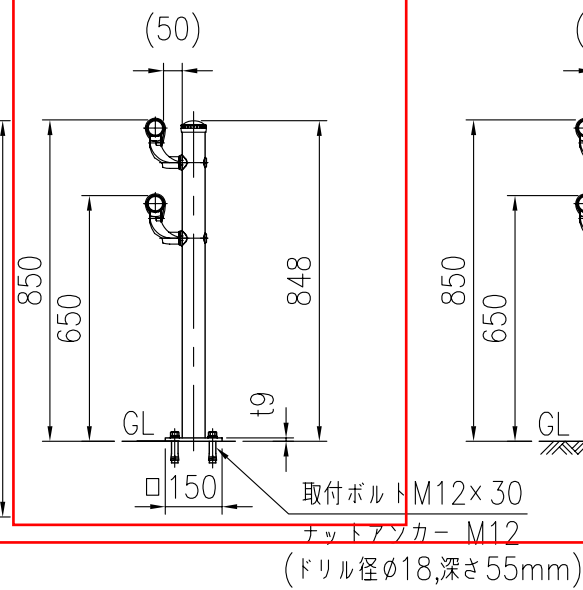
TR61F-APS285-C20



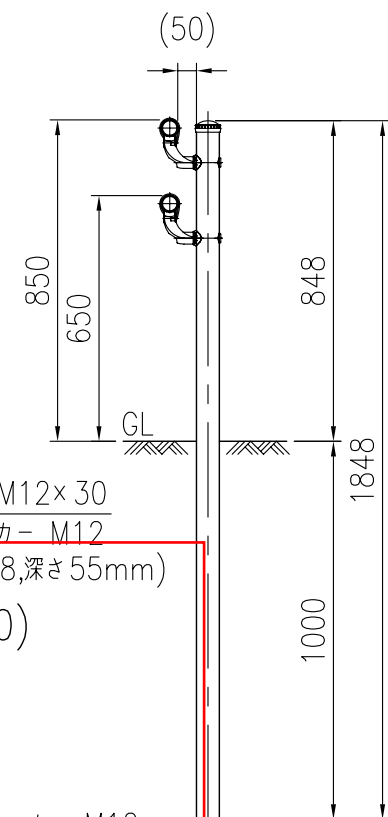
TR61F-APS285-W20



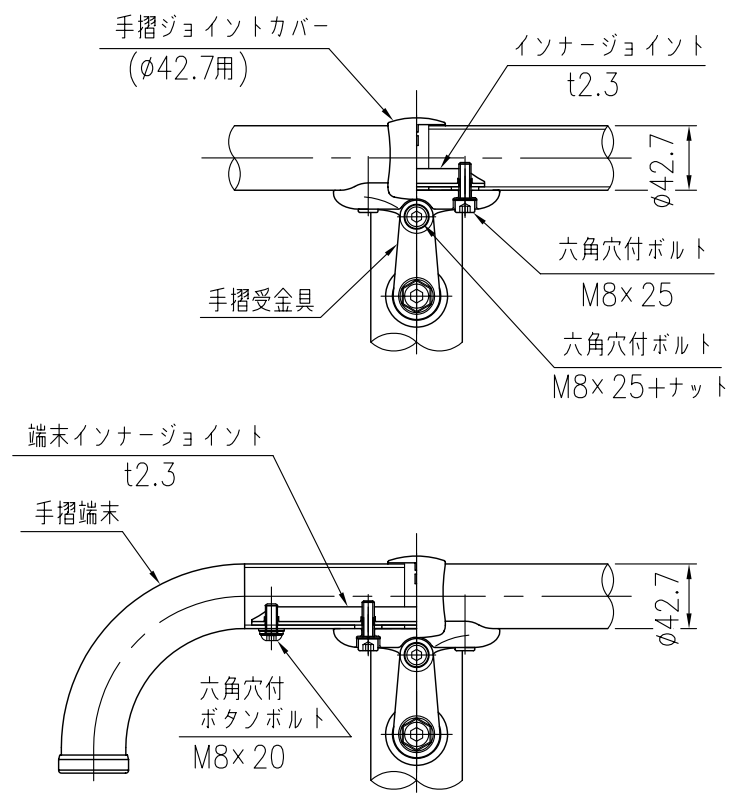
TR61F-APS285-PL20



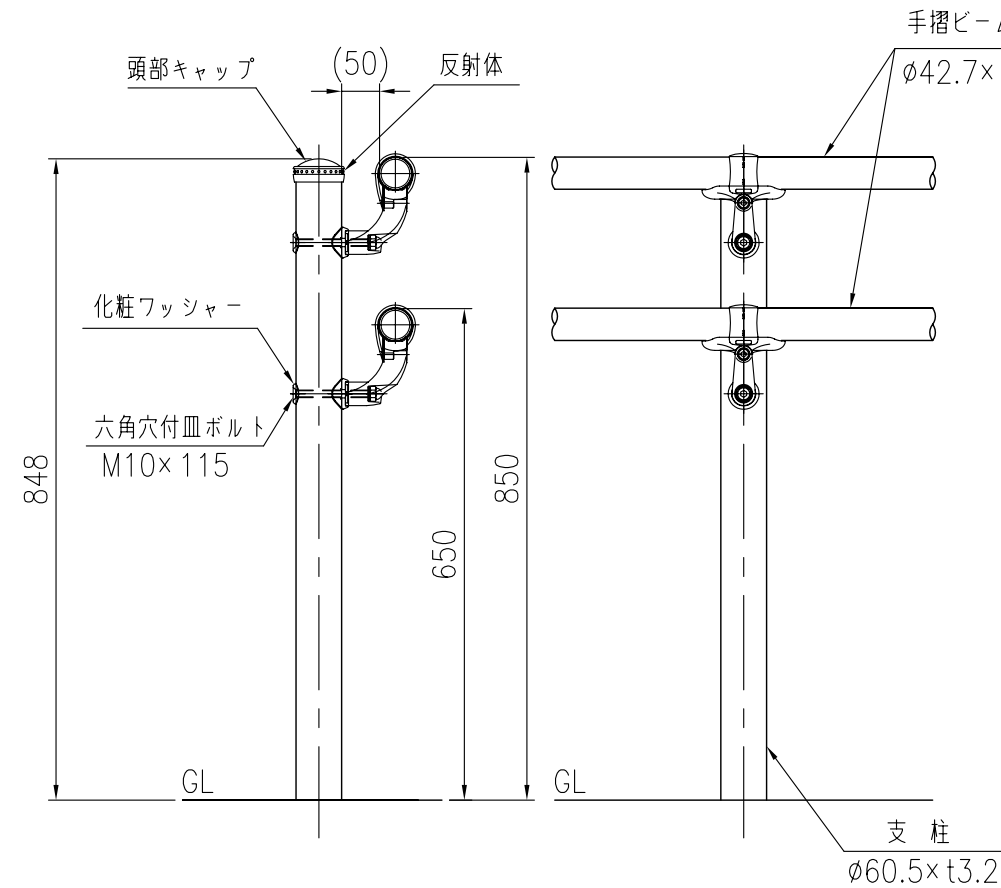
TR61F-APS285-E20



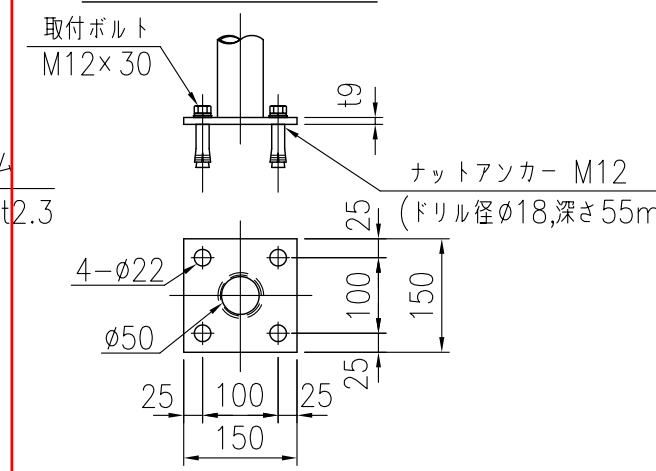
取付部詳細図 (1/5)



支柱図 (1/10)



ベースプレート詳細図 (1/10)

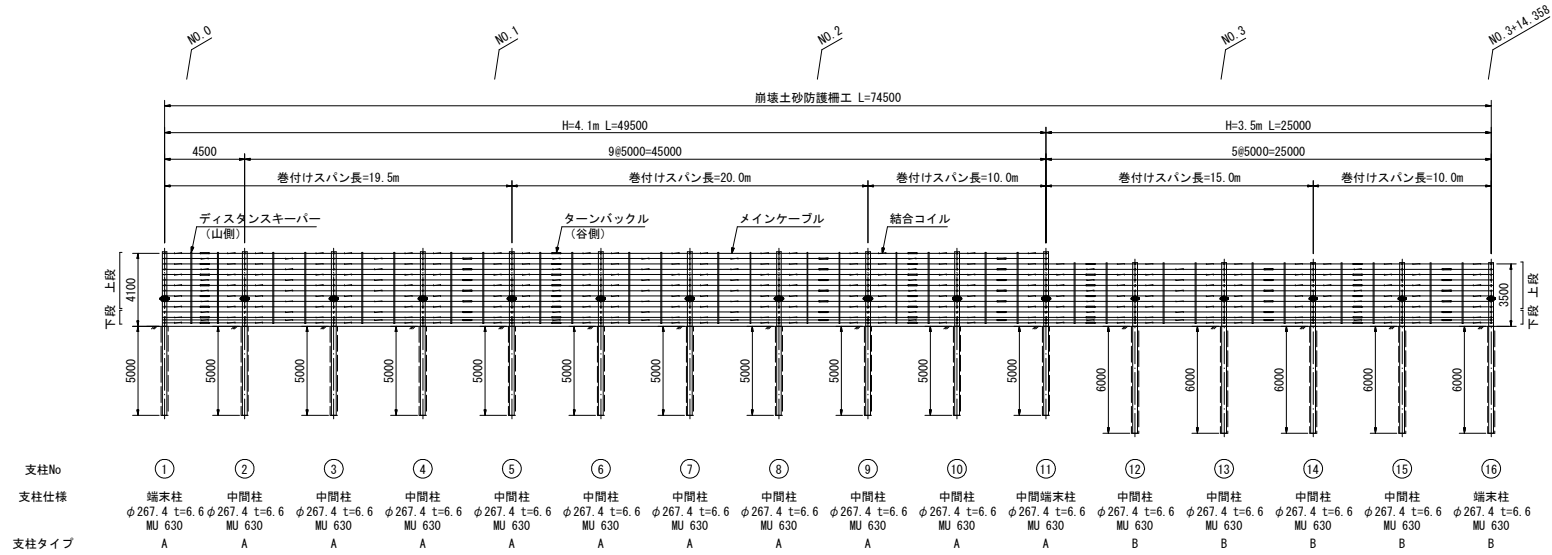


品名	材質	摘要
支柱	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
手摺ビーム	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
頭部キャップ	PE	着色樹脂
反射体	ガラスビーズ	ベース 黒・反射体 黄
手摺末端	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
手摺受金具	アルミ合金	焼付塗装
インナージョイント	SGH400相当	高耐食溶融めっき鋼板
末端インナージョイント	SGH400相当	高耐食溶融めっき鋼板
手摺ジョイントカバー	PC	ポリカーボネート
六角穴付ボルト	SUS	M8x25
六角穴付ボルト	SUS	M8x25+ナット
六角穴付ボタンボルト	SUS	M8x20
六角穴付皿ボルト	SUS	M10x115 + 袋ナット
化粧ワッシャー	SUS	
ナットアンカー		溶融亜鉛めっき M12
取付ボルト	4.6相当	溶融亜鉛めっき M12x30

# 崩壊土砂防護柵工展開図(1)

S=1:150

## 参考図



支柱No	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
支柱仕様	端末柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間端末柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630	端末柱 φ267.4 t=6.6 φ267.4 t=6.6 MU 630
支柱タイプ	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B

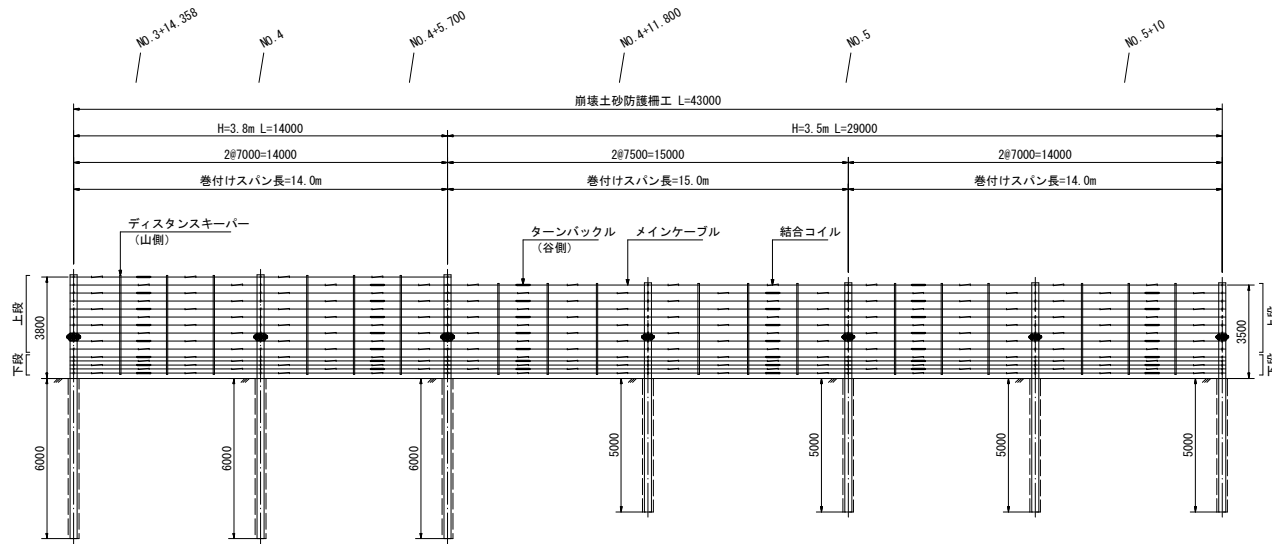
崩壊土砂防護柵工数量表

名称	仕様・寸法	単位	数量	摘要
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9580mm	本	1	分割支柱 タイプB
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9180mm	本	1	分割支柱 タイプA
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9580mm	本	4	分割支柱 タイプB
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9180mm	本	9	分割支柱 タイプA
中間端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9180mm	本	1	分割支柱 タイプA
ディスタンスキーパー	H=4.1m用	セット	20	
ディスタンスキーパー	H=3.5m用	セット	10	
ターンバックル	W5/8×18	個	51	
ターンバックル	W7/8×18	個	20	
U形金網	φ4×50mm	m2	290.45	
メインケーブル	7×19 φ18 L=40.70m	本	4	
メインケーブル	7×19 φ18 L=39.70m	本	4	
メインケーブル	7×19 φ18 L=30.70m	本	4	
メインケーブル	7×19 φ18 L=20.70m	本	8	
メインケーブル	7×19 φ12 L=40.68m	本	11	
メインケーブル	7×19 φ12 L=39.68m	本	11	
メインケーブル	7×19 φ12 L=30.68m	本	9	
メインケーブル	7×19 φ12 L=20.68m	本	20	
結合コイル	φ4×φ50×P50-400	個	330	

※1 支柱間隔は斜長距離  
 ※2 図中の測点位置は、計面時の目安  
 ※3 展開図は谷側から山側を以ての表示

崩壊土砂防護柵工展開図(2) S=1:100

参考図



支柱No	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓
支柱仕様	端末柱 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間端末柱 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 MU 630	端末柱 φ267.4 t=6.6 MU 630
支柱タイプ	C	C	C	D	D	D	D

崩壊土砂防護柵工数量表

名称	仕様・寸法	単位	数量	摘要
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=8580mm	本	1	分割支柱 タイプD
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9880mm	本	1	分割支柱 タイプC
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=8580mm	本	3	分割支柱 タイプD
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9880mm	本	1	分割支柱 タイプC
中間端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9880mm	本	1	分割支柱 タイプC
ディスタンスキーパー	H=3.8m用	セット	6	
ディスタンスキーパー	H=3.5m用	セット	12	
ターンバックル	W5/8*18	個	28	
ターンバックル	W7/8*18	個	15	
ひし形金網	φ4×50mm	m <sup>2</sup>	154.7	
メインケーブル	7×19 φ18 L=30.70m	本	5	
メインケーブル	7×19 φ18 L=28.70m	本	10	
メインケーブル	7×19 φ12 L=30.68m	本	9	
メインケーブル	7×19 φ12 L=28.68m	本	19	
結合コイル	φ4×φ50×P50-400	個	172	

※1 支柱間隔は斜長距離  
 ※2 図中の測点位置は、計画時の目安  
 ※3 展開図は谷側から山側を以ての表示

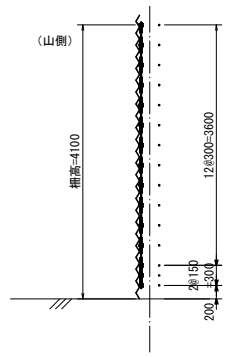
# 崩壊土砂防護柵構造図(1)

S=1:40

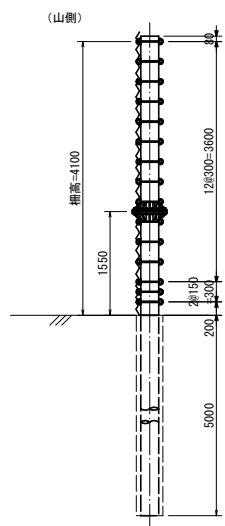
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 4.1 m)

## 参考図

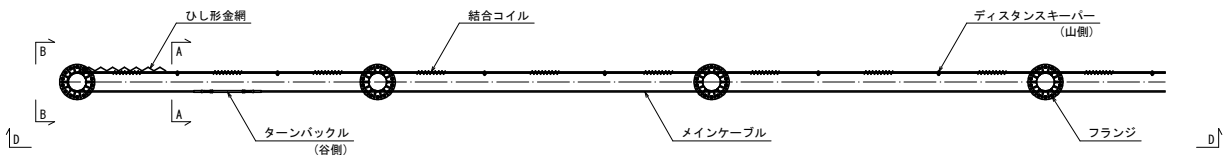
A - A 矢視図



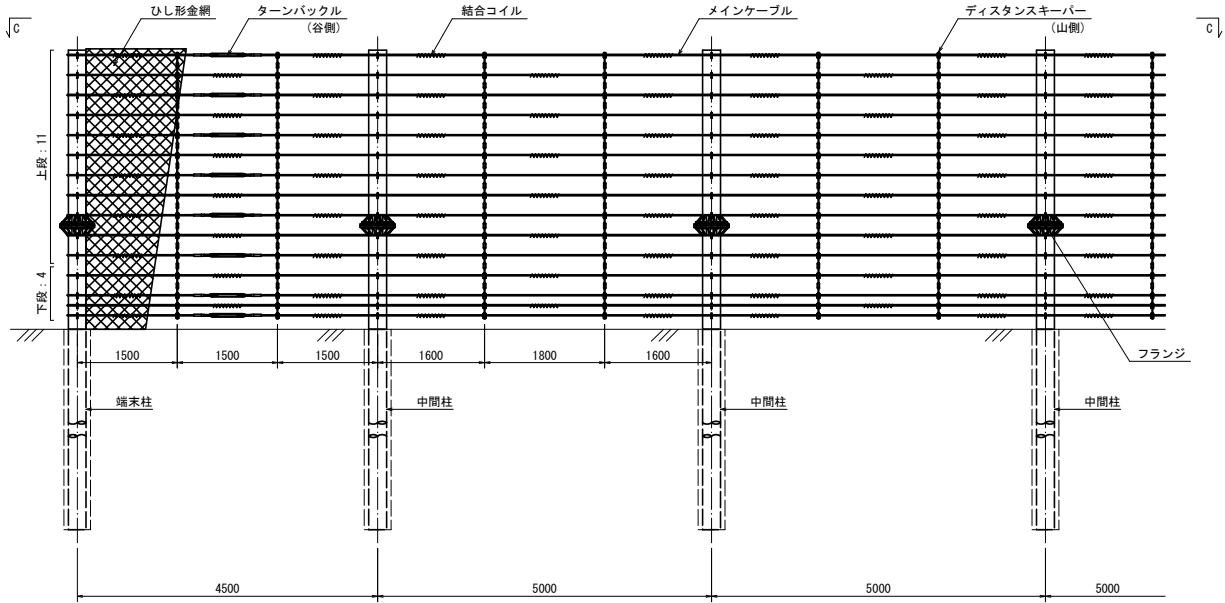
B - B 矢視図



C - C 矢視図



D - D 矢視図



部材仕様一覧

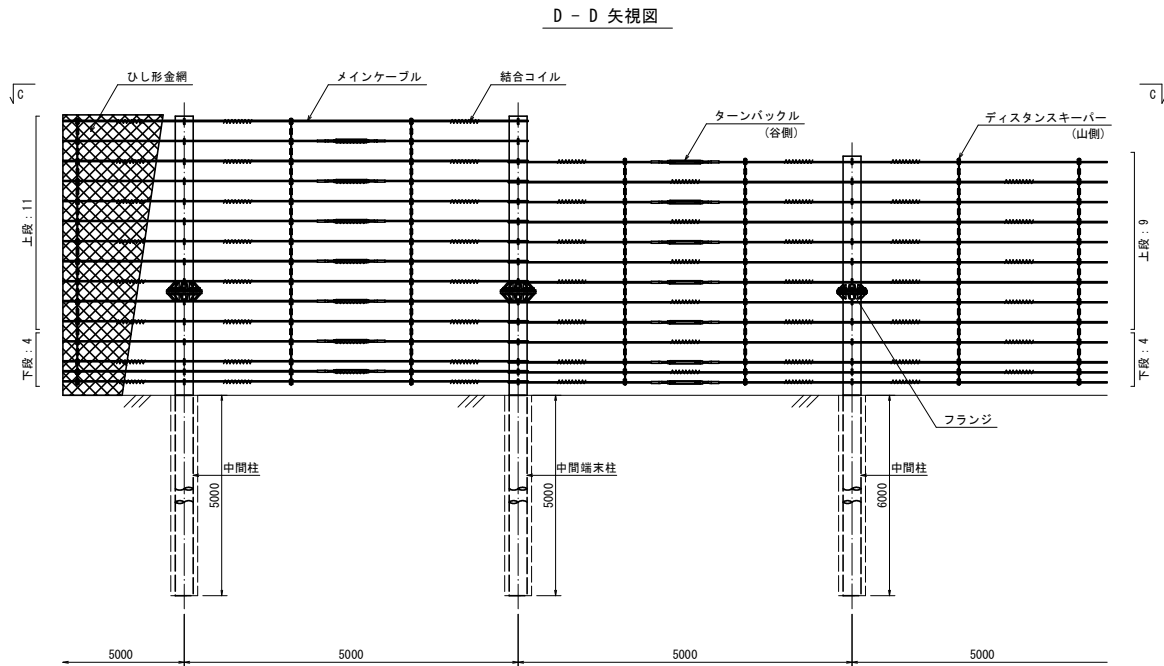
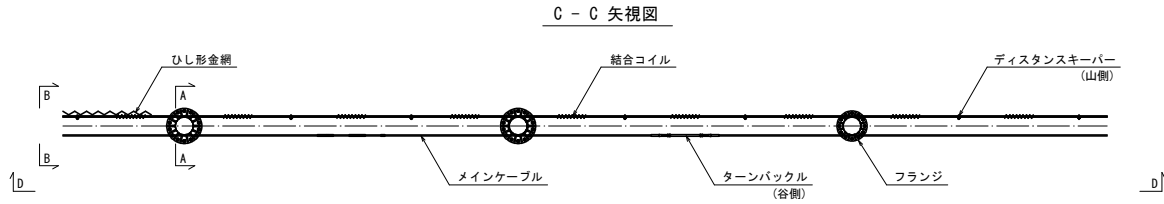
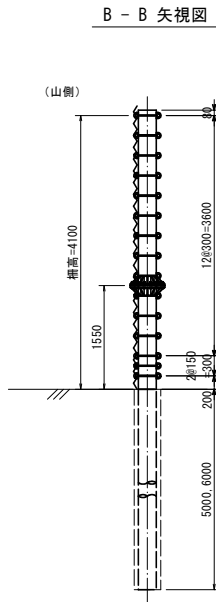
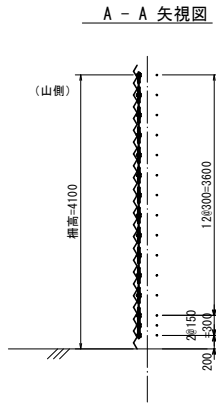
部材名称	仕様
端末および中間柱 分割支柱(支柱タイプA)	φ=267.4 mm t= 6.6 mm (Mu=630 kN-m)
メインケーブル	L=5000 + 4100 + 80 = 9180 mm
ひし形金網	上段 φ=12mm 7×19
	下段 φ=18mm 7×19
ひし形金網	φ=4 mm 50×50mm

メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
4スパン巻き	

**崩壊土砂防護柵構造図(2)** S=1:40  
 (スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 4.1 m ~ 3.5 m)

**参考図**



**部材仕様一覧**

部材名称	仕様
中間および中間端末柱	$\phi=267.4 \text{ mm}$ $t=6.6 \text{ mm}$ ( $M_u=630 \text{ kN-m}$ )
分割支柱<支柱タイプA>	$L=5000 + 4100 + 80 = 9180 \text{ mm}$
中間柱	$\phi=267.4 \text{ mm}$ $t=6.6 \text{ mm}$ ( $M_u=630 \text{ kN-m}$ )
分割支柱<支柱タイプB>	$L=6000 + 3500 + 80 = 9580 \text{ mm}$
メインケーブル	上段 $\phi=12 \text{ mm}$ $7 \times 19$
	下段 $\phi=18 \text{ mm}$ $7 \times 19$
ひし形金網	$\phi=4 \text{ mm}$ $50 \times 50 \text{ mm}$

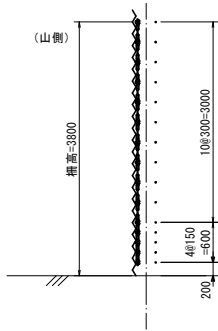
**メインケーブル配置**

巻きつけスパン数	備考
2スパン巻き	
3スパン巻き	

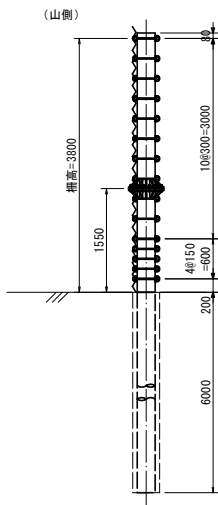
崩壊土砂防護柵構造図(3) S=1:40  
 (スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.8 m ~ 3.5 m)

参考図

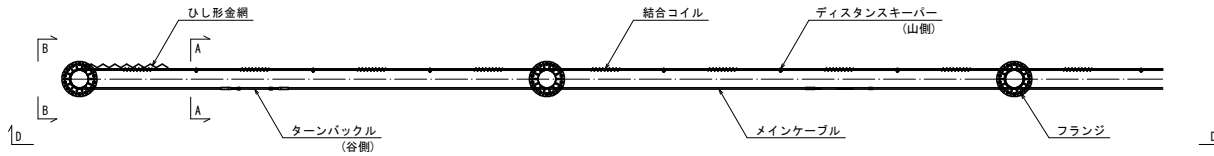
A - A 矢視図



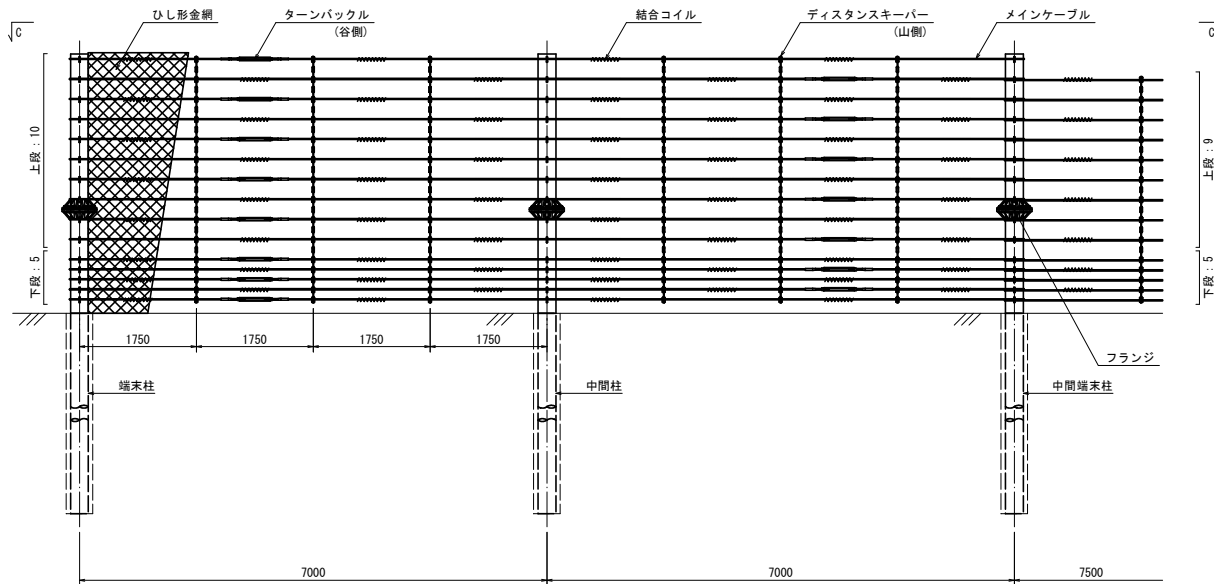
B - B 矢視図



C - C 矢視図



D - D 矢視図



部材仕様一覧

部材名称	仕様
端末柱・中間柱 および中間端末柱	$\phi = 267.4 \text{ mm}$ $t = 6.6 \text{ mm}$ ( $M_u = 630 \text{ kN}\cdot\text{m}$ )
分割支柱(支柱タイプC)	$L = 6000 + 3800 + 80 = 9880 \text{ mm}$
メインケーブル	上段 $\phi = 12 \text{ mm}$ $7 \times 19$
	下段 $\phi = 18 \text{ mm}$ $7 \times 19$
ひし形金網	$\phi = 4 \text{ mm}$ $50 \times 50 \text{ mm}$

メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
2スパン巻き	

特記事項  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

# 崩壊土砂防護柵構造図(4)

(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.5 m)

S=1:40

## 参考図

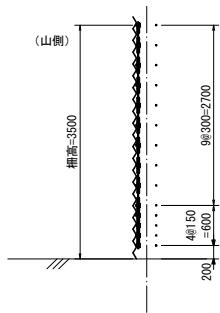
部材仕様一覧

部材名称	仕様
中間柱	$\phi=267.4\text{ mm}$ $t=6.6\text{ mm}$ ( $M_u=630\text{ kN}\cdot\text{m}$ )
分割支柱(支柱タイプD)	$L=5000+3500+80=8580\text{ mm}$
メインケーブル	上段 $\phi=12\text{ mm}$ $7\times 19$
	下段 $\phi=18\text{ mm}$ $7\times 19$
ひし形金網	$\phi=4\text{ mm}$ $50\times 50\text{ mm}$

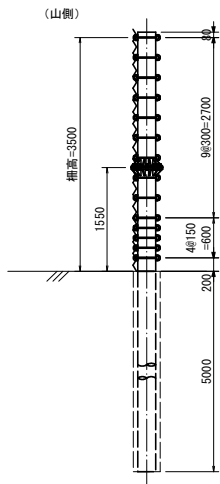
メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
2スパン巻き	

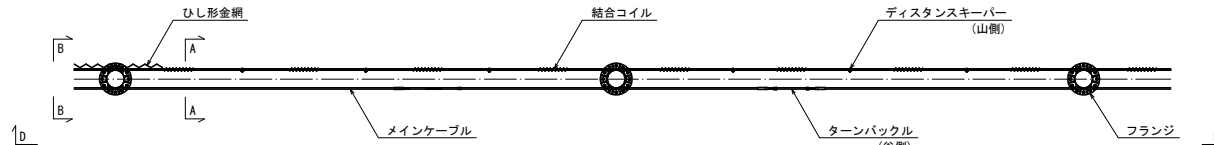
A - A 矢視図



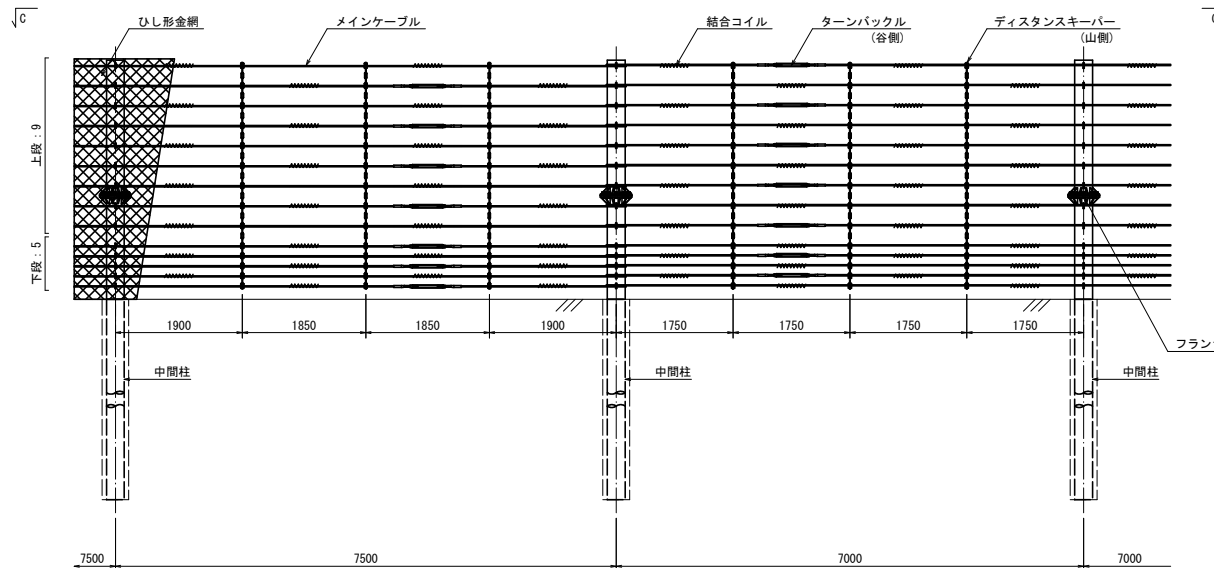
B - B 矢視図



C - C 矢視図



D - D 矢視図



# 崩壊土砂防護柵部材詳細図(1)

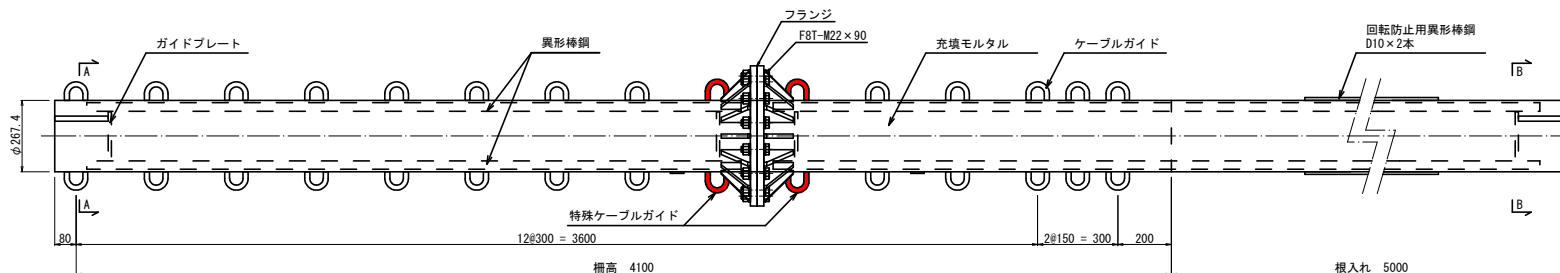
端末柱・中間および中間端末柱 ?支柱タイプA?  
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 4.1 m)

参考図

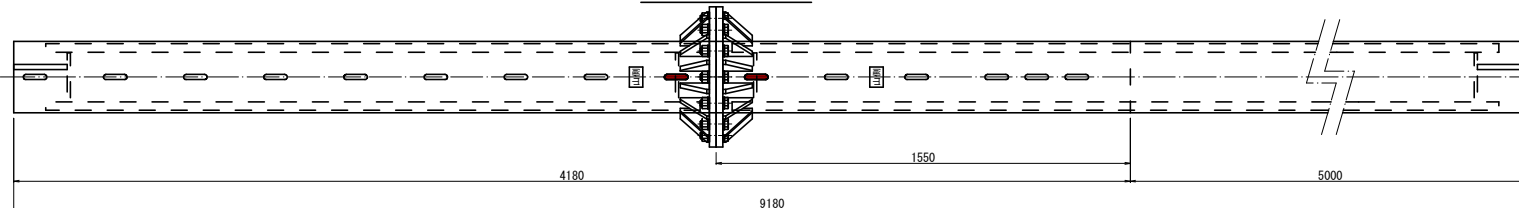
支柱平面図 S=1:10



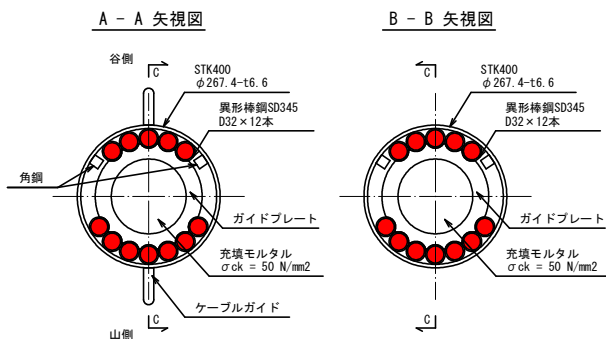
支柱正面図 S=1:10



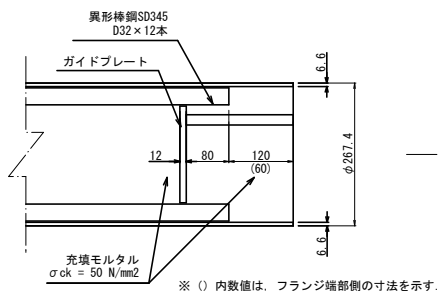
支柱側面図 S=1:10



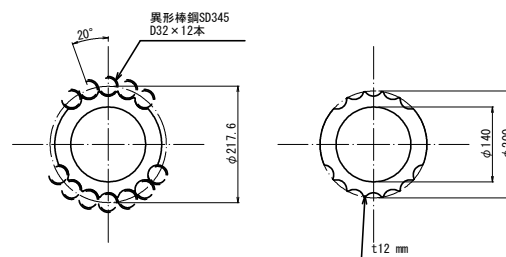
支柱断面図 S=1:5



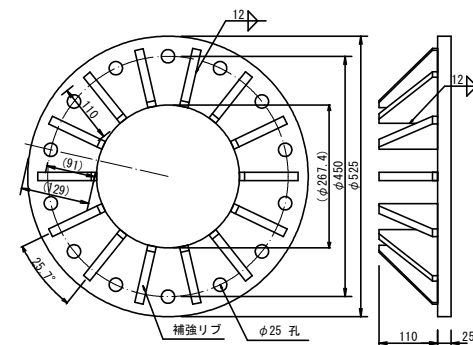
C - C 矢視図



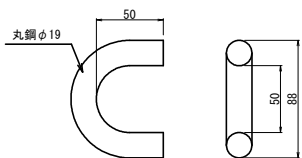
ガイドプレート詳細図 S=1:5



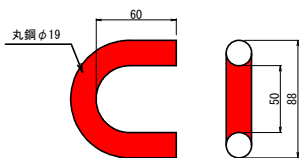
フランジ詳細図 S=1:5



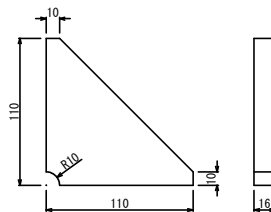
ケーブルガイド詳細図 S=1:2



特殊ケーブルガイド詳細図 S=1:2



補強リブ詳細図 S=1:2



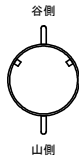


# 崩壊土砂防止柵部材詳細図(2)

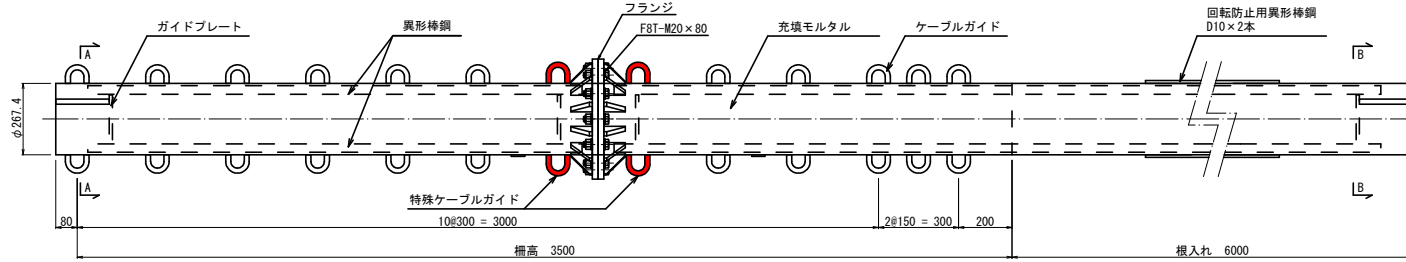
端末および中間柱<支柱タイプB>  
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.5 m)

参考図

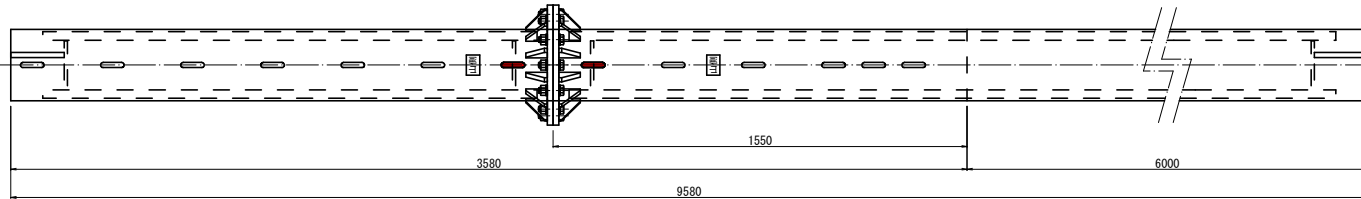
支柱平面図 S=1:10



支柱正面図 S=1:10



支柱側面図 S=1:10

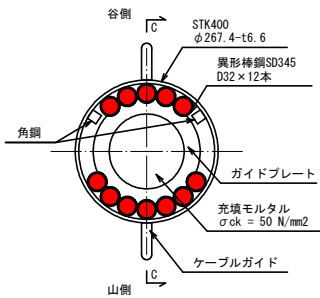


支柱断面図 S=1:5

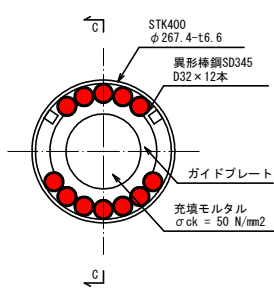
ガイドプレート詳細図 S=1:5

フランジ詳細図 S=1:5

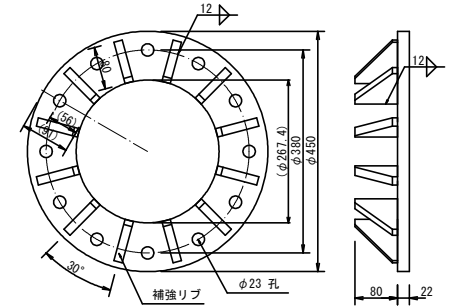
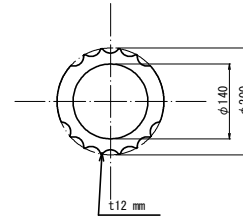
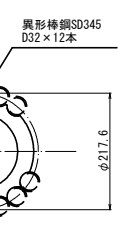
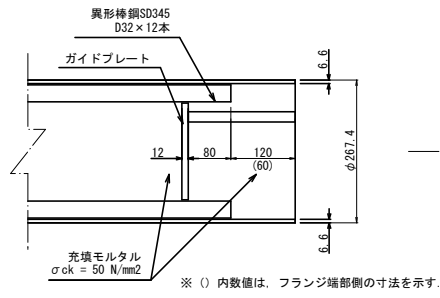
A-A 矢視図



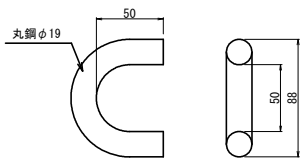
B-B 矢視図



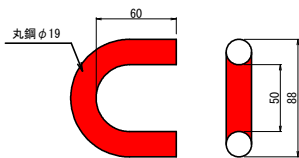
C-C 矢視図



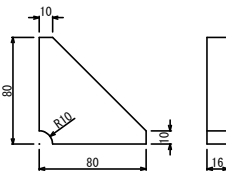
ケーブルガイド詳細図 S=1:2



特殊ケーブルガイド詳細図 S=1:2



補強リブ詳細図 S=1:2

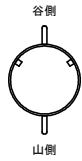


# 崩壊土砂防護柵部材詳細図(3)

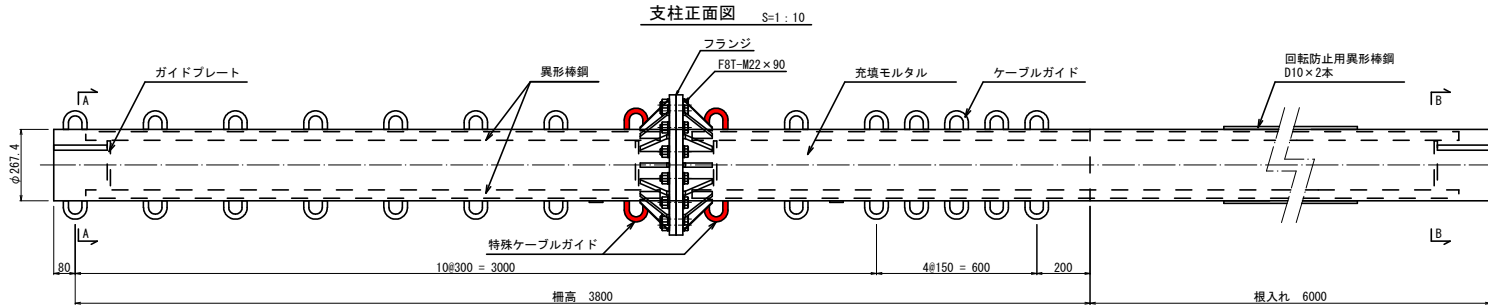
端末柱・中間および中間端末柱 <支柱タイプC>  
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.8 m)

参考図

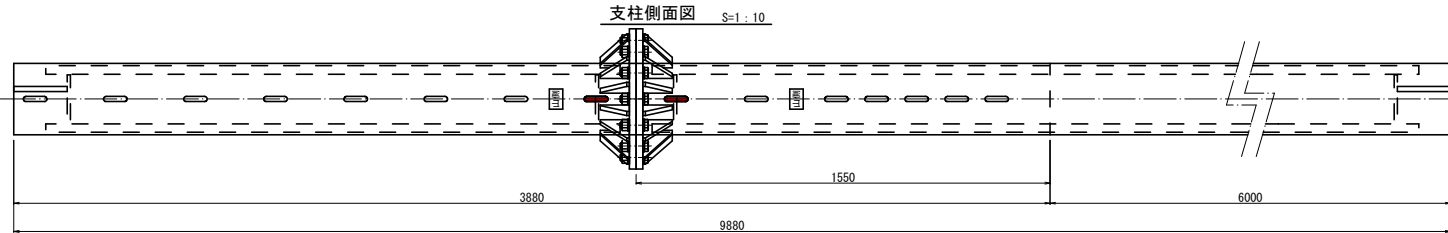
支柱平面図 S=1:10



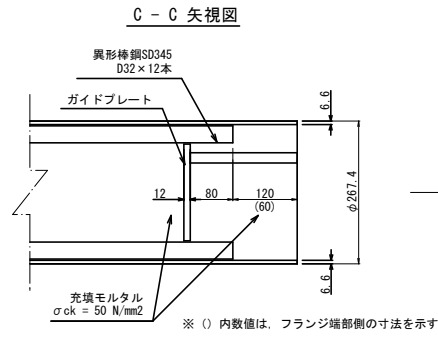
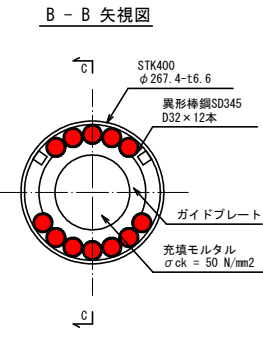
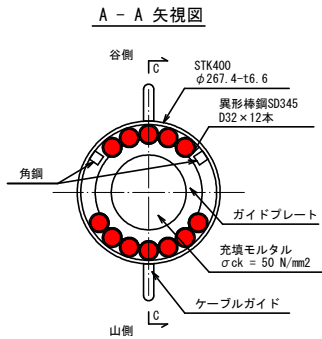
支柱正面図 S=1:10



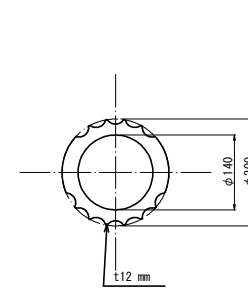
支柱側面図 S=1:10



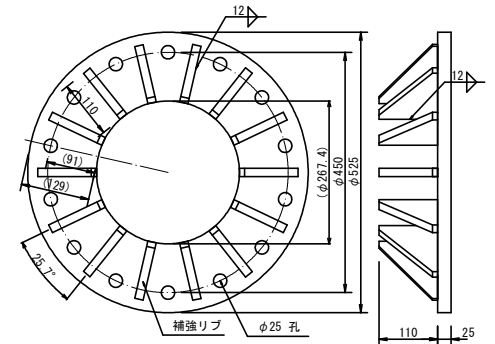
支柱断面図 S=1:5



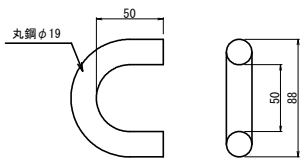
ガイドプレート詳細図 S=1:5



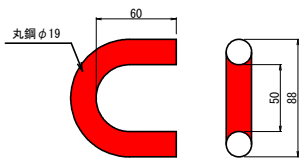
フランジ詳細図 S=1:5



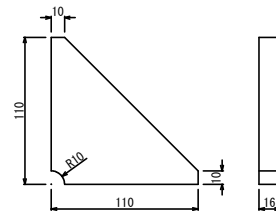
ケーブルガイド詳細図 S=1:2



特殊ケーブルガイド詳細図 S=1:2



補強リブ詳細図 S=1:2



# 崩壊土砂防護柵部材詳細図(4)

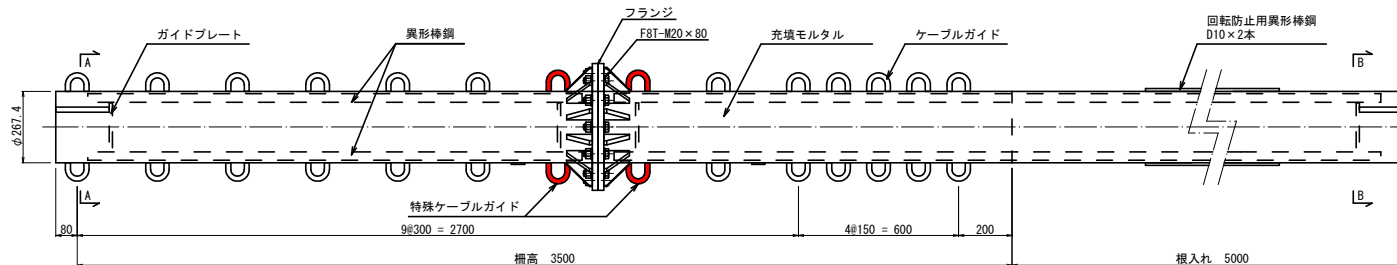
参考図

端末および中間柱<支柱タイプD>  
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.5 m)

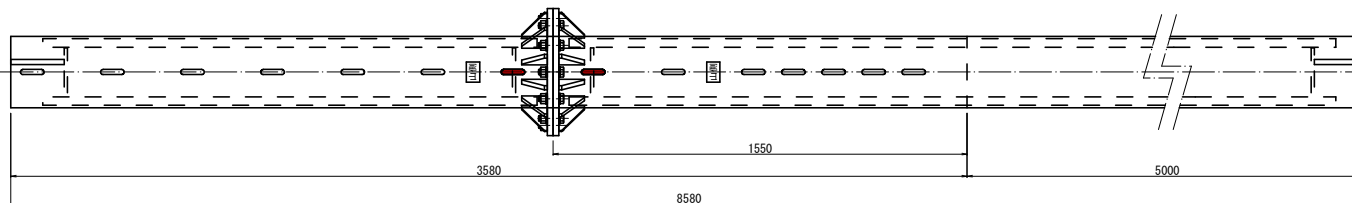
支柱平面図 S=1:10



支柱正面図 S=1:10



支柱側面図 S=1:10

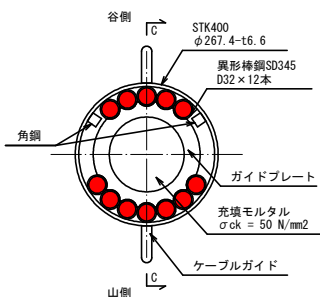


支柱断面図 S=1:5

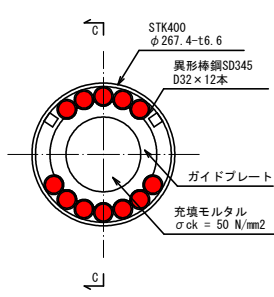
ガイドプレート詳細図 S=1:5

フランジ詳細図 S=1:5

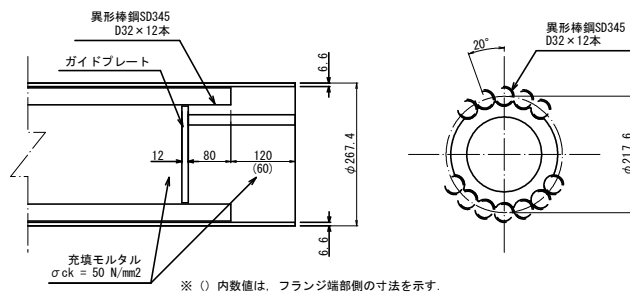
A-A 矢視図



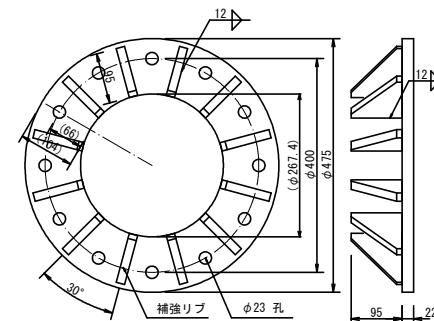
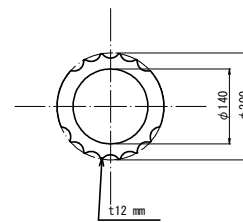
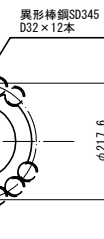
B-B 矢視図



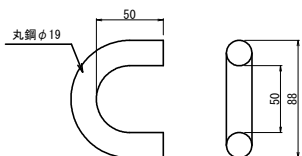
C-C 矢視図



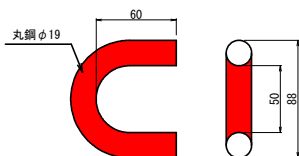
※ ( ) 内数値は、フランジ端部側の寸法を示す。



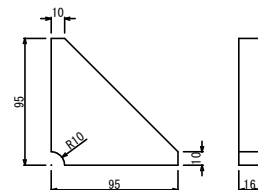
ケーブルガイド詳細図 S=1:2



特殊ケーブルガイド詳細図 S=1:2



補強リブ詳細図 S=1:2

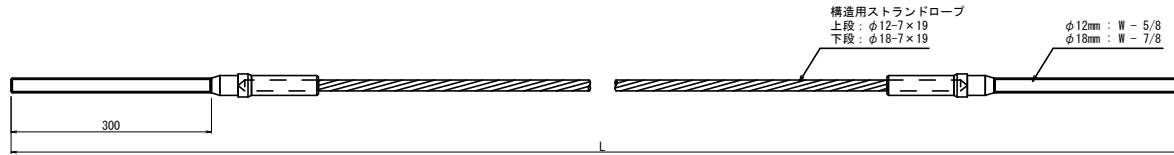


# 崩壊土砂防護柵部材詳細図(5)

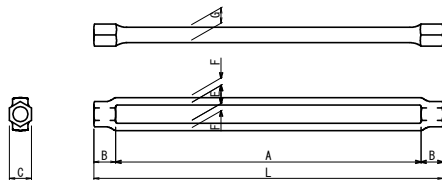
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高H=3.5m, 3.8m, 4.1m)

参考図

メインケーブル概要図 S=1:4



ターンバックル詳細図 S=1:4



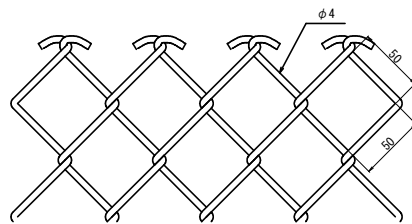
ターンバックル寸法

D Inches	A Inches (mm)	寸長(公差±3%)						備考
		L (L=A+B)	頭部長	頭平長	一ノ間長	一ノ間厚	一ノ間幅	
	18"							
	457							
5/8	507	25	25	21	9	19	φ12mm用	
7/8	523	33	33	27	11	23	φ18mm用	

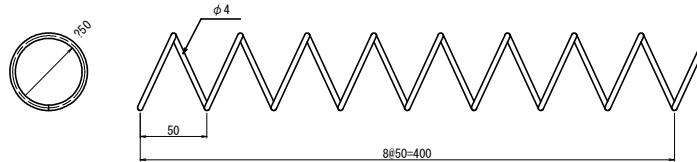
メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
4スパン巻き	
3スパン巻き	
2スパン巻き	

ひし形金網 詳細図 S=1:2



結合コイル 詳細図 S=1:2

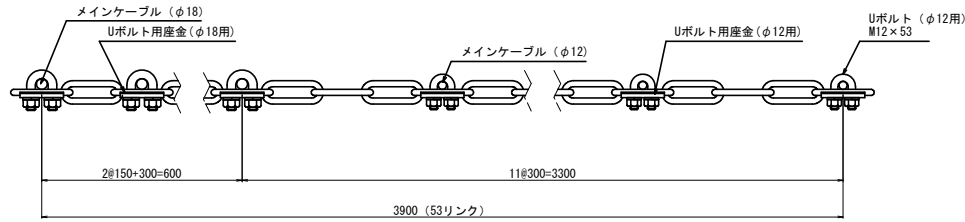


# 崩壊土砂防護柵部材詳細図(6)

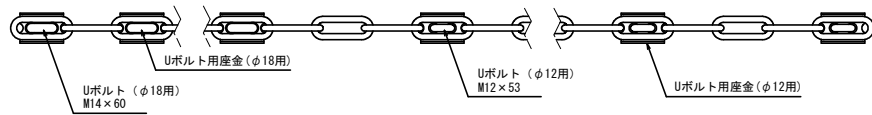
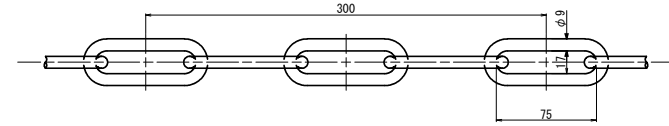
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 4.1 m)

参考図

ディスタンスキーパー構造図 S=1:4

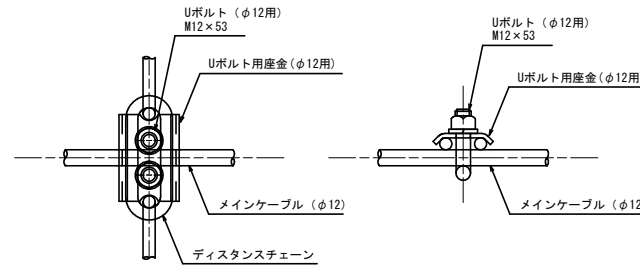
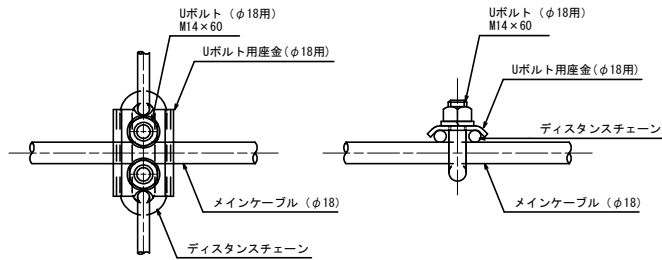


ディスタンスチェーン詳細図 S=1:2



ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

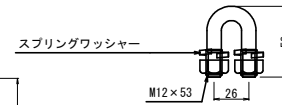
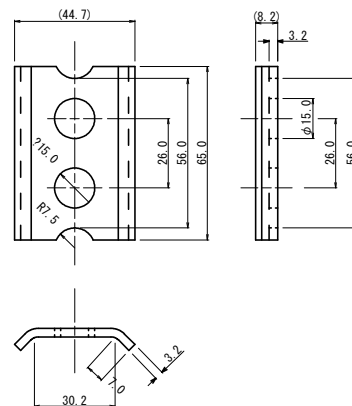
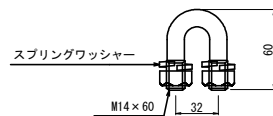
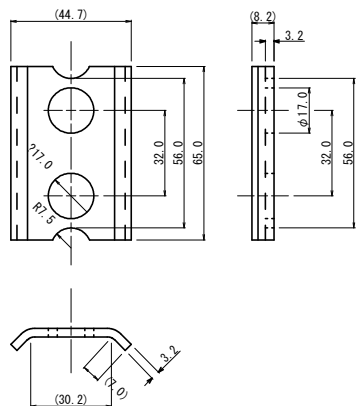


Uボルト用座金(φ18用)詳細図 S=1:1

Uボルト(φ18用)詳細図 S=1:2

Uボルト用座金(φ12用)詳細図 S=1:1

Uボルト(φ12用)詳細図 S=1:2

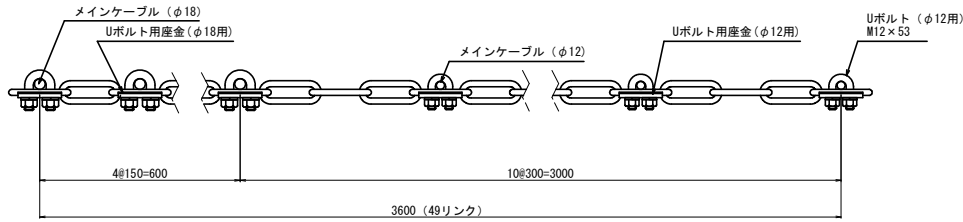


# 崩壊土砂防護柵部材詳細図(7)

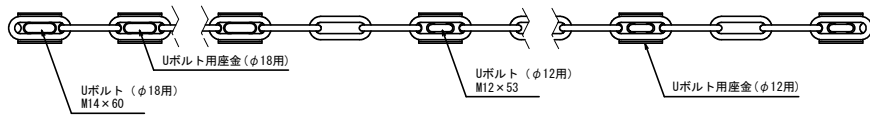
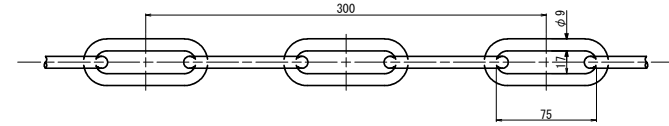
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.8 m)

参考図

ディスタンスキーパー構造図 S=1:4

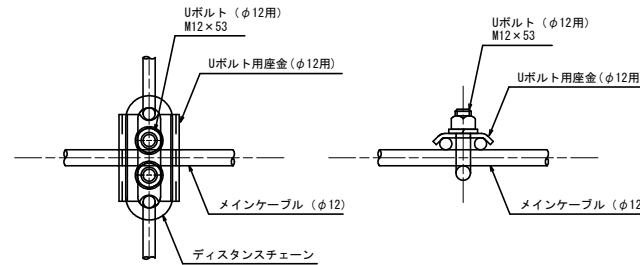
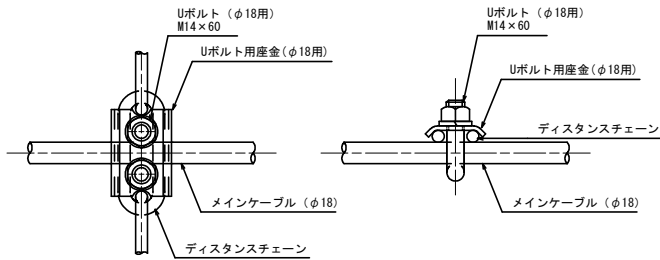


ディスタンスチェーン詳細図 S=1:2



ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

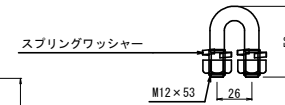
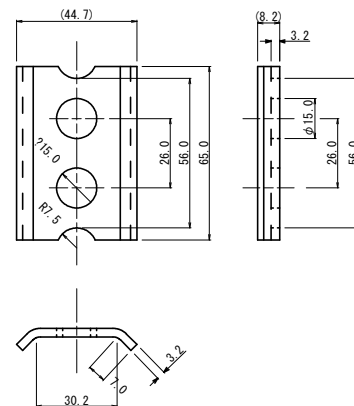
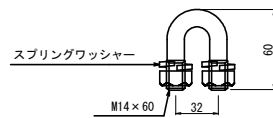
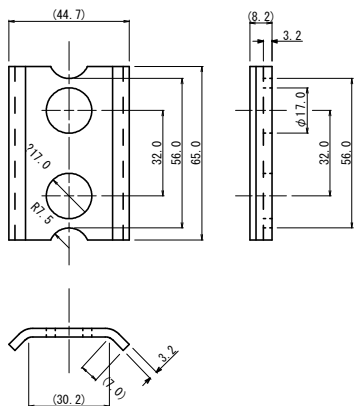


Uボルト用座金(φ18用)詳細図 S=1:1

Uボルト(φ18用)詳細図 S=1:2

Uボルト用座金(φ12用)詳細図 S=1:1

Uボルト(φ12用)詳細図 S=1:2

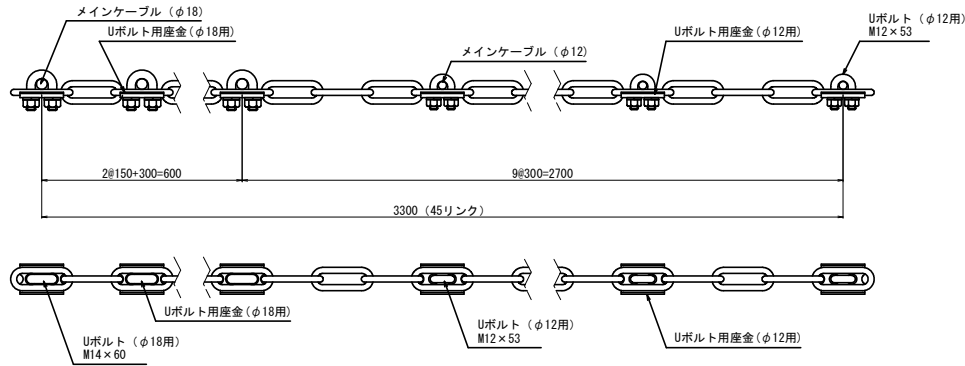


# 崩壊土砂防護柵部材詳細図(8)

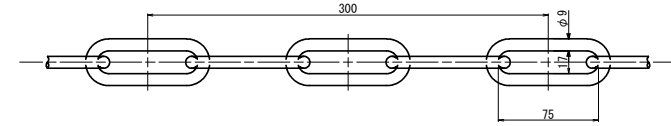
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.5 m)  
 <起点側区間>

参考図

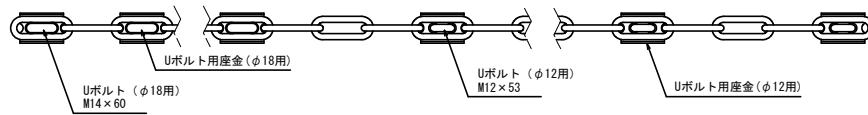
ディスタンスキーパー構造図 S=1:4



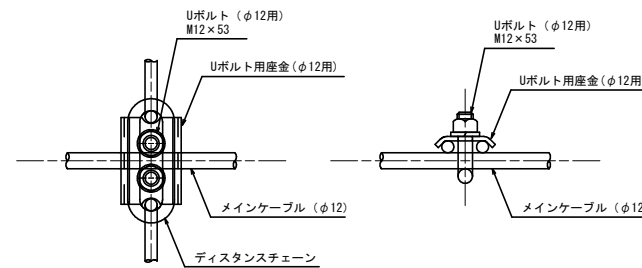
ディスタンスチェーン詳細図 S=1:2



ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2



ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

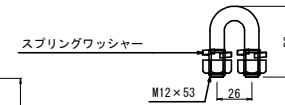
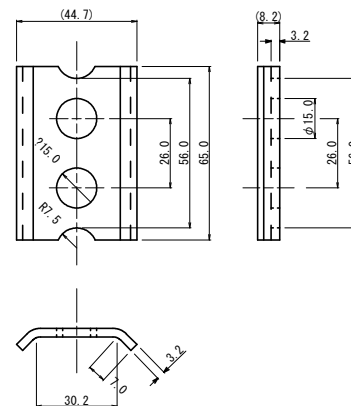
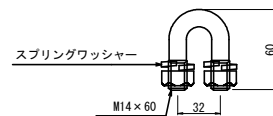
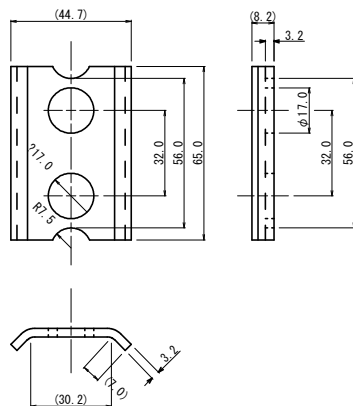


Uボルト用座金 ( $\phi 18$ 用) 詳細図 S=1:1

Uボルト ( $\phi 18$ 用) 詳細図 S=1:2

Uボルト用座金 ( $\phi 12$ 用) 詳細図 S=1:1

Uボルト ( $\phi 12$ 用) 詳細図 S=1:2

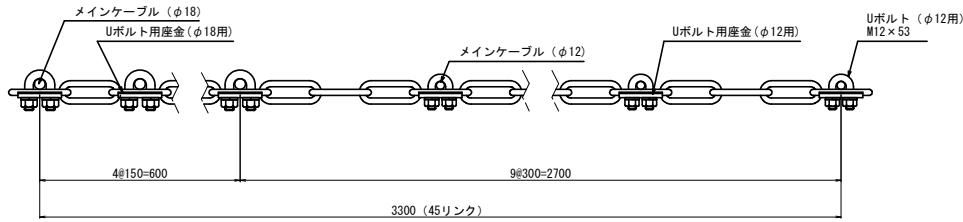


# 崩壊土砂防護柵部材詳細図(9)

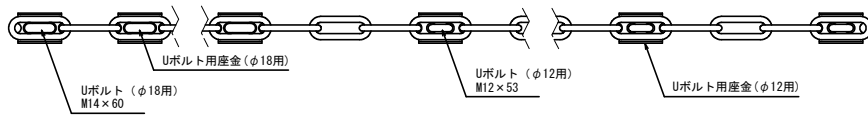
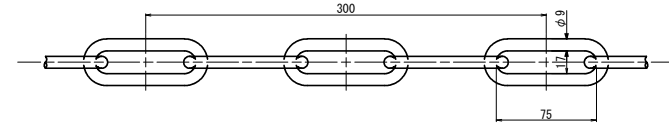
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.5 m)  
 <終点側区間>

参考図

ディスタンスキーパー構造図 S=1:4

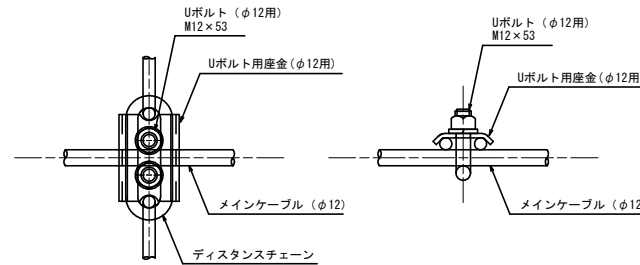
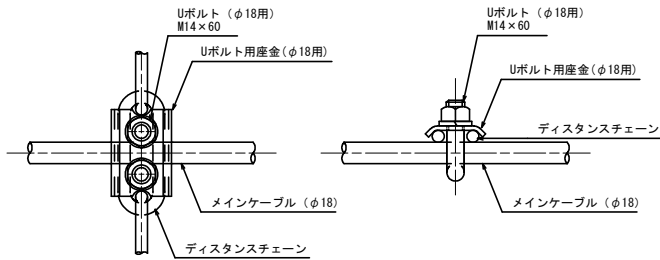


ディスタンスチェーン詳細図 S=1:2



ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

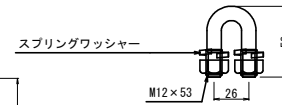
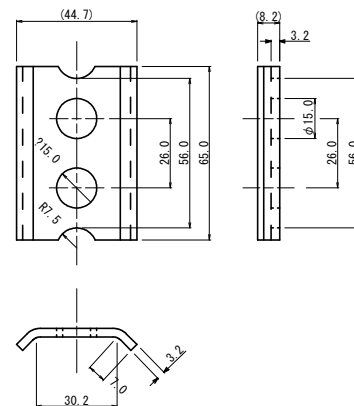
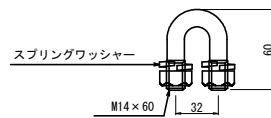
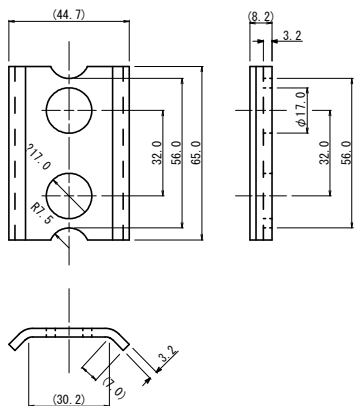


Uボルト用座金(φ18用)詳細図 S=1:1

Uボルト(φ18用)詳細図 S=1:2

Uボルト用座金(φ12用)詳細図 S=1:1

Uボルト(φ12用)詳細図 S=1:2



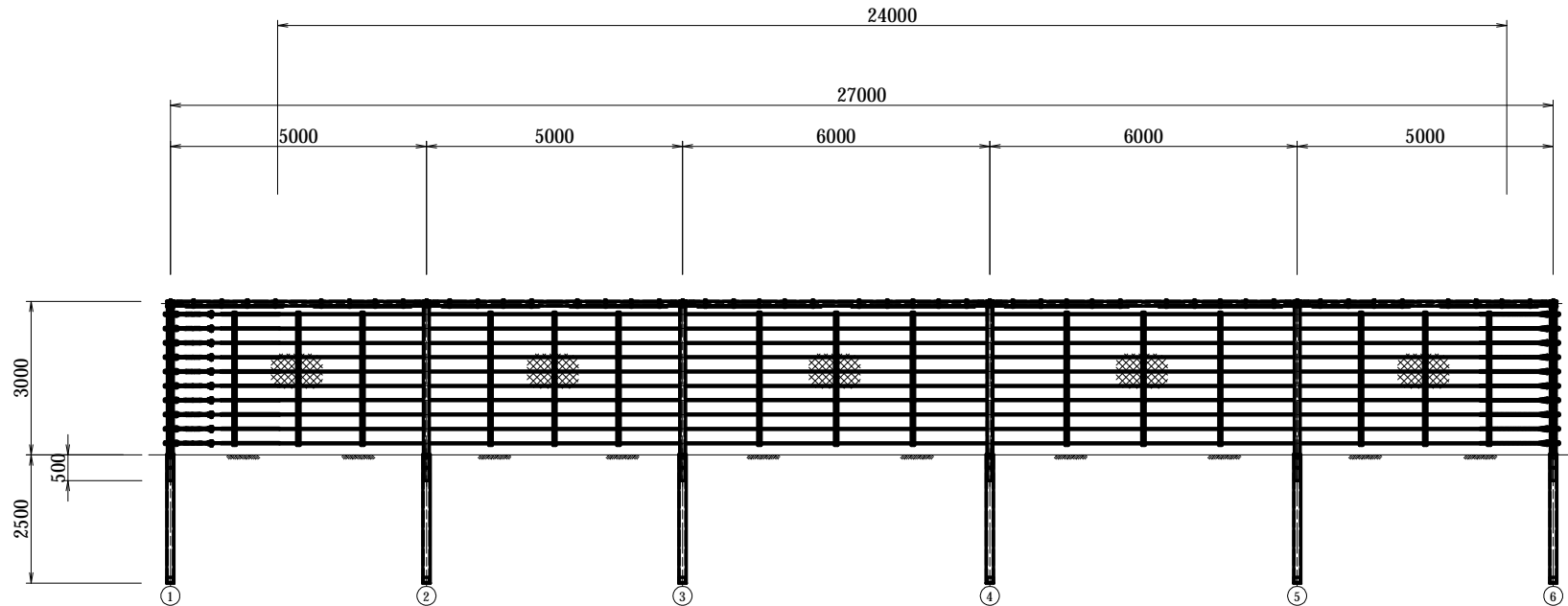


鋼管杭式落石防護柵展開図(1) S=1:50 【参考図】  
区間①

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 G0.18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×90 H=2.85m	m	26.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	4
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	2
	89.1φ×3.2-4748	本	3
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	15
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-2500	本	6
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m <sup>2</sup>	28.9
結合コイル	3.2φ×50×300	個	52
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	27

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
1	-187,611.008	-79,675.880
2	-187,608.241	-79,680.044
3	-187,606.480	-79,684.724
4	-187,603.774	-79,690.079
5	-187,602.001	-79,695.811
6	-187,601.847	-79,700.808

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

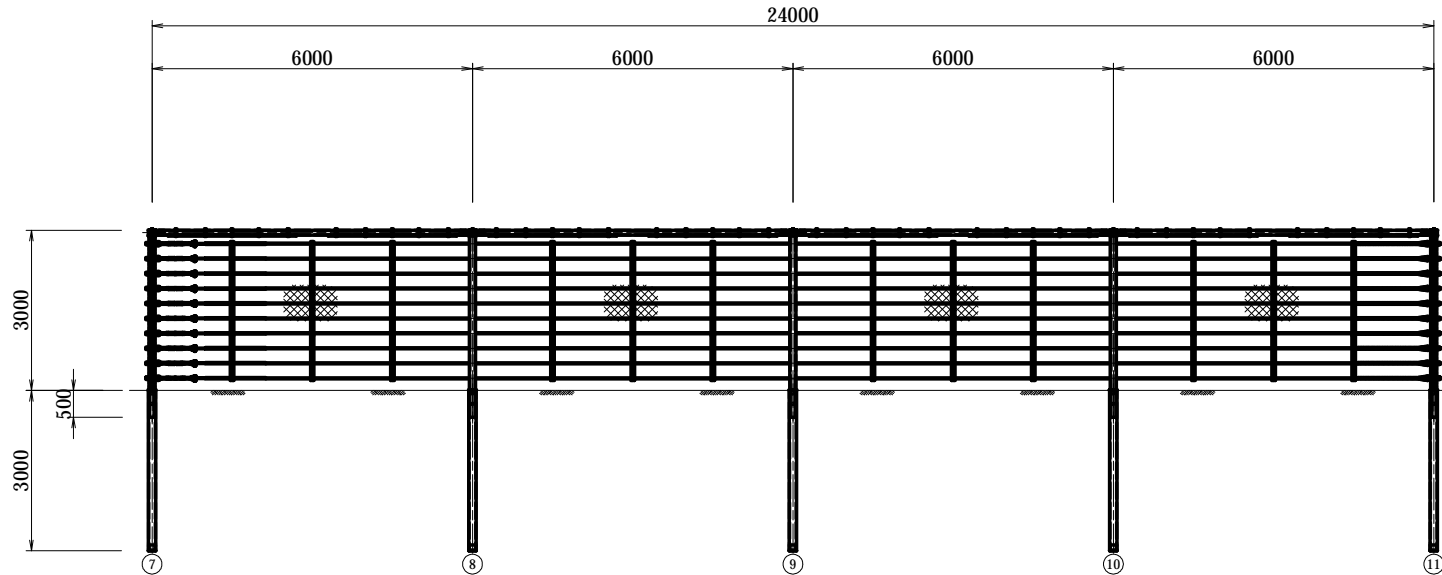
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵展開図(1)		
縮尺	1:50	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(2) S=1:50 【参考図】  
区間②

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 φ0.18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	24.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	3
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	4
	89.1φ×3.2-4748	本	0
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	12
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-3000	本	5
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m <sup>2</sup>	26.6
結合コイル	3.2φ×50×300	個	48
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	25

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
7	-187,599.244	-79,698.984
8	-187,597.295	-79,704.658
9	-187,595.250	-79,710.301
10	-187,593.541	-79,716.051
11	-187,592.627	-79,721.982

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

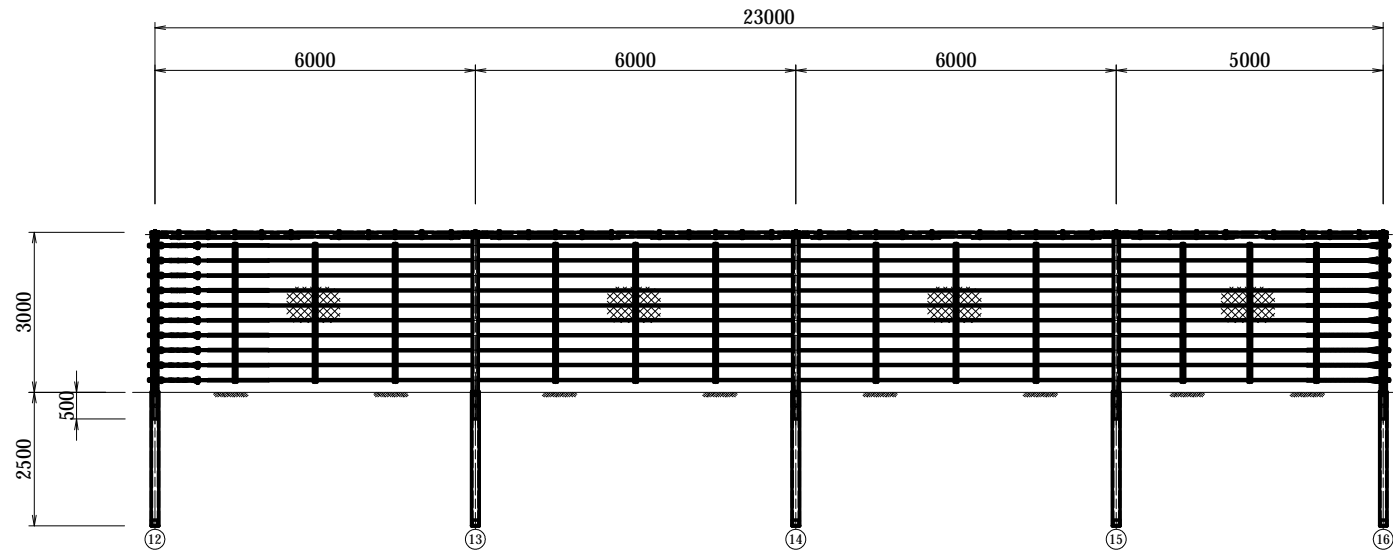
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵展開図(2)		
縮尺	1:50	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(3) S=1:50 【参考図】  
区間③

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 φ0.18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	23.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	3
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	3
	89.1φ×3.2-4748	本	1
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	12
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-2500	本	5
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m <sup>2</sup>	25.5
結合コイル	3.2φ×50×300	個	46
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	24

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
12	-187,990.997	-79,720.482
13	-187,989.317	-79,726.242
14	-187,987.637	-79,732.002
15	-187,986.519	-79,737.897
16	-187,984.516	-79,742.479

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

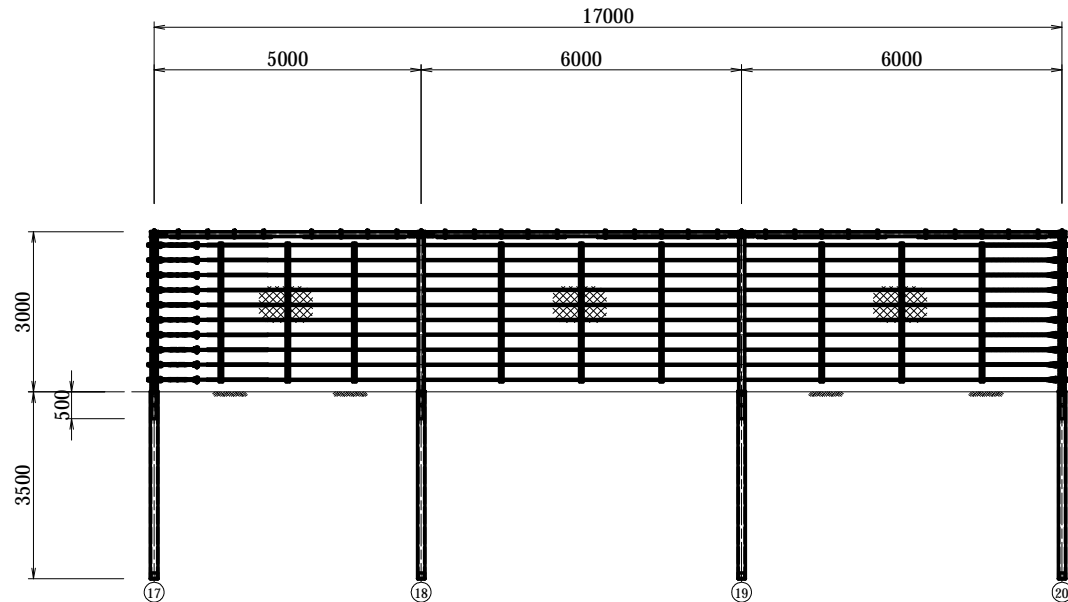
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵展開図(3)		
縮尺	1:50	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(4) S=1:50 【参考図】  
区間④

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 φ0.18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	17.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	2
	89.1φ×3.2-4748	本	1
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	9
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-3500	本	4
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m <sup>2</sup>	18.9
結合コイル	3.2φ×50×300	個	34
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	18

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
17	-187,989.525	-79,741.176
18	-187,985.430	-79,744.045
19	-187,983.478	-79,749.719
20	-187,981.527	-79,755.392

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

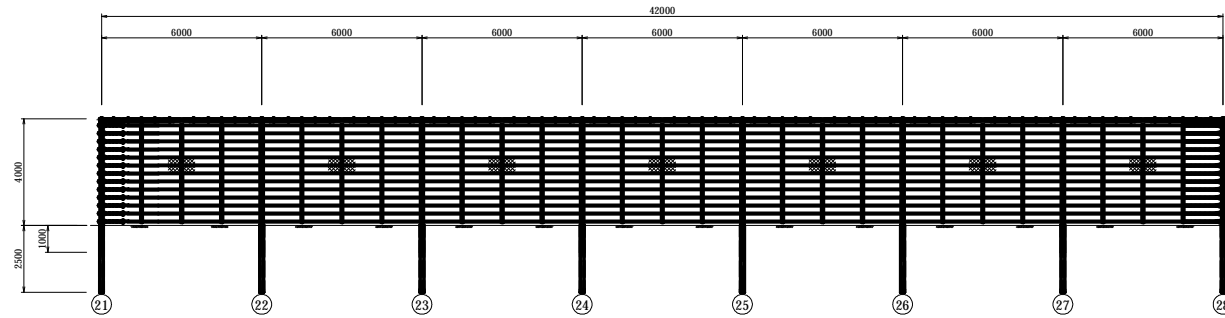
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵展開図(4)		
縮尺	1:50	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(5) S=1:50 【参考図】  
区間⑤

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 6.0 18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=3.85m	m	42.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-5000	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-5000	本	6
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	7
	89.1φ×3.2-4748	本	0
間隔保持材構成	PL-65×4.5-980	本	21
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-2500	本	8
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m <sup>2</sup>	46.6
結合コイル	3.2φ×50×300	個	42
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	43

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
21	-187,980.368	-79,753.694
22	-187,927.999	-79,759.208
23	-187,925.633	-79,764.722
24	-187,922.976	-79,770.101
25	-187,920.140	-79,775.389
26	-187,918.069	-79,781.020
27	-187,915.634	-79,786.504
28	-187,913.199	-79,791.987

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

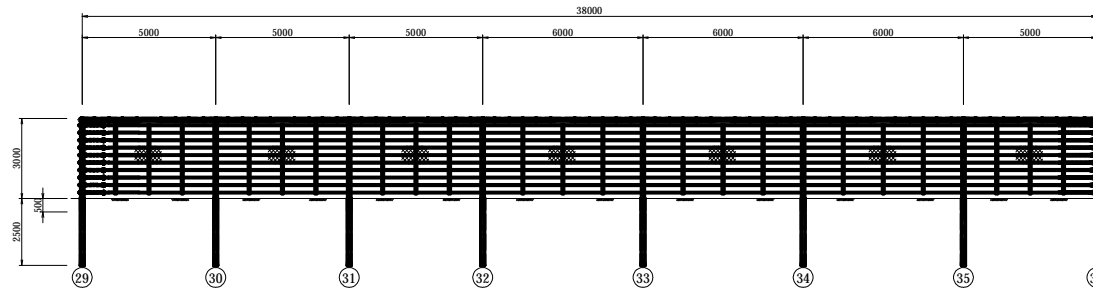
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵展開図(5)		
縮尺	1:100	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(6) S=1:100 【参考図】  
区間⑥

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 6.0 18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	38.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	6
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	3
	89.1φ×3.2-4748	本	4
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	21
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-2500	本	8
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m <sup>2</sup>	42.2
結合コイル	3.2φ×50×300	個	76
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	39

[道路側視]



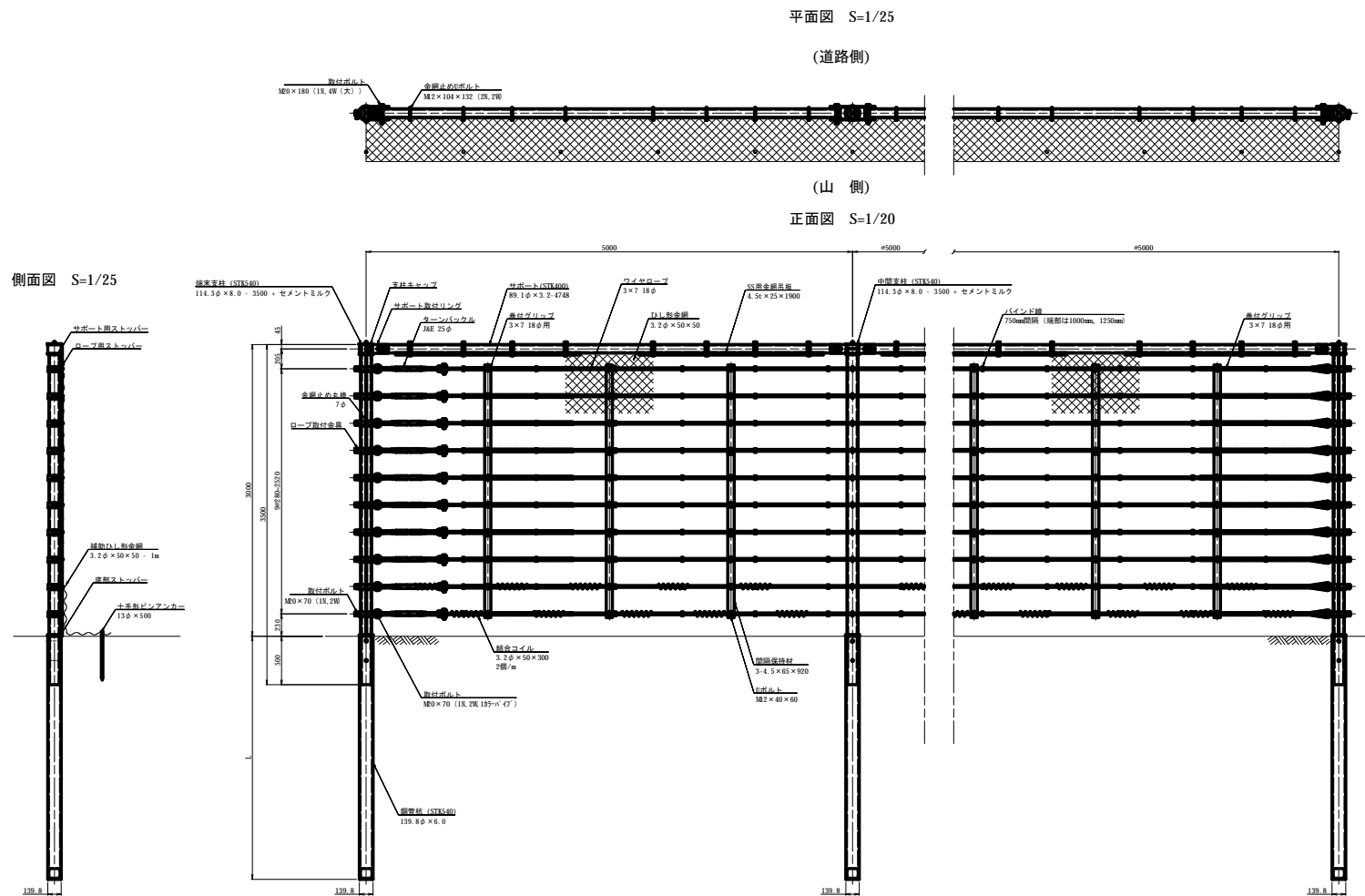
杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
29	-187,914.001	-79,791.725
30	-187,911.446	-79,796.016
31	-187,908.992	-79,800.314
32	-187,906.337	-79,804.613
33	-187,903.216	-79,809.770
34	-187,900.749	-79,715.214
35	-187,898.263	-79,820.675
36	-187,896.192	-79,825.226

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

年度	番号	／
路線名		
工事名		
所属地名		
図面名	鋼管杭式落石防護柵展開図(6)	
縮尺	1:100	作成年月 令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所		

鋼管杭式落石防護柵構造図(1) S=1:25 【参考図】  
 (柵高3.0m、支柱間隔5.0m)

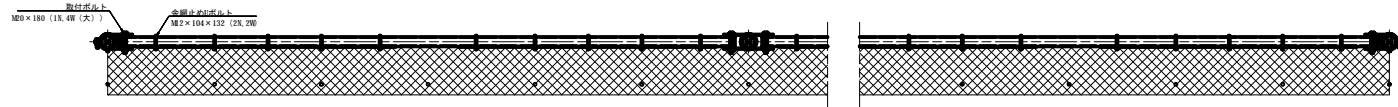


年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵構造図(1)		
縮尺	1:25	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵構造図(2) S=1:25 【参考図】  
 (柵高3.0m、支柱間隔6.0m)

平面図 S=1/25

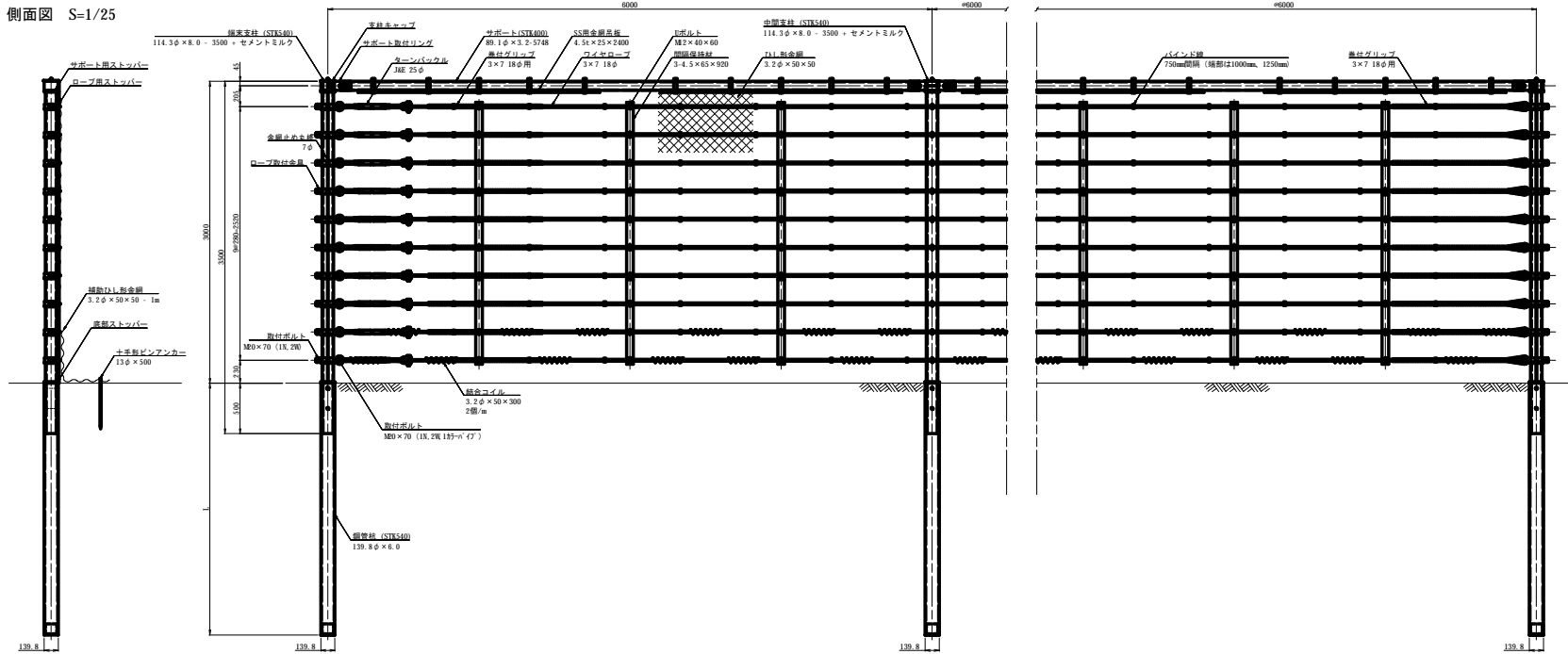
(道路側)



(山側)

正面図 S=1/20

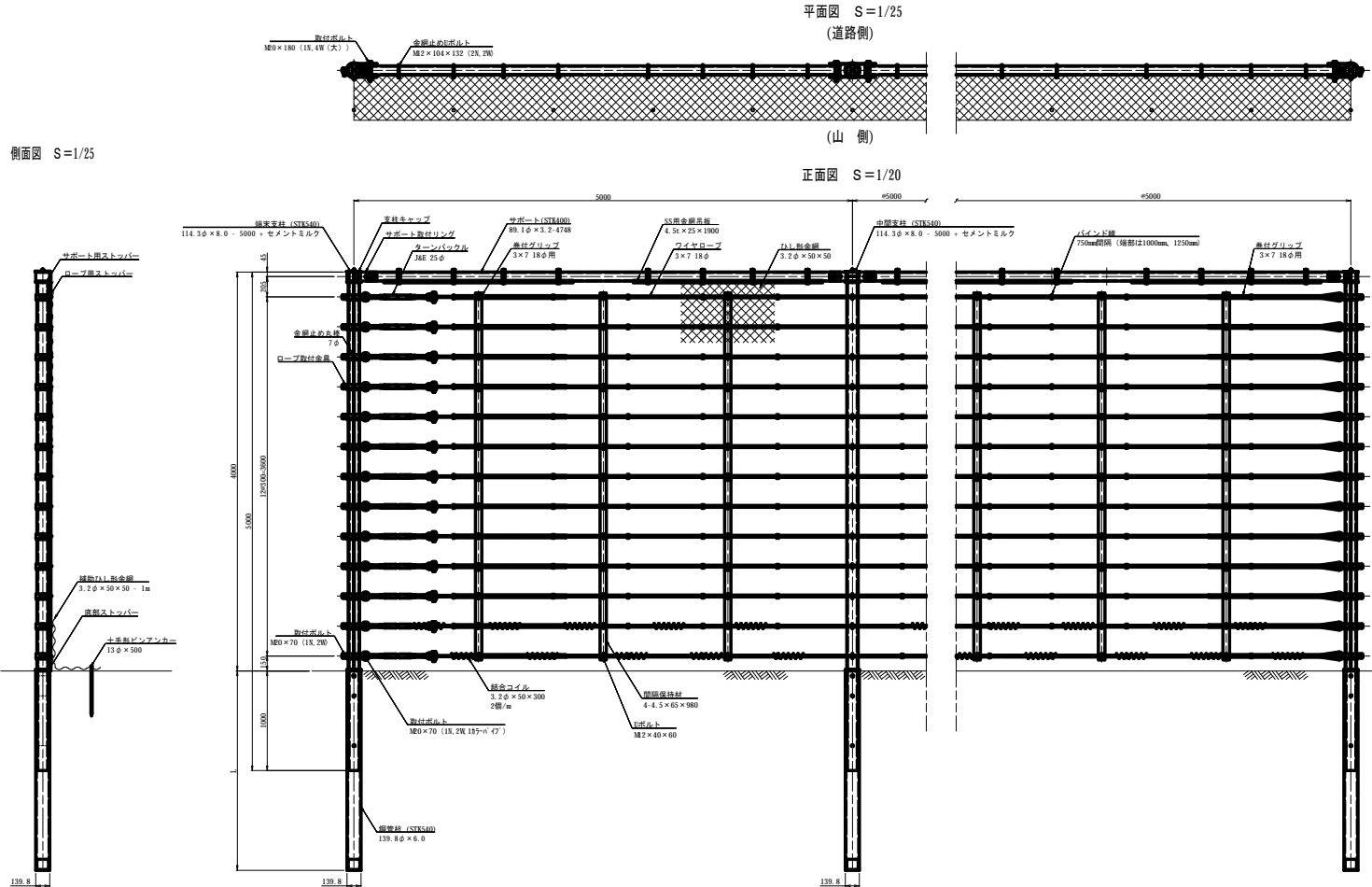
側面図 S=1/25



年度		番号	/
路線名			
工事名			
所屬地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵構造図(2)		
縮尺	1:25	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

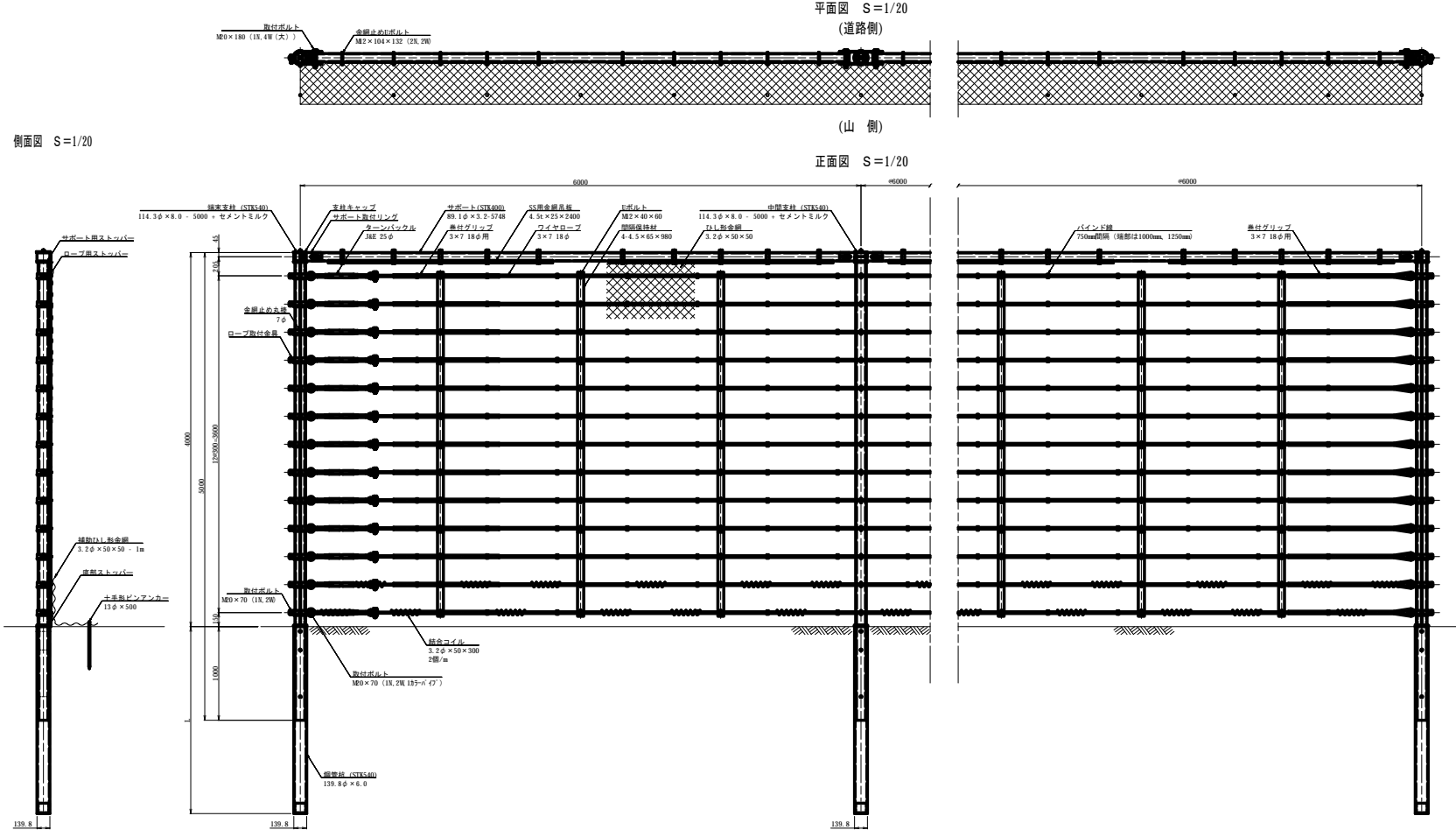


鋼管杭式落石防護柵構造図(3) S=1:25 【参考図】  
 (柵高4.0m、支柱間隔5.0m)



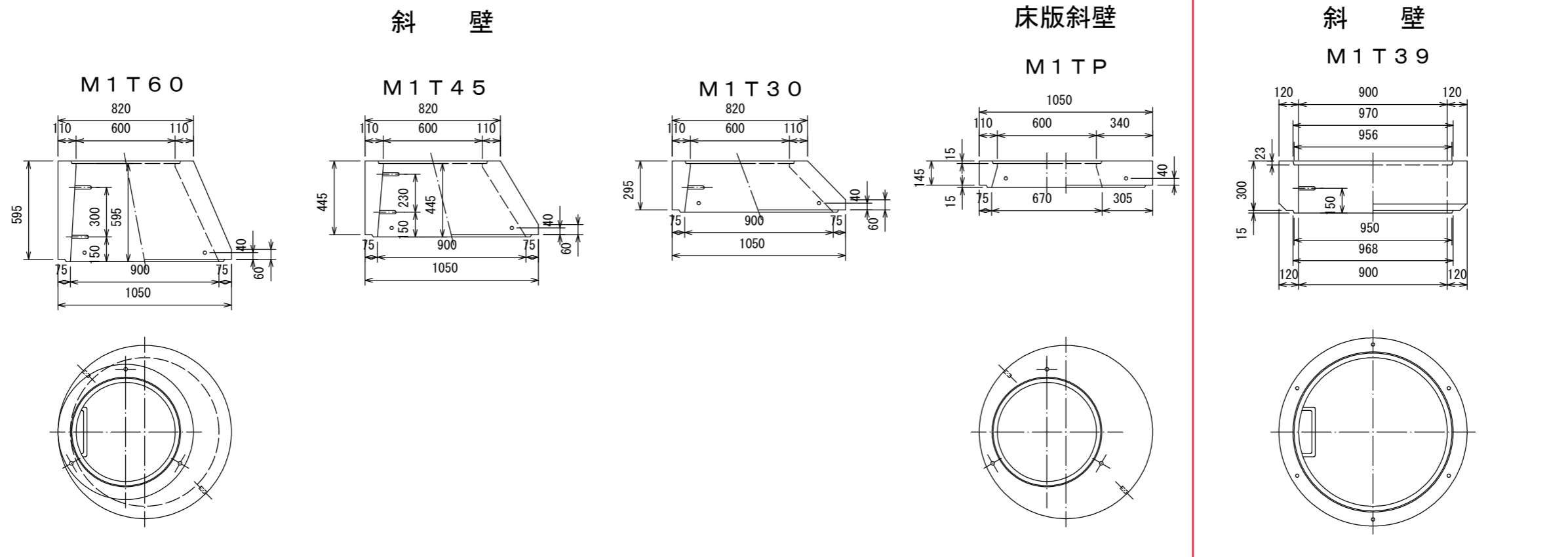
年度	番号	/
路線名		
工事名		
所属地名		
図面名	鋼管杭式落石防護柵構造図(3)	
縮尺	1:25	作成年月 令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所		

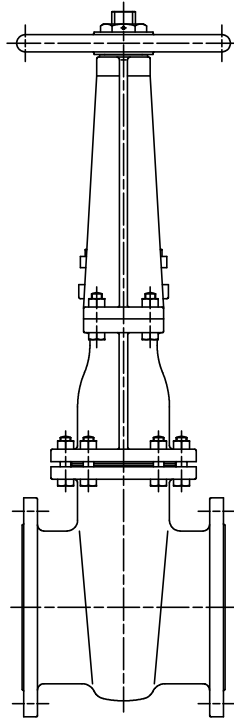
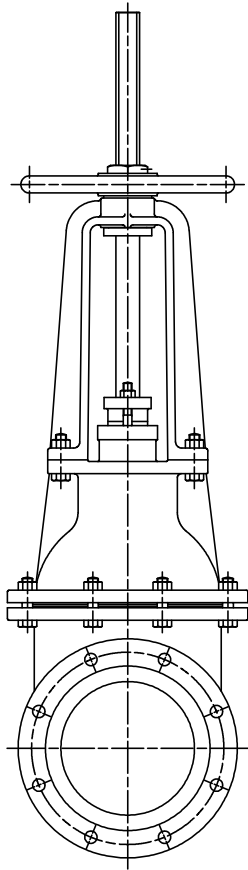
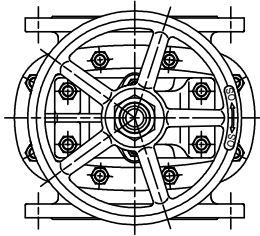
鋼管杭式落石防護柵構造図(4) S=1:25 【参考図】  
 (柵高4.0m、支柱間隔6.0m)



年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵構造図(4)		
縮尺	1:25	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

# 組立マンホール構造図 (内径 900mm)

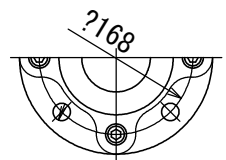
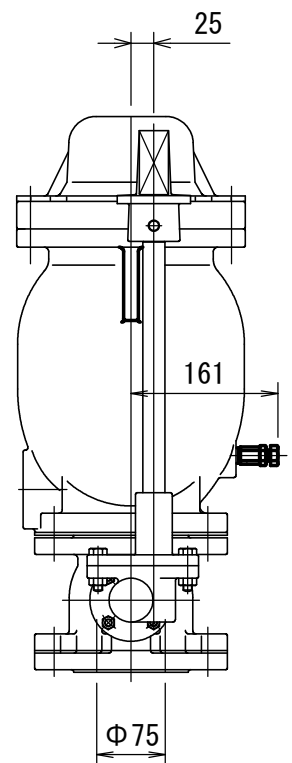
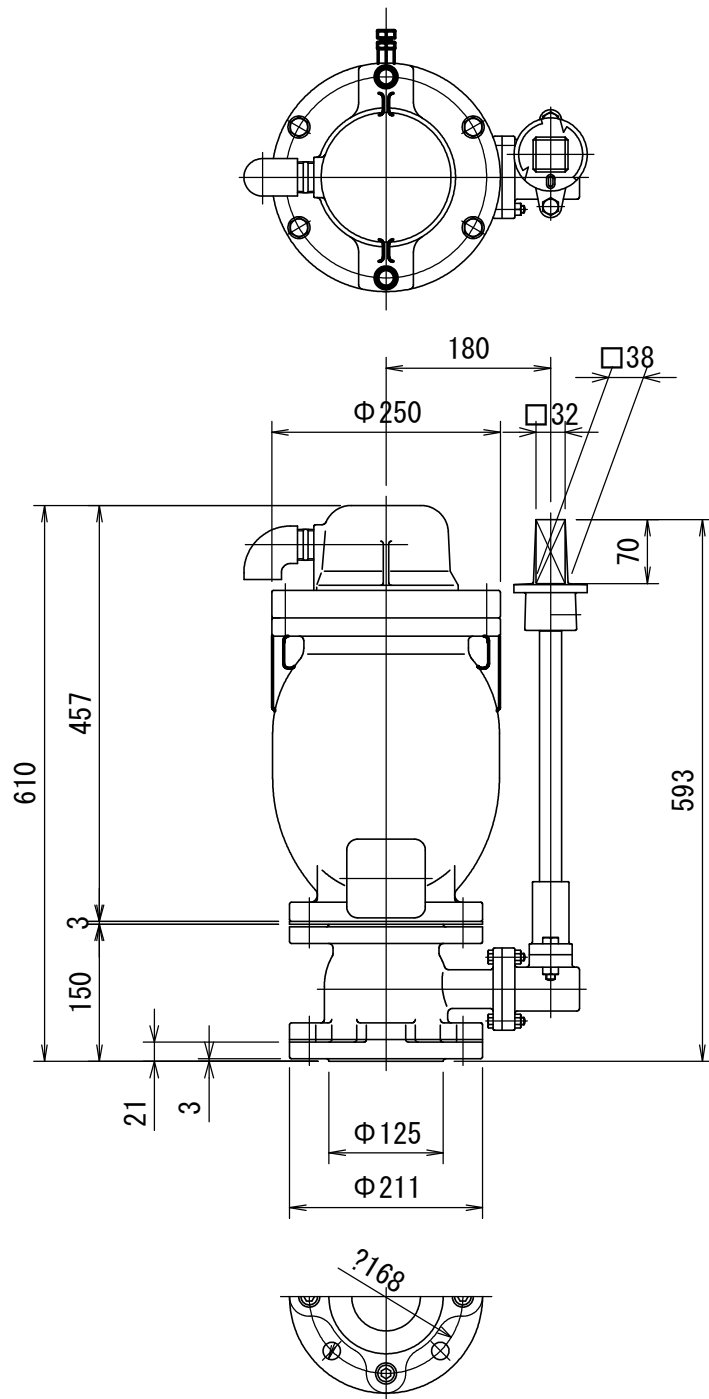




JIS B 2062 準拠  $\phi 250$   
外ねじ仕切弁  
SO-0125D/9

来歴 CAREER

符号 MARKS	改訂理由 ALTERATION	日付 DATE	担当 DESIGNED BY	承認 APPROVED BY
△				
△				
△				

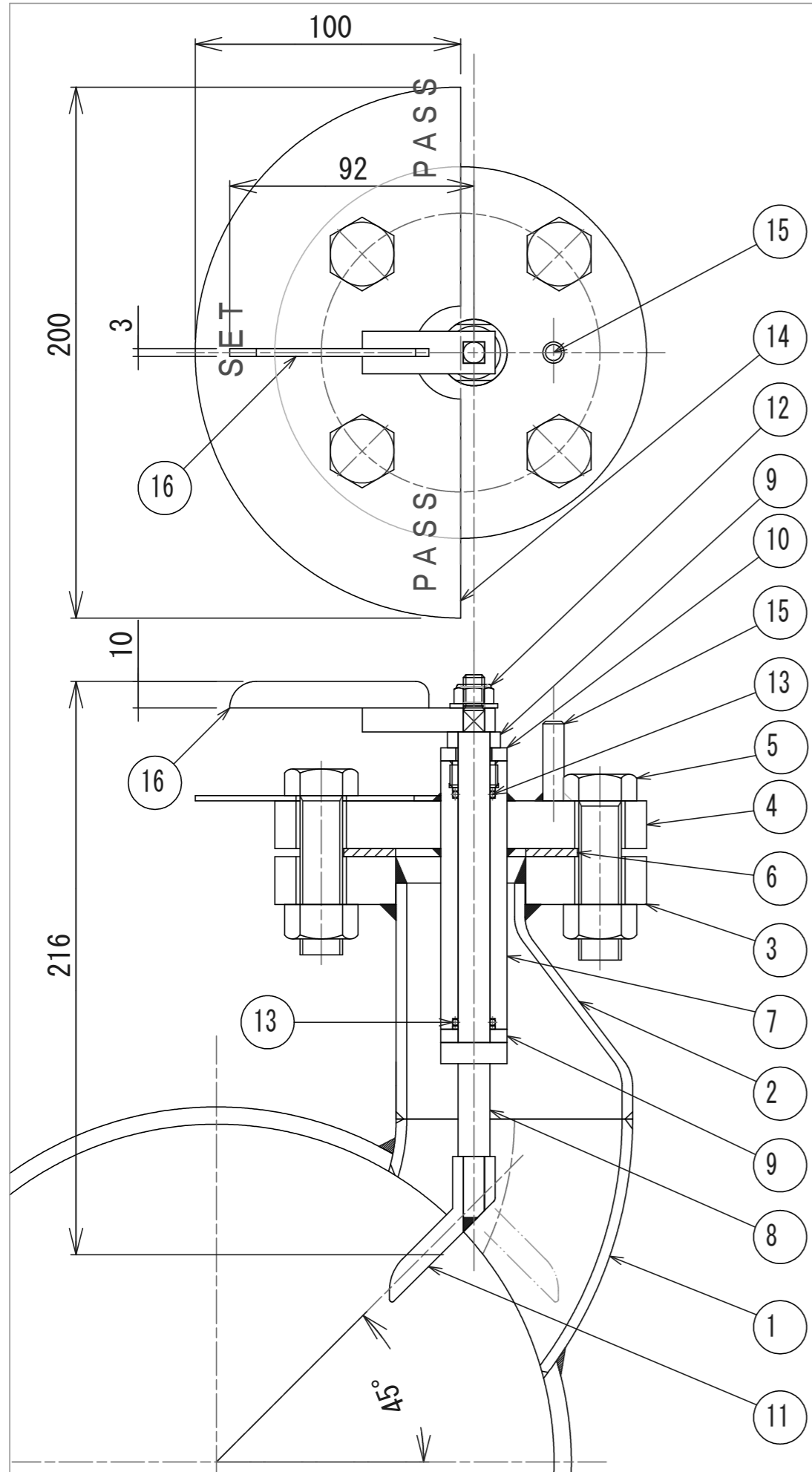


4-19#1

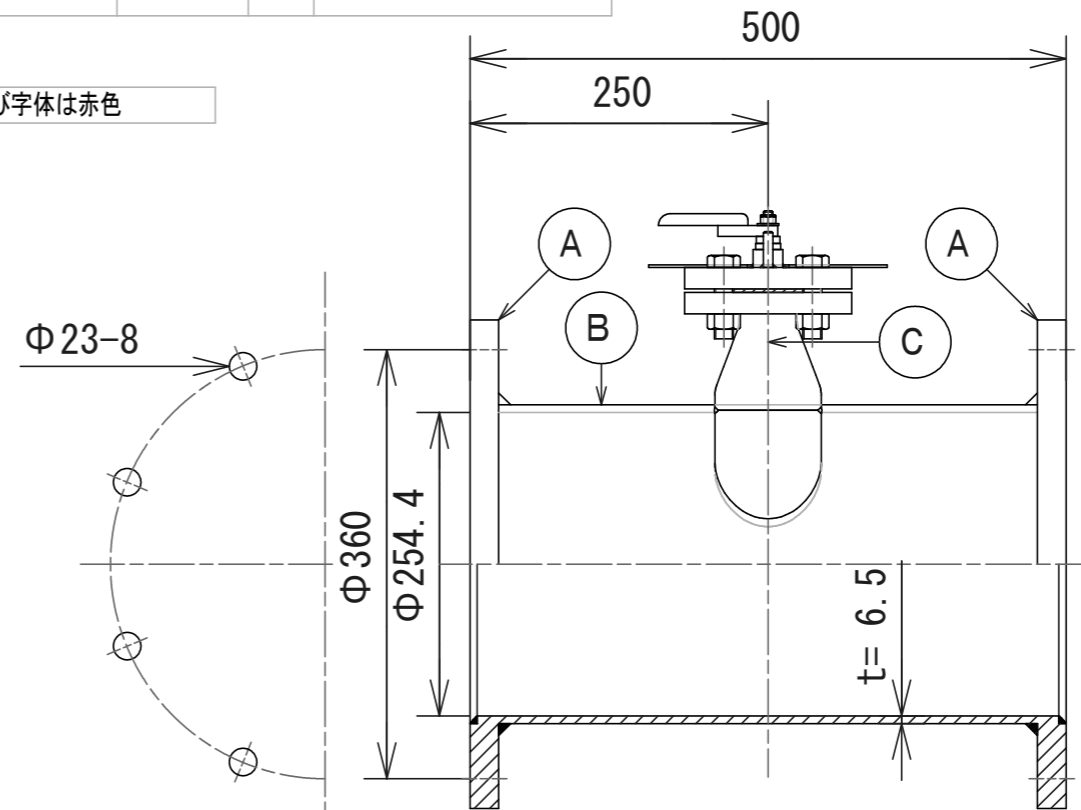
整番 FILE No.			製番 ORDER No.		
第三角法 THIRD ANGLE PROJECTION	日付 DATE	尺度 1:6 SCALE	形式 TYPE	納入先 CUSTOMER.	所属
承認 APPROVED BY	検図 CHECKED BY	担当製図 DESIGNED BY	図名 TITLE		
			下水用空気弁組立図		
			図番 DWG. No.		

ノズルリスト				
番号	名称	材質	数量	備考
A	φ250 フランジ	SUS304	2	水協規格7.5k FF PL
B	φ250 パイプ	SUS304	1	SCH 20S
C	ピグ通過検知部	SUS304	1	

設計条件	
設計圧力	0.74 MPa
試験圧力	水圧 (耐圧) 1.11 MPa, 気密無し
表面処理	内外面 酸洗い



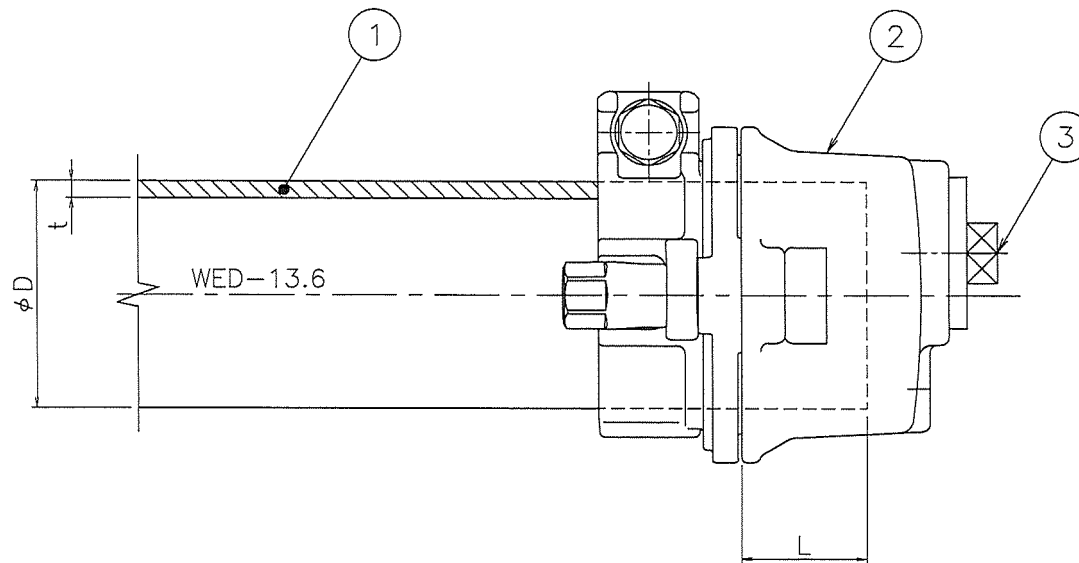
指針及び字体は赤色



16	指針	SUS304	1	
15	ストッパー	SUS304	1	φ8×30L
14	大型表示板	SUS304	1	2t
13	“O”リング	パイトン	2	
12	U-ナット	SUS304	1	M8 W付
11	検出爪		1	
10	プラグ	SUS304	1	
9	ワッシャ	テフロン	2	
8	回転軸	SUS304	1	
7	スリーブ	SUS304	1	
6	パッキン	テフロン	1	3t
5	ポルト・ナット	SUS304	4	M16×65L
4	カバーフランジ		1	40A JIS 20K
3	ノズルフランジ		1	40A JIS 20K
2	保護管		1	80A×40A RESCH20
1	保護管	SUS304	1	80A SCH20 45° ロング

番号	名称	材質	数量	備考
客先名				製作数
				1台
工事件名				図面番号
機器名称				縮尺
ピグ通過確認装置				通過検知部 : NONE 通過確認装置 : 1/6
照査	担当	製図	設計年月日	

参考図



■ 下水道用  
 ■ 設計内圧 : 0.75MPa  
 ■ 使用流体温度 : 40℃以下

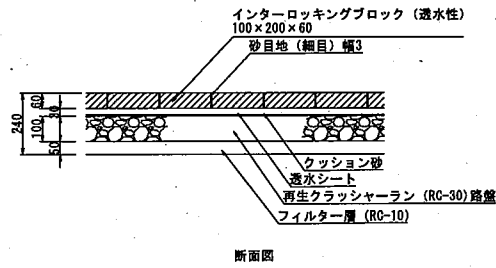
呼び径	$\phi D$	t	L	プラグサイズ
W40	50	3.7	22	25A
W50	63	4.7	43	
W75	90	6.7	49	50A
W100	125	9.2	63	

品番	品名	材質	数量	記事
3	プラグ	—	—	
2	スッポンジョイント	鋳物	1	
1	導管	高密度PE(二層)	—	管構成材

# 構造図 (17)

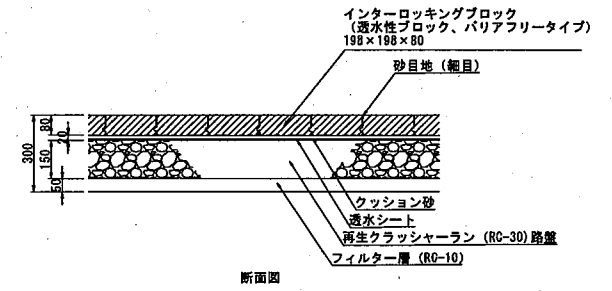
## 透水性インターロッキング舗装-1a

S=1:10



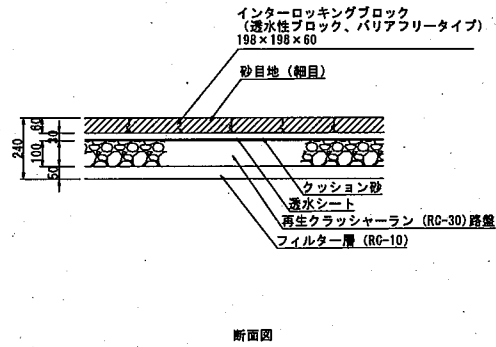
## 透水性インターロッキング舗装-2

S=1:10



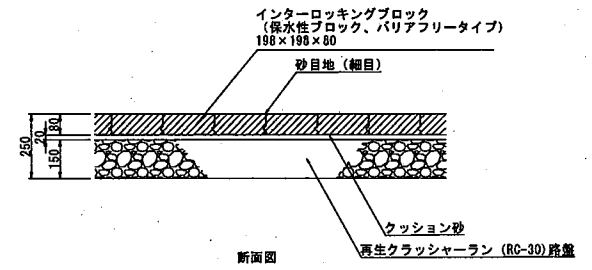
## 透水性インターロッキング舗装-1b

S=1:10



## 保水性インターロッキング舗装

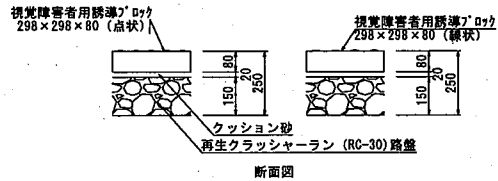
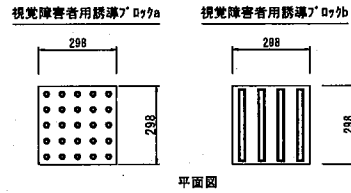
S=1:10



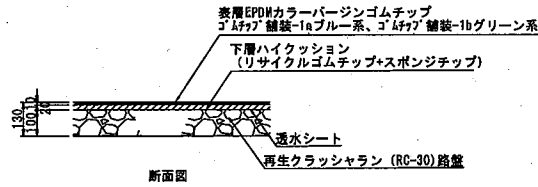


## 構造図 (18)

視覚障がい者用誘導ブロック a, b  
S=1:10



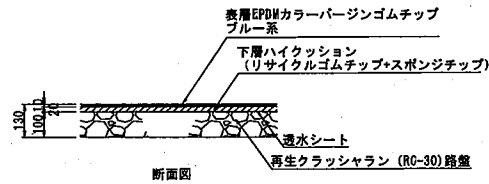
ゴムチップ舗装-1a, 1b  
S=1:20



特記仕様

- ・透水シートは、透水係数  $10^{-2}$ (cm/sec) 以上、引張り強さ 245N/5cm以上 (JIS L 1096) とする。
- ・(一社) 日本公園施設業協会、SP Lマーク表示認定製品とする。
- ・(一社) 日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

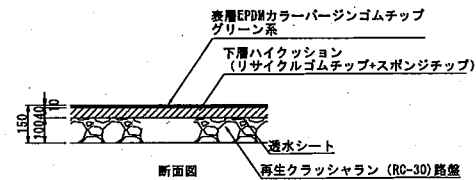
ゴムチップ舗装-2  
S=1:20



特記仕様

- ・透水シートは、透水係数  $10^{-2}$ (cm/sec) 以上、引張り強さ 245N/5cm以上 (JIS L 1096) とする。
- ・(一社) 日本公園施設業協会、SP Lマーク表示認定製品とする。
- ・(一社) 日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

ゴムチップ舗装-3  
S=1:20

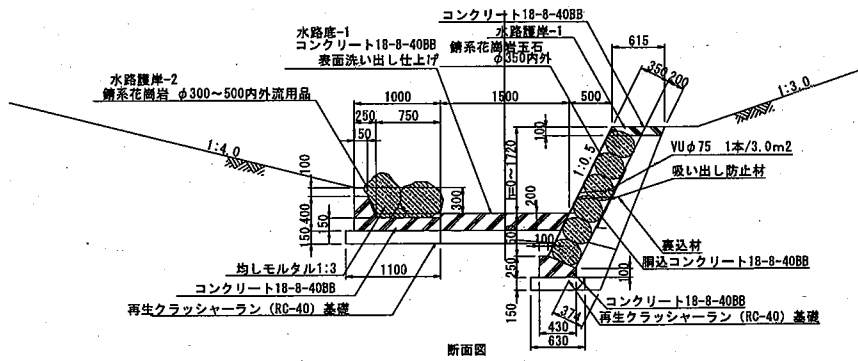


特記仕様

- ・透水シートは、透水係数  $10^{-2}$ (cm/sec) 以上、引張り強さ 245N/5cm以上 (JIS L 1096) とする。
- ・(一社) 日本公園施設業協会、SP Lマーク表示認定製品とする。
- ・(一社) 日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

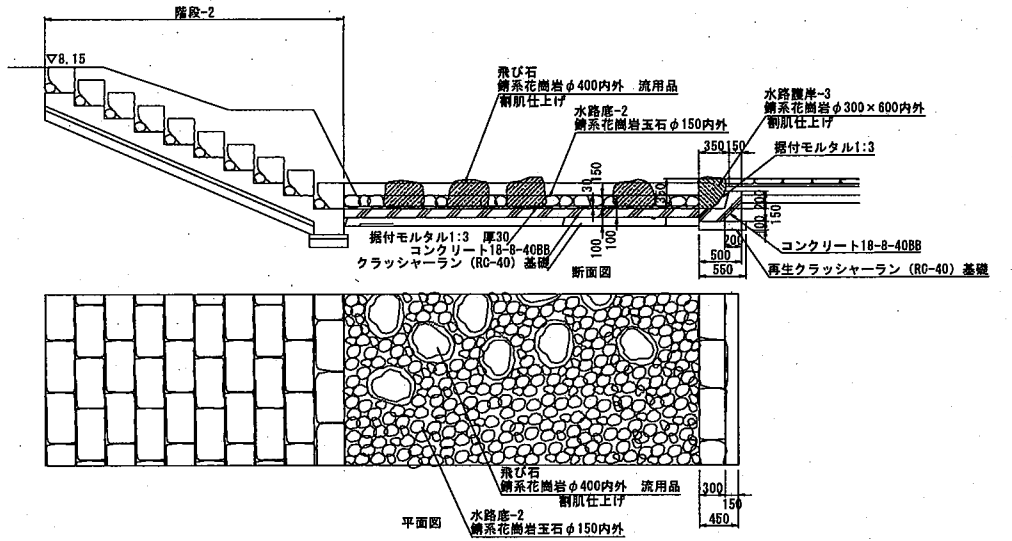
構造図 (30)

水路護岸-1、-2、水路底-1  
S=1:30



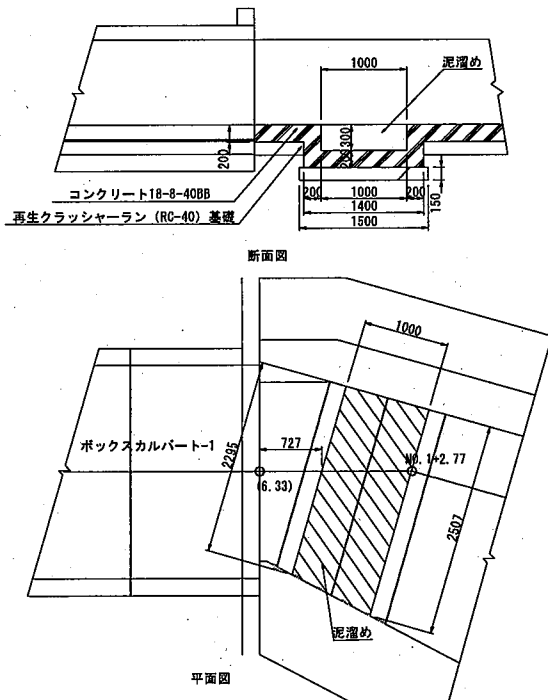
- 特記仕様
- 水路護岸-1、-2の伸縮目地は樹脂発泡体 t=10とし、 $\phi$ 10.0mを標準とする。
  - 水路底-1の伸縮目地は杉板t9mmとし、 $\phi$ 5.0mを標準とする。

水路護岸-3、水路底-2、飛び石  
S=1:30

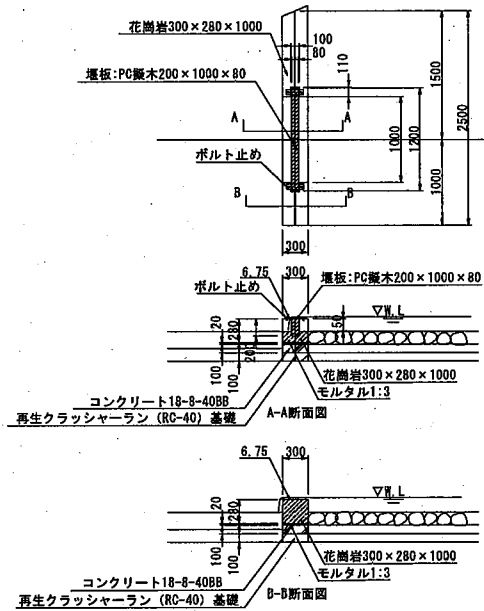


- 特記仕様
- 水路護岸-3の伸縮目地は樹脂発泡体 t=10とし、 $\phi$ 10.0mを標準とする。
  - 水路底-2の伸縮目地は杉板t9mmとし、 $\phi$ 5.0mを標準とする。

泥溜め工  
S=1:30

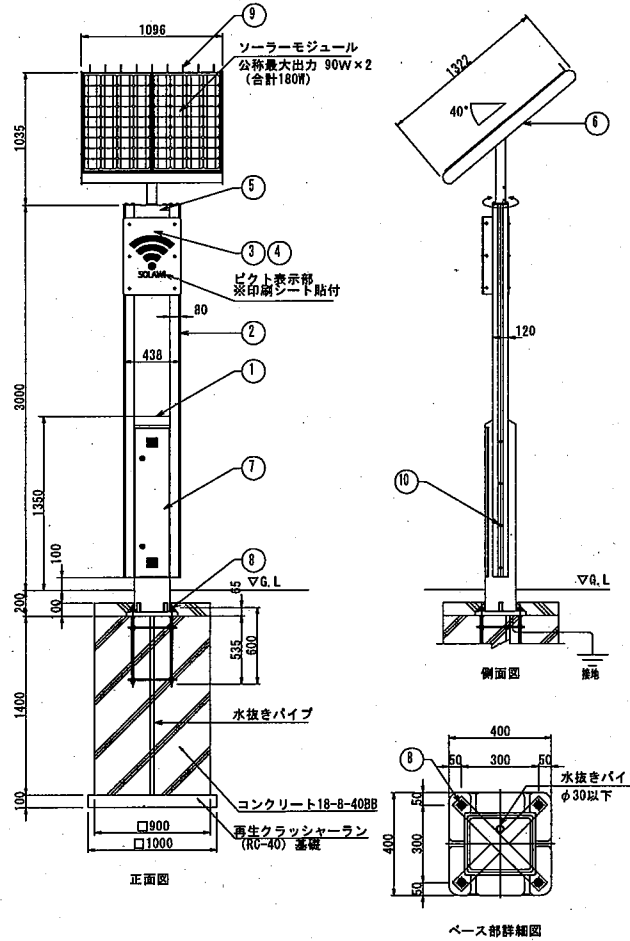


堰板工  
S=1:30



# 構造図 (15)

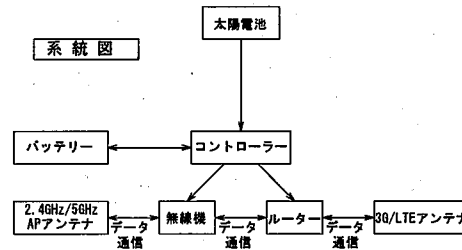
ソーラーWi-Fi  
S-1:20



長期許容地耐力が100kN/m2以上の場所に設置すること。

一般仕様	
型式	SOLAWI-1F5
Wi-Fi通信可能距離	約100m 地球変動有り
通信周波数帯	2.4GHz/5GHz デュアルバンド
Wi-Fi機种消費電力	無線機 7.5W ・ ルーター 3W
無日照保証期間	4日間

※上記設定の設置条件  
 ソーラーモジュールが南【東南・西南】向きで  
 周りに高い建物のない場所。  
 ※支柱フタは藍色市松模様仕上。  
 ※ソーラー取付台及び支柱は白色塗装仕上。  
 ※ポール及びフリージョイントは藍色塗装仕上。  
 ※アンカーボルトは溶融亜鉛メッキ仕上。  
 ※取付ボルト類はSUSとする。  
 ※製品は、メーカーの指定する損害賠償責任保険  
 に加入しているものとする。  
 ※設計条件

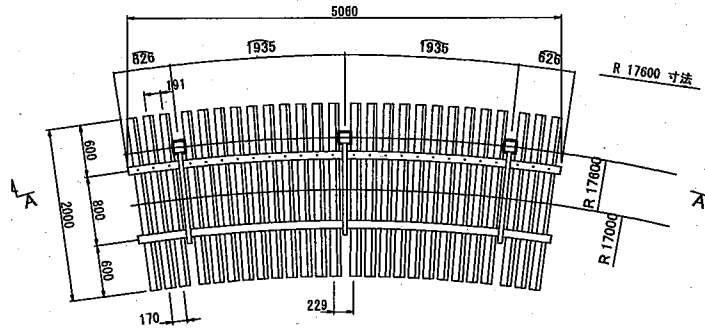


詳細仕様	
○コントローラー (1台)	
負荷動作	24時間
充電制御	過充電・過放電防止制御
定格電圧	DC12V
消費電流	5mA
適合バッテリー	鉛蓄電池 (12V系)
○ソーラーモジュール (2台)	
公称最大出力	90W (合計180W)
公称電圧	12V
○蓄電池 (3台)	
公称電圧	12V
定格容量	114Ah (38Ah[20時間率] x 3)
備考	密閉型鉛蓄電池(サイクルユース)

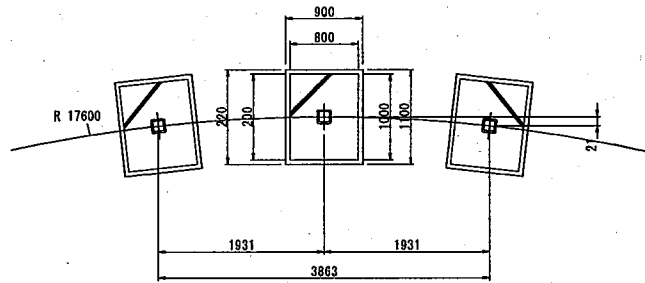
No	品名	材質	数量	記号
1	支柱	AC40-F	1	□-276×240
2	ポール	A6005CS-T5	2	120×80
3	アンテナ (1)	-	1	3G/LTEアンテナ
4	アンテナ (2)	-	1	2.4GHz/5GHzデュアル
5	フリージョイント	SUS304	1	□-100×100×3.0
6	ソーラー取付台	SUS304	1	FB-3×100
7	点検フタ	SUS304	1	PL-2.0t
8	アンカーボルト	S5400	1	4-M16×600 (B, 2N, W)
9	鳥よけ	SUS	9	φ3
10	六角穴付きワッシャー	SUS	8	M12×80 (B, N, 2N, SW)

# 構造図 (56)

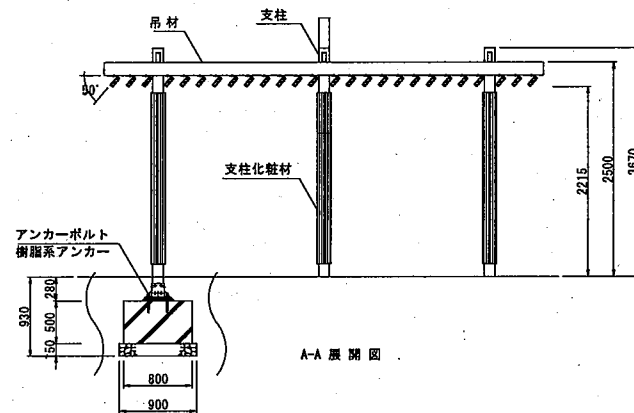
パーゴラ  
S=1:30



平面図



基礎伏図

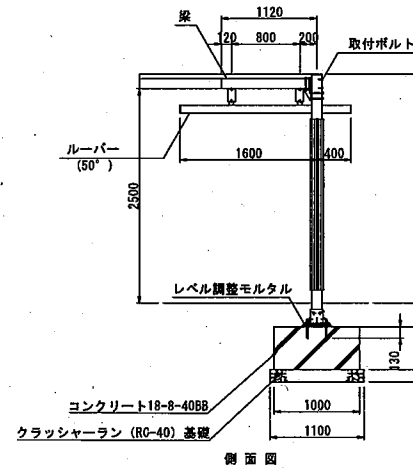
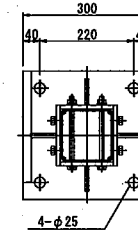


A-A 展開図

- |         |                 |                    |
|---------|-----------------|--------------------|
| 支柱      | : □120×120×3.0t | A6006CS-T5         |
| 支柱化粧材   | : L75×75×20t    | 再生木材               |
| ルーバー    | : □120×40       | A6063S-T5 / 再生木材表層 |
| 吊材      | : [ 150×90×4.5t | A6005GS-T5         |
| 梁       | : □120×50       | A6005GS-T5         |
| 取付ボルト   | : 六角穴付きボタンボルト   | SUS M10            |
| アンカーボルト | : 全ネジボルト M16    | SS 400 M16 溶融亜鉛メッキ |

- ※ アルミ材は陽極酸化塗装複合皮膜 (マットブラウン色) とする。(芯材を除く)
- ※ 再生木材はサンディング仕上げ (ダークカラー) とする。
- ※ 製品は、メーカーの指定する損害賠償責任保険に加入しているものとする。
- ※ 改良の為、一部仕様変更する場合があります。

ベース部詳細

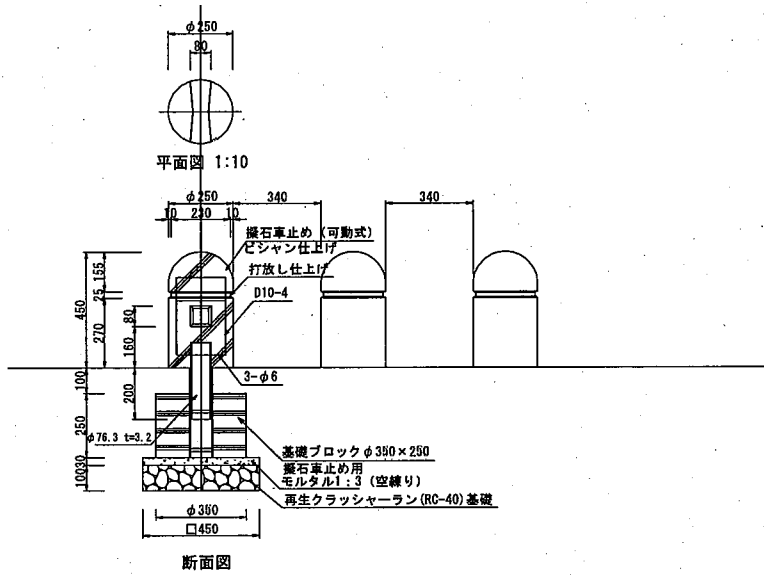


側面図

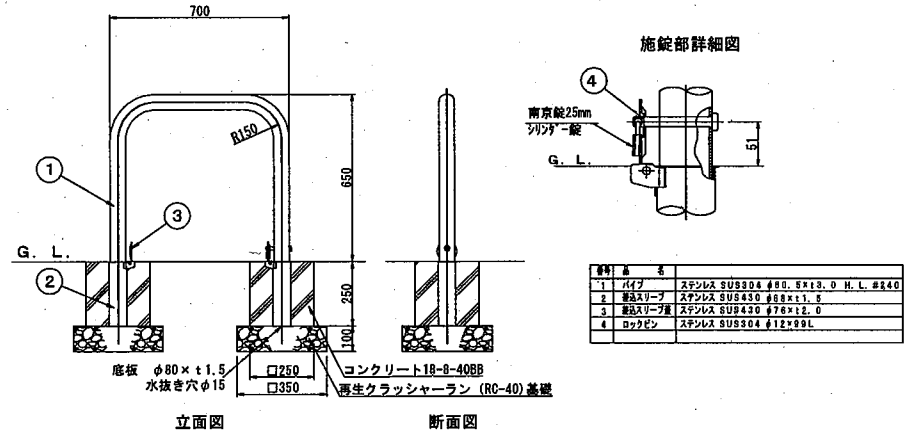
長期許容地耐力が50kN/m<sup>2</sup>以上の場所に設置すること。

### 構造図 (47)

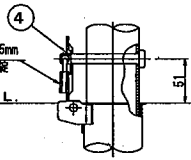
車止め-1  
S=1:10



車止め-2  
S=1:10

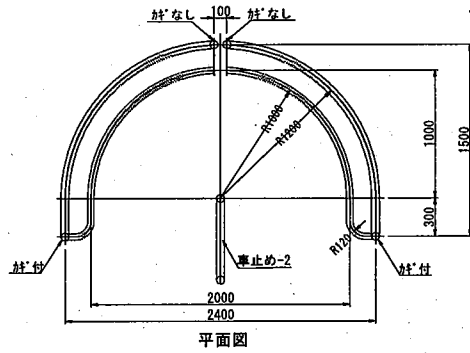


施錠部詳細図

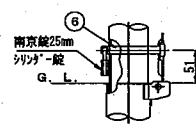


番号	品名	仕様
1	パイプ	ステンレス SUS304 φ48.6×t2.0 H.L.#240
2	差込スリーブ	ステンレス SUS430 φ68×t1.5
3	ロックピン	ステンレス SUS304 φ12×L89
4	ロックピン	ステンレス SUS304 φ12×89L

車いすゲート  
S=1:20

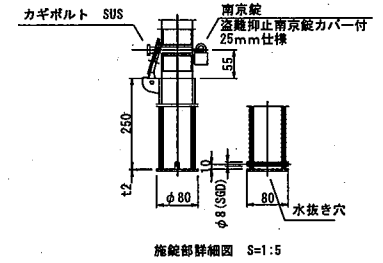
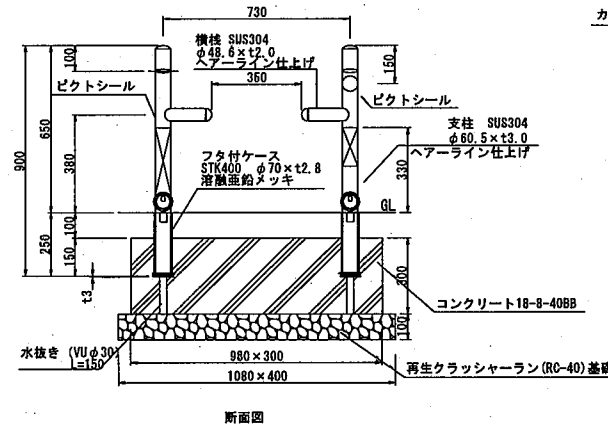
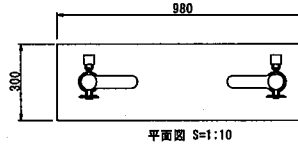


施錠部詳細図



番号	品名	仕様
1	パイプ (外側)	ステンレス SUS304 φ60.5×t3.0 H.L.#240
2	パイプ (内側)	ステンレス SUS304 φ48.6×t2.0 H.L.#240
3	連結板	ステンレス SUS304 t5.0 H.L.#240
4	差込スリーブ	ステンレス SUS430 φ68×t1.5
5	差込スリーブ	ステンレス SUS430 φ70×t2.0
6	ロックピン	ステンレス SUS304 φ12×89L

自転車ゲート  
S=1:10



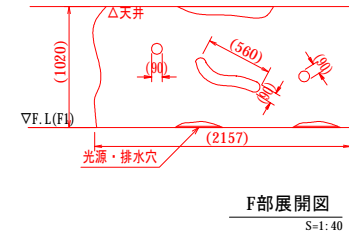
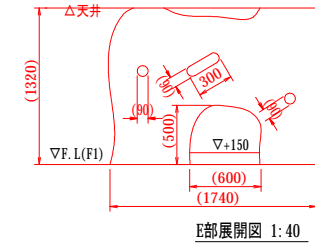
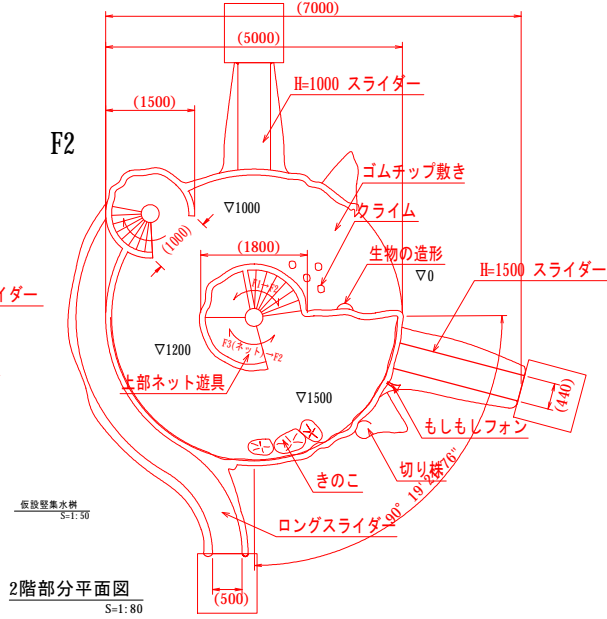
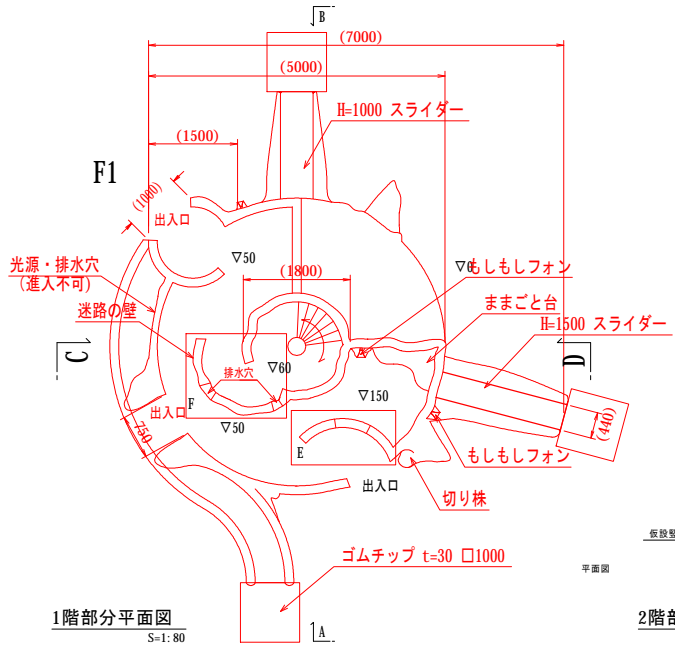
遊戯施設整備工構造図  
(複合遊具 (1)) S-図示

総重量68587kg

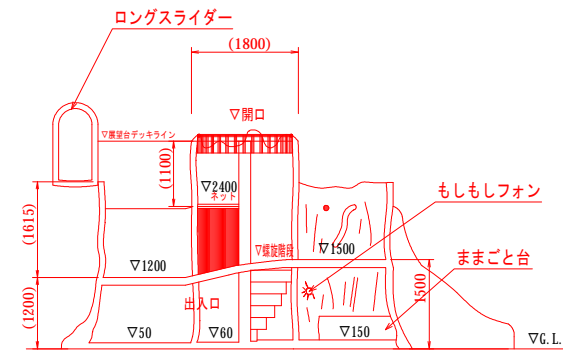
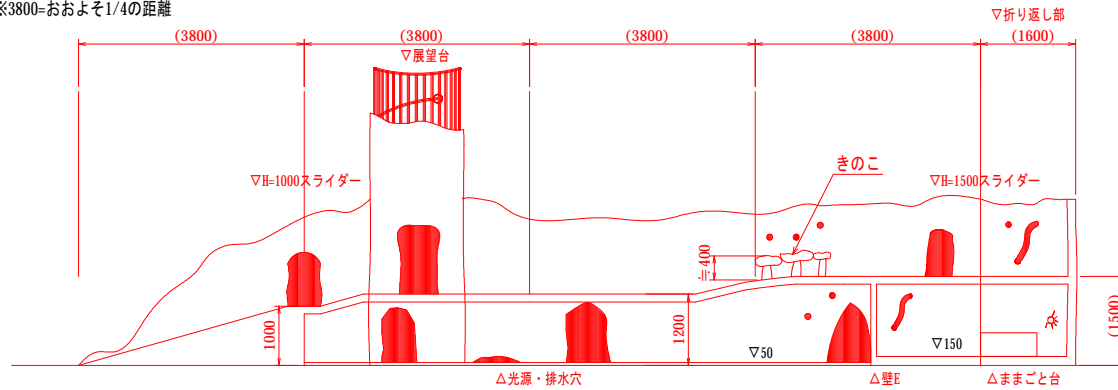
条件: 地耐力5.0kN/m<sup>2</sup>の支持地盤確認の上施工を行う事

仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP-SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする

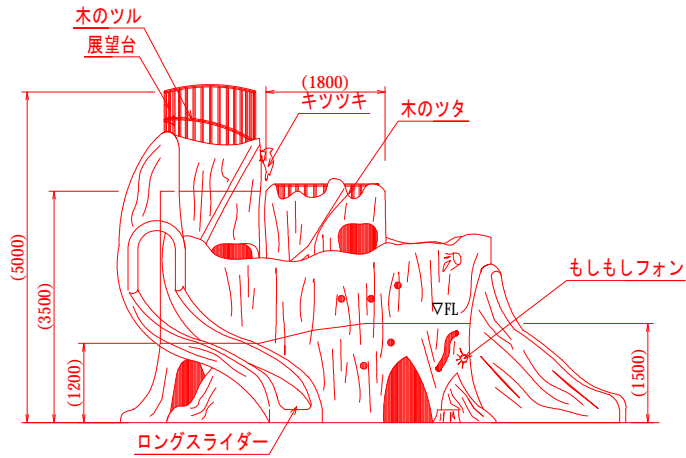


※3800=およそ1/4の距離



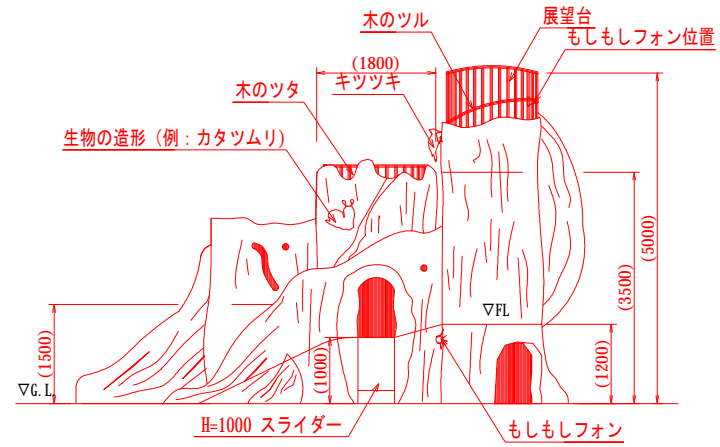
遊戯施設整備工構造図

(複合遊具 (2))



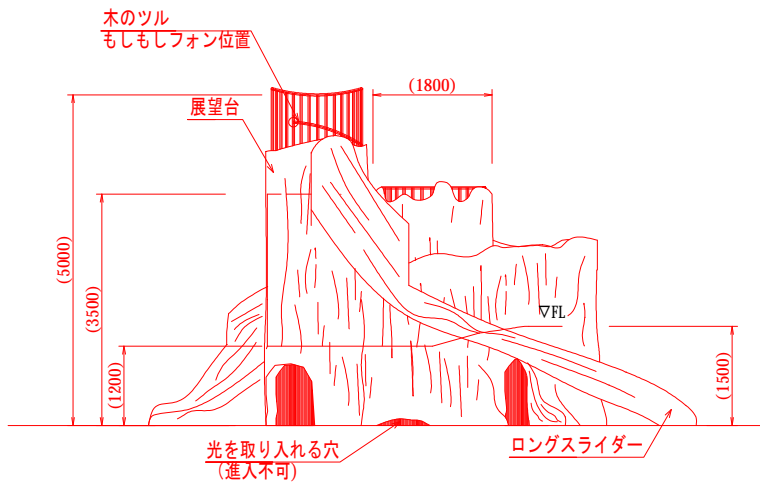
A視立面図

S=1:80



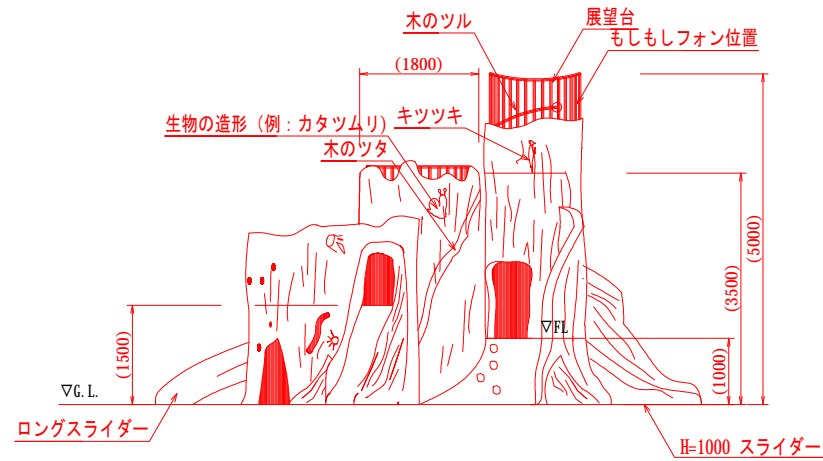
B視立面図

S=1:80



C視立面図

S=1:80



D視立面図

S=1:80

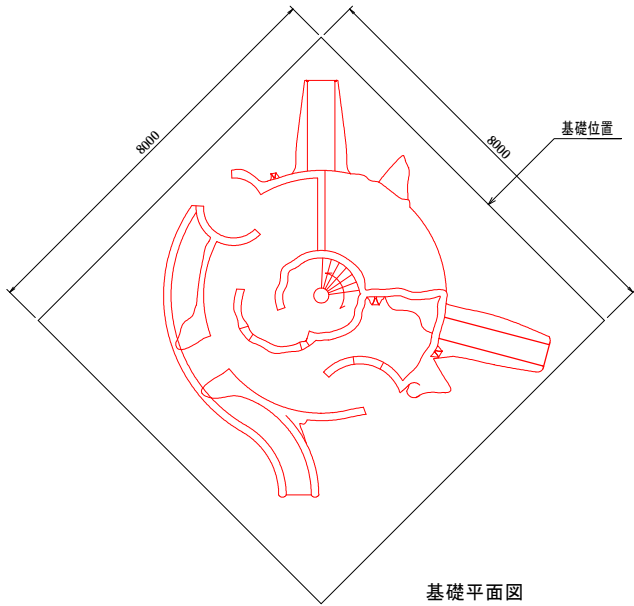
仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする

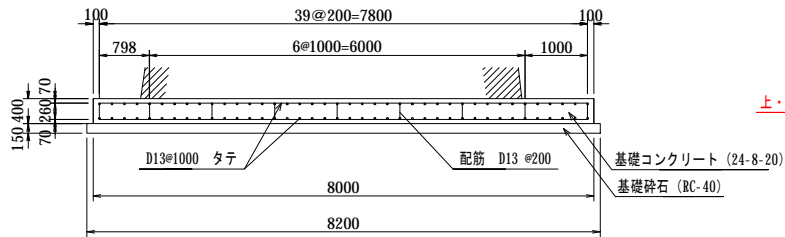
総重量68587kg

条件： 地耐力50KN/m<sup>2</sup>の支持地盤確認の上施工を行う事

遊戯施設整備工構造図  
 (複合遊具 (3)) S-図示



基礎平面図  
 S=1:100



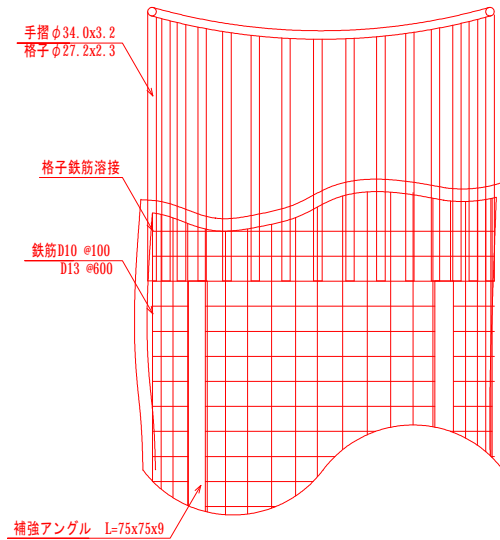
基礎工敷断面図 (A-A) 1:100

総重量68587kg

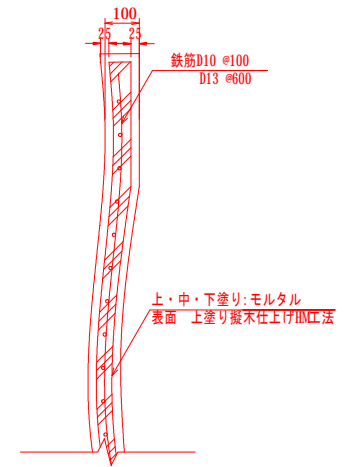
条件: 地耐力50KN/m<sup>2</sup>の支持地盤確認の上施工を行う事

仕様

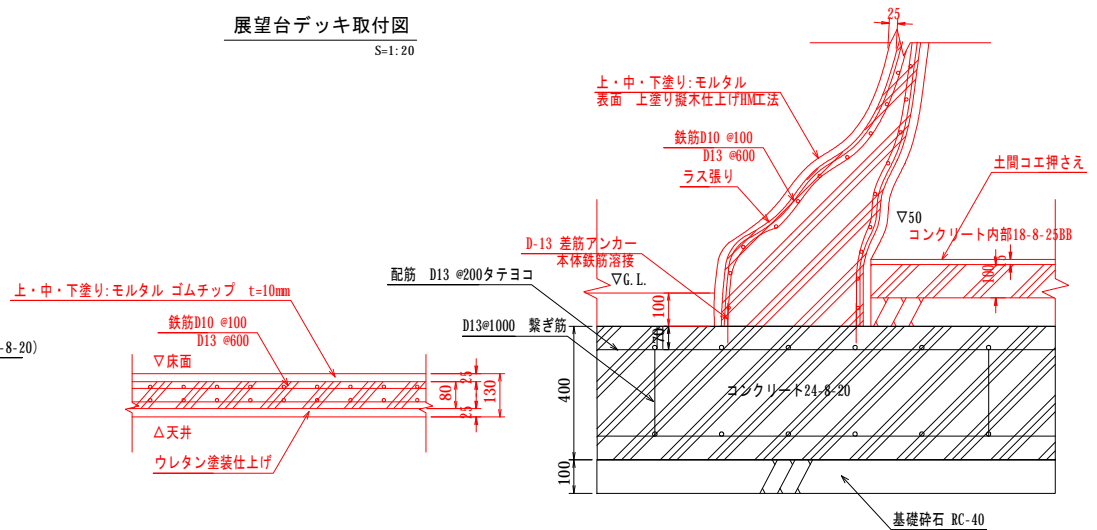
- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする



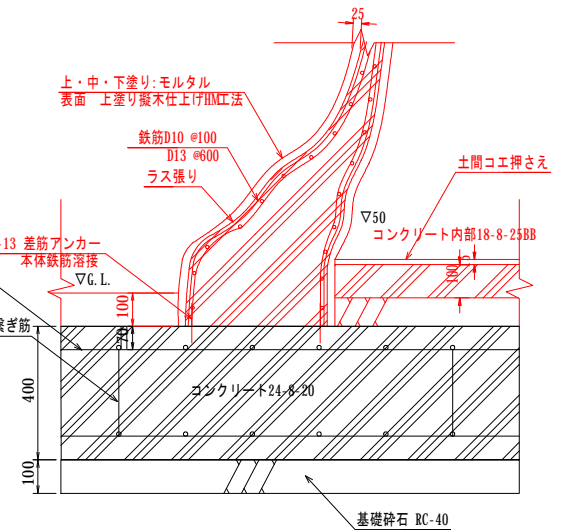
展望台デッキ取付図  
 S=1:20



上部壁部詳細図  
 S=1:15



天井・床 詳細図  
 S=1:15



地階詳細図  
 S=1:15



# 遊戯施設整備工構造図

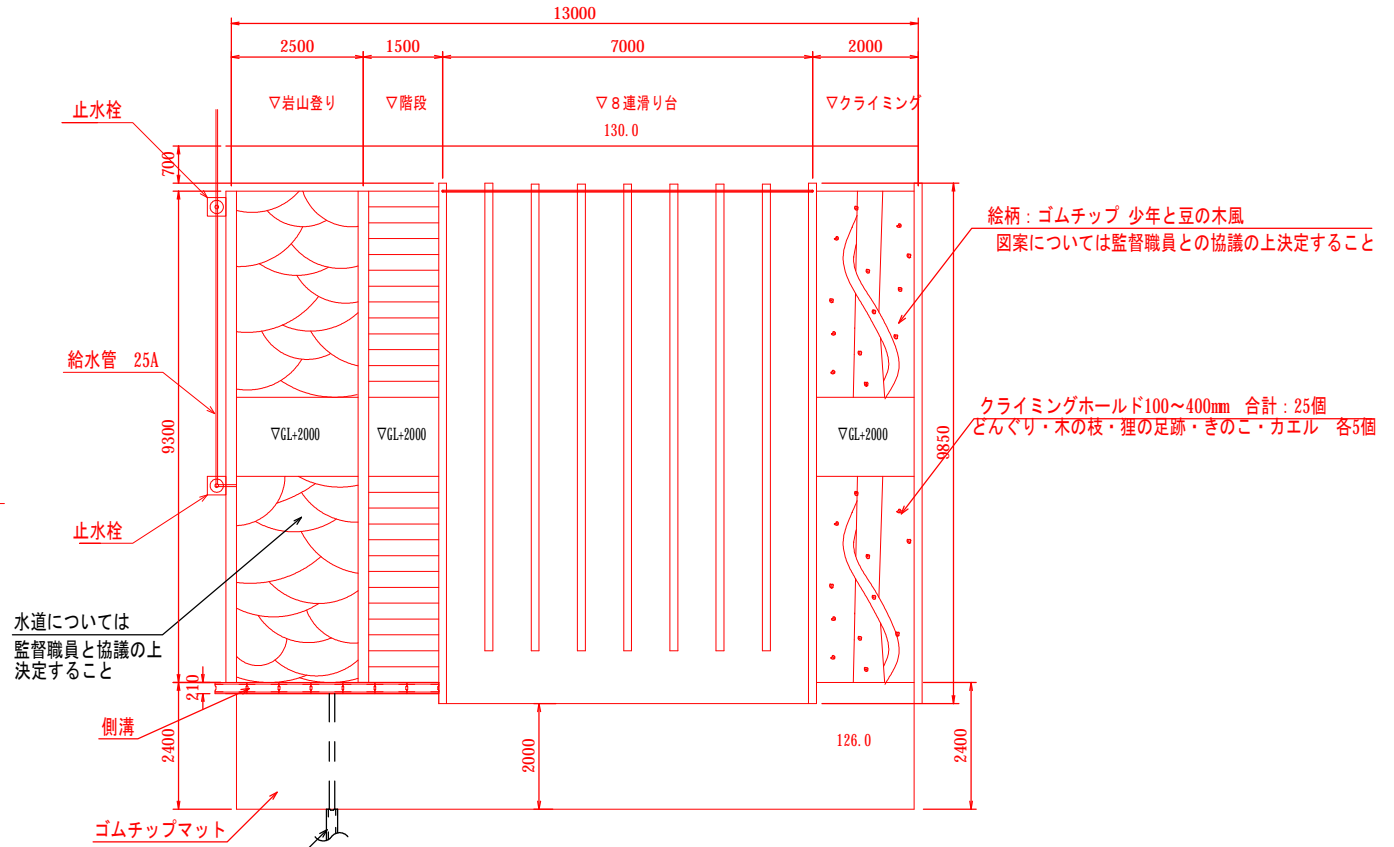
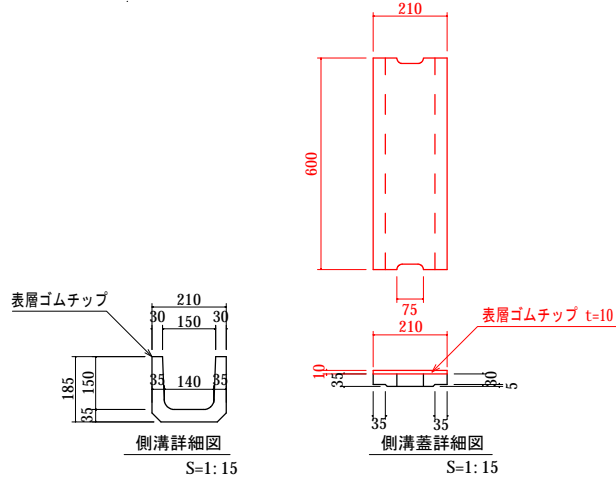
(法面遊具 (1)) S-図示

総重量総重量19595kg

条件: 地耐力50KN/m<sup>2</sup>の支持地盤確認の上施工を行う事

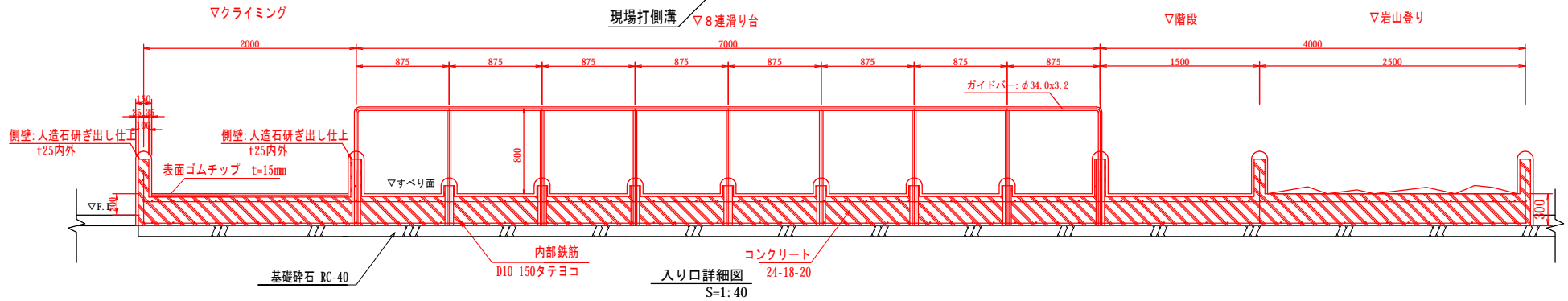
仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする



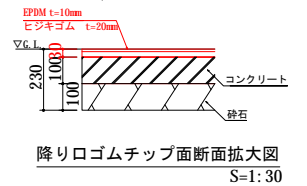
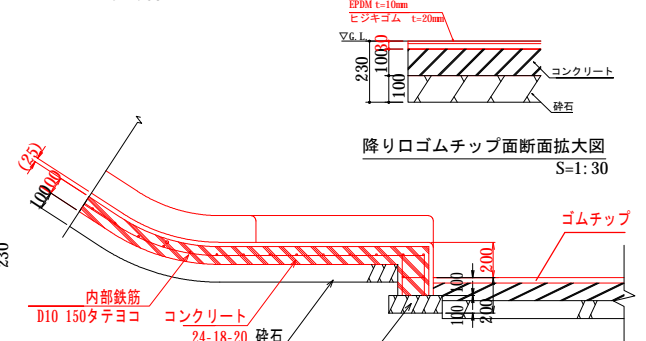
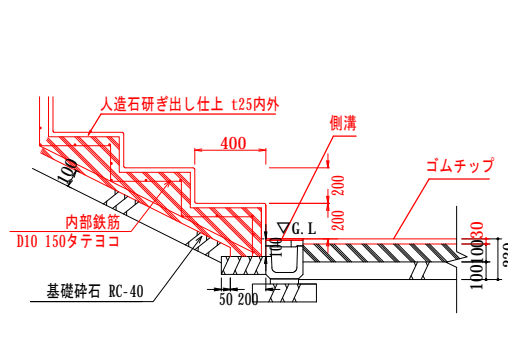
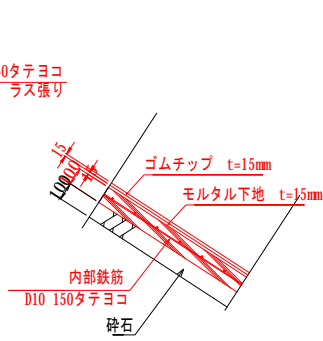
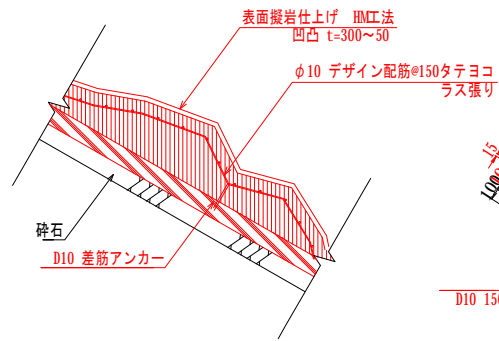
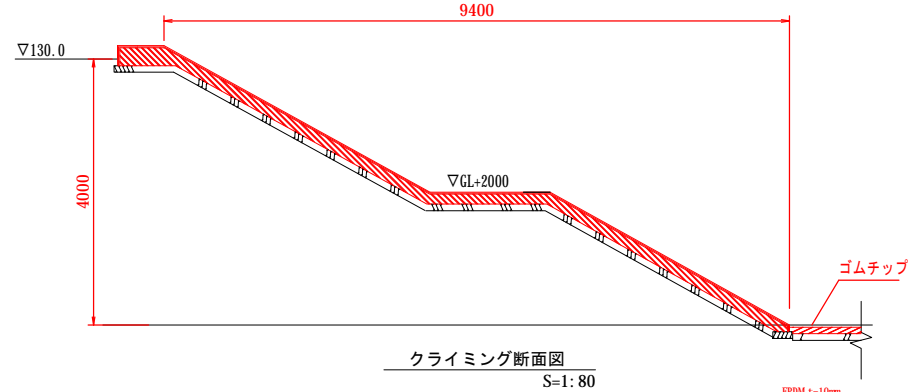
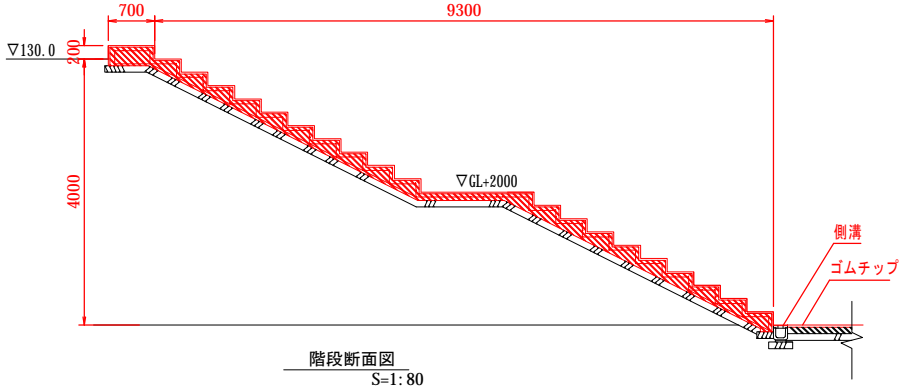
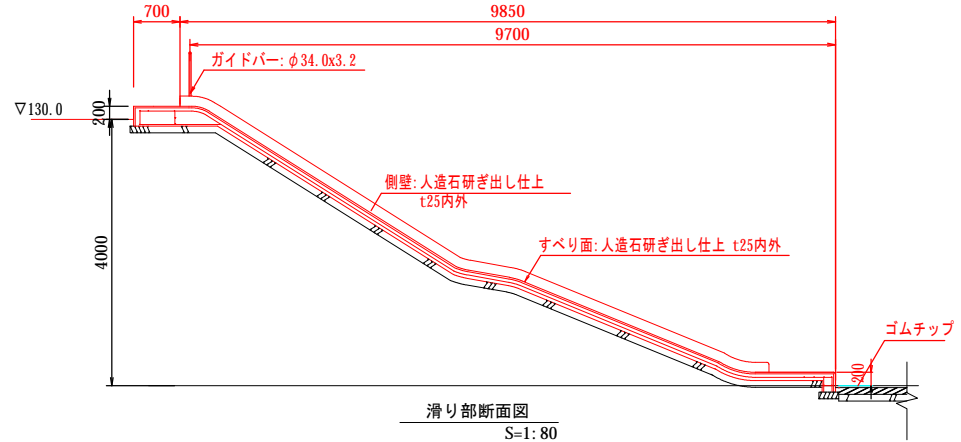
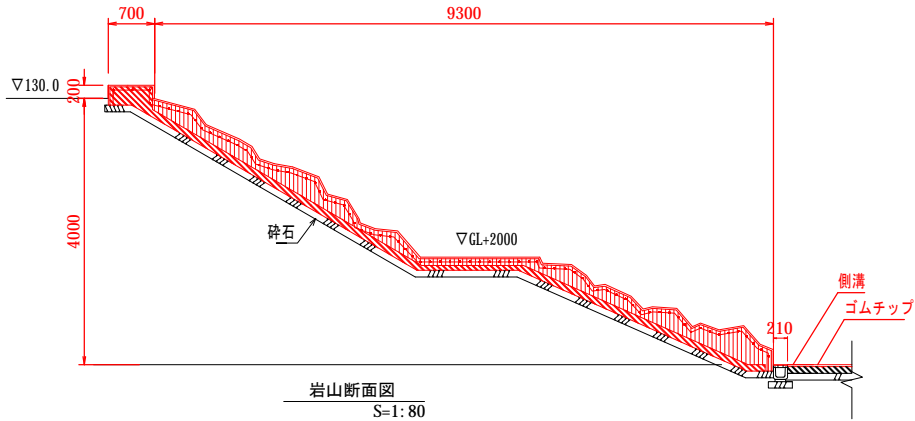
絵柄: ゴムチップ 少年と豆の木風  
図案については監督職員との協議の上決定すること

クライミングホールド100~400mm 合計: 25個  
どんぐり・木の枝・狸の足跡・きのこ・カエル 各5個



遊戯施設整備工構造図

(法面遊具 (2)) S=図示



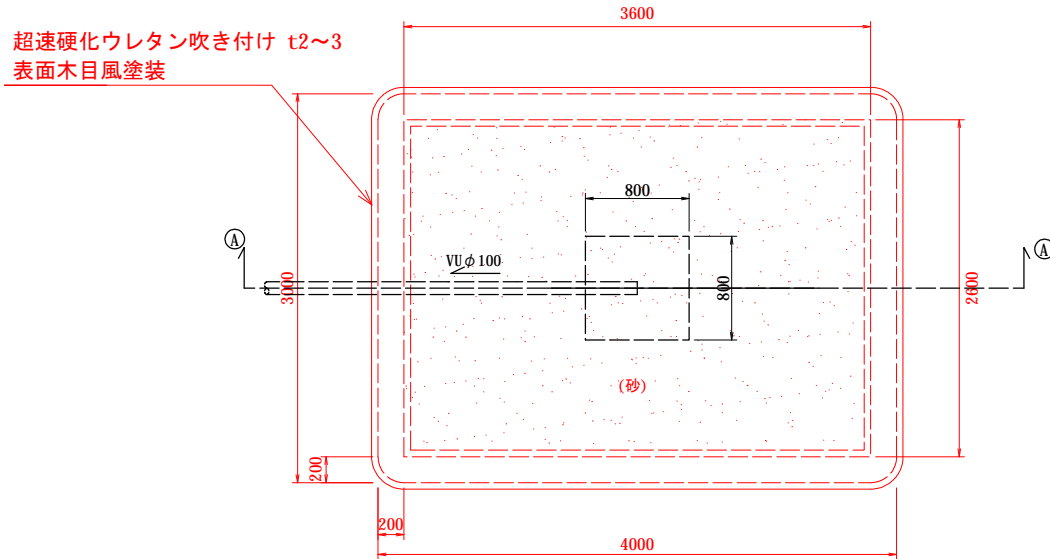
仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする

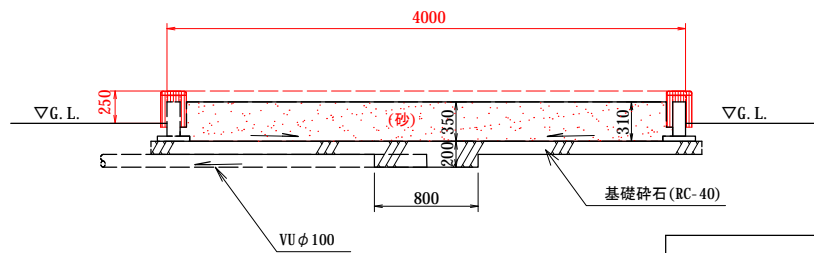
総重量総重量19595kg

条件： 地耐力50KN/m<sup>2</sup>の支持地盤確認の上施工を行う事

遊戯施設整備工構造図  
(砂場) S-図示

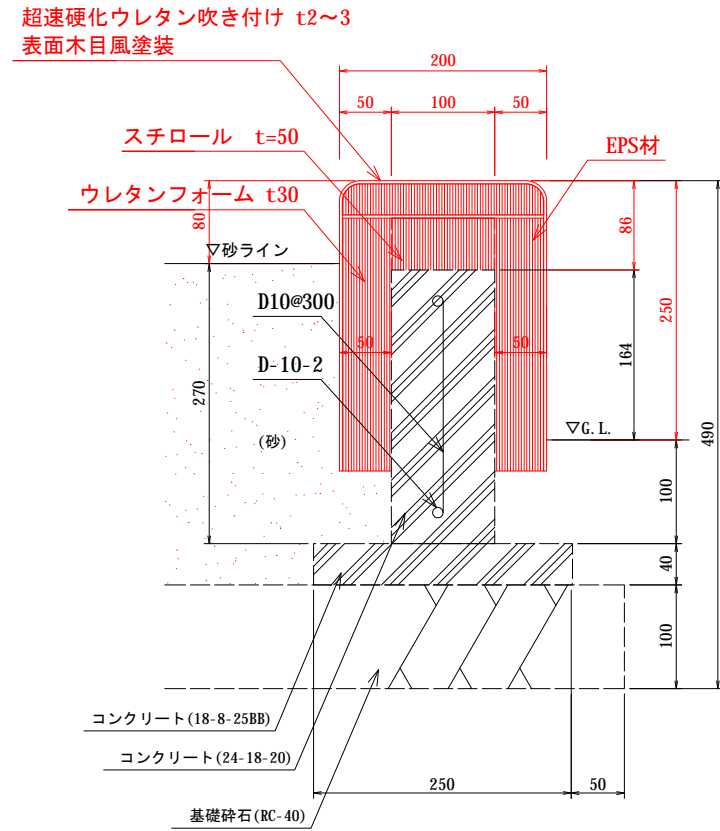


平面図  
S=1:40



A-A断面図  
S=1:40

仕様  
・表面 超速硬化ウレタン吹き付け仕上げ



断面詳細図  
S=1:5

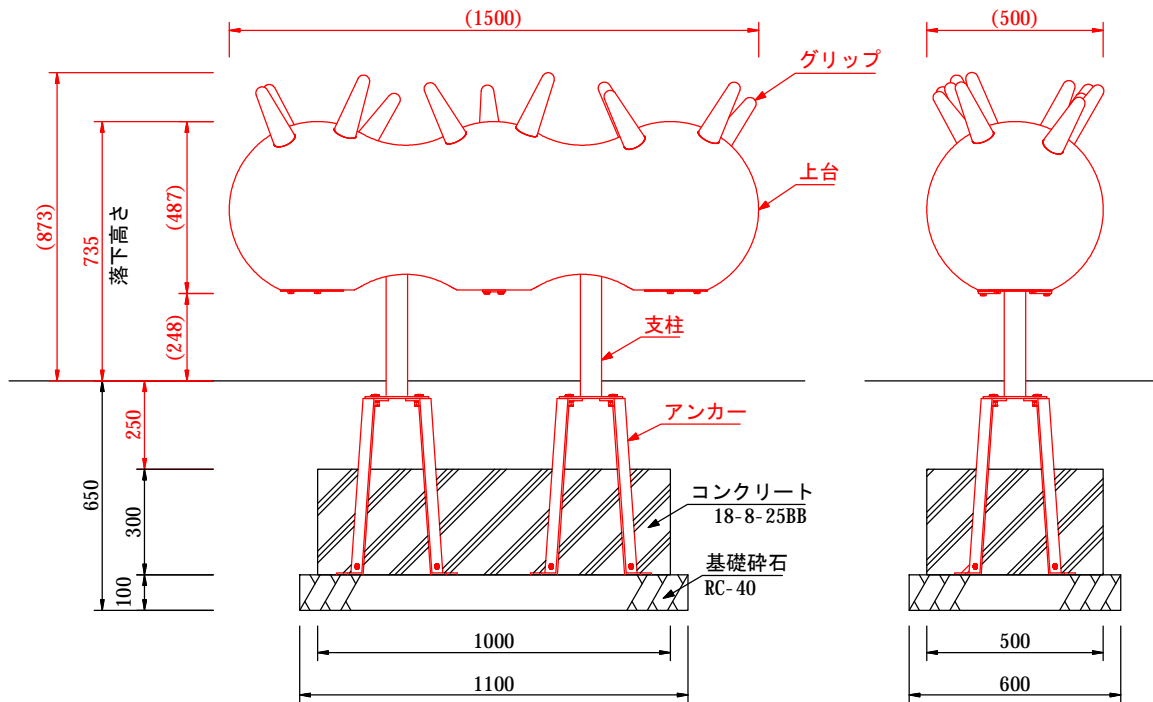
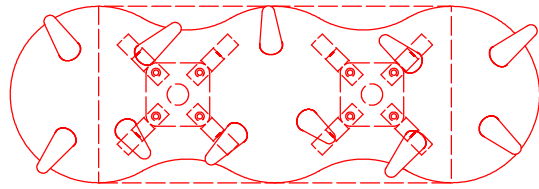
- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、(社)日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、(社)日本公園施設業協会 JPFA-SP-S:2014に準拠する。
- ・本製品は、(社)日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、(社)日本公園施設業協会SPマークを表示する。

年度	令和2年度	番号	51/77
公園名	緑織公園		
工事名	桜木の置改修整繕(第2期工事)		
施行箇所	富田林市緑織地内		
図面名	遊戯施設整備工構造図(砂場)		
縮尺	図示		
大阪府富田林土木事務所			

# 遊戯施設整備工構造図

(揺動系遊具 1)

S=図示



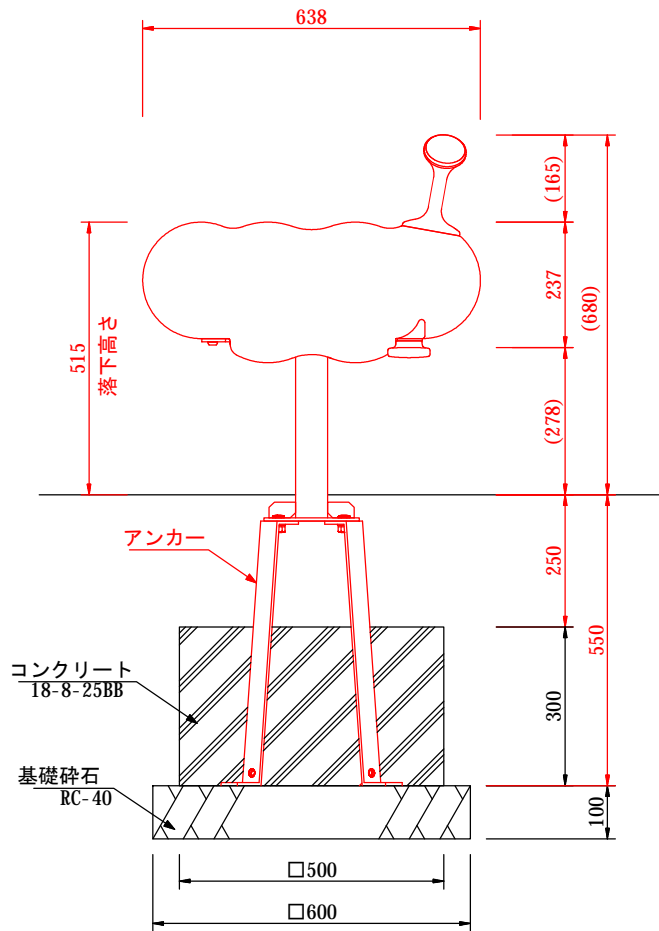
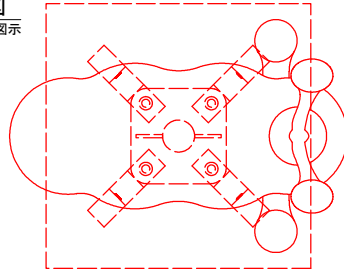
外観図  
S=1:5

- 上台 : FRP成形品 合成樹脂塗装 (ターコイズ)
- グリップ: EPDM成形品 (パープル)
- 支柱 : φ60.5x13.8 鋼管  
溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
- 機構部 : マルチリンク機構 (ストッパーゴム付)
- アンカー : t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ
- 質量 : 72kg

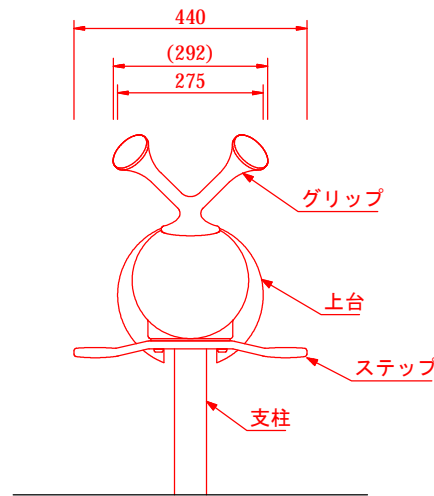
- 設置上の注意
- ・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
  - ・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
  - ・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
  - ・本製品はおおむね3才~12才を対象とする。
  - ・本製品はJPSA-SP-S:2014に準拠した製品とする。
  - ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。

遊戯施設整備工構造図  
(揺動系遊具 2)

S-図示



外観図  
S=1:10



- 上台 : FRP成形品 合成樹脂塗装 (インディゴブルー)
- グリップ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (オレンジ)
- ステップ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (オレンジ)
- 支柱 : φ60.5Xt3.8鋼管
- 機構部 : 溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
- 機構部 : マルチリンク機構 (ストッパーゴム付)
- アンカー : t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ
- 質量 : 23kg

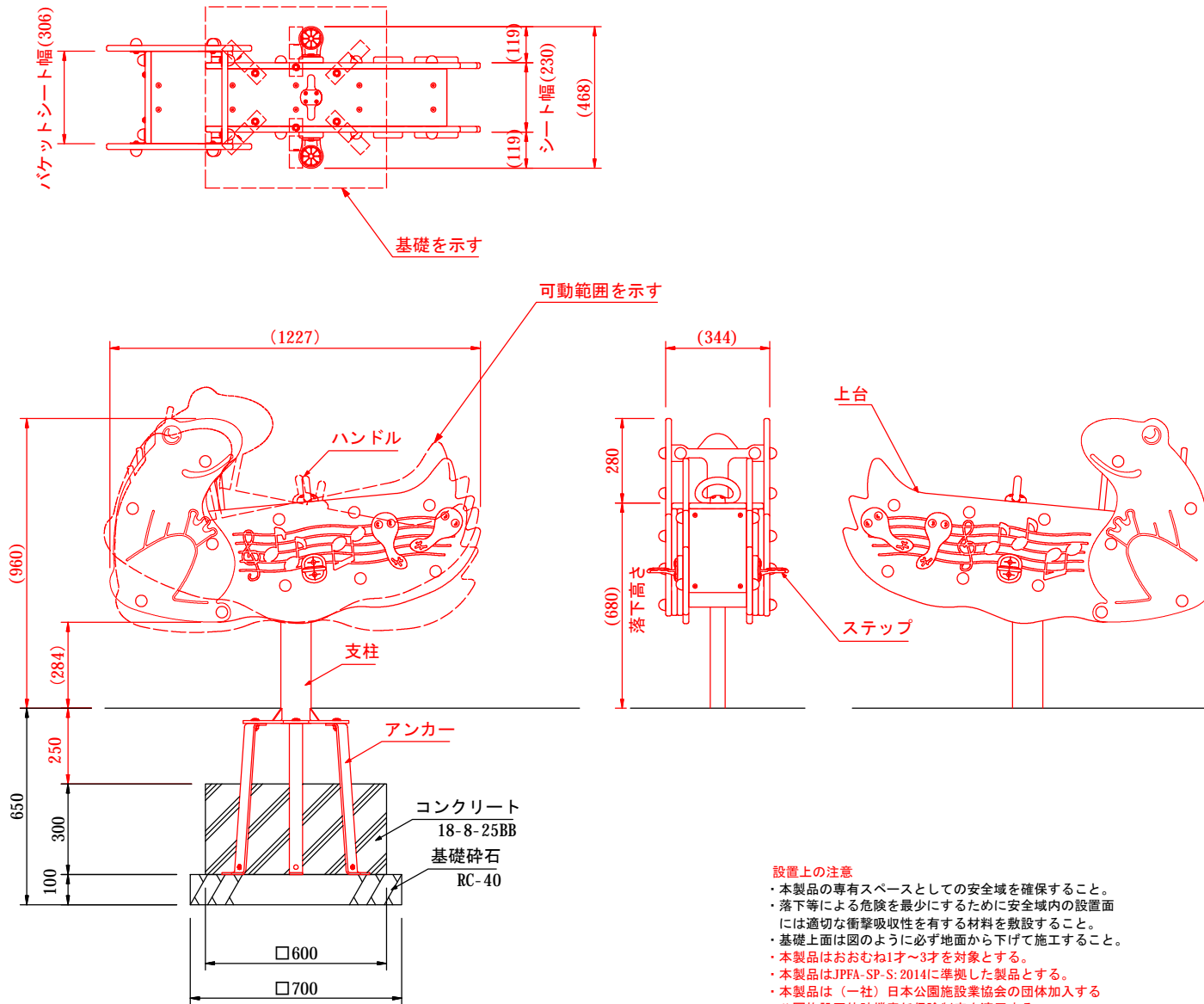
設置上の注意

- ・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
- ・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
- ・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
- ・本製品はおおむね3才～6才を対象とする。
- ・本製品はJPFPA-SP-S:2014に準拠した製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。

遊戯施設整備工構造図

(揺動系遊具 3)

S-図示



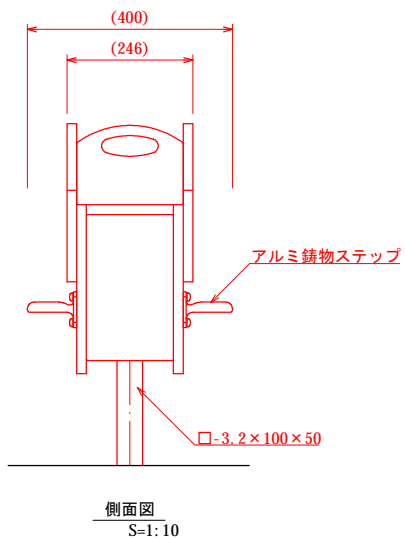
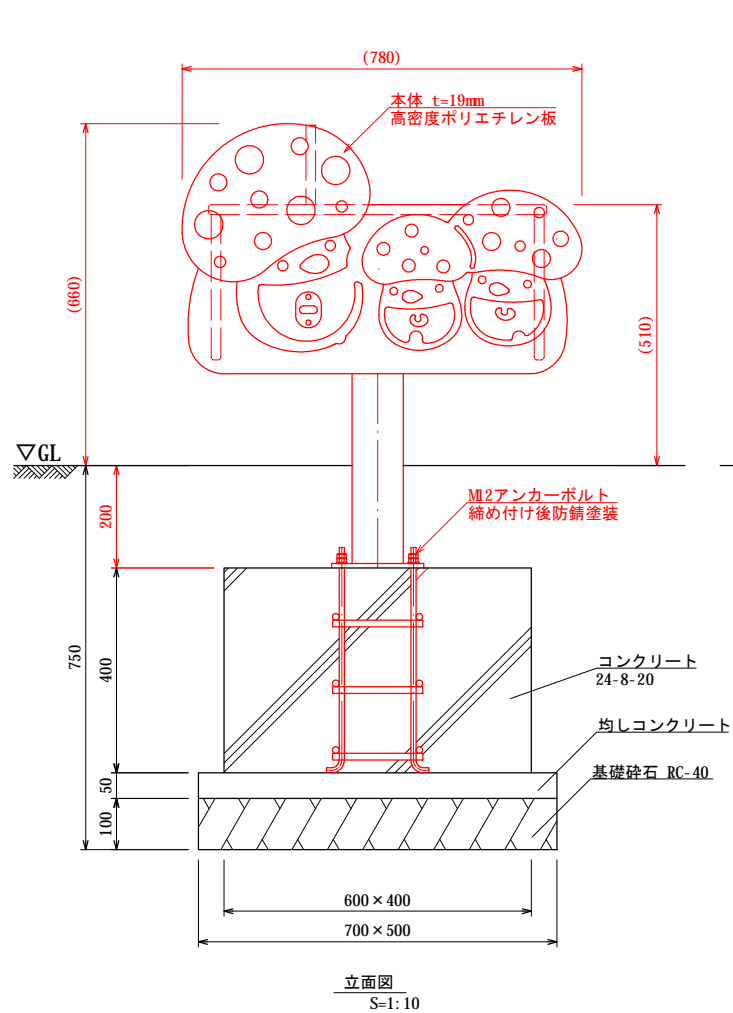
- 上台 : t19 HPEパネル
- ハンドル : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (イエロー)
- ステップ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
- 支柱 : 100×50×t3.2角鋼管  
溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
- 機構部 : マルチリンク機構  
(セーフティカバー・ストッパーゴム付)
- アンカー : t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ
- 質量 : 75kg

設置上の注意

- ・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
- ・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
- ・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
- ・本製品はおおむね1才～3才を対象とする。
- ・本製品はJPFA-SP-S:2014に準拠した製品とする。
- ・本製品は(一社)日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。

外観図  
S=1:15

遊戯施設整備工構造図  
(揺動系遊具 4) S=図示



- ・カラーは、メーカー指定色とする。
- ・高密度ポリエチレン板の寸法は、内外寸法とする。
- ・支柱部は溶融亜鉛メッキとし、その他の鋼材は電気亜鉛メッキとする。
- ・設置する上で、安全領域を確保する事とする。
- ・遊具の対象年齢は、3～6才を対象とする。
- ・ISO 9001:2015認証取得企業の製品とする。
- ・遊具の安全に関する規程JPPFA-SP-S:2014に適合した製品とする。
- ・一般社団法人 日本公園施設業協会 SPマーク表示認定企業の製品とする。
- ・一般社団法人 日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。
- ・本製品の設計図面の変更、模倣を禁止する。

# 遊戯施設整備工構造図

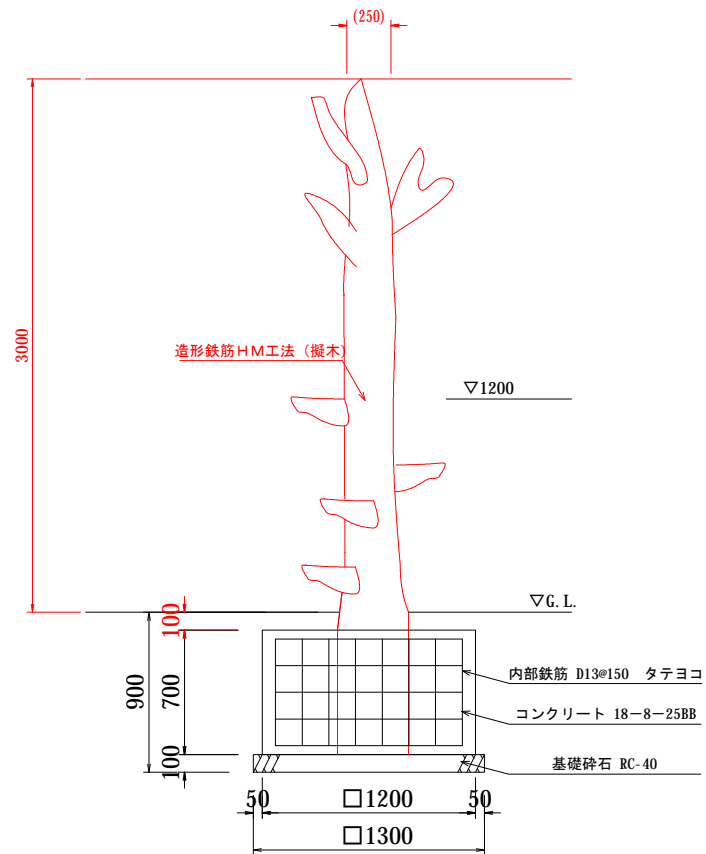
(木登りA)

S-図示



ステップ部平面図

S=1:30



(A)

## 仕様

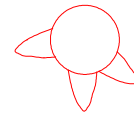
- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。



遊戯施設整備工構造図

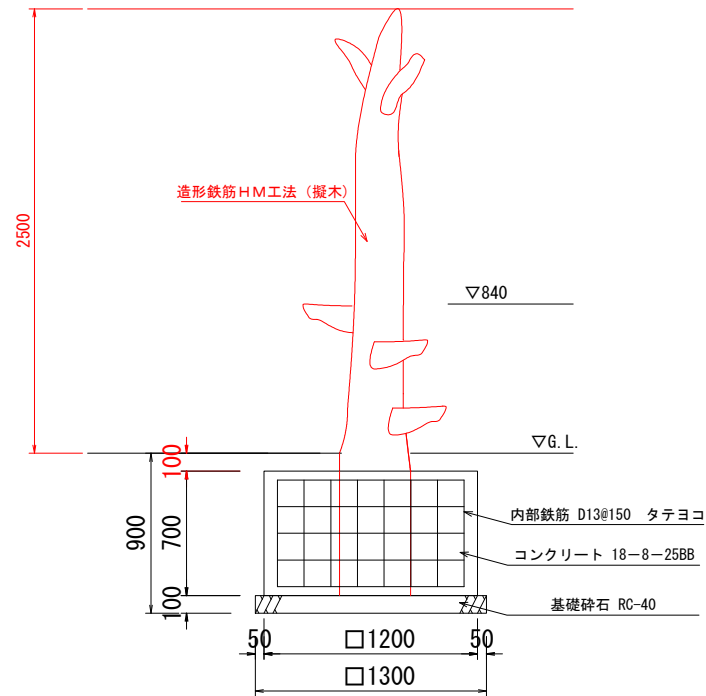
(木登りB)

S=図示



ステップ部平面図

S=1:30



(B)

立面図

S=1:30

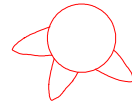
仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。

# 遊戯施設整備工構造図

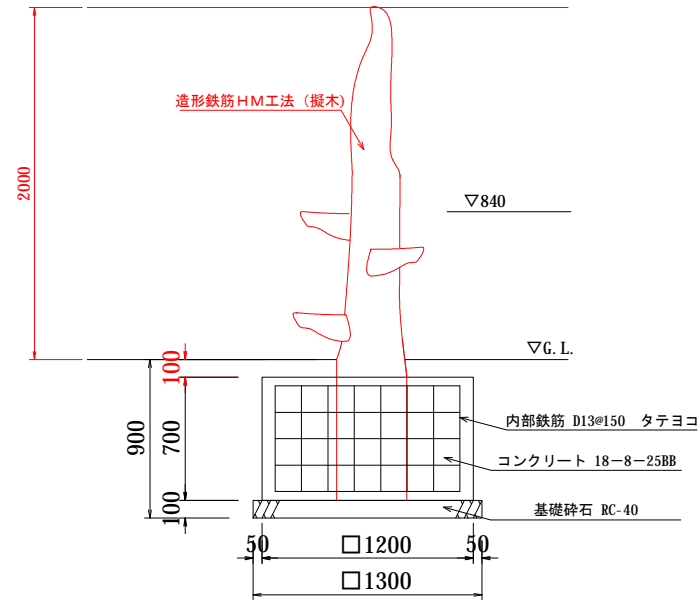
(木登りC)

S=図示



ステップ部平面図

S=1:30



(C)

## 仕様

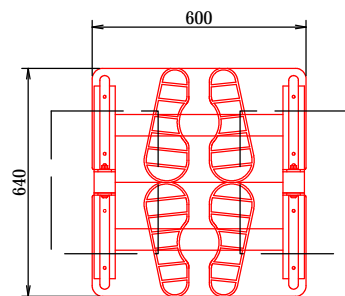
- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。

遊戯施設整備工構造図

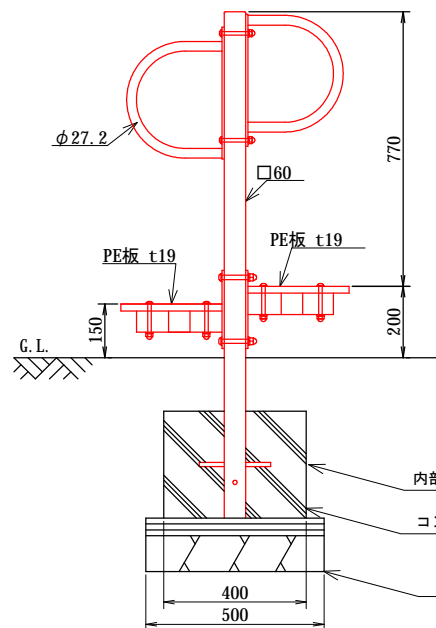
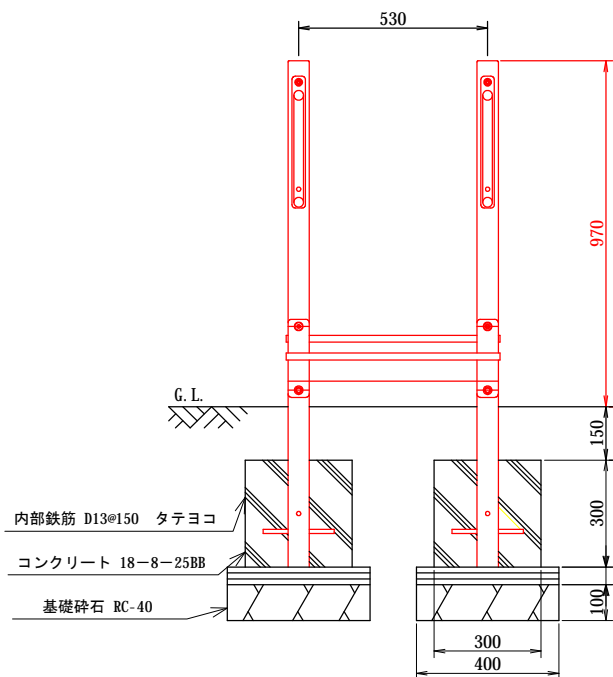
(健康遊具A・B・C・D)

健康遊具A

S=1:30



平面図



主要材料：スチール/ステンレス、ポリエチレン板  
設置寸法：W600 × D640 × H970

※ ステンレス仕様はミガキ（無塗装）とする。

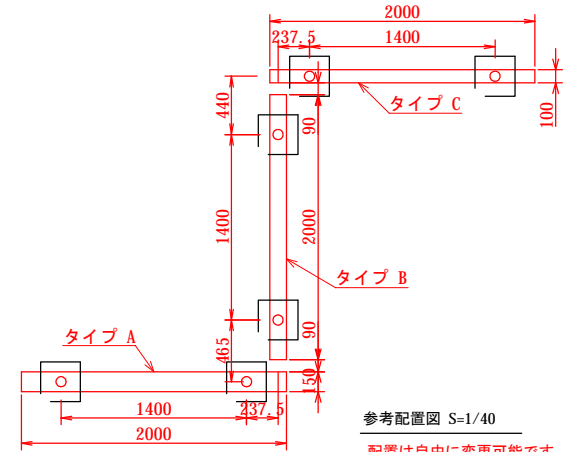
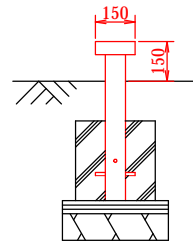
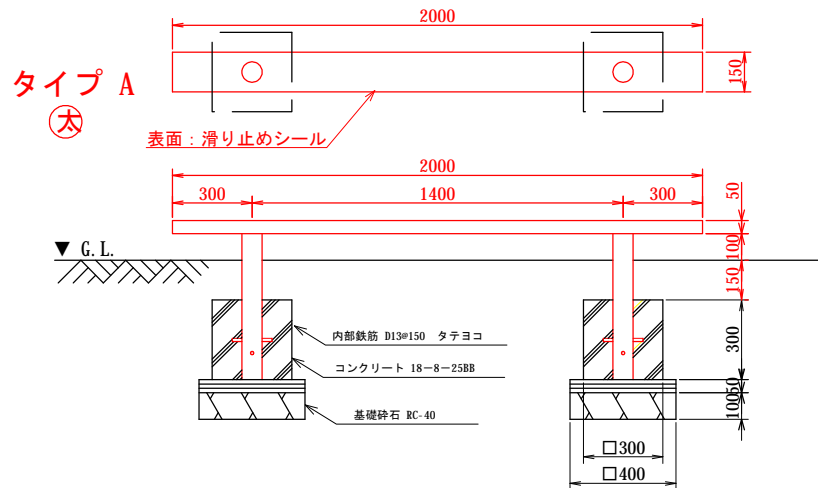
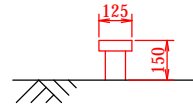
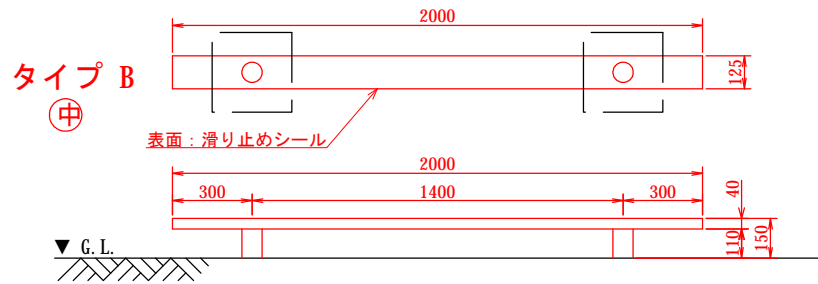
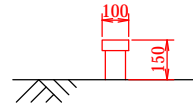
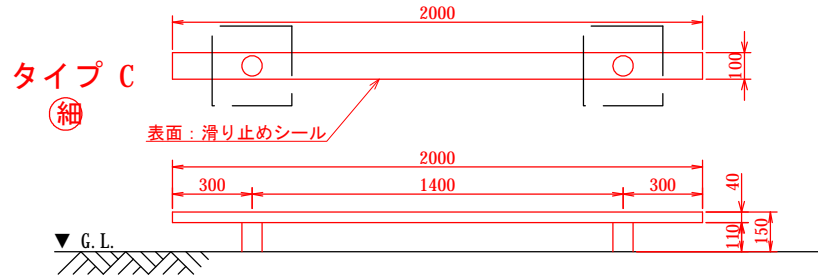
※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。

※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。

※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

遊戯施設整備工構造図  
(健康遊具 A・B・C・D)

健康遊具B  
S=1:20



主要材料：スチール/ステンレス  
設置寸法：W2000 × D150 × H150 (大)  
W2000 × D125 × H150 (中)  
W2000 × D100 × H150 (細)

※ ステンレス仕様はミガキ（無塗装）とする。

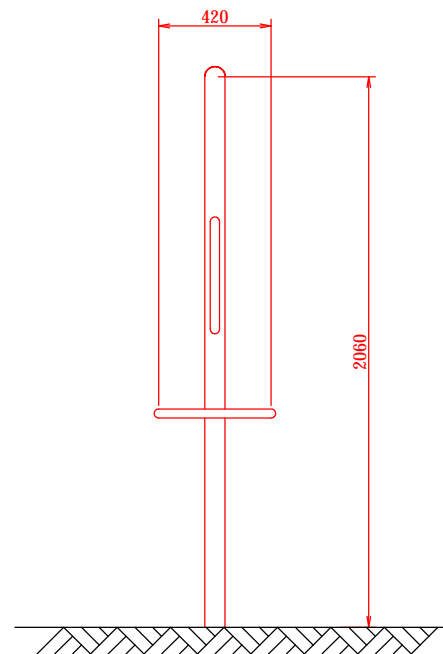
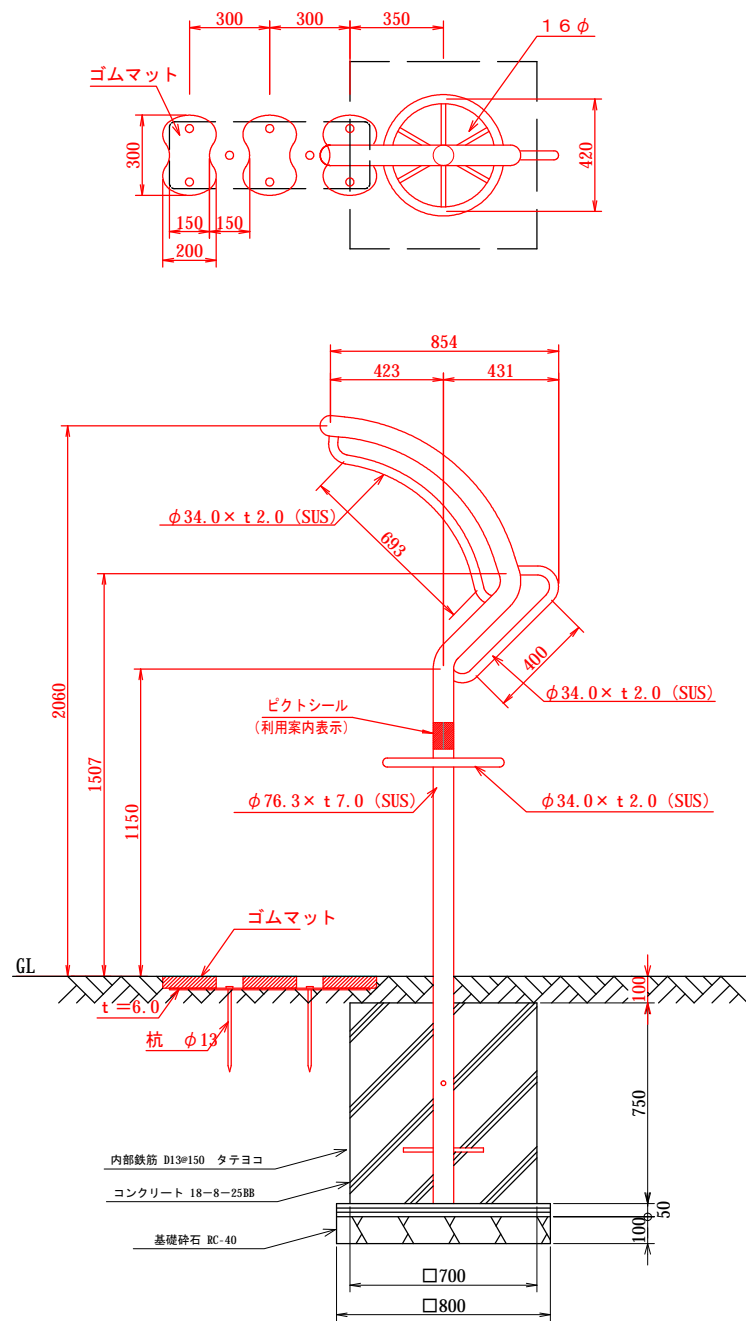
※ ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。  
※ (一社) 日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。  
※ (一社) 日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

遊戯施設整備工構造図

(健康遊具A・B・C・D)

健康遊具C

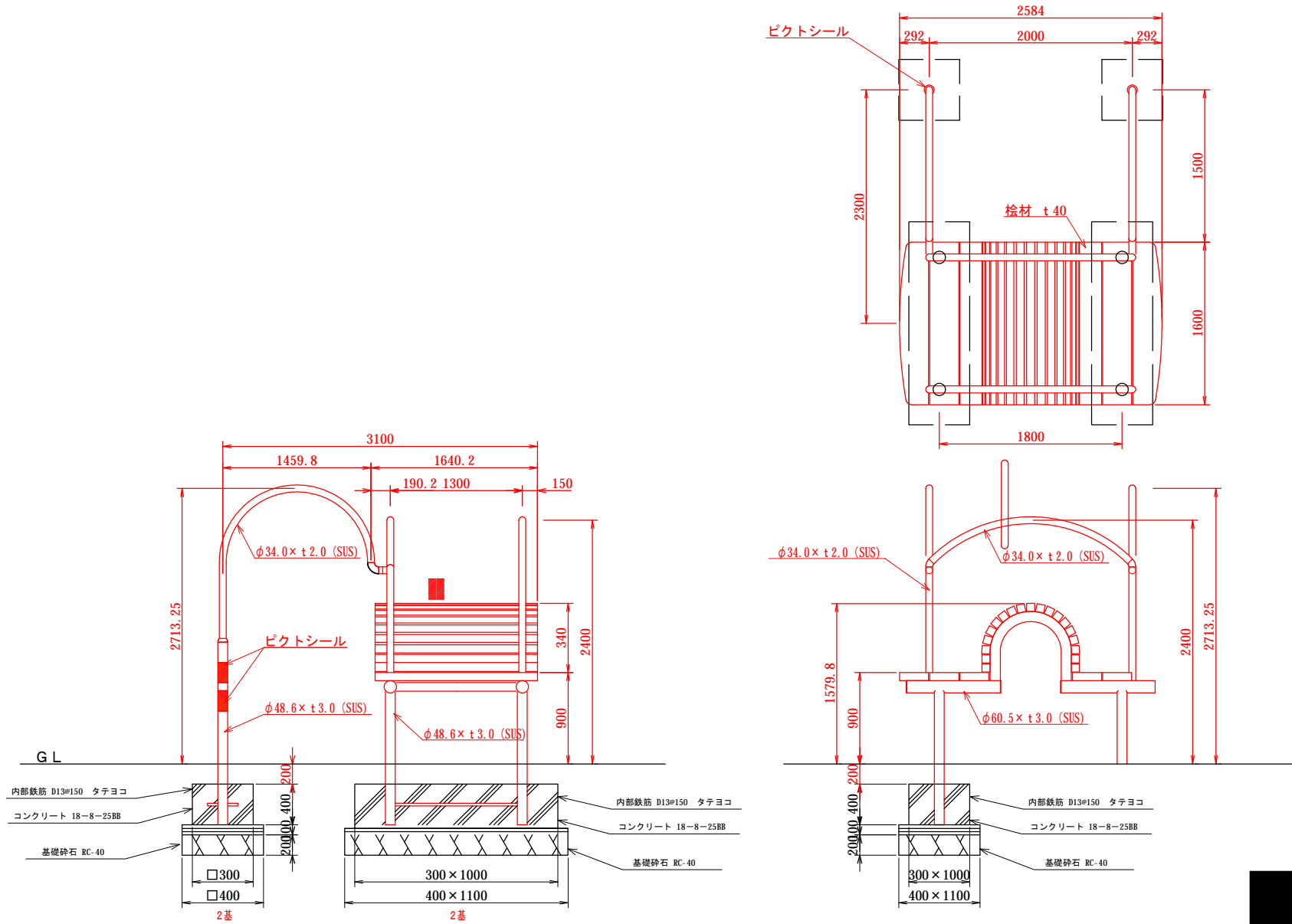
S=1:20



※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。  
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。  
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

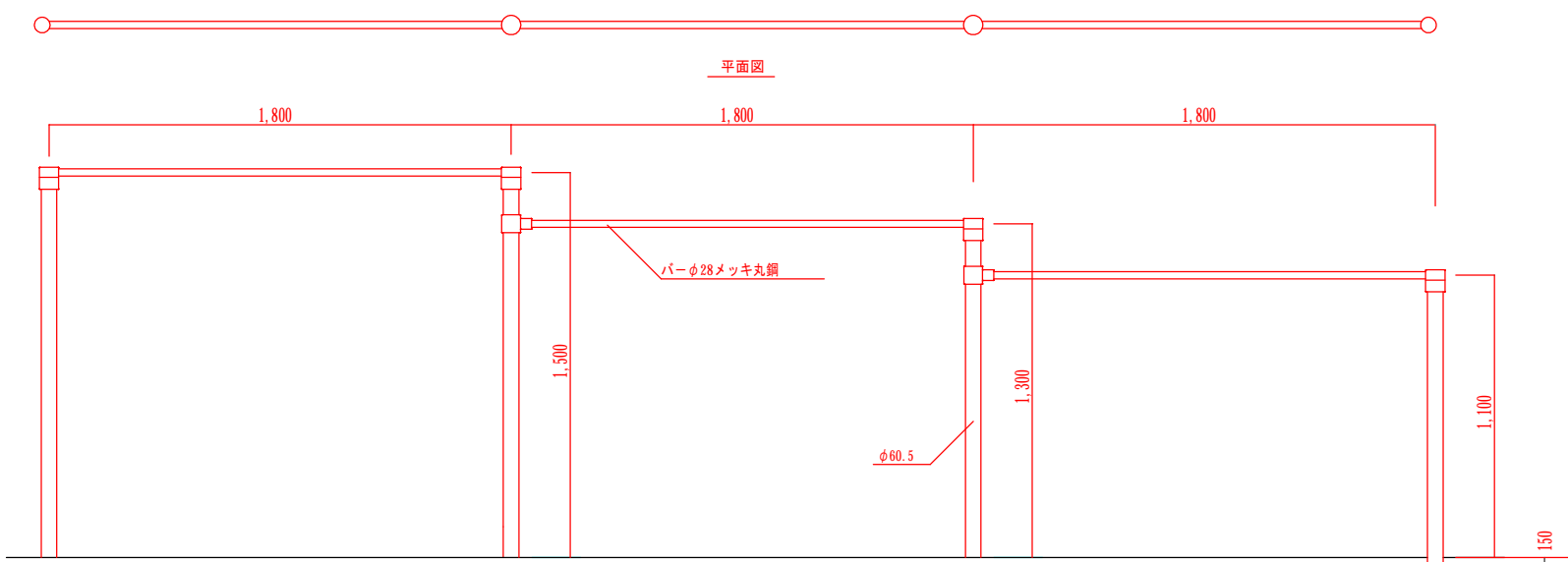
遊戯施設整備工構造図  
(健康遊具A・B・C・D)

健康遊具D  
S=1:40



※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。  
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。  
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

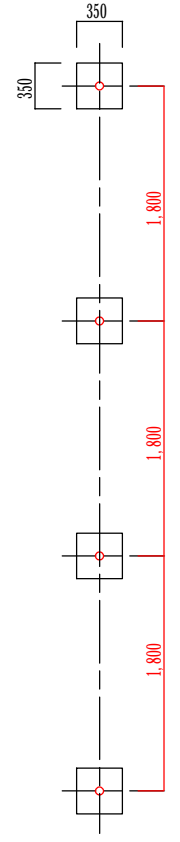
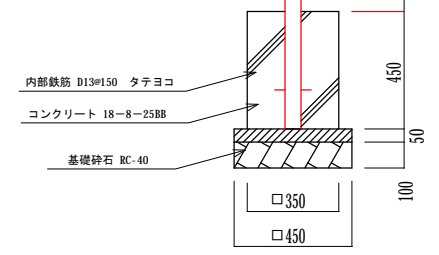
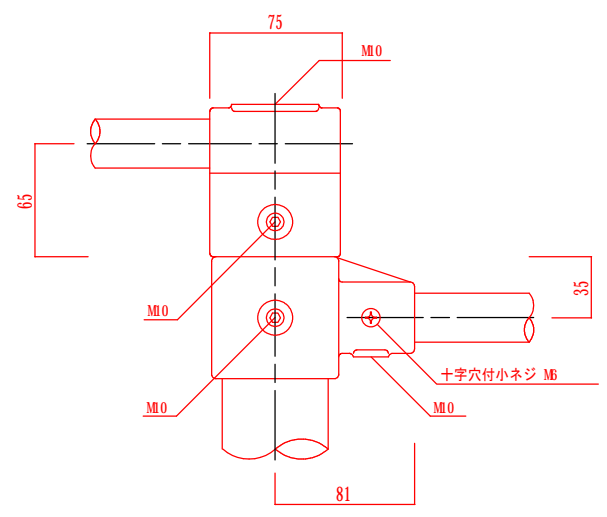
遊戯施設整備工構造図  
(鉄棒3連) S-図示



平面図

指定外ボルトは六角穴付止めネジ使用とする。

立面図



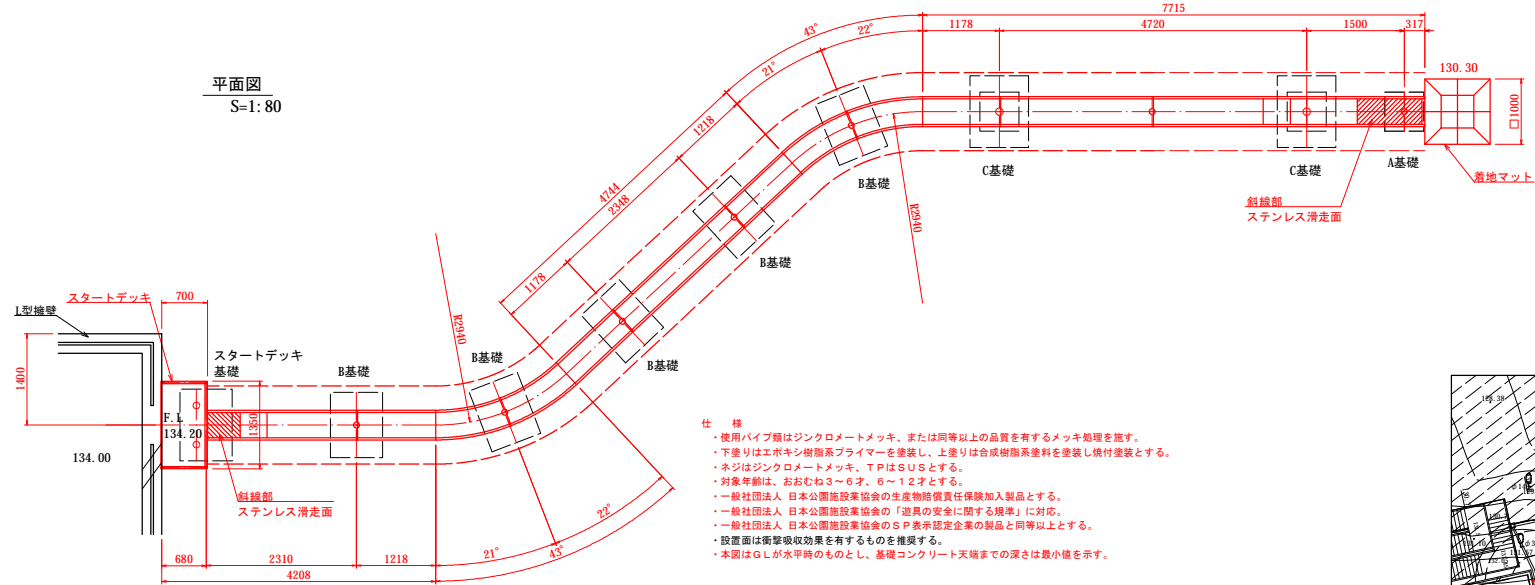
基礎伏図 S-1/40

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。  
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。  
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

遊戯施設整備工構造図

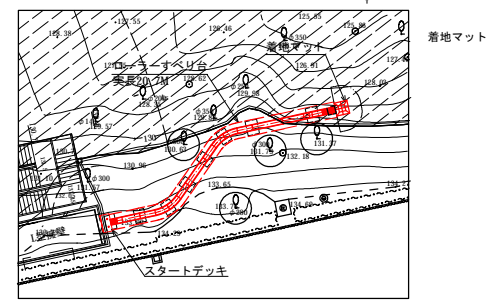
(ローラーコースター (1)) S=図示

平面図  
S=1:80

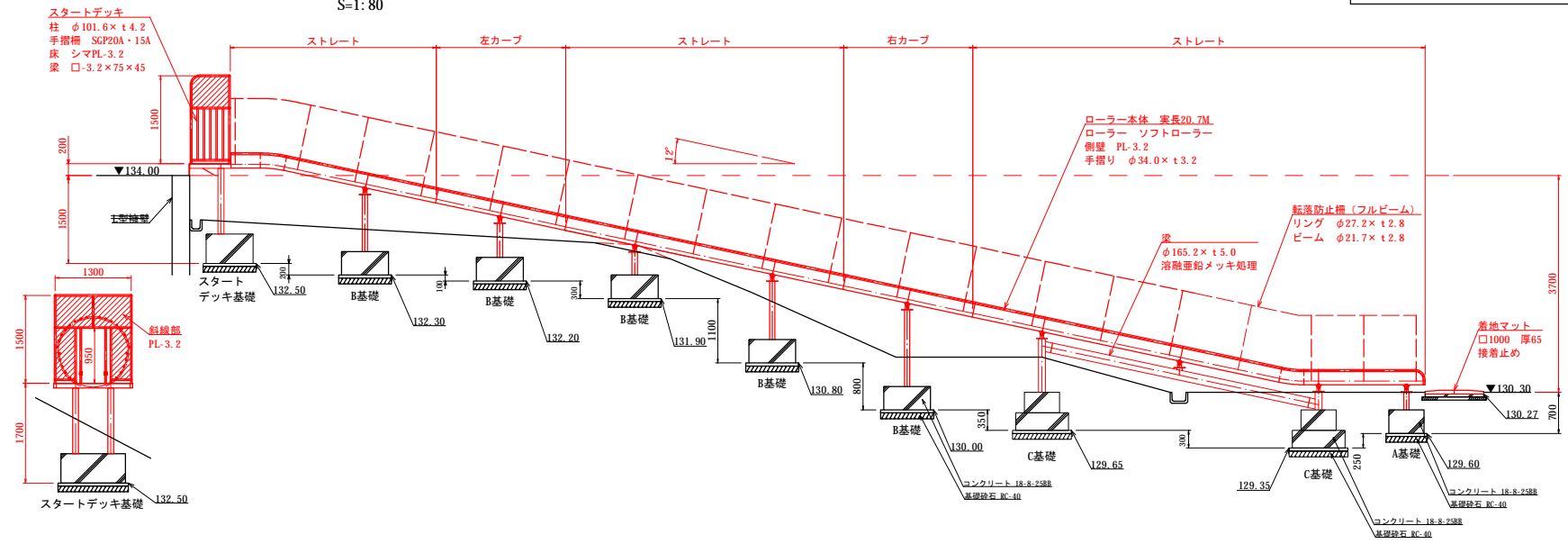


- 仕様
- ・使用パイプ類はジンクロメートメッキ、または同等以上の品質を有するメッキ処理を施す。
  - ・下塗りはエポキシ樹脂系プライマーを塗装し、上塗りは合成樹脂系塗料を塗装し焼付塗装とする。
  - ・ネジはジンクロメートメッキ、TPはSU Sとする。
  - ・対象年齢は、おおむね3~6才、6~12才とする。
  - ・一般社団法人 日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険加入製品とする。
  - ・一般社団法人 日本公園施設業協会の「遊具の安全に関する規程」に対応。
  - ・一般社団法人 日本公園施設業協会のSP表示認定企業の製品と同等以上とする。
  - ・設置面は衝撃吸収効果を有するものを推奨する。
  - ・本図はGLが水平時のものとし、基礎コンクリート天端までの深さは最小値を示す。

平面配置図  
S=1:400



側面展開図(センターライン)  
S=1:80



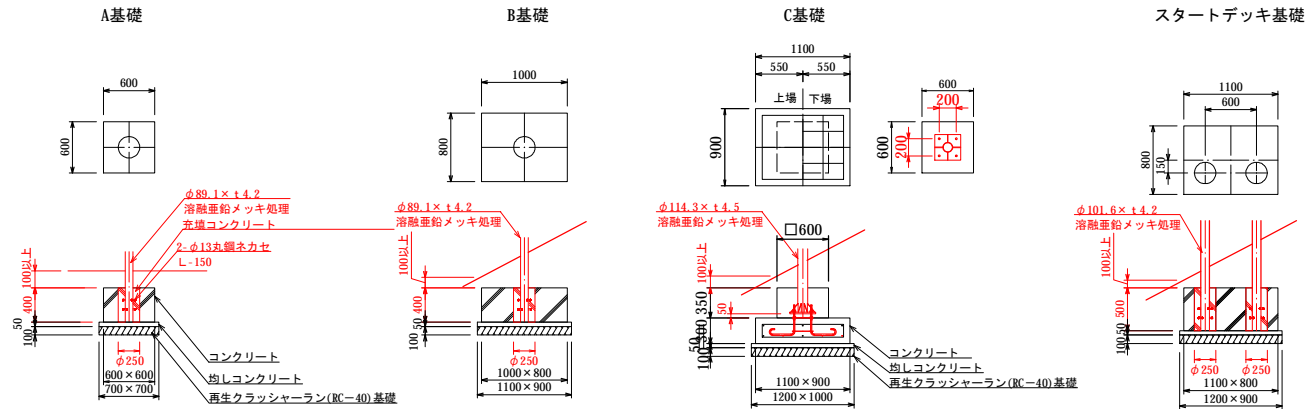


# 遊戯施設整備工構造図

(ローラーコースター (2) ) S=図示

## 基礎詳細図

S=1:60



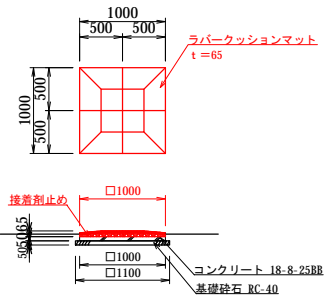
基準  
 上場筋 タテ 3-D10・ヨコ 3-D10  
 下場筋 タテ 5-D13・ヨコ 5-D13  
 支柱  
 $\phi 114.3 \times t 4.5$   
 ベースプレート  
 300x300x t16  
 アンカーボルト  
 4-M6ワット (フック付)

## 転落防止柵断面図

S=1:20

## 着地マット詳細図

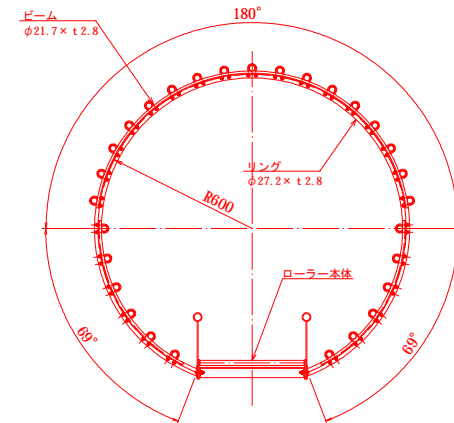
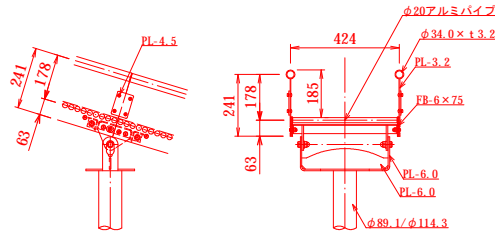
S=1:60



- \* マットの基礎は、スライダ設置後に施工すること。  
 ・ カラーは、メーカー標準色とする。  
 ・ 一般社団法人 日本公園施設業協会、SPLマーク表示認定製品とする。  
 ・ 一般社団法人 日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

## ローラー断面詳細図

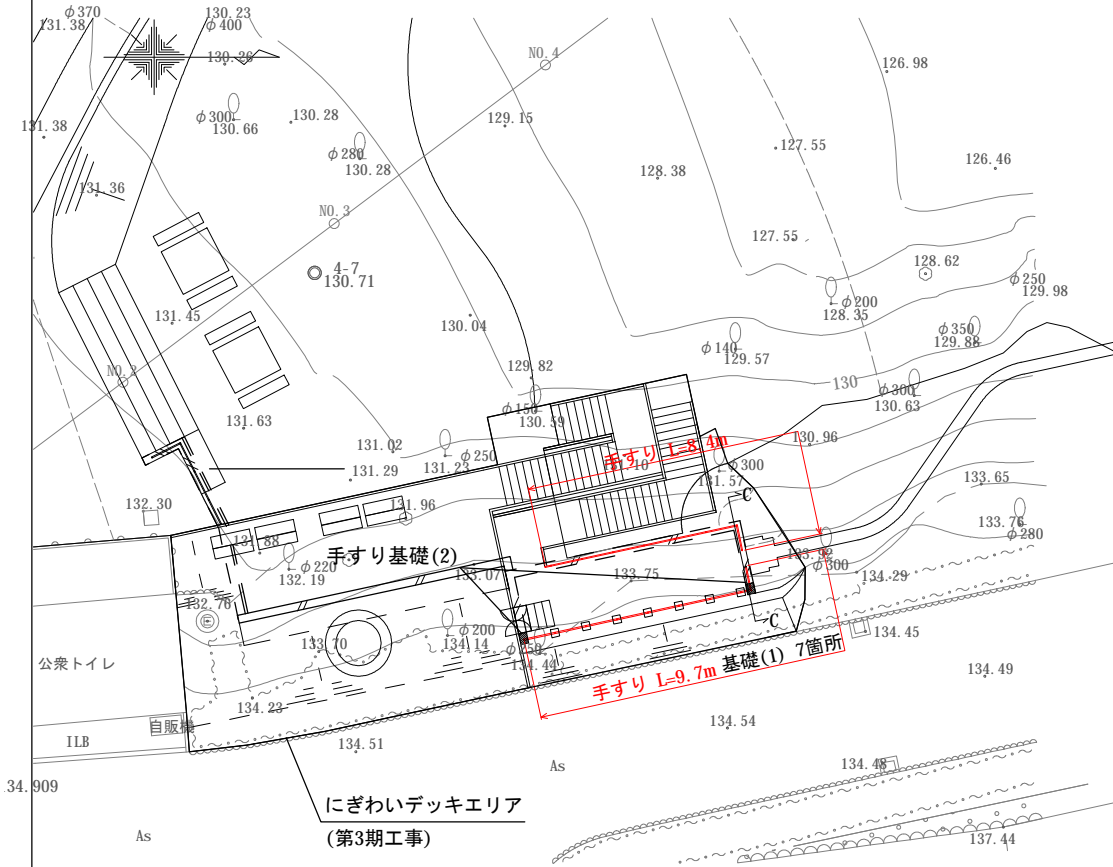
S=1:20



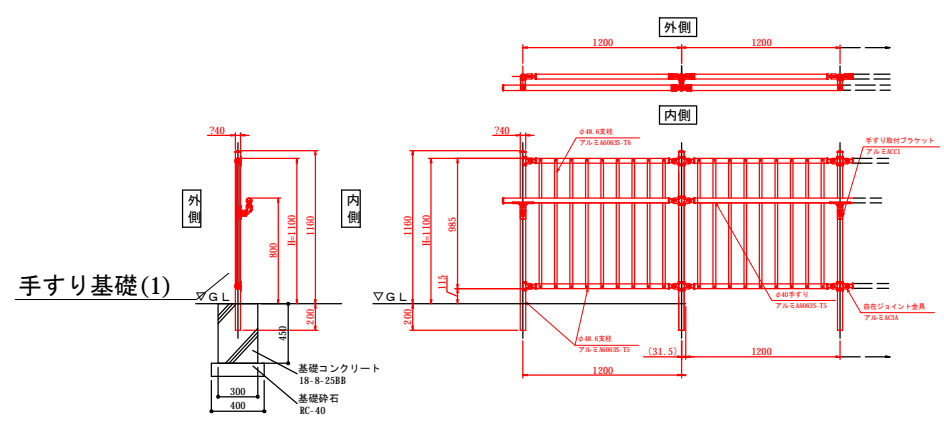
管理施設工構造図

(ローコースター-まち手すり) S=図示

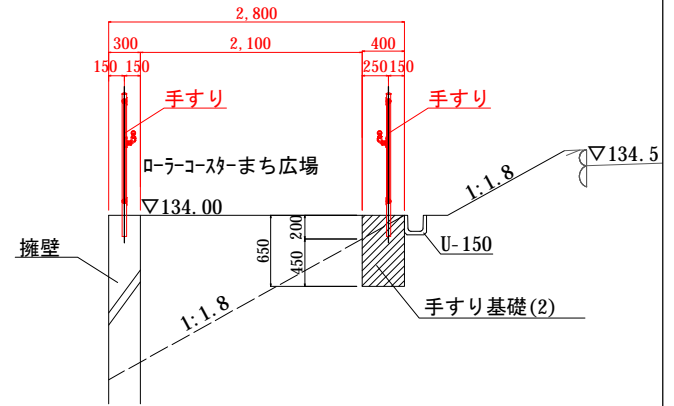
配置図  
S=1:200



コース-まち手すり  
S=1:40



C-C断面図  
S=1:50

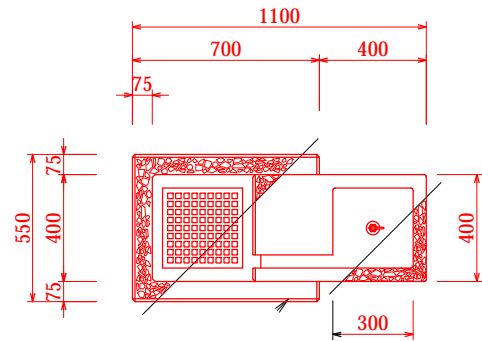


- 仕様
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S : 2014に準拠とする。
  - ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 SP・SPLマークW表示認定企業の製品とする。

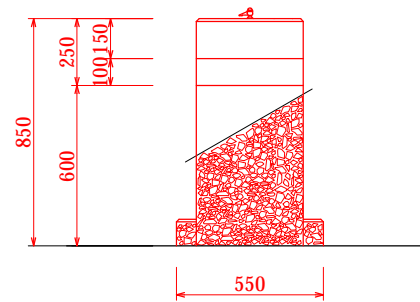
# サービス施設工構造図

(水飲み)

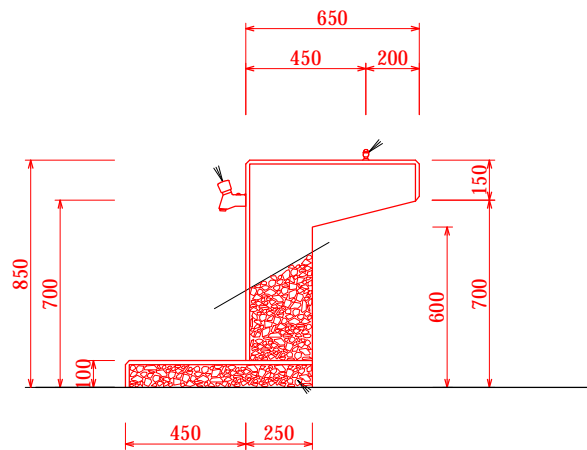
S-図示



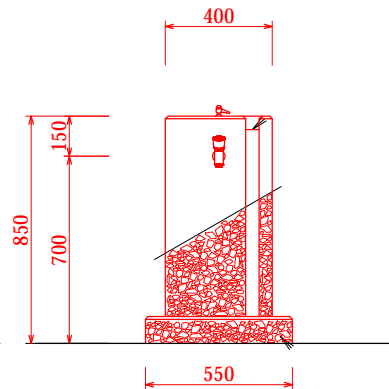
平面図  
S=1:20



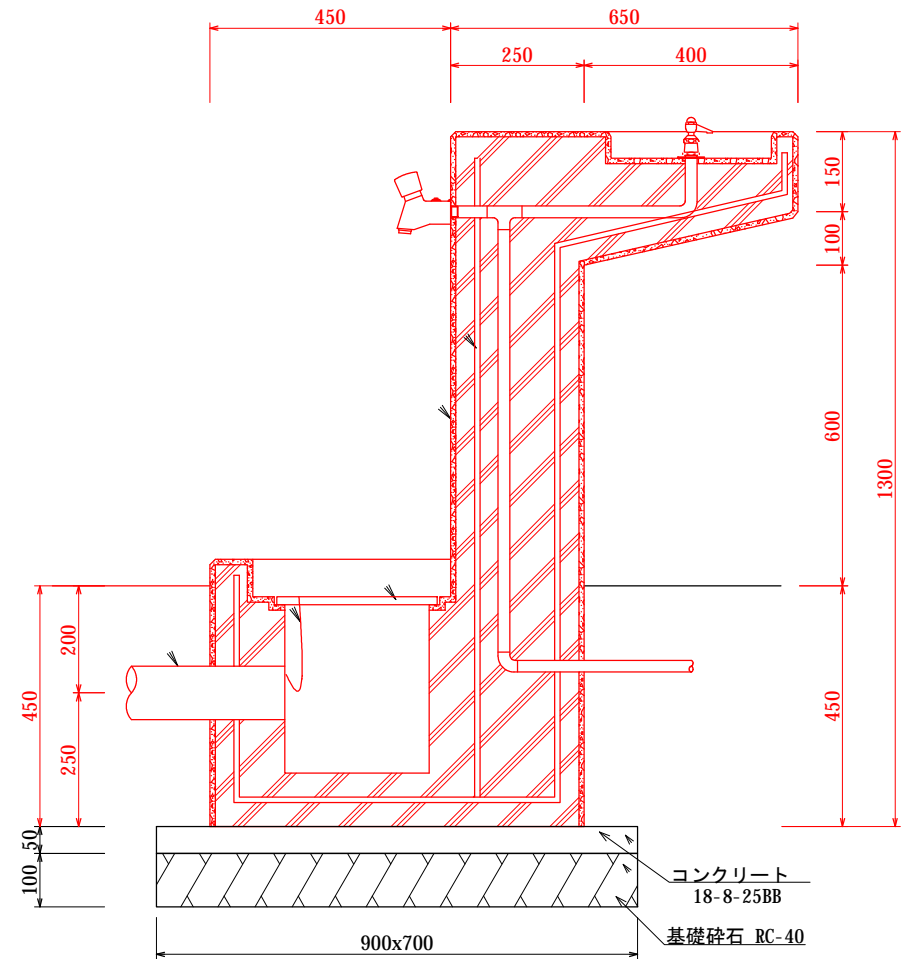
右側面図  
S=1:20



立面図  
S=1:20



左側面図  
S=1:20



断面構造図  
S=1:10

### 特記仕様

- 本体 鉄筋デザイン組コンクリート構造
- 鋼材 JIS規格品
- 仕上げ クラッシュタイル貼り仕上

- ・ISO 9001:2015認証取得企業の製品とする。
- ・一般社団法人 日本公園施設業協会 SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・一般社団法人 日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。
- ・本製品の設計図面の変更、模倣を禁止する。

※凍結の恐れのある場所では、破裂の危険がありますので、別途水抜き栓を設置してください。  
 ※給水管・配水管の向きは現場打ち合わせにて決定致します。

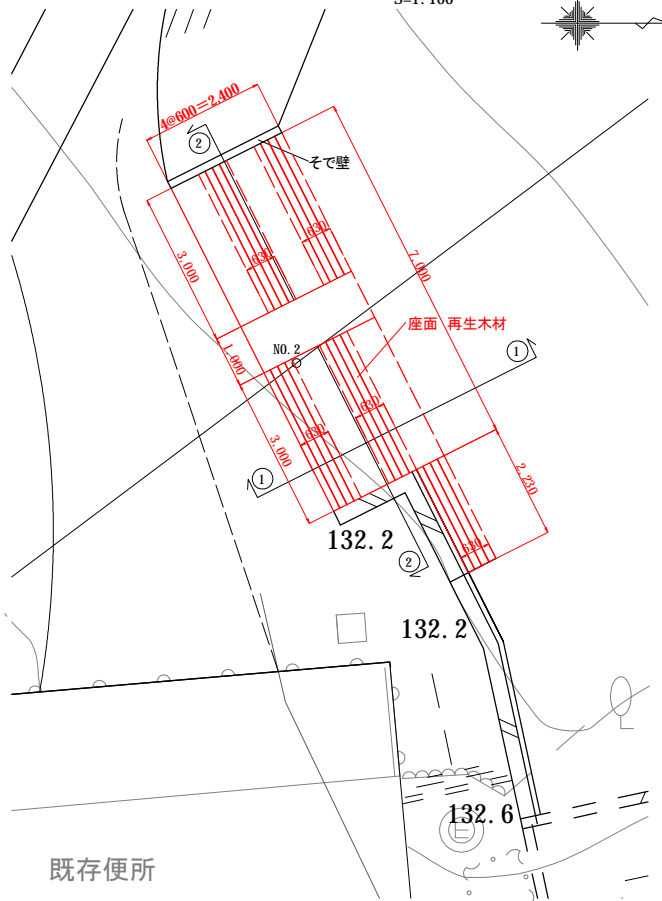
# サービス施設工構造図

(観覧ベンチ)

S=図示

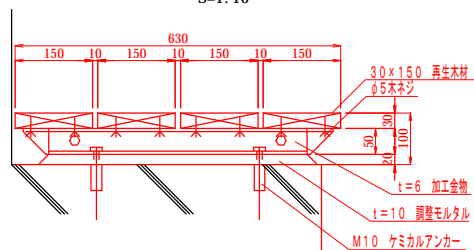
## 平面図

S=1:100



## 座面詳細図

S=1:10

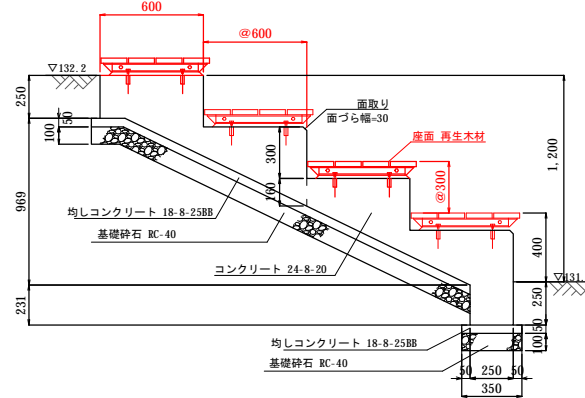


- 仕様
- 1) 再生木材は廃木粉50%+炭ポリエチレン45%配合とする。
  - 2) 特記なき限りボルト、ワッシャ類は溶融亜鉛メッキ仕上げ、鋼材類は錆止めの上、ウレタン塗装仕上げとする。
  - 3) 一般社団法人 日本公園施設業協会の賠償責任保険加入製品とする。

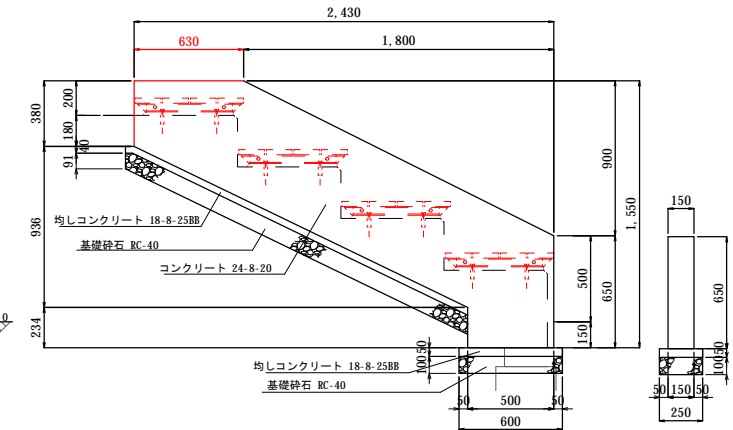
## ①-①断面図

S=1:20

### 観覧ベンチ

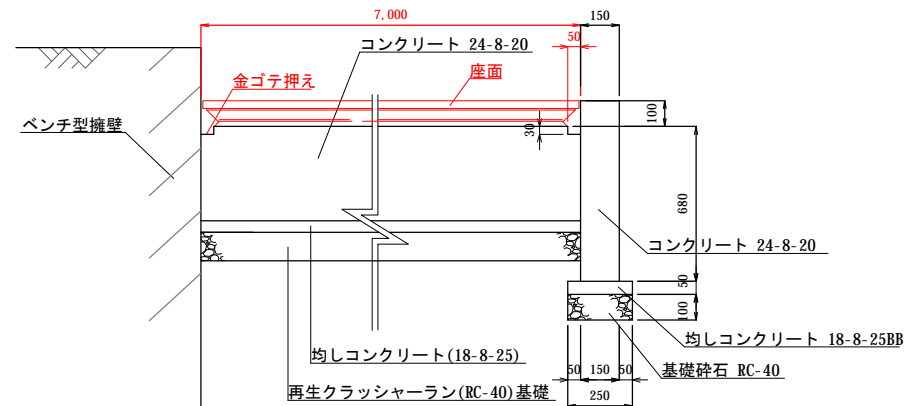


### そで壁



## ②-②断面図

S=1:20

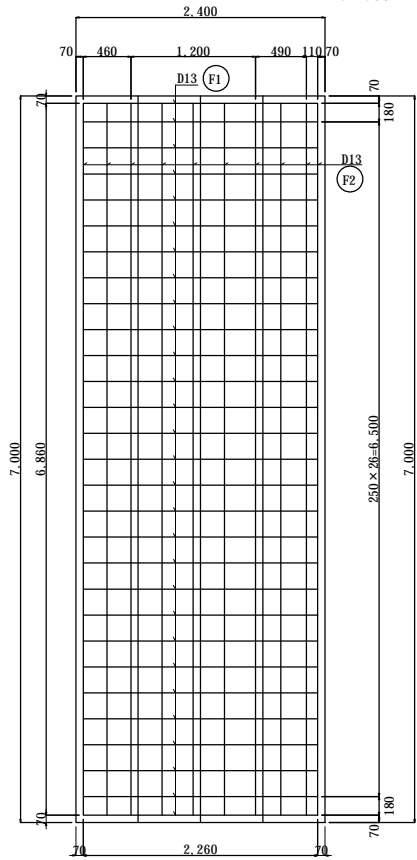


# サービス施設工構造図

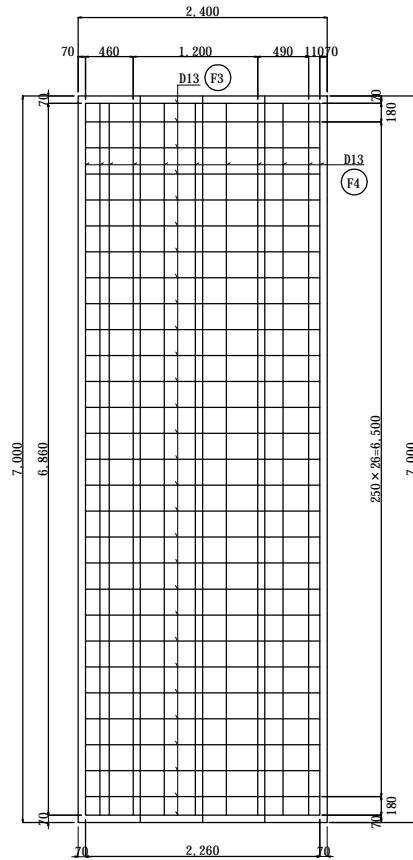
(観覧ベンチ 配筋図)

S=図示

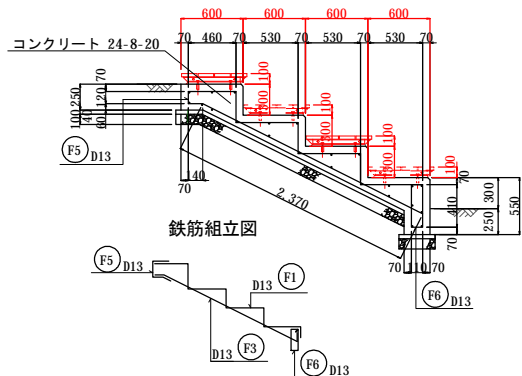
平面図上面  
S=1:50



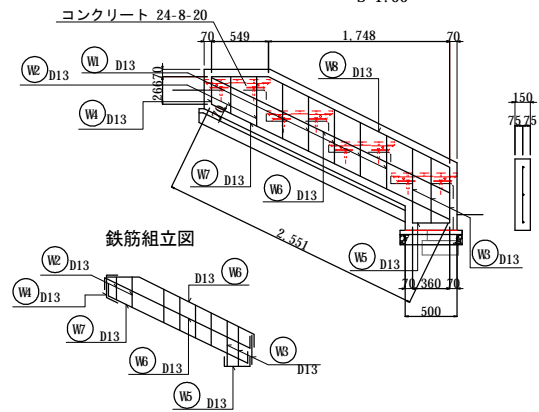
平面図下面  
S=1:50



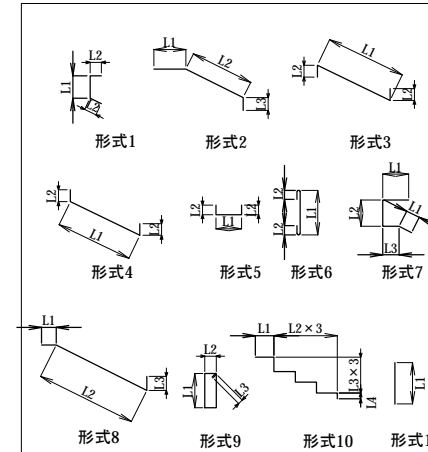
①-①断面面  
S=1:50



②-②断面面  
S=1:50



## 鉄筋加工表



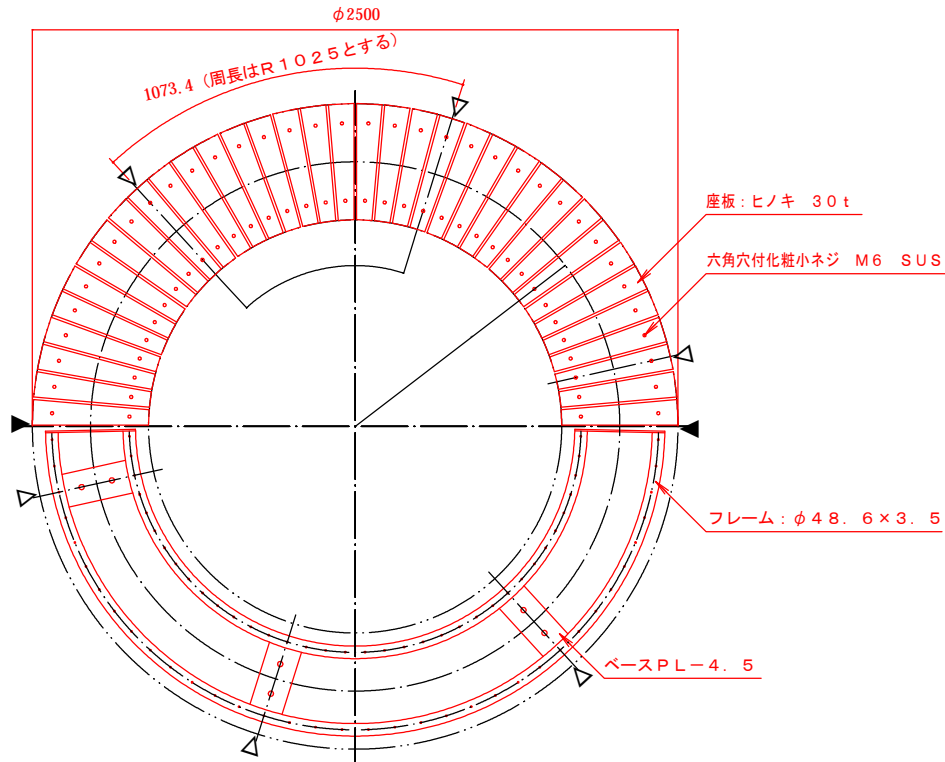
種別	形式	径	本数	長さ	L1	L2	L3	L4
W1	6	D13	5	537	525	60		
W2	6	D13	2	954	834(平均長)	60		
W3	6	D13	3	748	624(平均長)	60		
W4	1	D13	1	566	266	150		
W5	5	D13	1	660	360	150		
W6	3	D13	1	2851	2551	150		
W7	4	D13	1	2851	2551	150		
W8	2	D13	1	2653	549	1954	150	
F1	10	D13	29	3310	460	600	300	150
F2	11	D13	10	6860	6860			
F3	8	D13	10	2660	140	2370	150	
F4	11	D13	10	6860	6860			
F5	7	D13	29	560	150	120	140	
F6	9	D13	29	1220	410	110	90	

## 鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要	
		(mm)		(kg/m)	(kg)	(kg)		
W1	D13	537	5	0.995	0.534	3	}	
W2	D13	954	2	0.995	0.949	2		(平均長)
W3	D13	748	3	0.995	0.744	2		(平均長)
W4	D13	566	1	0.995	0.563	1	}	
W5	D13	660	1	0.995	0.657	1		
W6	D13	2851	1	0.995	2.837	3	}	
W7	D13	2851	1	0.995	28.010	28		
W8	D13	2653	1	0.995	2.640	3	}	
F1	D13	3310	29	0.995	3.293	96		
F2	D13	6860	10	0.995	6.826	68	}	
F3	D13	2660	10	0.995	2.647	26		
F4	D13	6860	10	0.995	6.826	68	}	
F5	D13	560	29	0.995	0.557	16		
F6	D13	1220	29	0.995	1.214	35	}	
						D13	352 kg	
						合計	352 kg	

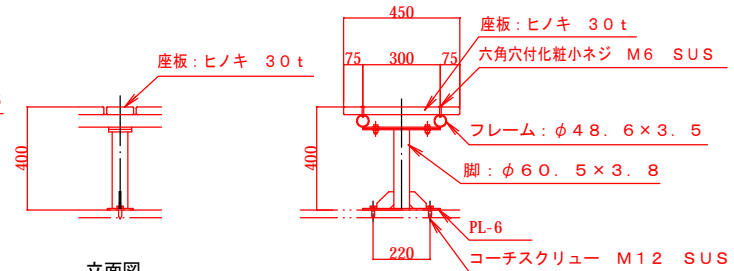
サービス施設工構造図  
(サークルベンチ) S=図示

- ・木材防腐処理は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
- ・木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チョコレート）塗装仕上げとする。
- ・木材角面は、全てR面取りとする。
- ・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉体塗装（ダークグレー）仕上げとする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。



平面図  
S=1:20

▼ジョイント位置  
▽脚位置



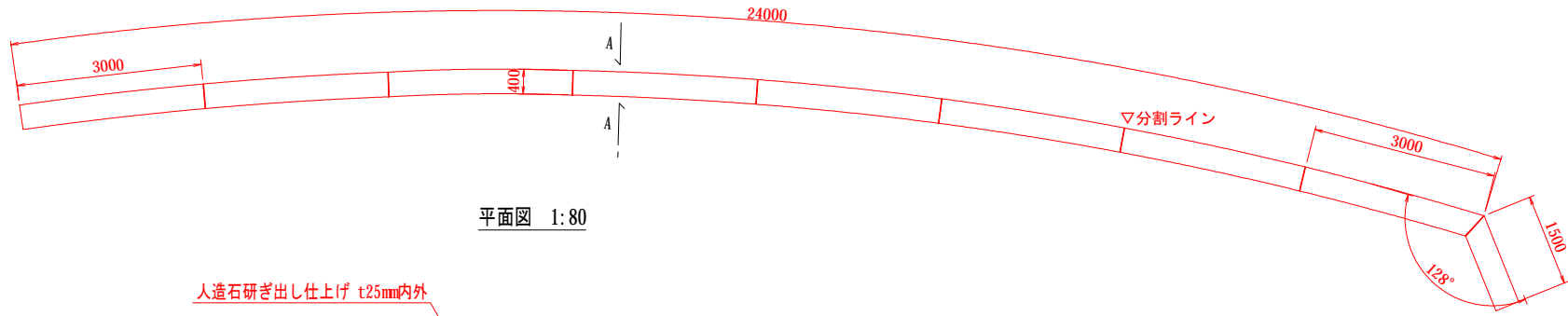
立面図  
S=1:20

断面図  
S=1:20

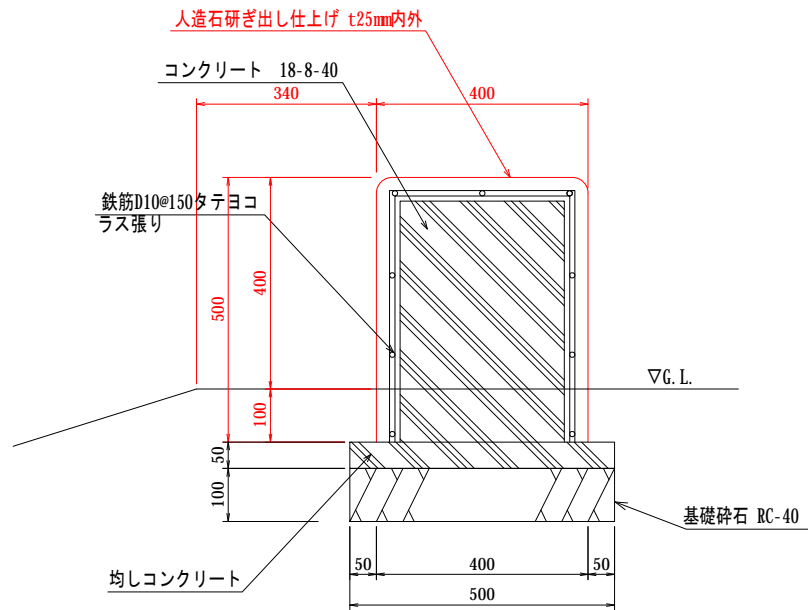
遊戯施設整備工構造図

(腰掛ベンチ)

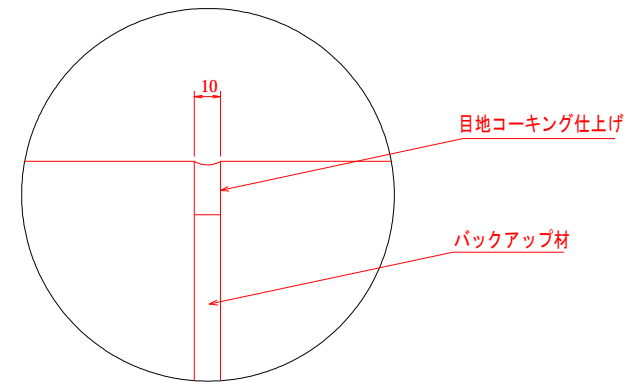
S-図示



平面図 1:80



A-A断面詳細図 1:80



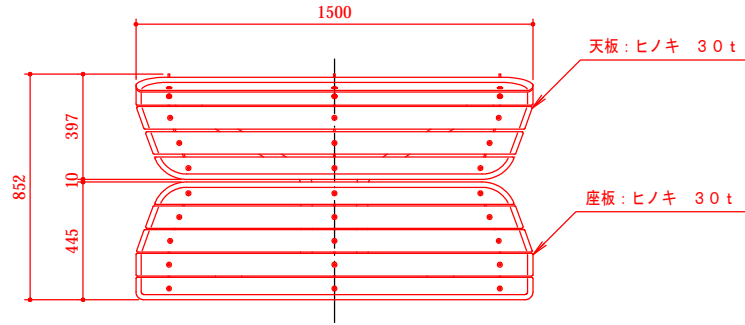
分割化ライン詳細図 1:2

仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SPLマークを表示する。

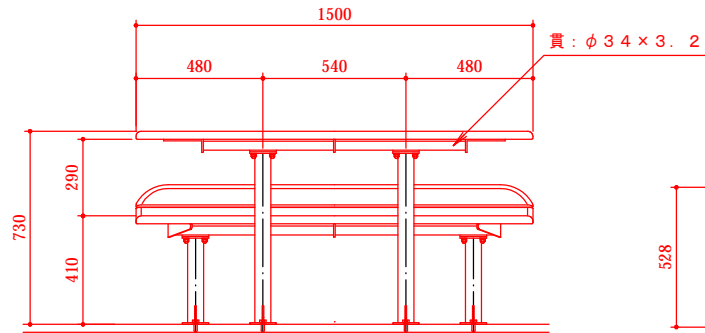
# サービス施設工構造図

(カウンターベンチ) S=図示

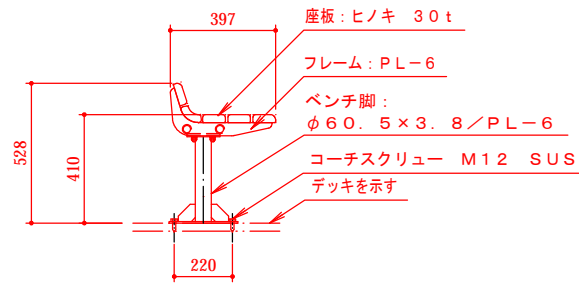


平面図  
S=1:20

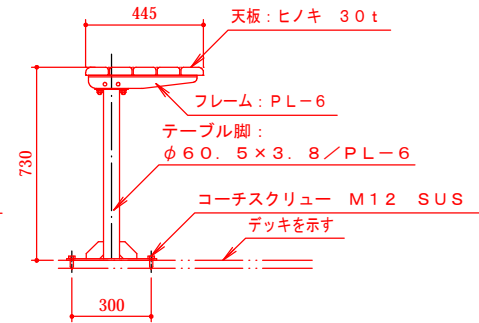
- ・木材防腐処理は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
- ・木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チョコレート）塗装仕上げとする。
- ・木材角面は、全てR面取りとする。
- ・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉末塗装（ダークグレー）仕上げとする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、ISO9001 認証取得企業製品とする。



立面図  
S=1:20



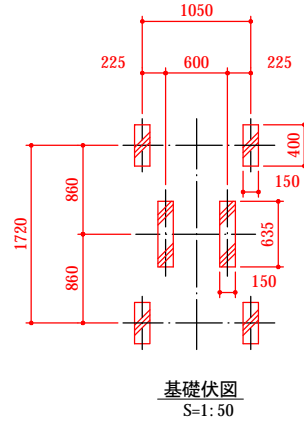
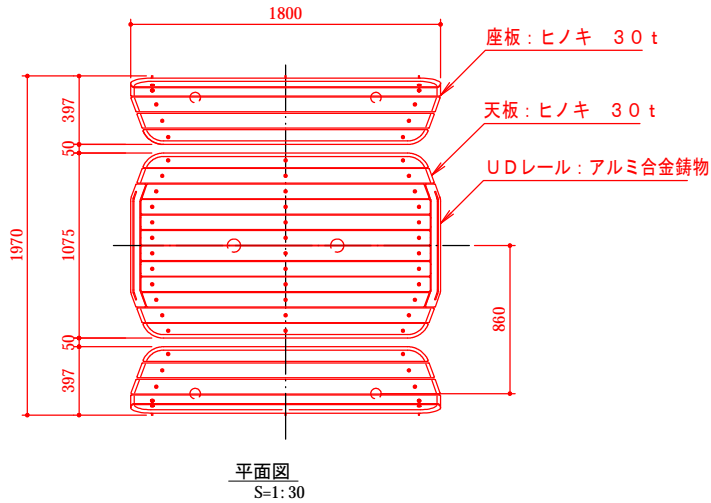
ベンチ側面図  
S=1:20



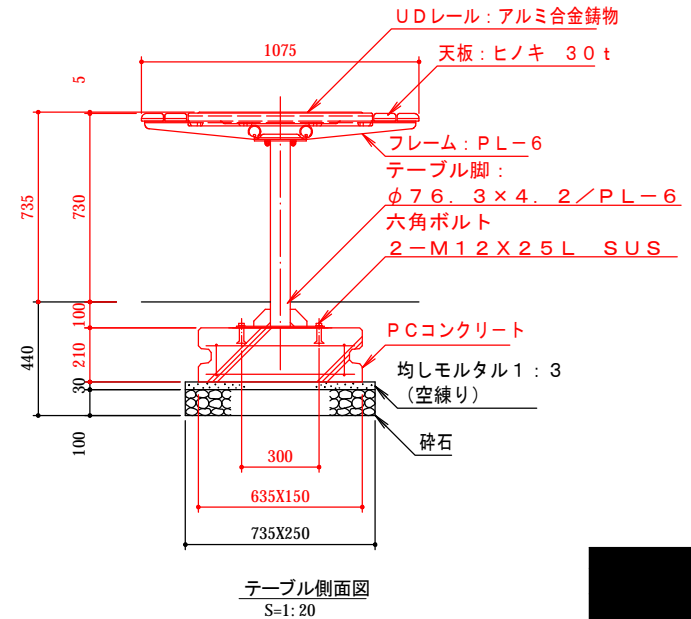
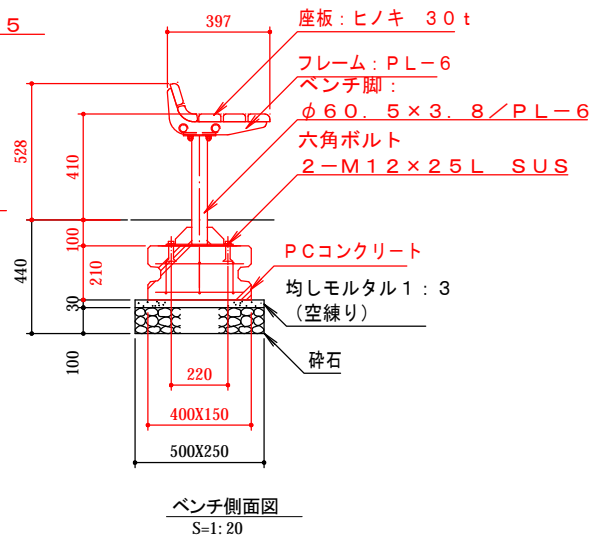
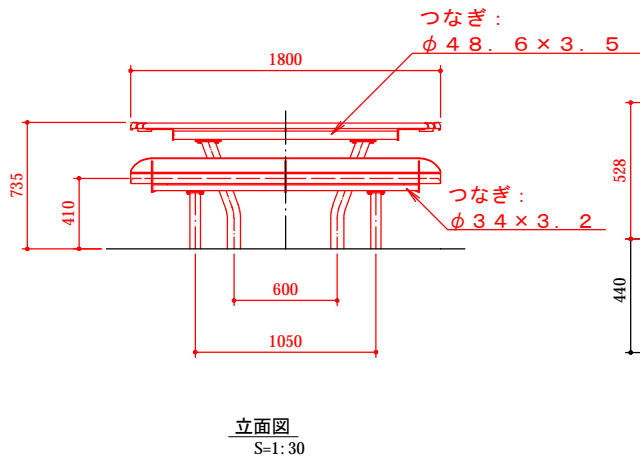
テーブル側面図  
S=1:20



サービス施設工構造図  
(テーブルベンチ) S=図示

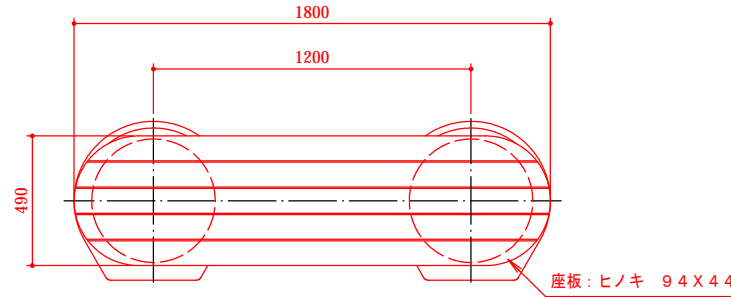


木材防腐処理は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。  
木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チョコレート）塗装仕上げとする。  
木材角面は、全てR面取りとする。  
鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉末塗装（ダークグレー）仕上げとする。  
アルミ合金鋳物は、AC3Aとし、ウレタン樹脂塗料塗装（ダークグレー）仕上げとする。  
本製品は、一般社団法人 本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。  
本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。

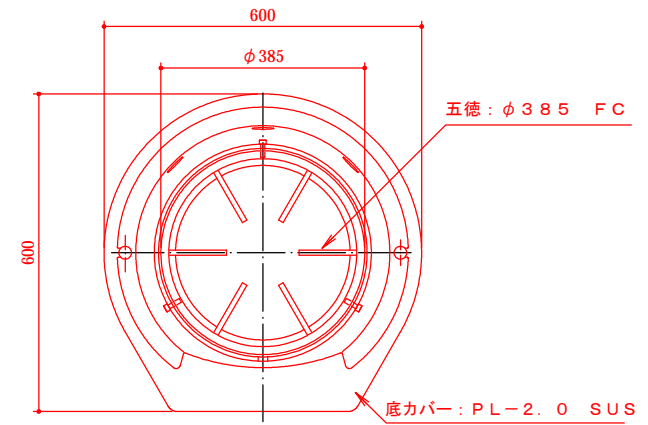


# サービス施設工構造図

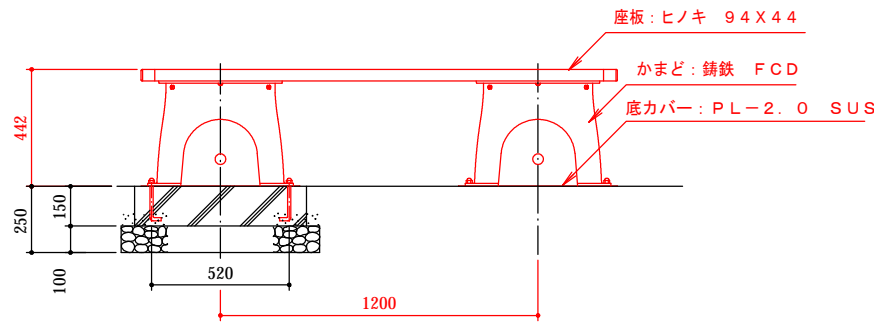
(かまどベンチ) S-図示



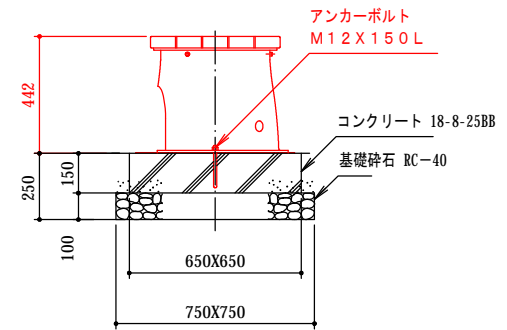
平面図  
S=1:20



かまど使用時平面図  
S=1:10



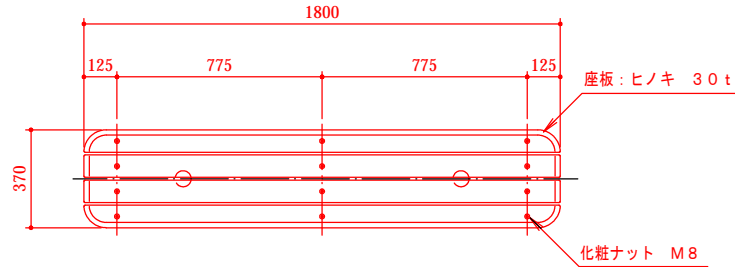
正面図  
S=1:20



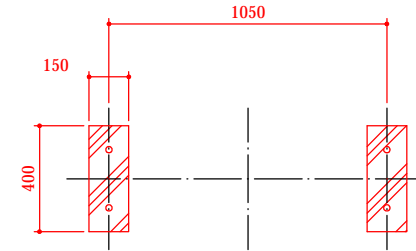
側面図  
S=1:20

- ・木材は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
- ・木材は、ヒノキ(一等材)とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料(色:チョコレート)塗装仕上げとする。
- ・木材角面は、全てR面取りとする。
- ・かまどは、鑄鉄FCDとし、ポリエステル粉体塗装(ダークグレー)仕上げとする。
- ・五徳は、鑄鉄FCとし、ポリエステル粉体塗装(ダークグレー)仕上げとする。
- ・底カバーは、ステンレス(SUS304)とし、2B材とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。

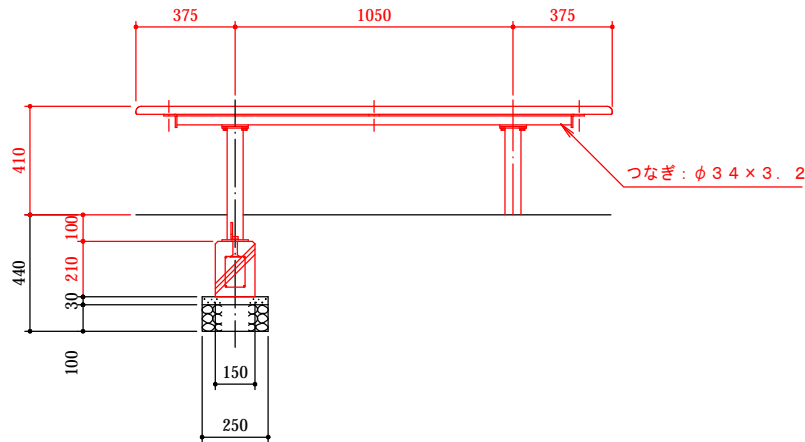
サービス施設工構造図  
(ベンチ) S-図示



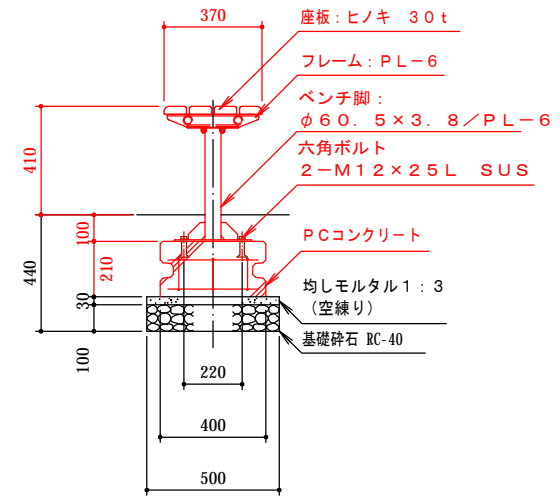
平面図  
S=1:20



基礎伏図  
S=1:20



正面図  
S=1:20



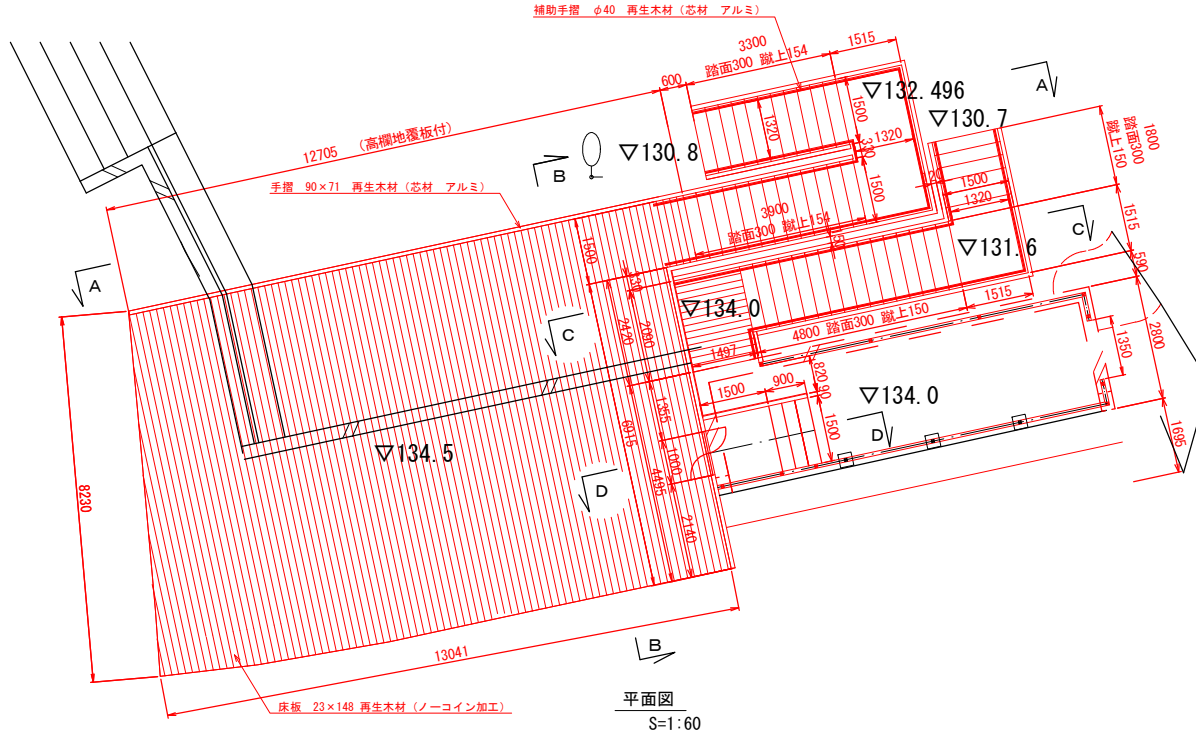
側面図  
S=1:20

- ・木材は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
- ・木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チヨコレート）塗装仕上げとする。
- ・木材角面は、全てR面取りとする。
- ・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉末塗装（ホワイト）仕上げとする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。

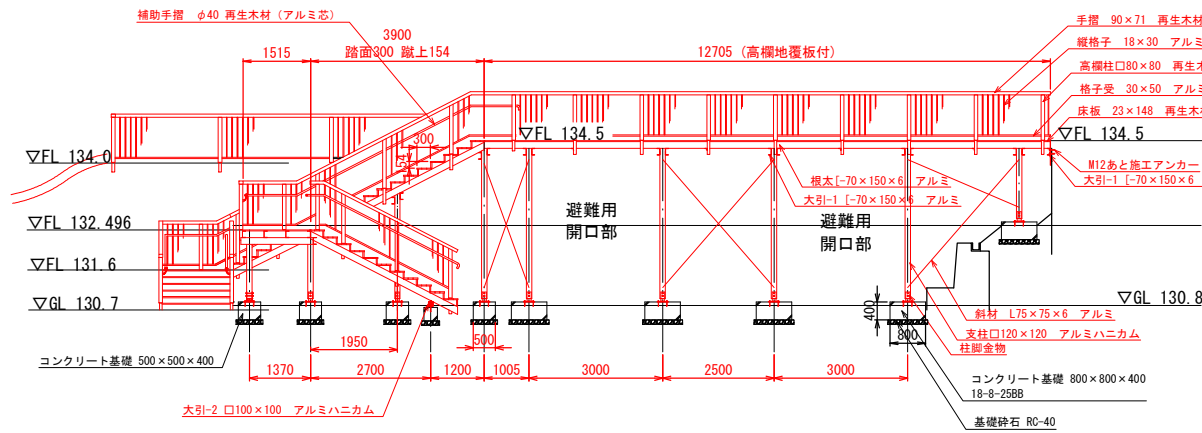
# 園路広場整備工構造図

(にぎわいデッキ(1))

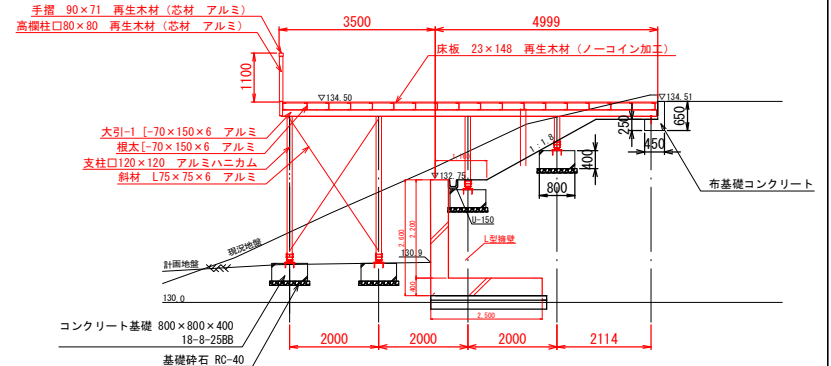
S=図示



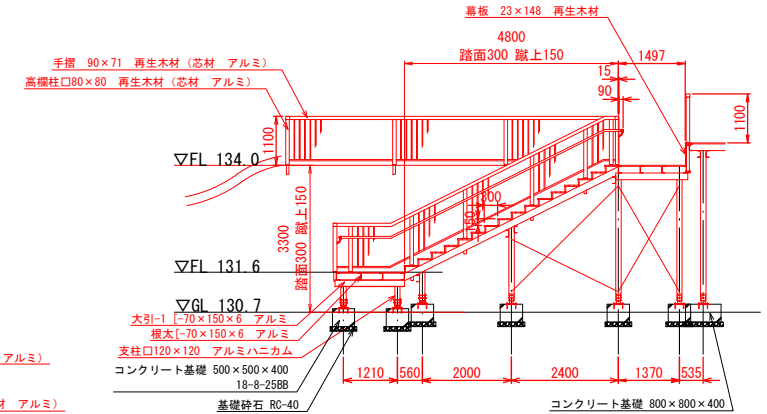
平面図  
S=1:60



立面図(A-A)  
S=1:60



断面図(B-B)  
S=1:60



矢視図(C-C)  
S=1:60

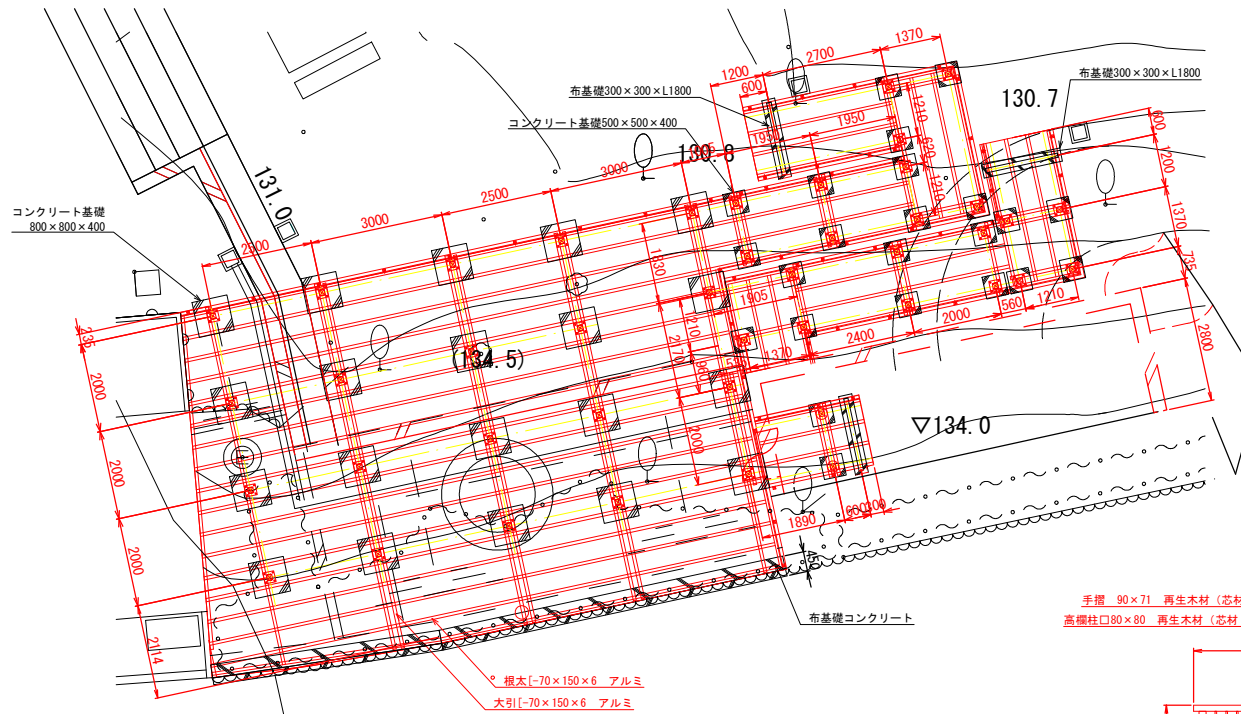
## 仕様

- 1) 再生木材は再生ポリエチレン45%、木粉比率50%以上の配合比率とする。
- 2) 再生木材の比量は1.3以上とする。
- 3) 構造材アルミ合金材質はA6063S-T5以上の強度を有するものとし、アルマイト処理(マットブラウン色)を施した材料とする。
- 4) 特記なき限りボルト、ワッシャー類は溶融亜鉛めっき仕上げ、若しくは同等以上とする。(ビス類を除く)
- 5) 図示された製品は賠償責任保険加入製品とする。
- 6) 基礎工法(PIN FOUNDATION工法)はMETIS登録実業技術(国土交通省新技術)とする。
- 7) 現地状況位置の地盤調査を実施して、監督員と協議の上、打込みピン長さを決定すること。
- 8) (社)日本公園施設業協会SP、SPL表示認定企業の製造製品とする
- 9) 支柱の長さは現地地盤により、変更することとする。

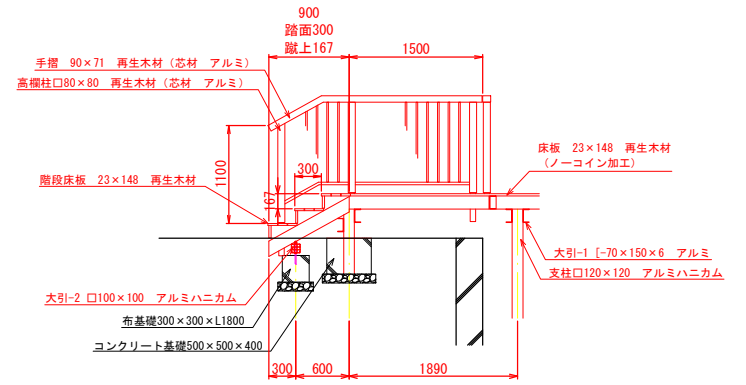
園路広場整備工構造図

(にぎわいデッキ(2))

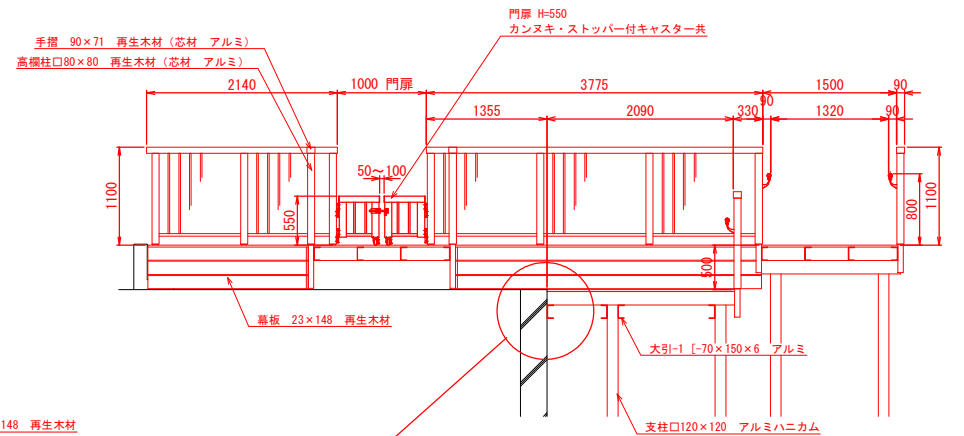
S=図示



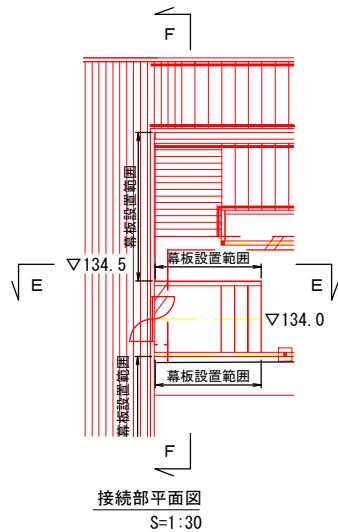
根太伏図  
S=1:60



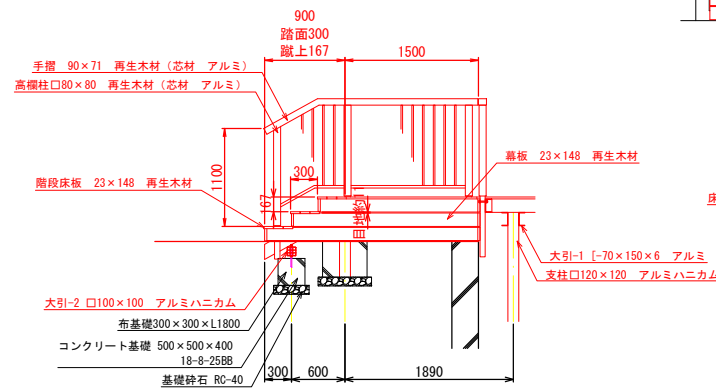
矢視図 (D-D)  
S=1:60



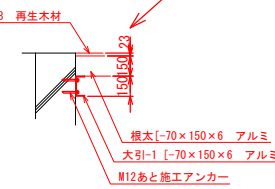
矢視図 (F-F)  
S=1:30



接続部平面図  
S=1:30



拡大図 (E-E)  
S=1:30

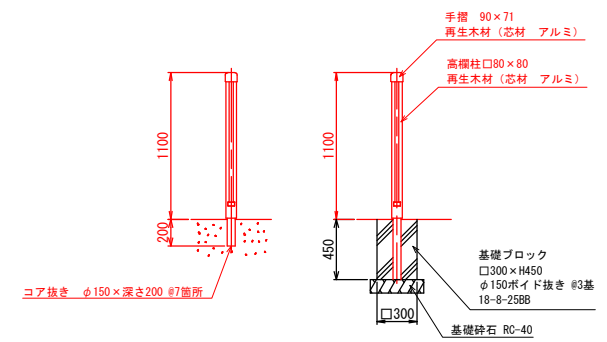
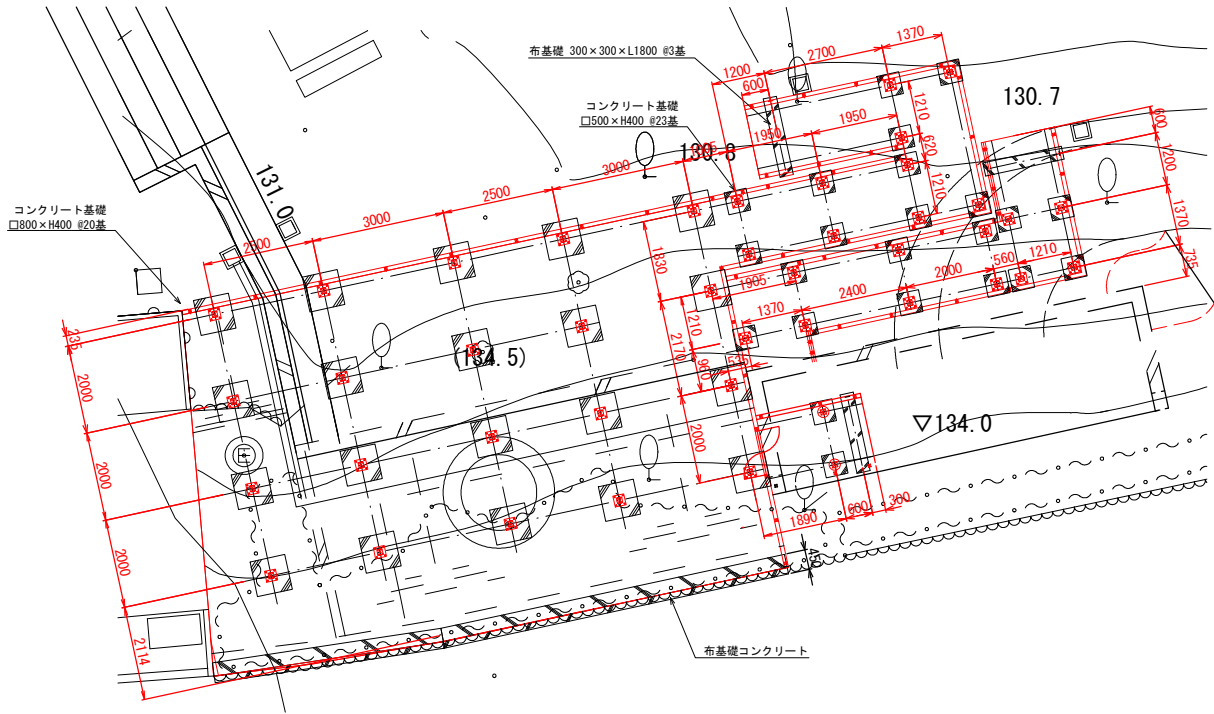


拡大図 (F-F)  
S=1:20

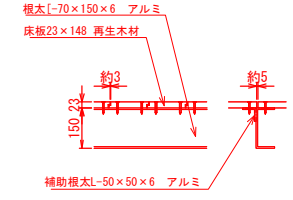
園路広場整備工構造図

(にぎわいデッキ(3))

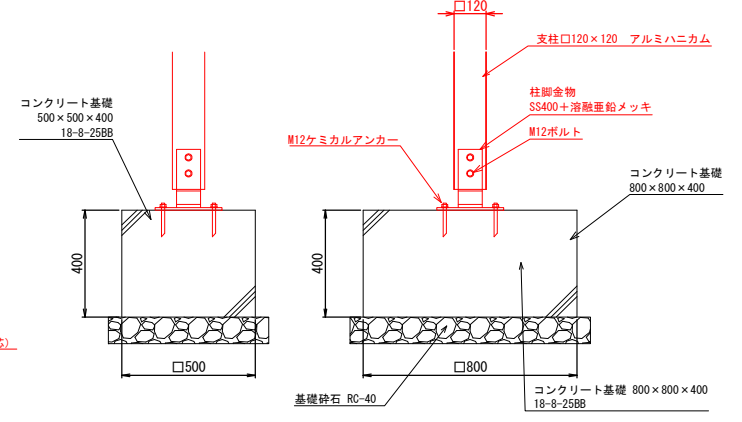
S=図示



高欄詳細図  
S=1:20

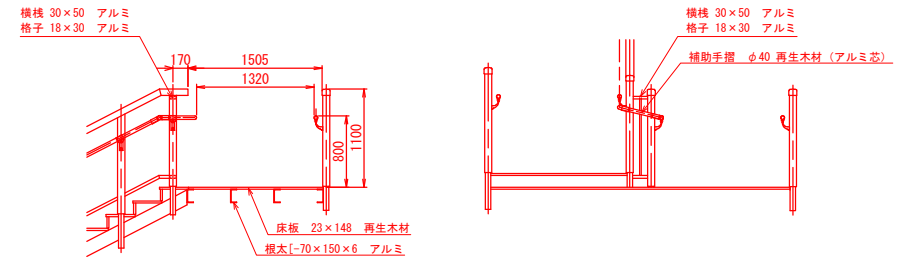


床版取付詳細図  
S=1:10



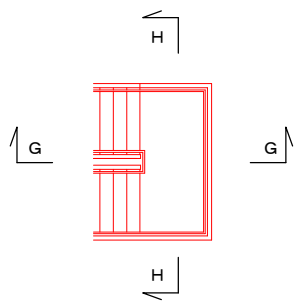
コンクリート基礎詳細図  
S=1:10

基礎伏図  
S=1:60



矢視図 (H-H)  
S=1:30

矢視図 (H-H)  
S=1:30

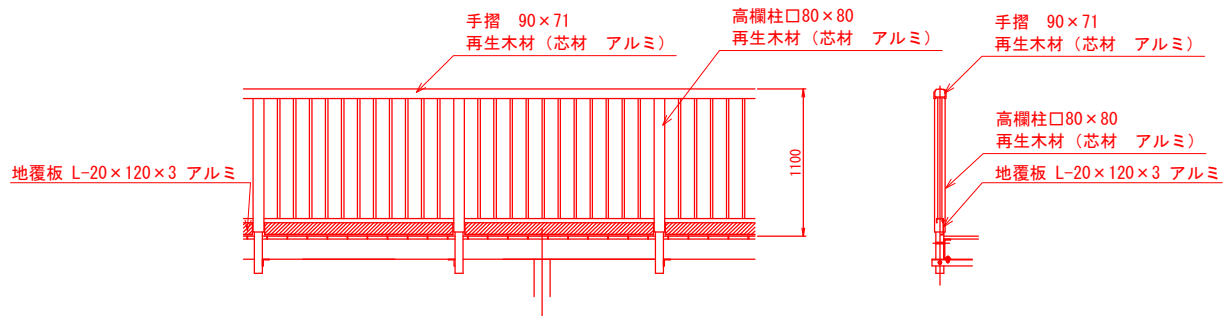


階段踊り場平面図  
S=1:60

# 園路広場整備工構造図

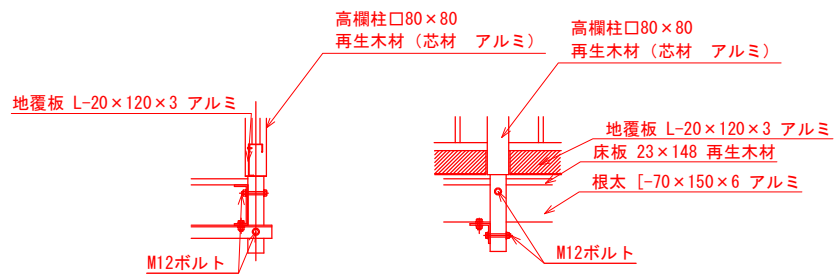
(にぎわいデッキ(4))

S=図示



高欄(地覆板)標準図

S=1:20



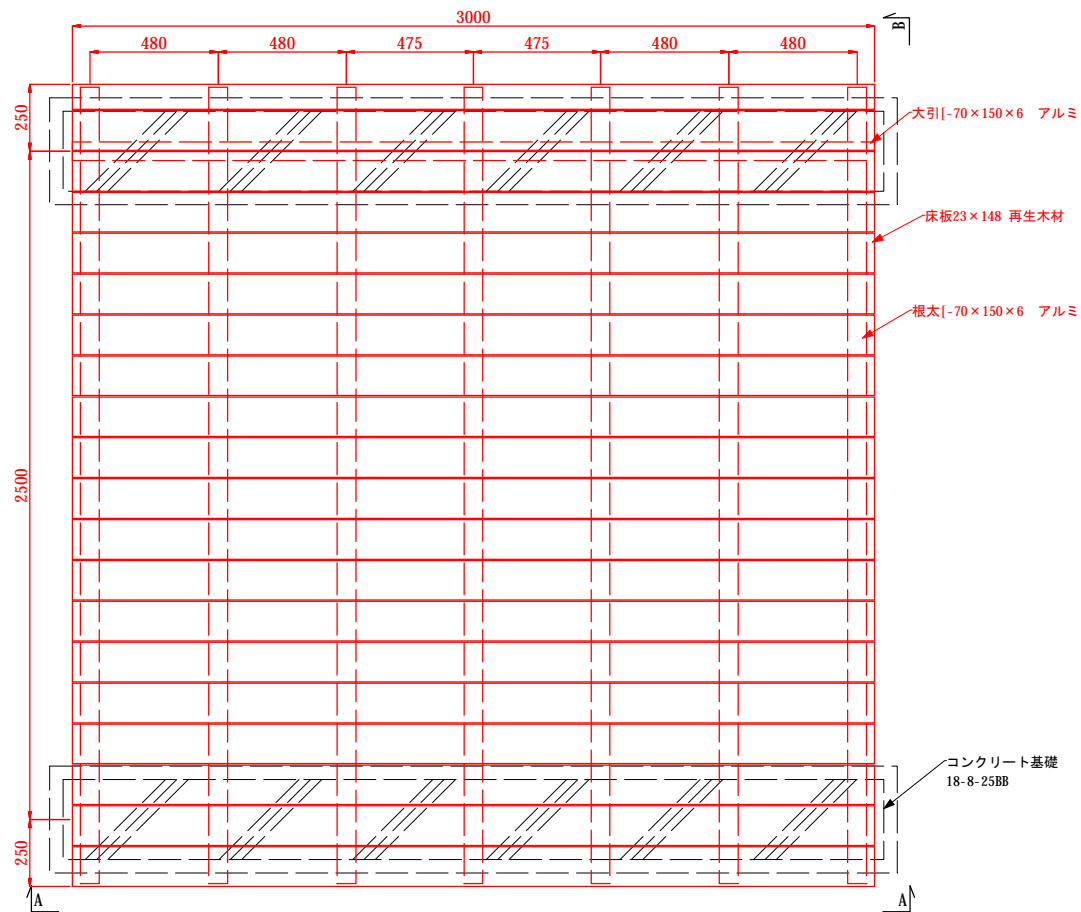
高欄・地覆板 取付詳細図

S=1:10

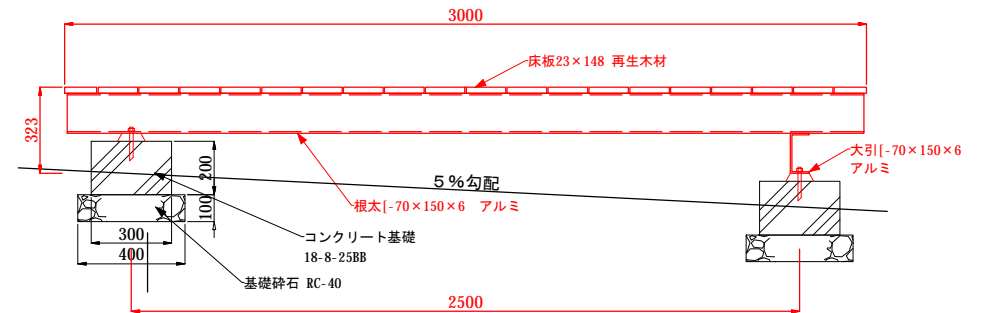
# 園路広場整備工構造図

(木製デッキ)

S=図示



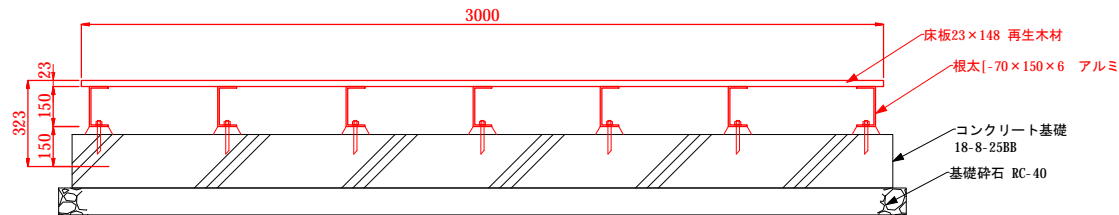
平面図  
S=1:10



断面図 (B-B)  
S=1:10

### 仕様

- 1) 再生木材は再生ポリエチレン45%、木粉比率50%以上の配合比率とする。
- 2) 再生木材の比重は1.3以上とする。
- 3) 構造材アルミ合金材質はA6063S-T5以上の強度を有するものとし、アルマイト処理(マットブラウン色)を施した材料とする。
- 4) 特記なき限りボルト、ワッシャー類は溶融亜鉛めっき仕上げ、若しくは同等以上とする。(ビス類を除く)
- 5) 打込みピンはSTK400 (一般構造用炭素鋼鋼管) + HDZ40 (亜鉛付着量)とする。
- 6) 柱脚プラケットはSS400 (一般構造用圧延鋼材) + HDZ55 + 塗装(19-20 Bこげ茶)とする。
- 7) 図示された製品は賠償責任保険加入製品とする。
- 8) (一社)日本公園施設協会SP、SPI表示認定企業の製造製品とする。
- 9) 支柱の長さは現況地盤により、変更することとする。

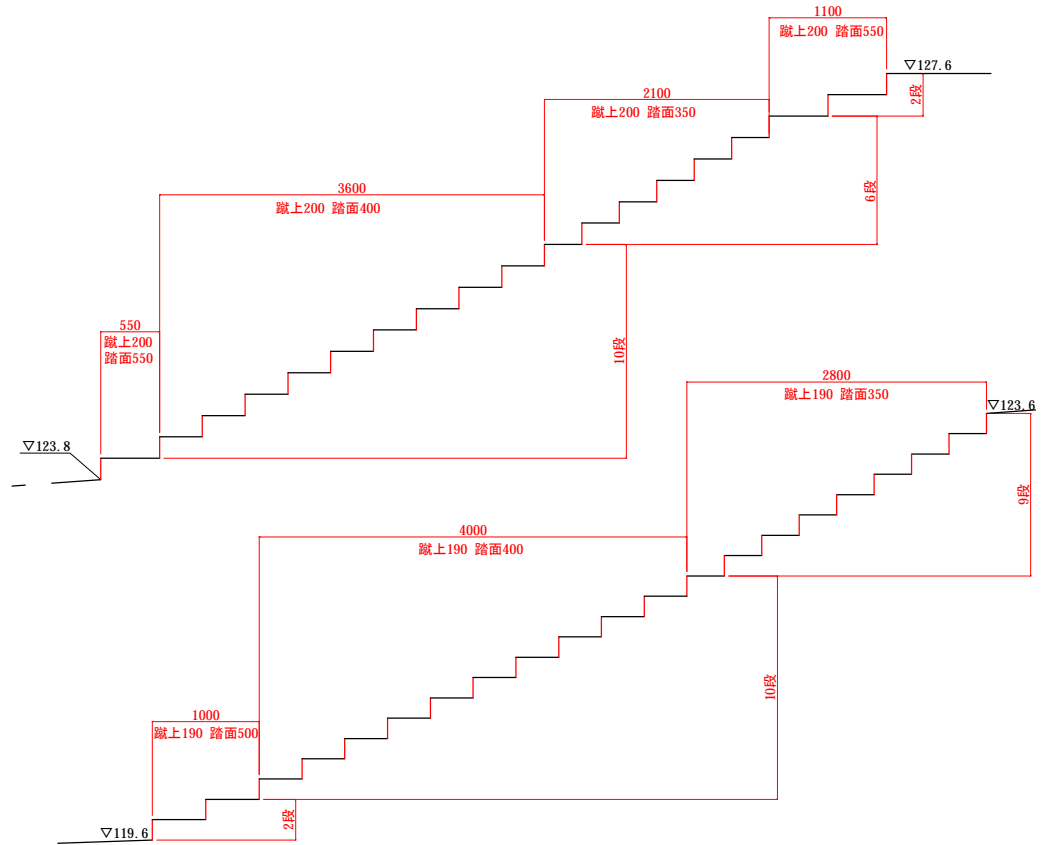


断面図 (A-A)  
S=1:10



園路広場整備工構造図  
(擬木階段1) S-図示

擬木階段1  
縦断面図 S=1:50

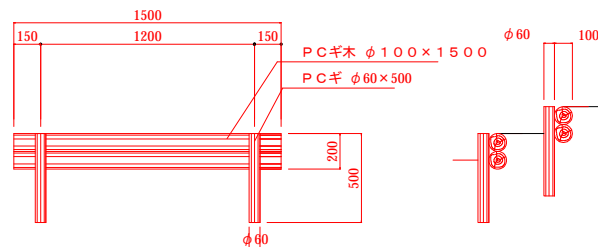


詳細図

S=1:30



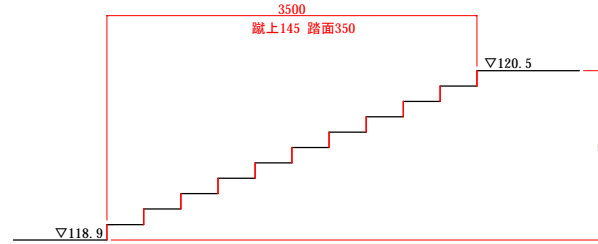
平面図



正面図

側面図

※ 表示寸法は標準寸法であり製作上収まり等により変更することがあります。

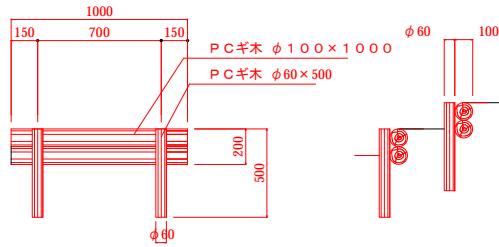


詳細図

S=1:30



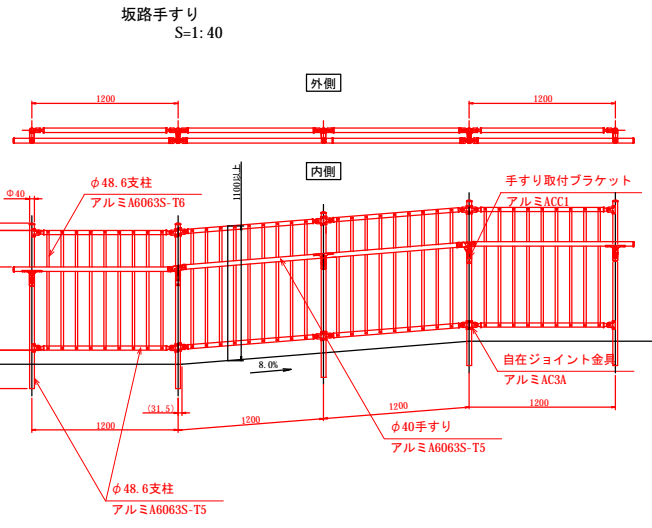
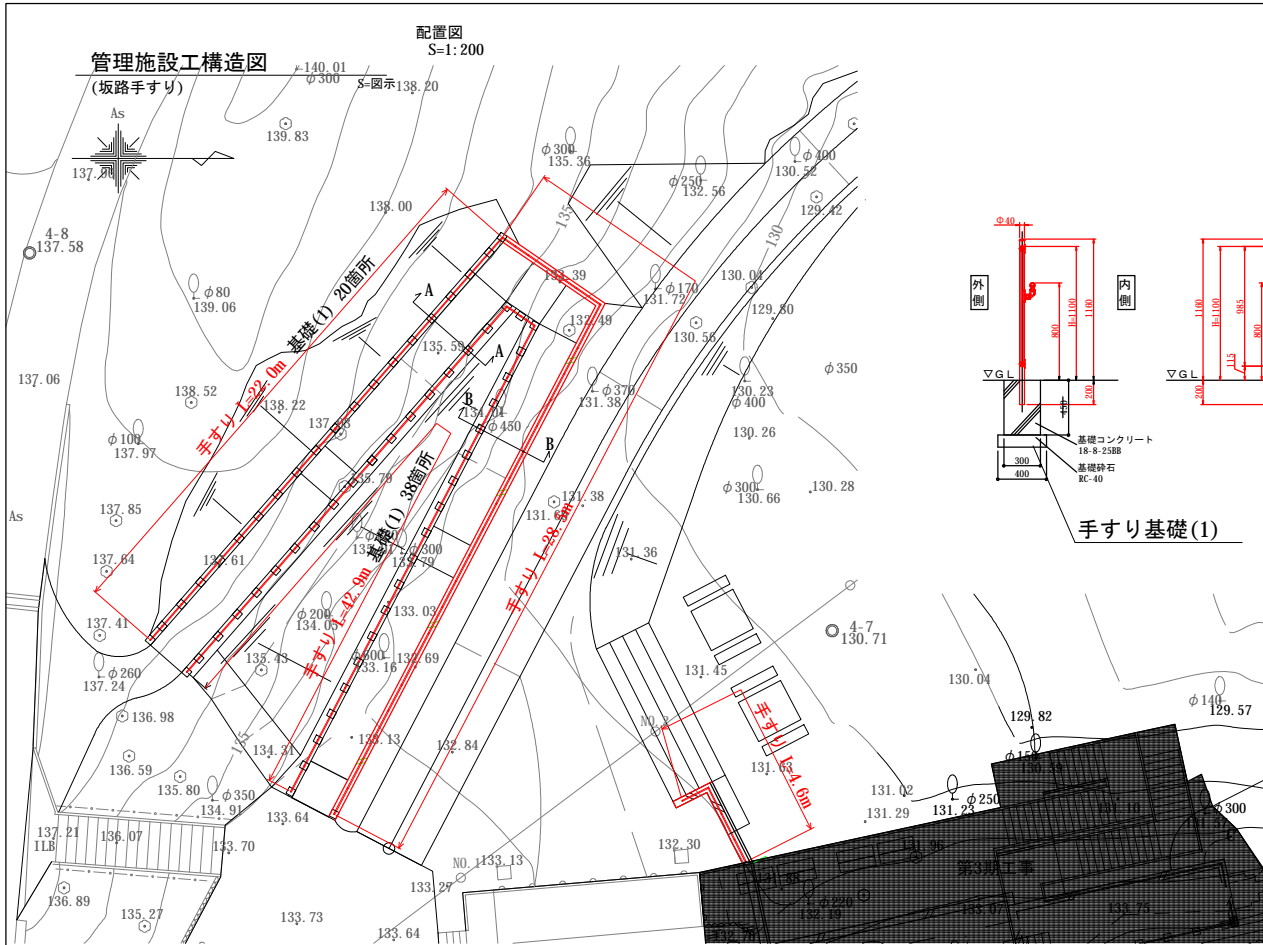
平面図



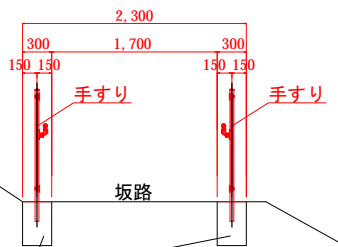
正面図

側面図

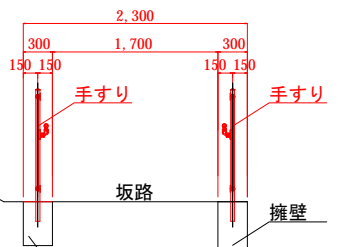
※ 表示寸法は標準寸法であり製作上収まり等により変更することがあります。



A-A断面図 S=1:50



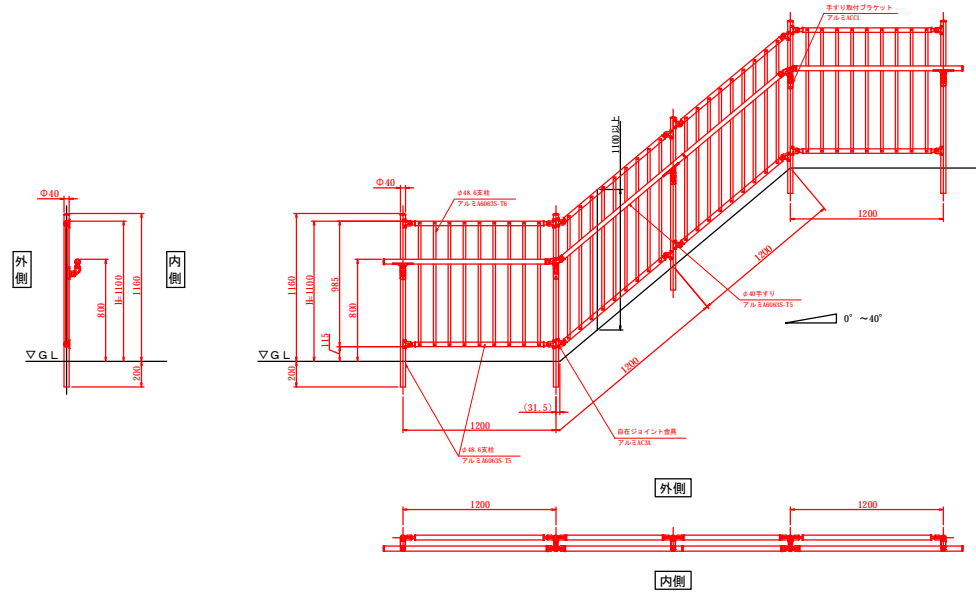
B-B断面図 S=1:50



- 仕様**
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2014に準拠とする。
  - ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 SP・SPLマーク№表示認定企業の製品とする。

管理施設工構造図  
(エントランス手すり)

内観姿図・側面図・柱位置図  
S=1:40

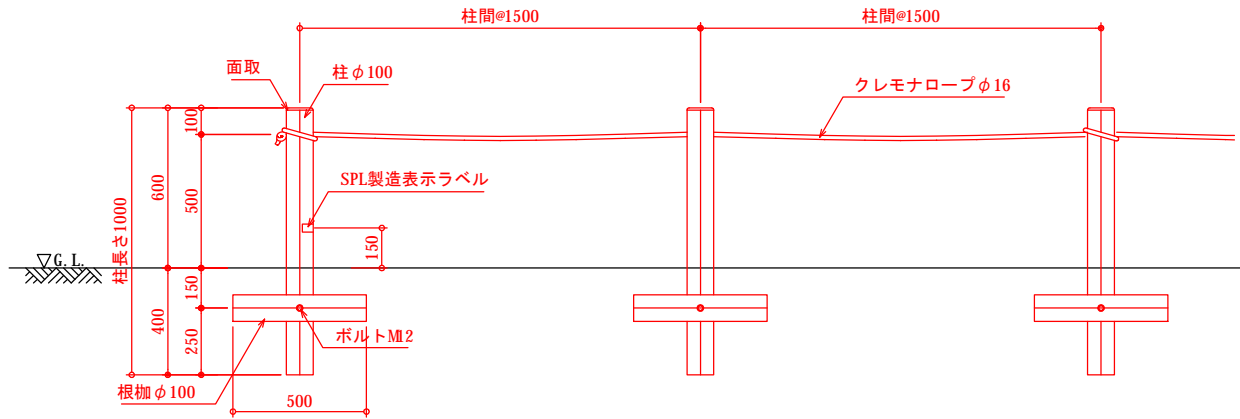


仕様

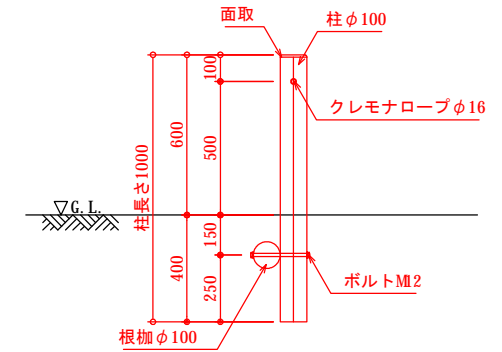
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2014に準拠とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 SP・SPLマークWo表示認定企業の製品とする。

(参考図)

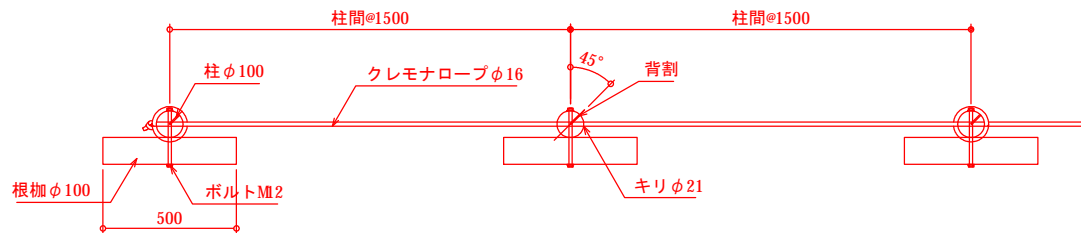
管理施設工構造図  
(ロープ柵) S-図示



立面図  
S=1:20



断面図  
S=1:20



平面図  
S=1:20

木材

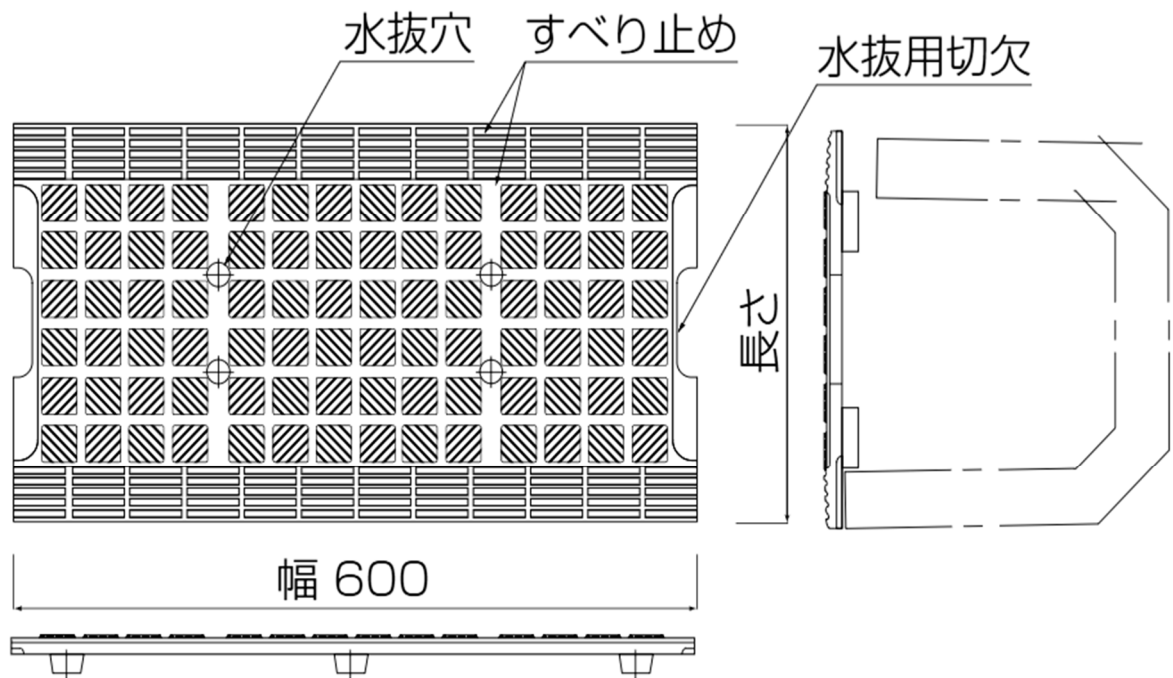
- ・木材は杉材（丸木材はD-リ-加工）を使用する。
- ・木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
- ・木材は全て加工後、AZNA ベツチ7HC030木材保存剤を加圧注入処理する。
- ・加圧注入方法はJIS A 9002による。
- ・本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
- ・木材の見え掛り部は面取を行なう。
- ・柱は背割を行なう。背割深さは木材の1/2までとする。
- ・柱の地際部は上下10cmの範囲にサンプレザ-08塗布とする。

ボルト類

- ・ボルトは図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
- ・製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。
- ・本製品は（一社）日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。
- ・本製品は（一社）日本公園施設業協会のSP表示認定企業にて製作とする。
- ・SPL製造表示ラベルの表示を行う。（1ヶ所）

# 側溝蓋（U-180用）

ソフトカバーゴム蓋



## 高耐久ポーラスアスファルト（13）仕様

## ○標準粒度範囲

混合物の種類		高耐久ポーラスアスファルト（13）
最大粒径		13mm
百分通 率過 （質 %量 ）	19.0mm	100
	13.2mm	90～100
	4.75mm	11～35
	2.36mm	10～20
	75 $\mu$ m	3～7
アスファルト量		4.0～6.0

## ○混合物性状

項目		目標値
突固め回数		50回
空隙率	%	20%程度
安定度	KN	4.9以上
フロー値	1/100cm	20～40
カンタプロ損失量	%	20以下
残留安定度	%	85%以上（96時間水浸）
塑性変形輪数	回/mm	5,000回以上
透水係数	mm/sec	$1 \times 10^{-2}$ 以上
浸透水量	ml/15秒	1,000以上

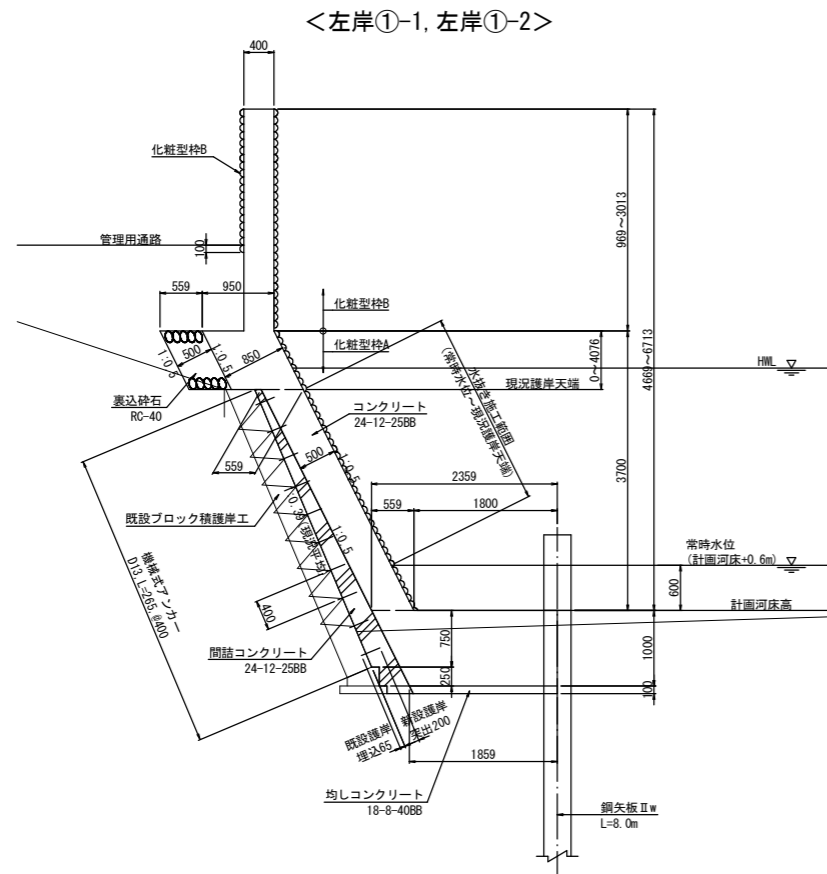
## ○アスファルトの性状

項目		基準値
針入度	1/10mm	40以上
軟化点	℃	80以上
伸度（15℃）	cm	50以上
薄膜加熱質量変化率	%	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	65以上
タフネス	N・m	20以上
引火点	℃	260以上

# 護岸工詳細図

## もたれ式擁壁護岸工

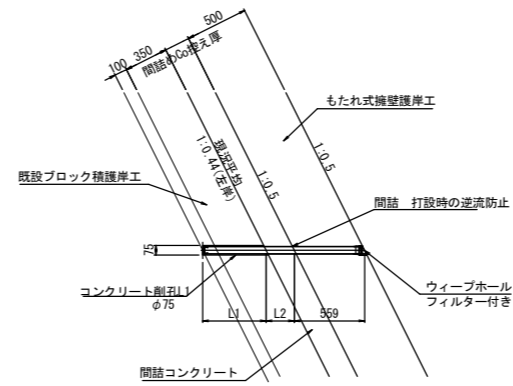
S=1:50



## 水抜き工 詳細図

S=1:30

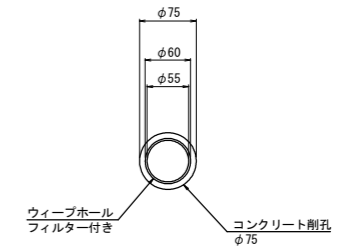
<左岸①, 右岸①> 控え500



※) 水抜き施工範囲(常時水位~現況護岸天端)に、1箇所/2m<sup>2</sup>とする。  
 ※) 施工時に必要長の確認を行い、監督職員と協議を行う事。  
 ※) 既設護岸削孔後 ウィーブホール設置後 護岸部コンクリートを打設する。

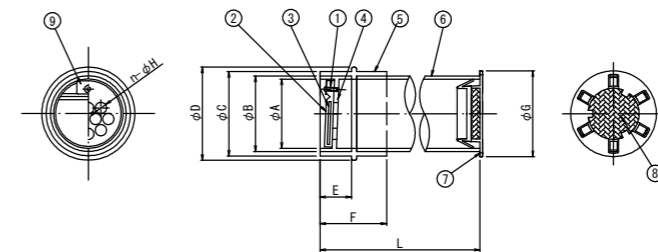
## 水抜き部正面図

S=1:5



## ウィーブホール詳細図

S=1:3



水抜き寸法	A	B	C	D	E	F	G	L	n-H	孔口断面
φ50用	55	60	67	76	25	53	68	壁厚	7-8.5 1-21.6	764mm <sup>2</sup>

番号	名称	数量	材質
1	ビス	1	SUS304
2	ゴム 弁	1	EPDM
3	インサート板	1	40.50.65-SUS304 25.100-9PC
4	弁 座	1	ABS
5	ワッパ付ナット	1	ABS
6	本体	1	H-PVC
7	フィルター	1	40.65.100-ABS 50.10-4P
8	不織布	1	合成繊維
9	特殊産金	1	SUS304

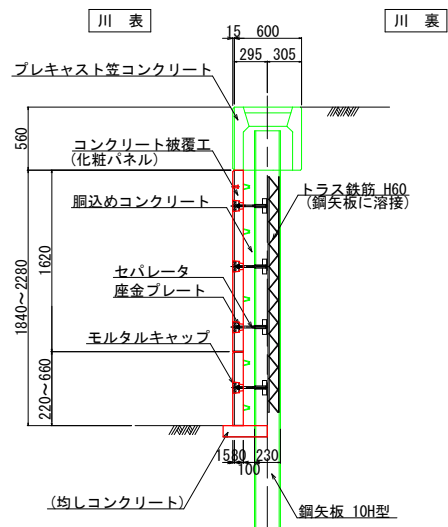
年度		図面番号	/
河川名			
工事名			
所属地名			
図面名	護岸工詳細図		
縮尺	S=1:50, 30, 5	作成年月	
大阪府富田林土木事務所			



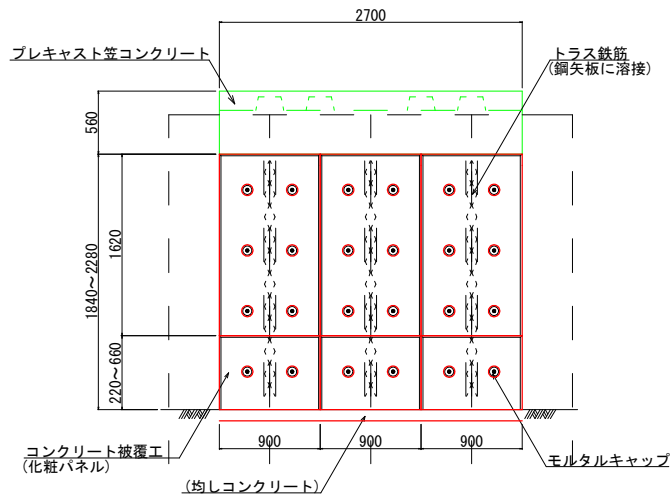
# 化粧パネル構造図 (参考)

(H=1840~2260) S=1:50 (A3)

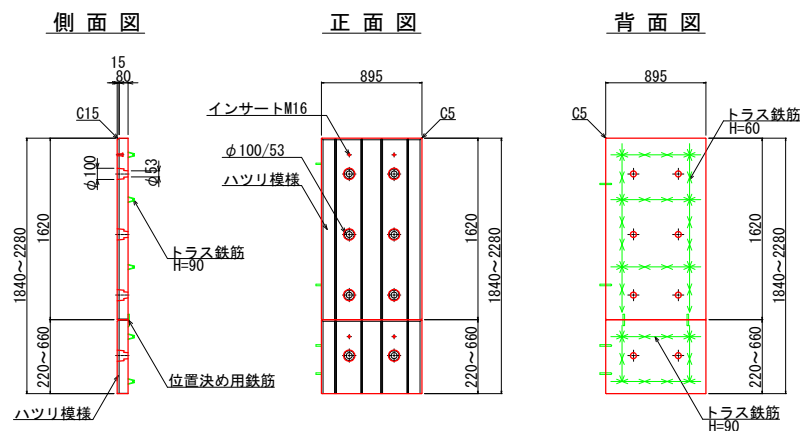
断面図



正面図

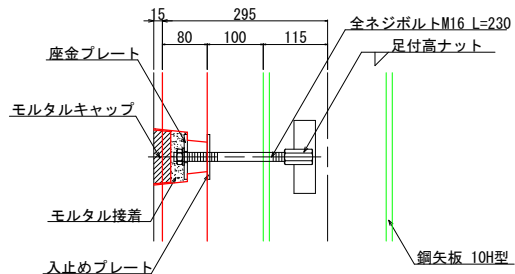


製品単体図

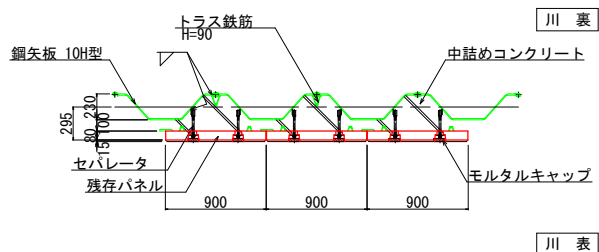


取付け金具詳細図

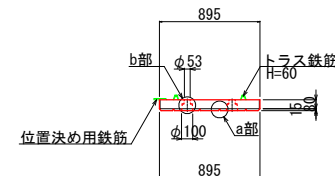
S=1:10



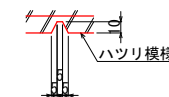
平面図



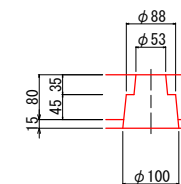
断面図



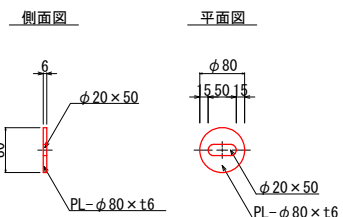
a部詳細図



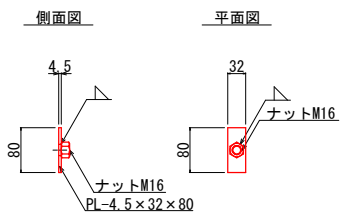
b部詳細図



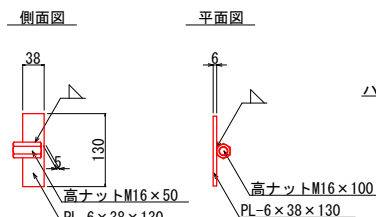
座金プレート



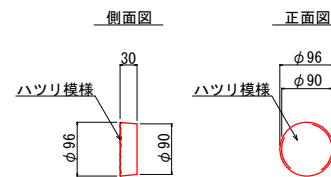
入止めプレート



足付高ナット



モルタルキャップ



令和3-4年度	図面番号	2/13
河川名	二級河川 石津川	
工事名	護岸補強工事R3-1工区 (津久野大橋上流)	
施工地名	堺市西区鶴田町地内	
図面名	化粧パネル構造図(2) 縮尺	1:50
大阪府鳳土木事務所		

護岸工構造図 S=1:50(A3)  
(鋼矢板新設区間)

笠コンクリート ハットブロック	ハットブロック
コンクリート被覆工 残存パネル	残存パネル

断面図

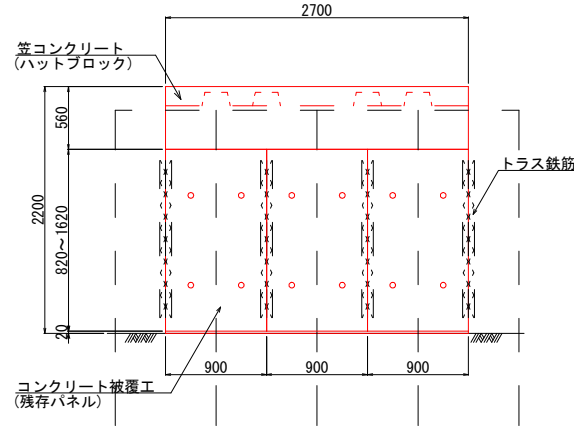
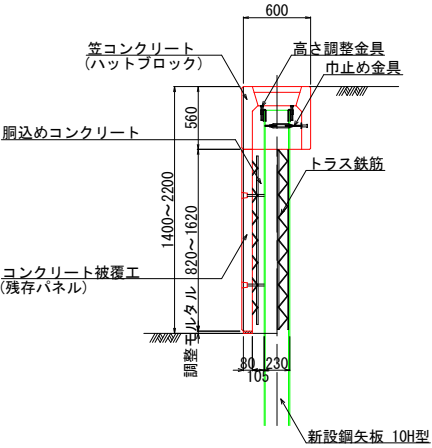
正面図

製品単体図

ハットブロック

残存パネル

川表 川裏

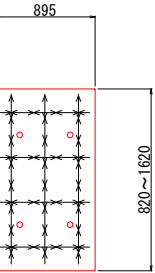
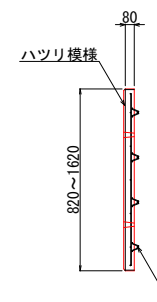
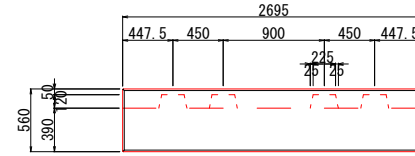
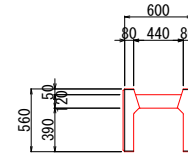


側面図

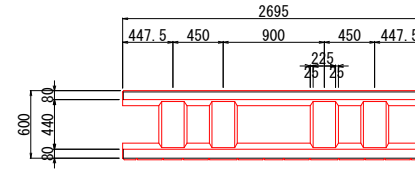
正面図

側面図

背面図



平面図



施工手順(案)

①セパレータ・トラス鉄筋溶接

②残存パネル据付

③セパレータ取付

④ハットブロック据付

⑤コンクリート打設

⑥モルタル充填 → 完成

